

北海道北見市吉井沢遺跡の研究（Ⅱ）

Palaeolithic Research on Yoshiizawa Site, Hokkaido（Ⅱ）

東京大学常呂実習施設研究報告 第19集



令和3年（2021年）3月
東京大学大学院人文社会系研究科
附属北海文化研究常呂実習施設

例 言

1. 本書は東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設が2015年度～2018年度にかけて実施した北海道北見市吉井沢遺跡の発掘調査報告書である。
2. 実測図で掲載した単体石器は写真図版に掲載し、実測図番号と写真番号は一致する。遺物に関する実測図の縮尺は石器 2/3（一部 1/2）、写真の縮尺は概ね 1/2 である。
3. 調査区や遺物出土状況等に関する各種図面の縮尺は任意とする。全てにスケールを表示し、グリッドの1辺は2mであるので、目安とされたい。発掘区や遺物出土状況等に関する各種図面の方位記号は平面直角座標系の真北を、レベルは標高を示す。遺物分布図の記号横の数字は、実測図番号と対応する。
4. 接合分布図における接合線は、便宜的に近い資料を接続させているため、剥離順を示さない。
5. 本書は全4章から構成されている。第一章は吉井沢遺跡2015～2018年度調査の要項と体制、調査の目的と経緯、調査の方法と経過、遺跡の立地と環境、基本層序、遺物の分類について記述している。第二章は出土遺物の内容、遺物出土状況について報告している。第三章は、調査に関連した各種の自然科学分析・考古学的分析についてまとめた。第四章は総括である。
6. 本書の執筆は、調査研究に参加したメンバーが分担執筆した。第一～二章は項目毎の文末に文責を記し、第三章は署名論文とし、第四章の総括は夏木大吾が執筆した。編集は夏木大吾が行い、山田哲、太田圭が本書の作成作業を分担した。また、各年度調査の整理作業および図面類作成は、上記の者の他に池山史華・中村雄紀・廣松滉一・増子義彬・山根美紀・吉留頌平が行った。主に現場写真と遺物写真は夏木大吾が撮影し、写真図版は太田圭が作成した。
7. 本書を分担執筆した研究協力者は、以下の通りである。調査体制で言及した調査関係者は除く。敬称略
國木田 大 北海道大学 大学院文学研究院 准教授
8. 本発掘調査の内容については、既に下記の文献にて簡単な概要報告および暫定的な報告を行っているが、基本的に本書の内容はこれらに優先する。

夏木大吾・山田 哲・中村雄紀・廣松滉一・吉留頌平・尾田識好・佐藤宏之・熊木俊朗・小澤太一・木之内忍・ツイデノバ, N. 「北海道北見市吉井沢遺跡の調査成果（第9次）」『第17回北アジア調査研究報告会』、pp.2-5

夏木大吾・山田 哲・中村雄紀・廣松滉一・吉留頌平・太田 圭・増子義彬・佐藤宏之・熊木俊朗 2016 「北海道北見市吉井沢遺跡第9・10次発掘調査」『第30回東北日本の旧石器文化を語る会 予稿集』、pp.91-100

夏木大吾・山田 哲・中村雄紀・廣松滉一・吉留頌平・太田 圭・増子義彬・佐藤宏之・熊木俊朗 2017 「北海道北見市吉井沢遺跡の発掘調査（第10次）」『第18回北アジア調査研究報告会』、

pp.25-28

夏木大吾・太田 圭・池山史華・舟木太郎・佐藤宏之・國木田大・熊木俊朗・廣松滉一・山田哲・中村雄紀 2018「北海道北見市吉井沢遺跡の調査成果（第 11 次）」『第 19 回北アジア調査研究報告会』、pp.39-42

夏木大吾・太田 圭・西村広経・山田貴博・渡邊 怜・佐藤宏之・熊木俊朗 2019「北海道北見市吉井沢遺跡の調査成果（第 12 次）」『第 20 回北アジア調査研究報告会』、pp.17-20

9. 本書は、2007～2013 年度発掘調査の成果報告である佐藤宏之・山田哲編『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容（Ⅲ）—吉井沢遺跡の研究—』（東京大学常呂実習施設研究報告第 13 集、2014 年）の続きとなる。前回調査の報告後に 2007～2013 年度出土資料の整理を実施した結果、一部資料に器種名等の変更や新たな接合が生じた。本書では、今回の調査対象となるブロック 2B 以外の石器集中部についても遺物組成を示したので、これを最新版とする。

10. 吉井沢遺跡の調査研究の実施にあたり、下記の方々・機関からご協力・ご助言をいただいた。

青木要祐、出穂雅実、市川岳朗、太田敏量、尾田識好、嘉藤 均、合地信生、豊原熙司、直江康雄、中沢祐一、中村雄紀、長沼正樹、福田正宏、北見市教育委員会、訓子府町、札幌学院大学人文学部人間科学科、東京都立大学（当時：首都大学東京）大学院人文科学研究科考古学研究室、東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室、ところ遺跡の森、北網圏北見文化センター、北海道教育委員会文化財・博物館課

北海道北見市吉井沢遺跡の研究（Ⅱ）

目 次

第一章 序説	1
第一節 調査要項	1
第二節 調査体制	1
第三節 調査の目的と経緯	3
第四節 調査の方法と経過	5
第五節 遺跡の立地と環境	10
第六節 層序	13
第七節 遺物の分類	14
第二章 遺構と遺物	18
第一節 概要	18
第二節 ブロック 2B の出土遺物	22
第三節 遺物の分布	48
第四節 接合資料	71
第五節 ブロック 1・2A・3 の接合資料	84
第三章 分析	133
第一節 2017・2018 年吉井沢遺跡出土資料の ¹⁴ C 年代測定	133
第二節 吉井沢遺跡ブロック 2B 出土石器のファブリック解析	139
第四章 吉井沢遺跡ブロック 2B 調査成果のまとめと考察	146

写真図版

報告書抄録

第一章 序説

第一節 調査要項

遺跡名：吉井沢遺跡（登録番号 I-02-96）

所在地：北海道北見市西相内 92

発掘総面積：29m²（2015～2018 年度調査の面積）

146.75m²（2007 年度からの発掘総面積）

2015 年度 調査期間：2015 年 10 月 11 日～10 月 28 日 発掘面積：17m²

2016 年度 調査期間：2016 年 10 月 11 日～10 月 28 日 発掘面積：29m²

2017 年度 調査期間：2017 年 9 月 27 日～10 月 17 日 発掘面積：12m²

2018 年度 調査期間：2018 年 9 月 27 日～10 月 17 日 発掘面積：12m²

第二節 調査体制

（所属・職名は当時のもの）

調査主体者 夏木大吾（東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設助教）

発掘担当者 夏木大吾（ 同上 ）

2015 年度

指導・助言 佐藤宏之（東京大学大学院人文社会系研究科教授）

熊木俊朗（東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設准教授）

調査員 廣松滉一（首都大学東京大学院人文科学研究科博士前期課程）

吉留頌平（首都大学東京大学院人文科学研究科博士前期課程）

小澤太一（東京大学文学部学生）

木之内忍（東京大学文学部学生）

山田 哲（北見市教育委員会）

中村雄紀（北見市教育委員会）

第一章 序説

ナタリア, ツィデノバ

(ロシア科学アカデミーシベリア支部モンゴル学・チベット学・仏教学研究)

2016 年度

指導・助言 佐藤宏之 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

熊木俊朗 (東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設准教授)

調査員 太田 圭 (東京大学大学院人文社会系研究科修士課程)

増子義彬 (東京大学大学院人文社会系研究科修士課程)

廣松滉一 (首都大学東京大学院人文科学研究科博士前期課程)

吉留頌平 (首都大学東京大学院人文科学研究科博士前期課程)

山田 哲 (北見市教育委員会)

中村雄紀 (北見市教育委員会)

2017 年度

指導・助言 佐藤宏之 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

熊木俊朗 (東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設准教授)

調査員 舟木太郎 (東京大学大学院人文社会系研究科博士課程)

太田 圭 (東京大学大学院人文社会系研究科修士課程)

池山史華 (東京大学大学院人文社会系研究科修士課程)

廣松滉一 (首都大学東京大学院人文科学研究科博士前期課程)

山田 哲 (北見市教育委員会)

中村雄紀 (北見市教育委員会)

2018 年度

指導・助言 佐藤宏之 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

熊木俊朗 (東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設教授)

調査員 太田 圭 (東京大学大学院人文社会系研究科博士課程)

西村広経 (東京大学大学院人文社会系研究科博士課程)

渡邊 怜 (早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程)

山田貴博 (札幌学院大学人文学部人間科学科学生)

第三節 調査の目的と経緯

北見市吉井沢遺跡では、北見郷土研究会を主体、大場利夫（当時北海道大学文学部教授）を担当者として、1966年10月8日～10日に発掘調査が実施され、同年に概報、1983年には本報告が刊行されている（北見郷土研究会編1966；大場他1983）。この吉井沢遺跡の「B地区」（発掘面積140m²）で発見された石器群（図1）は、忍路子型細石刃核を伴う細石刃石器群の北海道北東部地域における代表的な遺跡の一つをなすものとして注意されてきた。その後、高倉（2000）の再整理・検討により、同地点における石器製作技術の特徴や石器製作作業の概要が明らかにされている。

こうした中で、忍路子型細石刃核を伴う細石刃石器群は、北海道および環日本海北部地域における更新世/完新世移行期の考古学において鍵となる石器群の一つであるにもかかわらず、北海道北東部地域では調査研究の蓄積が意外に進んでいないのが現状である。すなわち、詳細な出土状況の記録を基に石器群の分析や遺跡構造の検討がなされた事例はごく稀で、このことは、代表的な遺跡には1960～70年代に調査されたものが多いため資料・データに種々の制約が生じていることとも関連する。

近年、佐藤宏之を研究代表者とする「日本列島北部の更新世/完新世移行期における居住形態と文化形成に関する研究」（平成17～20年度科学研究費補助金基盤研究（B））、「黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容」（平成21～25年度科学研究費補助金基盤研究（A））の一環として、吉井沢遺跡の発掘調査が行われた。一般的に山林での遺物の表面採集は難しいが、2006年度の踏査では遺物が採集された。また、遺跡は1966年の発掘調査時には畑地であったが早い時期に放棄されたらしく、現状は主にトドマツからなる山林（植林）となっているため、比較的良好な状態で遺物包含層が保存されていることが期待された。こうした状況を踏まえ、翌2007年度から本格的な発掘調査が計画されることになり（吉井沢遺跡発掘調査団2009）、七カ年におよぶ継続的な調査を経て、2013年度には発掘調査が一旦終了した。2014年にはそれまでの基礎的な調査成果をまとめた報告書（佐藤・山田編2014）が刊行された。その後出版された『晩氷期の人類社会—北方先史狩猟採集民の適応行動と居住形態—』（佐藤・山田・出穂編2016）では、これら吉井沢遺跡の出土資料を分析対象として、北海道における晩氷期人類の遺跡内居住行動（夏木2016）、石材資源の開発と石器の生産・供給（山田2016）、石器使用（岩瀬2016）に関する研究がまとめられた。

2007～2013年度調査では、主に4つの石器集中部（ブロック1・2A・2B・3）が確認され、それぞれ石器組成に関して個性的な内容を示すことが明らかになっており、地点を違えつつ異なる作業が行われた可能性が想定されている（山田2014）。しかし、分析の単位となるべき一部の石器集中部（ブロック2B）が発掘途中であり、遺跡の構造（それぞれの石器集中部をめぐる相互の関係性）を検討するうえで十分な情報が得られていなかった。ブロック2Bでは、それ以外の石器集中部と比較して被熱石器の比率が非常に高いことから、顕著な火の利用に伴う活動が生じたと考えられるが（夏木2016）、遺物の組成や空間分布、石器使用行動に基づく作業内容の推定にまで研究が至っていない。吉井沢遺跡で生起

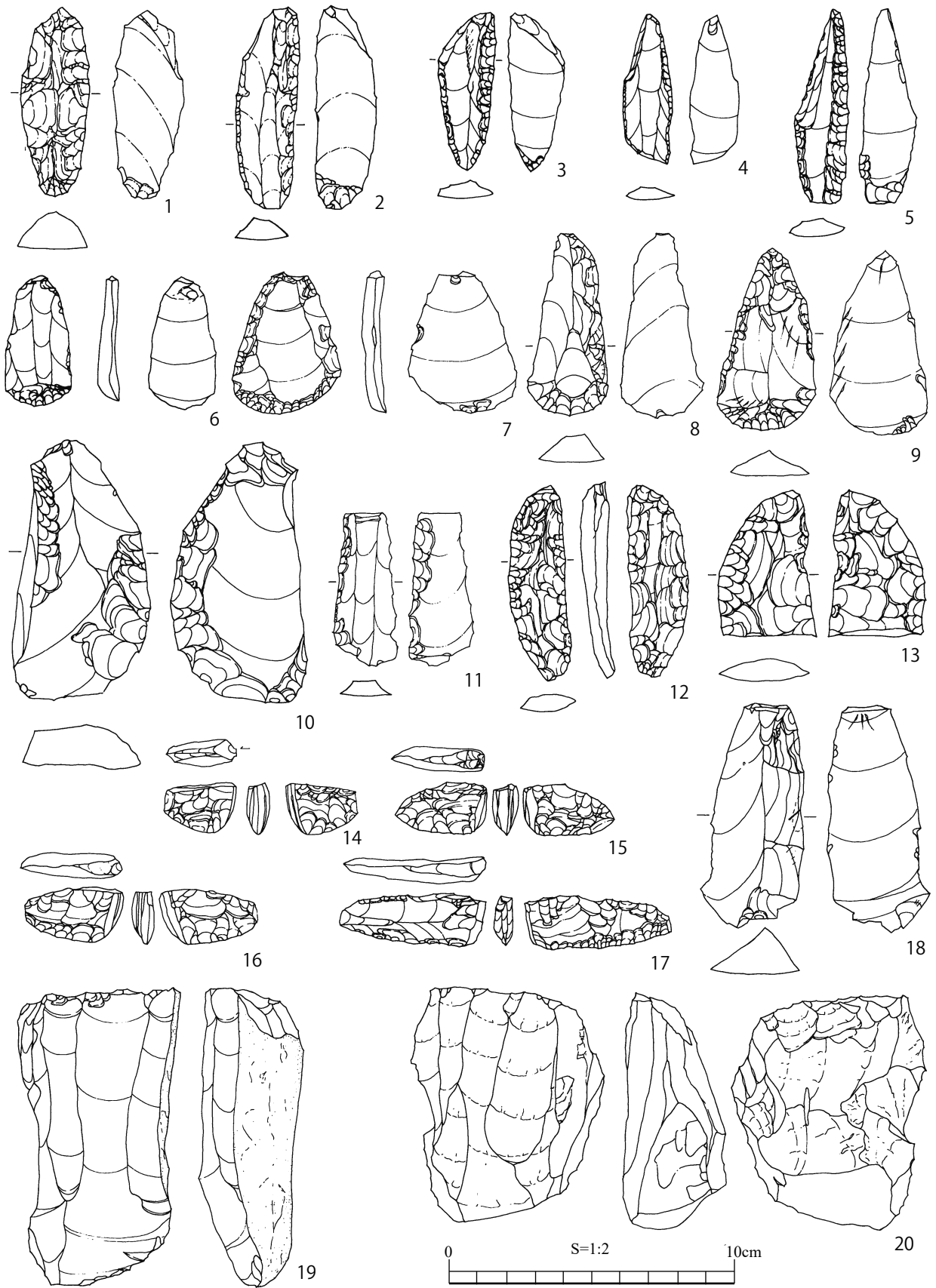


図1 1966年発掘調査出土遺物

した遺跡内居住行動を理解するためには、ブロック 2B と他の石器集中部とを比較し、遺跡内の石器群間変異を生じさせた人間行動にアプローチする必要がある。また、北海道では、これまでに忍路子型細石刃核などの後期旧石器時代終末期の石器群に関連して、信頼性の高いコンテクストから年代が得られた事例が極めて少ない。したがって、この時期に関連する年代測定値の蓄積も喫緊の課題となっている。

このような研究の経緯から、未完掘であったブロック 2B を対象として、人類活動の痕跡と関連する年代を明らかにすべく、2015 年度から夏木大吾が調査主体・発掘調査担当者となって継続の発掘調査を実施することにした。1966 年の発掘調査から、2007～2013 年度と 2015～2018 年度までの一連の発掘調査を合わせると、これまでに 12 次にわたる発掘調査が実施されたことになる。

第四節 調査の方法と経過

調査は東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設、北見市教育委員会の協力のもとに進められた。

調査区の設定と発掘の方法は 2007～2013 年度調査と同様であり、調査で得られたデータもこれまでの調査に追加可能な状態で記録・保存するように努めた。調査区に関して、植林の列に概ね平行・直交するラインによって 2m×2m のグリッドを設定した。南東—北西方向を X ライン、北東—南西方向を Y ラインとしてアラビア数字を付し、東隅交点をグリッドの名称 (X-Y) とした。また、各グリッドを 4 分割した 1m×1m の小グリッド (a～d) (図 2 左上) を必要に応じて併用した。

調査区に関する測量成果は下記のとおりであり、X ラインは真北に対して西側に 53°58'12" 傾いている (図 3)。

平面直角座標第 X Ⅲ系 (世界測地系)

基準点 1 X=-23796.868 Y=-45332.614 (標高 171.639m)

基準点 2 X=-23767.283 Y=-45317.745 (標高 170.712m)

6-10 X=-23800.484 Y=-45333.470

10-3 X=-23815.197 Y=-45326.861

6-2 X=-23809.898 Y=-45320.527

0-3 X=-23799.016 Y=-45315.067

調査では、表面採集遺物の分布や地形を考慮しながら植林の間を縫うように、土層の堆積や遺物包含層の残存状況を観察しつつ遺物・遺構を探索した。植林の伐採には所有者との協議および補償が必要となるため、可能な限り立木の損傷を抑えることに配慮しながら遺物・遺構の出土状況に応じて発掘区を拡張する方針をとった (図 2)。ブロック 2B における土層堆積の把握のために、新たに X=8 ラインを

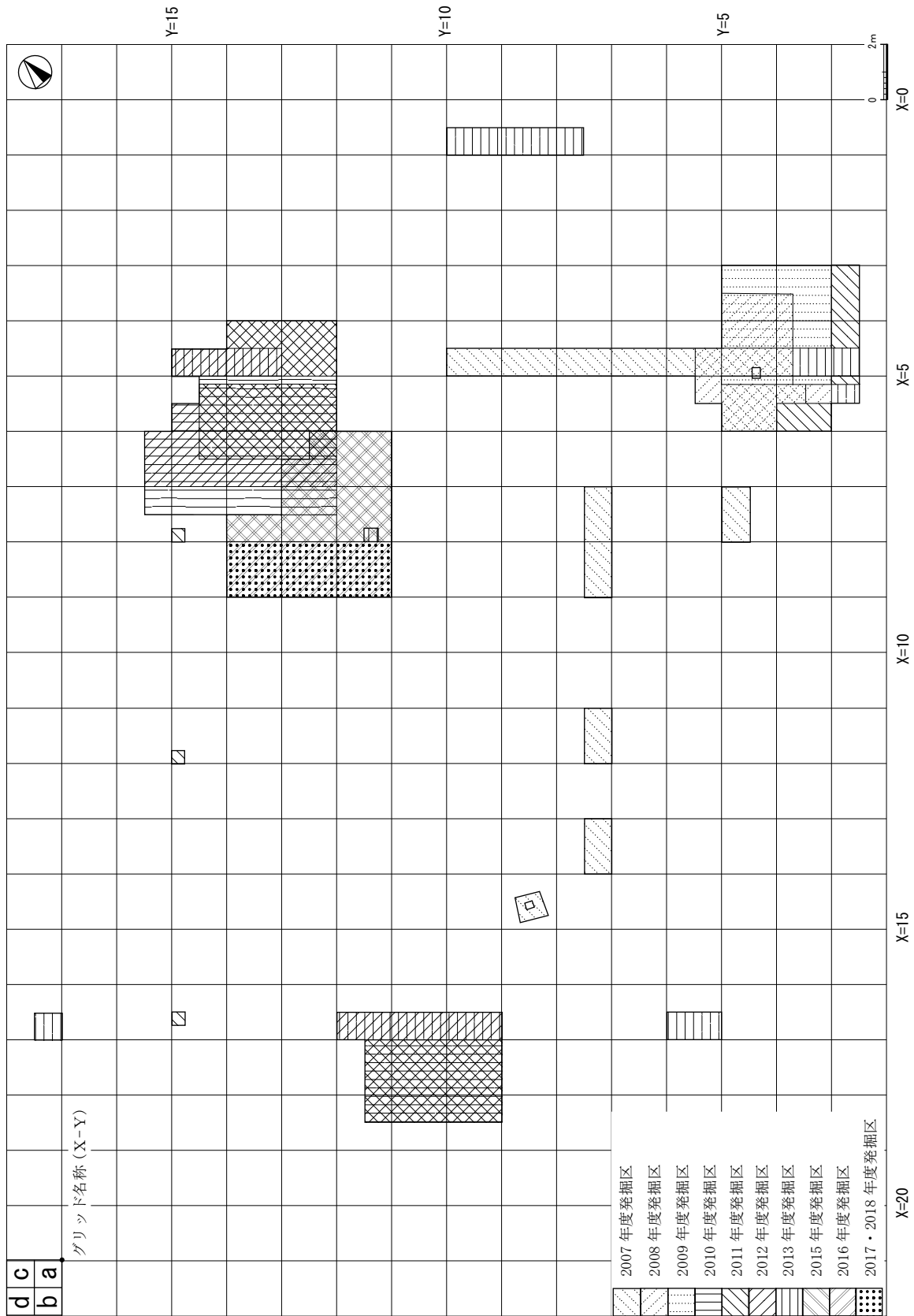


図 2 各年度の発掘区

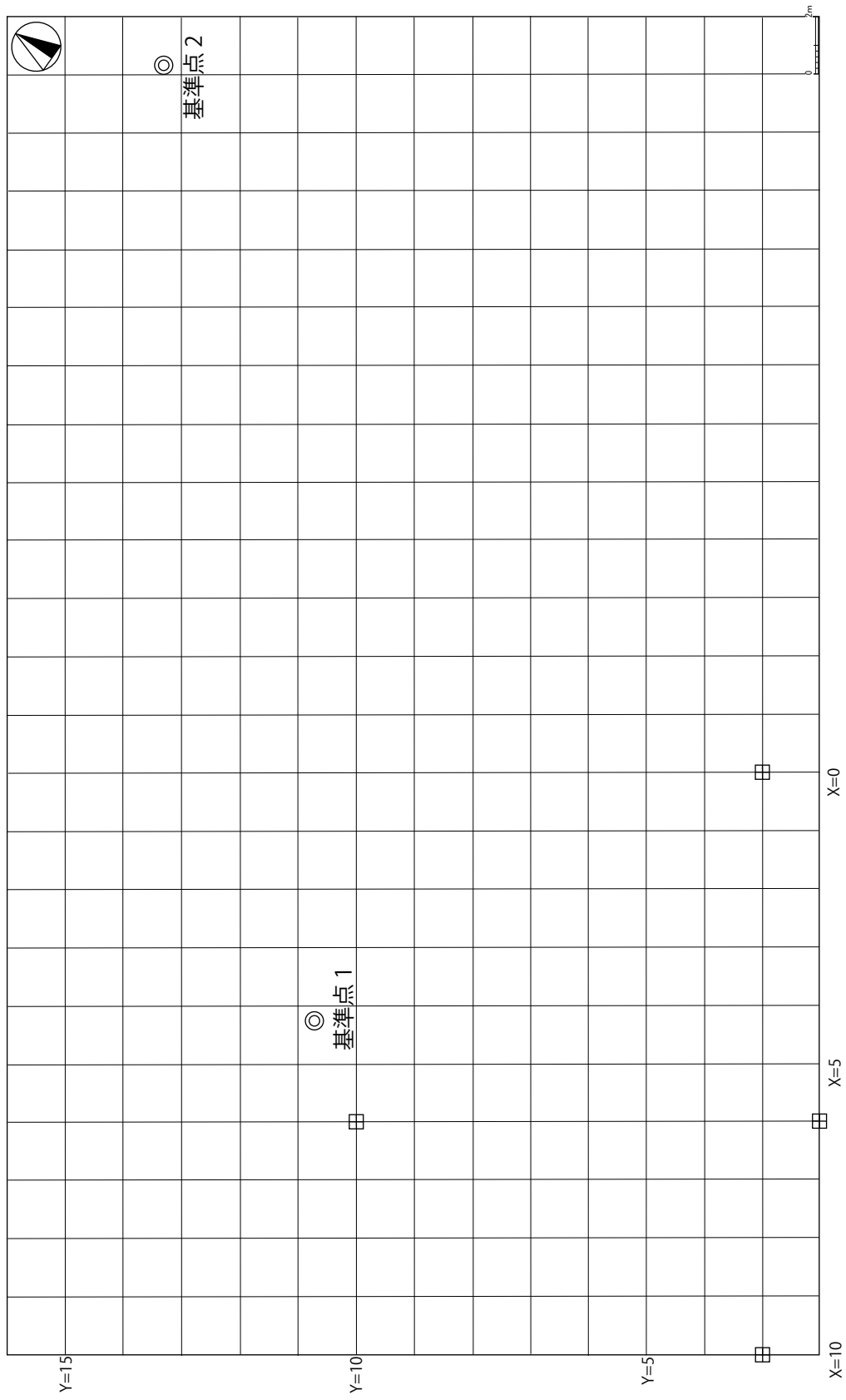


図 3 発掘調査の基準点

第一章 序説

中心として土層断面図を作成した。発掘作業では、表土をスコップで掘削した後、移植ゴテやネジリ鎌等を用いて遺物包含層を丁寧に掘り下げた（廃土の篩がけは行っていない）。発見された遺物については、基本的に表面採集と表土（Ⅰ層）出土を除いて可能なものは全て位置を計測・記録して取り上げた（点取り遺物）。炭化物も同様に出土位置を記録しているが、人為的・自然的擾乱が疑われる範囲では採取を最低限にとどめた。得られた炭化物は放射性炭素年代測定用のサンプルとした（本書第三章第一節國木田を参照）。さらに、埋没後過程において被った自然的な影響を検討すべく、細片等を除く比較的大形（およそ2cm以上）で長軸が短軸の1.6倍以上を満たす石器について、デジタルクリノメーターを用いて個々の方位や傾斜に関する情報を収集した（本書第三章第二節夏木を参照）。

2007～2013年度の調査では、4-3・4区を中心とする石器集中部（ブロック1）、5-13区と6-14区を中心とする石器集中部（ブロック2A）、7-12区を中心とする石器集中部（ブロック2B）、17-10区を中心とする石器集中部（ブロック3）を検出し、ブロック1・2A・3についてはその主体部の発掘を終えている（図4）。

ブロック2Aとブロック2Bは2012年度調査まで発掘区全体が一体の石器集中部とみなされていた。しかし、2012年度以降の発掘によって南端部（7-12区付近）にも石器の著しい集積が確認されたことから、これらを便宜的に区分している。ブロック2Aではヴァラエティーに富む3,873点の石器類が出土し、特に石刃や剥片が多く、石刃の生産や両面調整石器の加工を中心に形成された石器集中部と考えられる。ブロック2Aと2Bの間では多くの接合資料があり、この二つの石器集中部は密接に関連している。ブロック2Bの全容は不明であるが、2013年度までに1,149点の遺物が出土しており、被熱石器が多いという特徴をもつ。南側に隣接した7-11区の小試掘坑（0.5m×0.5m）において斧形石器や剥片・細片等が出土していることから、ブロック2Bの分布は南側に広がることが予測された。

このような状況を踏まえ、2015年度の調査においてはブロック2Bの発掘区を平面的に拡張し、その広がりや遺物組成の把握を目指した。前回調査において未完掘であった6-12a・b・d区、7-12a・c区に加え、6-11区、7-11区、7-12b・d区、7-13b・d区を新たに拡張した。2016年度の調査では、さらに南西側に集中的な遺物の分布が続くと予測されたため、新たに8-11・12・13区を拡張した。2017年度調査では、8-11・12・13区の範囲を引き続き掘り下げ、遺物を検出していった。8-12区から8-13区南側では倒木痕とみられる大きな攪乱が確認され、石器集中部における一部の遺物分布が乱されていることが判明した。2018年度調査では前年度と同じ調査範囲を引き続き掘り下げて、遺物や遺構を検出していった。遺物検出時に数多くの炭化物を検出したため、適宜試料採取を行った。炭化物は直径5mm以上の例のみを採取した。倒木痕の中には大きめの炭化物が顕著に認められたが、試料の採取は数点程度にとどめた。Ⅲ層上部における遺物出土のピークの深さでは焼土粒や焼けた自然礫が散見されたが、焼土ブロックとして認識できる範囲は調査区北西隅（8-13d区）でのみ確認した。この焼土ブロックを切るようにして、表土からⅢ層下部に至る掘り込みが検出された。この掘り込み内では遺物がほとんど出土しなかったことから、1966年調査の掘削痕跡の可能性も疑われたが、その検証には至っていない。Ⅱ層からⅢ層中部にかけて観察された主な樹痕・倒木痕、掘り込み、焼土ブロック等の平面分布

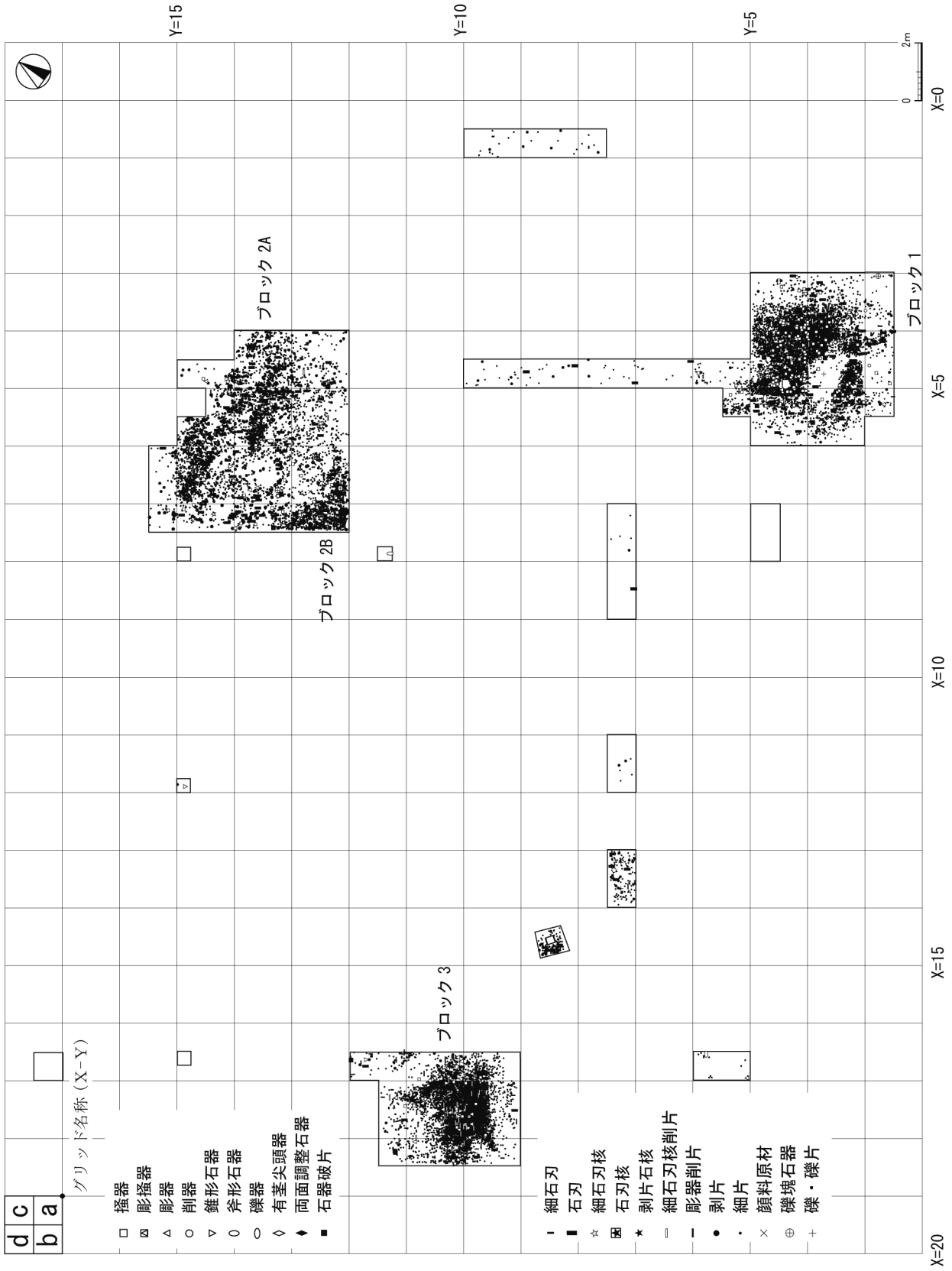


図4 2007～2013年度調査の発掘区と石器集中部

を記録している。

ブロック 2B として括った 30m² の範囲から 14,491 点の遺物が出土し、高密度な遺物分布が認められた。これまで検出した石器集中部の中では遺物数が最も多く、かつヴァラエティーに富んだ石器類が出土している。また、当初の予想どおり、2,673 点におよぶ多くの被熱した石器も出土した。2018 年度を最終として調査を終了したが、ブロック 2B と一連の遺物分布は未だ途切れる様子なく、その範囲はさらに西側に広がる可能性が高い。

第五節 遺跡の立地と環境

吉井沢遺跡（図 5）は、北海道北東部オホーツク地方の北見市に所在する。北見市は、この地方最大の河川（全長 145km、流域面積 1,930km²）としてオホーツク海にそそぐ常呂川の流域にひらけたまちである。北海道石狩山地三国山に源を発する常呂川は、標高 700～200m の北見山地とその周辺丘陵を縫って北東へ流れ、北見市常呂町においてオホーツク海に達する。その流域には北海道の先史時代を網羅する多数の遺跡が発見されている。吉井沢は常呂川の支流として東流する無加川の南岸に位置し、ジュラ系の仁頃層群が形成する山地斜面に囲まれた小規模な溪谷である。仁頃層群からは主に凝灰岩や頁岩・泥岩が供給され、無加川に向かう小河川（吉井沢川）の両岸には低湿な氾濫原とおよそ 4 面の段丘地形が発達している（ブーヴィットほか 2014）（図 6）。かつて調査された「B 地区」や今回の調査地点はこの小河川西側の段丘面上に立地しており、本調査の発掘区は最上位の段丘面（T₄ 面）にある。

調査地点は、無加川と近接しているものの北西側に急峻な尾根が走るため直接に無加川を見わたすことが難しく、南東側の小河川の沢へ臨んでいる。したがって眺望はあまり開けていないが、日中の日当たりが良く北風を避けるのに適した立地といえる。調査地点付近での段丘面の標高は 169m～173m で平坦面もしくは緩斜面をなす（図 7）。調査地点と無加川との比高は約 10m であり、直線距離で約 100m 離れている。1983 年の報告で記載されている吉井沢遺跡 B 地区の標高は 198m～200m、C 地区の標高は 190m 前後であるので、前者と現在の調査地点とは 25m 以上の差があることになる。今のところ、周辺の地形や遺物の出土状況等から、1983 年報告の記載には誤りがあり、現在調査している段丘面が B 地区、その下の段丘面が C 地区に相当する可能性が高いと考えているが、旧発掘区的位置を確認するには至っておらず、今後の課題となっている。

良質な黒曜石産地を有する常呂川上・中流域では、段丘面を中心に多数の旧石器時代遺跡が発見されており、その大部分が細石刃石器群と関連する遺跡である。未だ類例が少ない円錐形の紅葉山型細石刃核を伴う石器群を出土した北見市紅葉山遺跡（尾田 2009；藤本 1964）は、吉井沢遺跡から西方へ約 5km 離れた地点に位置する。大形の峠下型細石刃核を伴う石器群を出土した訓子府町北栄 40 遺跡（鶴丸・橋爪 1990）は南へ約 5km に位置する。吉井沢遺跡と同じく忍路子型細石刃核を伴う石器群を出土した遺跡としては、北見市北上台地遺跡（大場ほか 1984；宮編 1988）が東南東へ約 13km、訓子府町日出

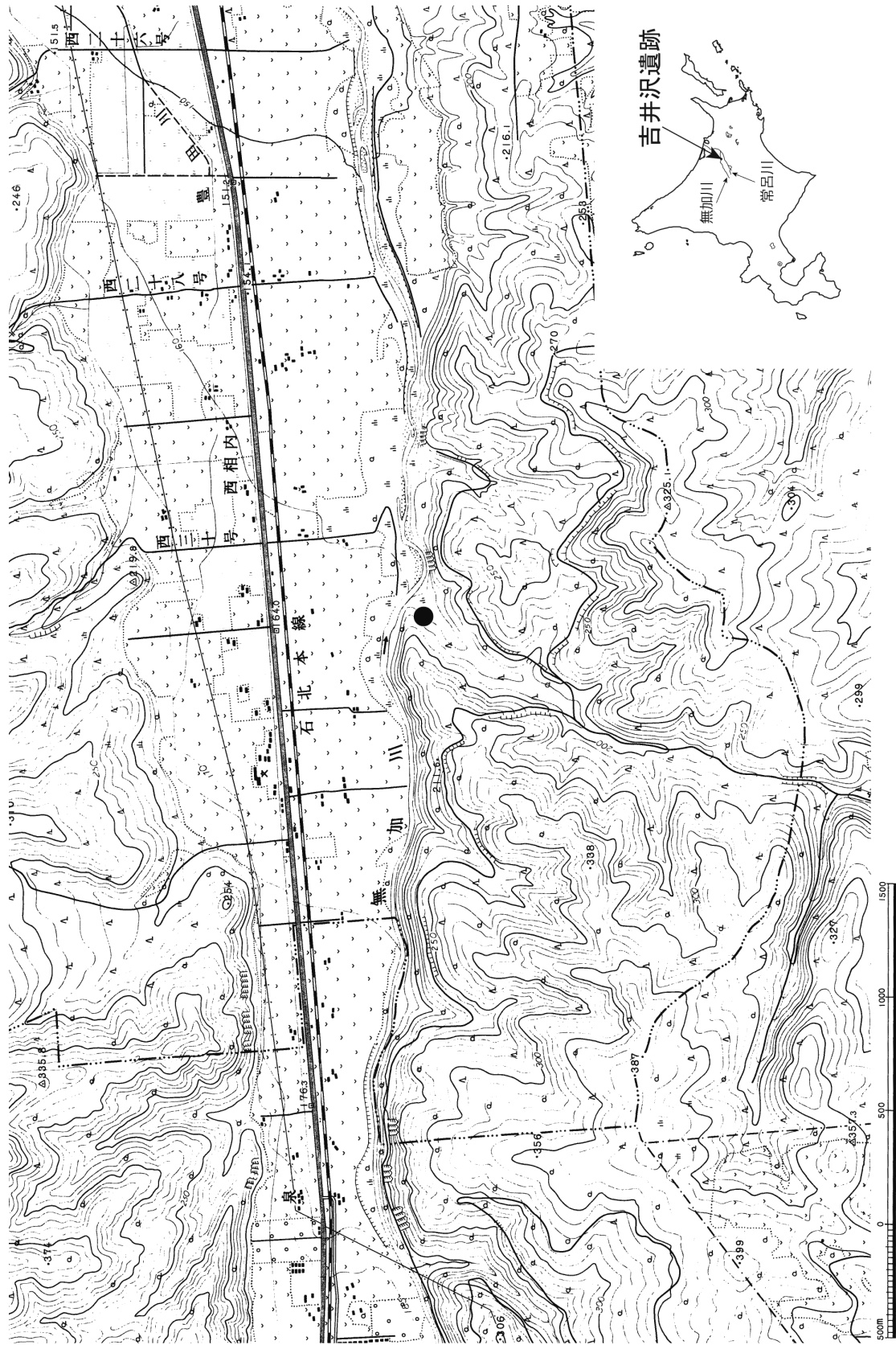


図5 遺跡の位置 (●: 吉井沢遺跡) (2万5千分の1「留辺蘂東部」)

第一章 序説

11 遺跡（橋爪 1985）が南東へ約 9km の距離にある。

常呂川流域の石器群は、一般的にその石材の大部分を置戸の原産地とそこから転礫として常呂川・訓子府川を流下する黒曜石に拠っている。とりわけ良質で大形の黒曜石岩屑を産する置戸所山は、吉井沢遺跡から南西約 18km に位置する。また、北見市留辺蘂と遠軽町丸瀬布の分水嶺に岩体露頭を有し無加川支流のケシヨマップ川に転礫を供給する黒曜石原産地は、吉井沢遺跡から西（無加川上流側）約 30km にあたる。2007～2013 年度調査出土石器の一部を対象に実施された蛍光 X 線分析（ファーガソン 2014）、EPMA 分析（和田ほか 2014）では、こうした近傍産の黒曜石が多く利用されたことが明らかになっている。吉井沢遺跡から 50～100km の距離（河川の転礫含む）にある十勝三股産黒曜石、30～50km（河川の転礫含む）の距離に位置する白滝産黒曜石も、遺跡内での数が少なく、かつ石器製作作業が行われた痕跡に乏しいが（山田 2016）、利用されている。ブロック 2B では、13,685 点の黒曜石製遺物（総点数の 94.4%）が出土しているが、今回の報告では黒曜石製遺物の理化学的産地分析を実施していない。

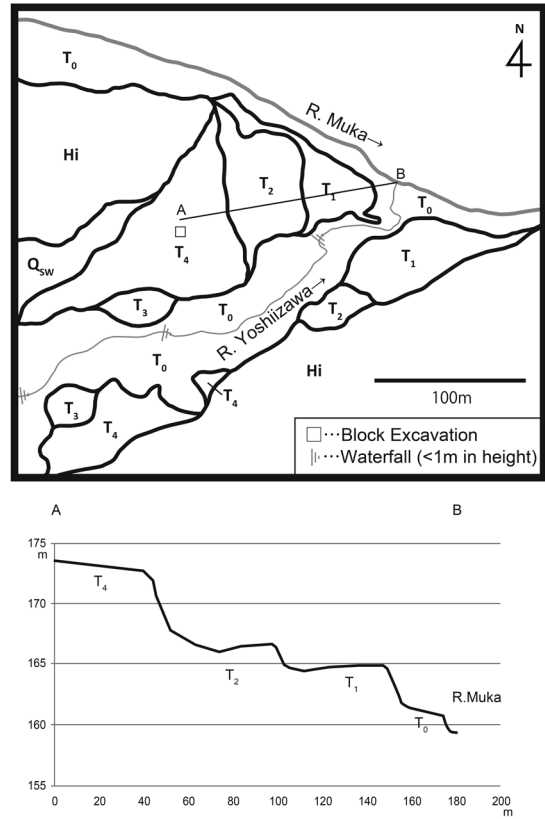


図 6 吉井沢遺跡周辺の地形学図（ブーヴィットほか 2014）

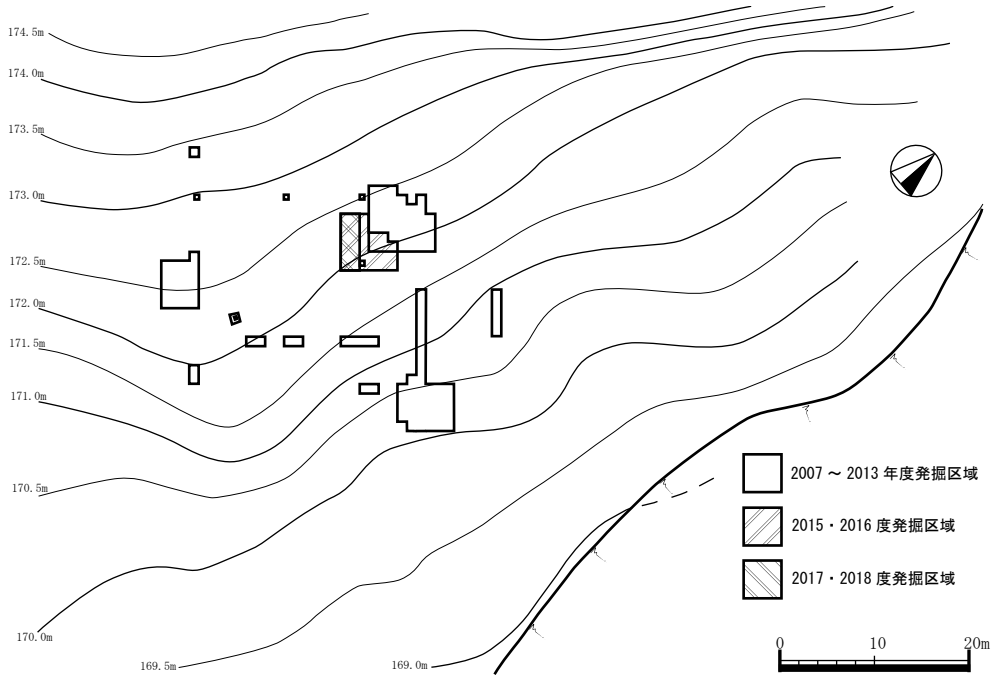


図 7 発掘区と地形

第六節 層序

基本層序（図8）は、I層：黒褐色腐植土（腐葉や根が多く入り込む表土）層 0.1m、II層：暗褐色土層 0.1～0.2m、III層：褐色土層 0.3～0.5m、IV層：褐色～赤褐色砂礫層 0.7～1.1m、V層：灰白色～褐色粘土・シルト・砂互層 1.2m～である。II層は旧耕作土であるが、土質からは自然の褐色森林土との識別が難しく、下部にテフラ（Ta-a(AD1739)あるいはKo-c₂(AD1694)）（町田・新井 2003）を含むことがあるため部分的にプライマリーな土層が残っていると考えられ、当地での耕作は比較的短期間で浅い深度のものであったらしい。III層は基本的にローム質であるが、ほぼ同じ深さにIII層に近い色調で径30mm以下の礫を多量に含む層が堆積することがある。この層には、倒木等の何らかの攪乱によるもの、III層を侵食した小規模な流路を埋積したもの、III層堆積後の凍結擾乱作用によってIV層の礫が上昇したものの、もともとIV層上位のローム質土（III層）の堆積に乏しい部分のもの等が含まれると考えられる。2007～2013年度調査では遺物はI層からIII層下部まで出土し、II層下部からIII層上部にかけての層厚およそ0.2～0.3mの範囲が遺物の主な出土層準となっている。

ブロック2Bの調査では、III層中部の掘削中に遺物の出土が止まったため、III層下部までは掘り下げていない。本石器集中部において遺物はII層下部からIII層中部まで出土し、III層上部からIII層中部にかけての層厚0.2～0.3mの範囲に遺物が集中する。遺跡の北西側では、後背の急峻な尾根からの崩積相が顕著で、ブロック2区（ブロック2Aと2Bの発掘区）では、II層とIII層の境界付近に角礫を多く含む層が堆積する（図9のX=8ラインの3-1層）。これら角礫を多く含む層は北西側尾根斜面に向かって厚く、含まれる礫が多くなるが、南東側では薄く、含まれる礫は少なくなる。この層は、調査区北西側において遺物をあまり含まず、その下位から多く出土する傾向にあるが、南東方向に行くに従ってローム質のIII層との分離が難しく

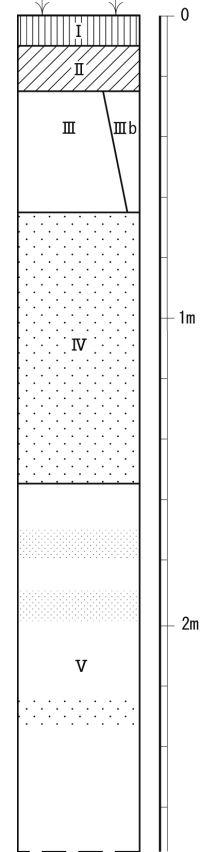


図8 基本層序

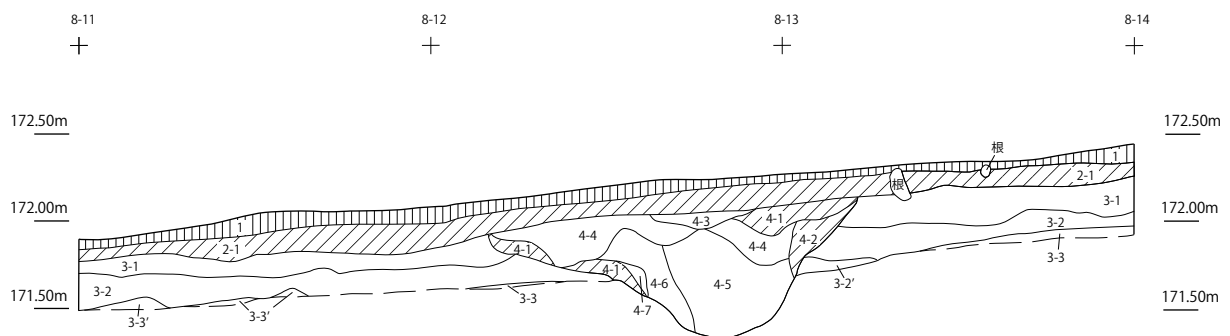


図9 土層断面図（X=8ライン）

第一章 序説

なり、出土する遺物も多くなるため、Ⅲ層に含めた。

以下に、土層断面（図9）について記述する。土色の記載には『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）を用いた。礫については、特に記載がない限り、周囲の仁頃層群から供給されたと想定される泥岩、頁岩、凝灰岩である。

X=8 ライン：ブロック2区域（8-11～13区）（図9）

1：黒褐色土（7.5YR3/2）しまり弱。腐葉や根を多く含む表土（Ⅰ層）。

2-1：暗褐色土（7.5YR4/2）しまり中。粘性中。若干明るい色調のⅡ層。土層断面ではテフラは視認されなかったが、同層の掘削中には塊状のテフラの点在が確認された。下部において3-1と同様の礫をやや多く含む。

3-1：褐色土（10YR4/3）しまりやや弱。粘性中。基本層序Ⅲ層に相当すると考えられるが、径50mm以下の角礫を比較的多く含む。「Ⅲ層上部」として遺物取上げ。

3-2：褐色土（10YR4/3）しまりやや強。粘性やや強。礫は少ないが、径5mm以下の細かな団粒状構造が若干発達し、マンガン粒が目立つ。概ね「Ⅲ層上部」として遺物取上げ。

3-2'：褐色土（10YR4/4）しまりやや強。粘性やや強。3-2層とほぼ同じだが、部分的に3-1層と同様の礫が混じる。「Ⅲ層上部」として遺物取上げ。

3-3：褐色土（7.5YR4/6）しまりやや強。粘性やや強。3-2層から漸移し、同様にマンガン粒が目立つが、礫はほとんど含まない。団粒構造が発達する。「Ⅲ層中部」として遺物取上げ。

3-3'：褐色土（10YR4/6）しまりやや弱。粘性中。径50mm以下の角礫を少量含む。「Ⅲ層中部」として遺物取上げ。

4：倒木によって攪乱された層。検出面は3-1層（基本層序Ⅲ層）上面で、下面は基本層序Ⅳ層に相当する褐色・赤褐色砂礫層に達する。基本層序Ⅱ～Ⅳ層に相当する層が混在し、下記のように細分される。

4-1：暗褐色土（7.5YR4/3）しまりやや弱い。粘性中。2-1に類似するが、3-1層と同様の礫や粒子が混入する。

4-2：暗褐色土（7.5YR4/3）4-1層に似るが、3-1層と同様の礫と粒子をより多く含む。

4-3：褐色土（10YR4/3）3-2層とほぼ同じ。

4-4：褐色土（10YR4/4）3-2層とほぼ同様であるが、部分的に3-1層と同様の礫や粒子が混じる。

4-5：褐色土（10YR4/3）3-2層とほぼ同じであるが、部分的に3-3と同様の粒子が混じる。

4-6：褐色土（10YR4/6）しまり弱、粘性やや弱、径50mm以下の角礫を含む。砂・シルト。

4-7：にぶい黄褐色土（10YR5/3）しまりやや強。粘性強。

第七節 遺物の分類

出土した遺物は全て石器類である。基本的な器種分類は2007～2013年度調査報告（佐藤・山田編

2014)と同様であり、以下のとおりである。

剥片：石からの剥離物の内、二次加工が顕著でないものおよび下記の分類に含まれないもの。剥片の縁辺において、断続する各剥離痕の長さが2mm未満で刃こぼれ状をなすものを「断続的微小剥離痕」、連続する各剥離痕の長さが2mm未満からなるものを「連続的微小剥離痕」、断続する剥離痕に長さ2mm以上が頻繁に含まれるものを「断続的小剥離痕」、連続（ある縁辺の1/2未満の範囲で連続）する剥離痕に長さ2mm以上がふくまれるものを「部分加工」として記載する。長さ・幅が4cmに満たないものを小形、4cm以上8cm未満は中形、8cm以上を大形として記載する。

細片：長さ・幅ともに2cm未満の剥片および破片。

削片：背面と腹面だけでなく側面を含めた三面以上の構成が顕著な剥片（基本的には縦長の形状をなすもの）。先行する削片剥離の痕跡が観察されるものを二次削片、観察されないものを一次削片とする。

彫器削片：彫器の彫刀面形成・再生によって生じた削片。

細石刃核削片：細石刃核の打面形成・再生によって生じた削片。

石刃：長幅比2/1以上の剥片（縦長剥片）で、側縁や稜線が平行する傾向にあるもの。先行する石刃剥離痕の他に背面左側に石刃核の側面が残存するものを「左側面付石刃」、背面右側に石刃核の側面が残存するものを「右側面付石刃」、両側に石刃核の側面が残存するものを「両側面付石刃」とする。石刃については幅2cm以下のものを「小形」、幅2cm超3cm以下のものを「中形」、幅3cm超のものを「大形」と記載する。

細石刃：概ね幅1.2cm以下の石刃。ただし、北海道における各種細石刃を網羅する場合には幅1.2cm以下という基準は妥当と考えられるが、本遺跡で出土するのは基本的に幅0.3cm前後の微小な細石刃とその細石刃核であるため、幅1.2cm以下であっても、通常の小形の石刃の破片と判断されるものは含まない。

剥片石核：剥片を剥離された石塊（石核）。

石刃核：石刃を剥離された石核。

細石刃核：細石刃を剥離された痕跡をもつ石核。

搔器：端部に二次加工による刃部をもつ石器。もしくは全周に二次加工による弧状の刃部を持つ石器。一部に削器や錐形石器の刃部との複合を考慮すべき資料があるが、これらは搔器に含めた。

彫器：削片剥離で形成された槌状剥離痕による刃部（彫刀面）をもつ石器。石器の長軸中心線と彫刀面の交叉角が75°超90°以下のものを横刃形、25°超75°以下のものを斜刃形、10°超25°以下のものを急斜刃形、ほぼ平行するものを側刃形の彫器とする。本遺跡ではほとんどが左斜刃形もしくは左急斜刃形である。

彫搔器：彫器と搔器の複合石器。

削器：ある側縁の大半（1/2以上）に及ぶ二次加工によって刃部が形成された石器。

部分加工剥片：剥片の内、連続（ある縁辺の1/2未満の範囲で連続）する剥離痕に長さ2mm以上が頻

繁に含まれるもの。

錐形石器：片側もしくは両側が内反する二側縁による尖端部をもつ石器。または細い錐状の尖端部をもつ石器。

尖頭器：概ね全周に及ぶ二次加工が形成する直線的もしくは外反する両側縁による尖端部をもつ石器。

有茎尖頭器：基部が茎状となる尖頭器。

斧形石器：端部が弧状・直線状の刃部となる比較的大形の石器。基本的には二次加工が顕著で両面加工もしくは片面加工をなし、丈夫で鋭い刃部をもつ。

両面調整石器：両面に調整剥離が施された石器で、上記の石器に含まれないもの。

礫器：礫を素材とし、剥離によって刃部が形成された石器。

石器破片：二次加工を施された石器の破片で、分類が困難なもの。

礫塊石器：礫の形状を生かしてそのまま用いたと考えられる石器。いわゆる敲石、磨石、台石、石皿を含む。

顔料原材：破碎・粉末化して用いられたと想定される顔料の原材。

礫・礫片：道具として用いられたことが不明瞭な礫およびその破片。

(夏木・山田)

引用文献

- イアン、ブーヴィット・出穂雅実・國木田大・夏木大吾・山田 哲・佐藤宏之 2014 「吉井沢遺跡における地考古学的調査研究」、佐藤宏之・山田 哲（編）2014 『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容（Ⅲ）－吉井沢遺跡の研究－』東京大学常呂実習施設研究報告第13集、pp.195-201、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 岩瀬 彬 2016 「晩氷期の北海道における石器使用と地点間変異－吉井沢遺跡の忍路子型細石刃核を伴う石器群を対象とした石器使用痕分析－」、佐藤宏之・山田 哲・出穂雅実（編）『晩氷期の人類社会－北方先史狩猟採集民の適応行動と居住形態』、pp.85-102、六一書房
- 大場利夫・近堂祐弘・久保勝範・宮 宏明 1983 「吉井沢遺跡発掘調査報告」『北見郷土博物館紀要』第13集、pp.1-37
- 大場利夫・近堂祐弘・久保勝範・宮 宏明 1984 「北上台地遺跡発掘調査報告」『北見郷土博物館紀要』第14集、pp.14-83
- 尾田識好 2009 「北見市紅葉山遺跡出土石器群の再整理・再検討」、佐藤宏之（編）『日本列島北部の更新世 / 完新世移行期における居住形態と文化形成に関する研究』東京大学常呂実習施設研究報告第6集、pp.139-221、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 北見郷土研究会（編）1966 『北見市西相内吉井沢遺跡調査概要』
- 佐藤宏之・山田 哲（編）2014 『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容（Ⅲ）－吉井沢遺跡の研究－』東京大学常呂実習施設研究報告第13集、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設

- ジェフリー R. ファーガソン（高鹿哲大訳）2014「吉井沢遺跡出土 572 点の黒曜石製遺物の蛍光 X 線分析」、佐藤宏之・山田 哲（編）2014『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容（Ⅲ）－吉井沢遺跡の研究－』東京大学常呂実習施設研究報告第 13 集、pp.219-238、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 高倉 純 2000「北海道北見市吉井沢遺跡 B 地点出土細石刃石器群の再検討」『北海道旧石器文化研究』5、pp.1-34
- 鶴丸俊明・橋爪 実 1990『北栄－40 遺跡』訓子府町教育委員会
- 夏木大吾 2016「北海道における晩氷期人類の居住生活－吉井沢遺跡の事例から－」、佐藤宏之・山田 哲・出穂雅実（編）『晩氷期の人類社会－北方先史狩猟採集民の適応行動と居住形態』、pp.43-63、六一書房
- 山田 哲 2014「調査結果の概要」、佐藤宏之・山田 哲（編）2014『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容（Ⅲ）－吉井沢遺跡の研究－』東京大学常呂実習施設研究報告第 13 集、pp.283-286、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 山田 哲 2016「晩氷期における石材資源の開発と石器の生産・供給の様相－吉井沢遺跡出土資料からの考察－」、佐藤宏之・山田 哲・出穂雅実（編）『晩氷期の人類社会－北方先史狩猟採集民の適応行動と居住形態』、pp.65-83、六一書房
- 橋爪 実 1985『日出－11 遺跡』訓子府町教育委員会
- 藤本 強 1964「北海道常呂郡留辺蘂町紅葉山遺跡発掘調査報告」『考古学雑誌』50（2）、pp.1-20
- 町田 洋・新井房夫 2003『新編 火山灰アトラス－日本列島とその周辺』東京大学出版会
- 宮 宏明（編）1988『北上台地遺跡Ⅱ』北見市
- 吉井沢遺跡発掘調査団 2009「北見市吉井沢遺跡の発掘調査（第 2・3 次発掘調査中間報告）」佐藤宏之（編）『日本列島北部の更新世 / 完新世移行期における居住形態と文化形成に関する研究』東京大学常呂実習施設研究報告第 6 集、pp.75-138、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 和田恵治・長部伸城・山田 哲・尾田識好 2014「吉井沢遺跡から出土した黒曜石石器の原産地推定：EPMA による黒曜石ガラスの化学組成」、佐藤宏之・山田 哲（編）2014『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容（Ⅲ）－吉井沢遺跡の研究－』東京大学常呂実習施設研究報告第 13 集、pp.239-243、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設

第二章 遺構と遺物

第一節 概要

吉井沢遺跡の2015～2018年度調査で採取された遺物の総数は13,327点で、全てが石器類である。位置を計測・記録された遺物は13,251点で、ブロック2Bに帰属する(図10)。吉井沢遺跡における2007～2018年度調査で得られた調査区全体の遺物総数は35,592点(表2)で、ブロック2Bでは計14,491点(表1)となる。ブロック2Bの遺物数は、ブロック1(表3)、ブロック2A(表4)、ブロック3(表5)よりも多く、全体の約4割を占めている。

ブロック2区では、6-11区、6-12a・b・d区、7-11・12区、7-13a・b・d区、8-11・12・13区をブロック2B、それよりも北側の範囲を2Aとして便宜的に区分し(図10)、整理している。ブロック2区の南西壁際においても遺物は高密度に分布しており、ブロック2Bはさらに西側に広がると推測される。

ブロック2Bからは細長い半月・楕円形両面調整を素材とする忍路子型細石刃核、それに関連する細石刃核削片、細石刃が得られている。その他の出土遺物の技術・形態的特徴も忍路型細石刃核を伴う石器群の範疇にあると理解され、これまでの調査で明らかにされた石器集中部とほぼ同時期に形成されたと捉えることができる。

これまでのところ、石器群に関連する明瞭な遺構は確認されていない。炭化物集中や焼土ブロックはブロック2Bの石器集中部と近接あるいは重複して発見されている。これら、炭化物集中および焼土ブロック内から¹⁴C年代測定のための試料を採取し、今回10試料の測定値を報告している(第三章第一節國木田)。

資料整理では、細石刃、削片、細片等を除く比較的大形の遺物をブロック毎・石材毎に大まかな石質に分類し、それに基づいて接合作業を行っている。ブロック2Bでは剥離面接合21個体、折面接合41個体が得られた。その内、14個体の剥離面接合、4個体の折面接合がブロック2Aとの間で生じている。時間の制約もあり、ブロック2Bとブロック1・3との接合作業は試みていない。また、2007～2013年度出土資料のブロック内・ブロック間接合作業をこれまでに実施し、全体で96個体の剥離面接合資料、179個体の折面接合資料が把握されている。2A・2B間を除く石器集中部間接合は、ブロック1とブロック3の間で剥離面接合1組と折面接合資料1個体がある。また、接合はしていないが、同一個体と特定可能な搔器と搔器刃部調整剥片がブロック1とブロック3の間で確認されている。ブロック2B以外の新たな接合資料について、主要な資料を本書に追加報告として掲載している。

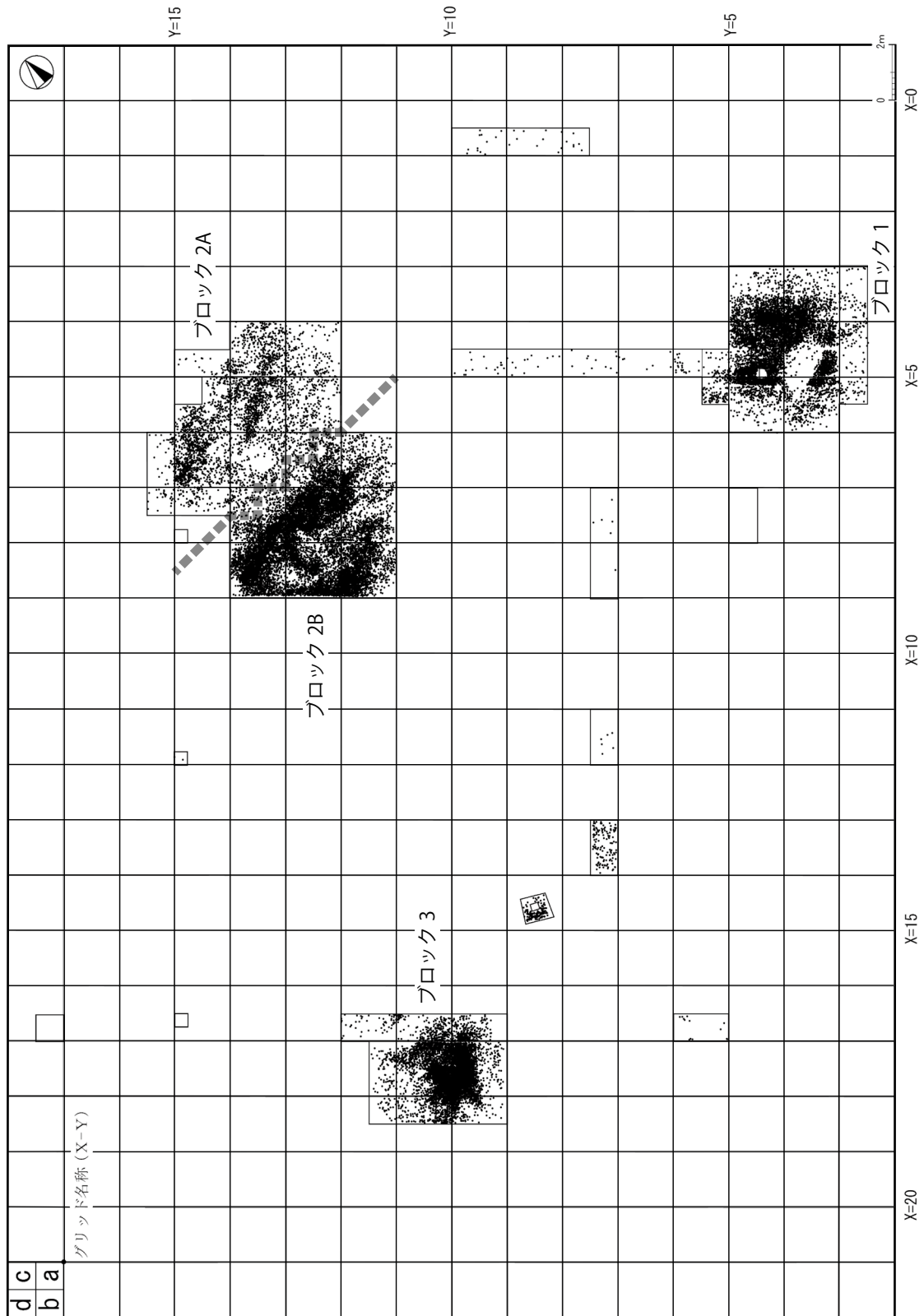


図 10 2007～2018 年度調査の出土遺物分布

表1 ブロック2Bの遺物組成

	黒曜石	頁岩	凝灰岩	その他	合計
搔器	69(1)				69(1)
彫器	15	7			22
削器	30	2		3	35
彫搔器		1			1
錐形石器	15	12			27
斧形石器			2	1	3
尖頭器	1				1
両面調整石器	9				9
石器破片	41(1)	2			43(1)
細石刃	80				80
石刃	177(3)	35			212(3)
細石刃核	4				4
剥片石核	1				1
細石刃核削片	25				25
彫器削片	97(2)	72(1)			169(3)
剥片	826(20)	109(2)	48(1)	1(1)	984(24)
細片	12,295(64)	438(2)	29(1)	1	12,763(67)
顔料原材				33	33
礫塊石器				2	2
礫・礫片				8	8
合計	13,685(91)	678(5)	79(2)	49(1)	14,491(99)

※括弧内は点取り遺物以外

表2 2006～2018年度調査の遺物組成

	黒曜石	頁岩	凝灰岩	その他	合計
搔器	281(15)	1			282(15)
彫器	56(3)	18(1)			74(4)
削器	71(2)	3		3	77(2)
彫搔器	2	1			3
錐形石器	23	17			40
斧形石器			3	1	4
礫器				1	1
有茎尖頭器	1				1
尖頭器	1				1
両面調整石器	22(2)	1			23(2)
石器破片	113(13)	3			116(13)
細石刃	287(9)	1			288(9)
石刃	422(19)	76(2)			498(21)
細石刃核	12				12
石刃核		2			2
剥片石核	2	1			3
細石刃核削片	56(1)				56(1)
彫器削片	270(7)	153(2)			423(9)
剥片	1,930(128)	361(12)	65(3)	30(8)	2,386(151)
細片	30,396(865)	750(8)	30(1)	8	31,184(874)
顔料原材				60	60
礫塊石器				8	8
礫・礫片			1	49(23)	50(23)
合計	33,945(1,064)	1,388(25)	99(4)	160(31)	35,592(1,124)

※括弧内は点取り遺物以外

表3 ブロック1の遺物組成

	黒曜石	頁岩	凝灰岩	その他	合計
搔器	129(8)	1			130(8)
彫器	6	6(1)			12(1)
削器	32(2)				32(2)
錐形石器	1	1			2
礫器				1	1
両面調整石器	6(1)				6(1)
石器破片	37(6)	1			38(6)
細石刃	54(1)				54(1)
石刃	109(5)	4			113(5)
剥片石核	1				1
細石刃核削片	2				2
彫器削片	29(1)	11			40(1)
剥片	311(26)	13(2)	1(1)	20(3)	345(32)
細片	7,974(332)	36		7	8,017(332)
顔料原材				1	1
礫塊石器				2	2
礫・礫片			1	5	6
合計	8,691(382)	73(3)	2(1)	36(3)	8,802(389)

※括弧内は点取り遺物以外

表4 ブロック2Aの遺物組成

	黒曜石	頁岩	凝灰岩	その他	合計
搔器	31(1)				31(1)
彫器	7				7
削器	4				4
錐形石器	3				3
斧形石器			1		1
有茎尖頭器	1				1
両面調整石器	2				2
石器破片	6				6
細石刃	12(1)				12(1)
石刃	59(2)	25			84(2)
細石刃核	1				1
石刃核		1			1
剥片石核		1			1
細石刃核削片	1				1
彫器削片	18	8			26
剥片	587(31)	187(3)	3		777(34)
細片	2,767(65)	145(1)	1		2,913(66)
礫塊石器				1	1
礫・礫片				1	1
合計	3,499(100)	367(4)	5	2	3,873(104)

※括弧内は点取り遺物以外

表5 ブロック3の遺物組成

	黒曜石	頁岩	凝灰岩	その他	合計
搔器	49(2)				49(2)
彫器	25(1)	5			30(1)
削器	4	1			5
彫搔器	2				2
錐形石器	4	3			7
両面調整石器	5(1)	1			6(1)
石器破片	28(5)				28(5)
細石刃	139(6)	1			140(6)
石刃	62(5)	10(2)			72(7)
細石刃核	7				7
石刃核		1			1
細石刃核削片	27				27
彫器削片	123(4)	59			182(4)
剥片	134(14)	38(1)	13(1)	5(3)	190(19)
細片	6,867(217)	123(2)			6,990(219)
顔料原材				26	26
礫塊石器				2	2
礫・礫片				10(1)	10(1)
合計	7,476(255)	242(5)	13(1)	43(4)	7,774(265)

※括弧内は点取り遺物以外

第二節 ブロック2Bの出土遺物

ブロック2Bの出土遺物は14,491点で、その大部分である94.4%（13,685点）を黒曜石製が占める。次いで頁岩が4.7%（678点）、凝灰岩が0.5%、その他（安山岩や顔料原材の素材等）が0.3%（49点）となる。長さ・幅が2cm未満である細片は12,763点で、全体の88.1%を占め、細かな剥離作業が顕著である。長さ・幅が2cm以上の剥片は984点で6.8%を占め、ツール類を含むその他の石器は744点で5.1%である。細石刃核4点、細石刃80点、細石刃核削片25点、そして彫器22点と彫器削片169点など細石刃の製作や彫器のリダクションに関連する遺物が目立つ。また、それ以外の主要器種には搔器69点、削器35点、石刃212点があり、特に錐形石器は27点出土し、2007～2018年度調査全体で得られた錐形石器の67.5%を占めるほど多い。ブロック2Bでは斧形石器が3点出土しているが、その他の石器集中部ではブロック2Aの1例に限られる。33点の顔料原材が発見されており、石器集中部の中では最も多い出土数である。これまでの吉井沢遺跡の調査では発見の少なかった器種も多く、多様な石器器種を含むなど、ヴァラエティーに富む石器組成を示している。

細石刃（図11：1～54）

80点の細石刃が出土しており、全て黒曜石製である。幅は0.2～0.6cmまであり、平均値は0.3cmである。完形あるいは完形に近い16点の細石刃（1～12・14・18・19）の長さ・幅・厚さの平均値は1.48cm・



図 11 ブロック 2B 出土遺物（細石刃・細石刃核）

0.35cm・0.11cmであり、これまでに報告された他の石器集中部の例と同様といえる。打点側を欠くものは16点、打点側と末端側を欠く中間部が24点、末端側を欠くものが24点ある。側面付は26点あり、左側面付14点と右側面付12点が含まれる。完形品では腹面側に湾曲する例が目立つ。13・15～17・20～28は基本的に点状の打面を持ち末端部を欠くもの、29～43は打点側と末端部を欠く中間部である。44～54は打点側を欠くものである。23は左側縁腹面側に部分加工様の剥離と連続的微小剥離痕がみられる。36は左側縁に上方からの槌状剥離がある。48は右側縁に下方からの槌状剥離がある。本石器集中部では側縁の微小剥離や槌状剥離を有する細石刃があるが、他の石器集中部では確認されていない。また、中間部片の比率が30%と他の石器集中部（20%以下）よりも高い。

細石刃核（図11：55～58）

4点の黒曜石製の細石刃核が出土した（55～58）。いずれも両面調整石器を素材とし、素材長軸側に打面、短軸側に細石刃剥離作業面を有する。細石刃剥離作業面の長さは1.5～2cm前後で、剥離された細石刃の幅は0.2～0.4cmである。細石刃剥離作業面側の打点近くに施される頭部調整は、全ての細石刃核に観察される。56は細長い半月形、58は長楕円形の両面調整石器を素材とし、長軸方向に、末端にまで抜けることがない短い削片剥離を施すことで打面が形成されることから、忍路子型細石刃核2類（寺崎1999；山田2006）の典型的な技術形態の特徴を有する。55と57は細石刃剥離が進行し、小形化したものと考えられる。

55は細石刃剥離作業面長1.6cm、作業面幅0.8である。細石刃剥離痕は4枚で、その最大幅は0.4cmである。打面には2枚の削片剥離痕があり、打面調整として打面側からの短い剥離が施される。打面と作業面の成す角度は75°前後であり、左側面には岩屑・角礫面が観察される。56は作業面長1.9cm、幅0.7cmである。3枚の細石刃剥離痕がみえ、その最大幅は0.4cmである。打面には基部側まで抜けていない2枚の削片剥離痕が観察される。打面と作業面の角度は105°前後と大きく、最後に施された打面縁調整によって鈍くなっている。57の作業面長は1.5cmで、作業面幅は0.8cmである。打面と作業面の角度は概ね75°である。3枚の削片剥離痕があり、その内1枚はウートラパッセ状に基部側に抜ける。作業面には5枚の細石刃剥離面が観察され、その最大幅は0.3cmである。58は作業面長1.7cm、幅0.7cmである。作業面には6枚の細石刃剥離痕があり、その最大幅は0.2cmである。打面には1枚の削片剥離痕があり、この削片剥離によって作業面と打面の角度は概ね90°になっている。

細石刃核削片（図12：59～70）

黒曜石製の細石刃核削片は25点出土し、一次削片（59・60）5点と、二次削片（61～70）20点からなる。幅の平均は、一次削片で0.3cm、二次削片で0.5cmである。完形品の長さは1.1～2.1cmである。

一次削片（59・60）は両面調整された稜線を持つ。二次削片（61～70）は基本的に調整剥離痕の残る両側面や片面側をもつ。61・62・67は右側縁から左へと抜ける側方調整痕があり、打面には細石刃剥離作業面が残る。67は被熱し、表面の光沢が失われている。63は厚みのある（0.5cm）二次削片で、末

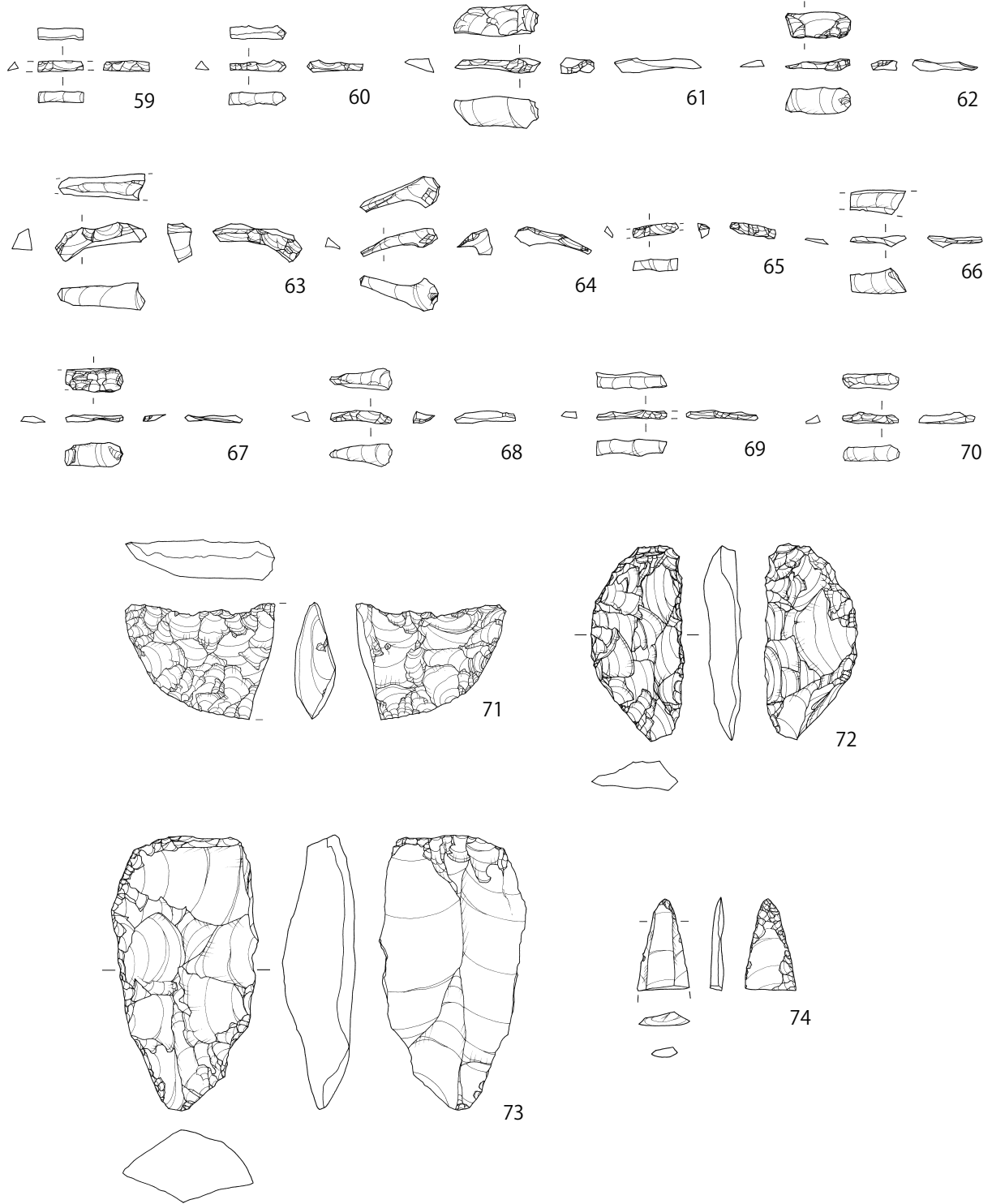


図 12 ブロック 2B 出土遺物（細石刃核削片・両面調整石器・尖頭器）

端部付近で湾曲する。63 はブロック 2A 出土の細石刃核と接合する（図 50：接合資料 a）。64～66 は背面に一枚の削片剥離痕がみられる。その内、64 と 68 は細石刃剥離作業面と推定される剥離痕が打面に観察される。

両面調整石器（図 12：71～73）

黒曜石製の両面調整石器（71～73）が 9 点出土している。破片や折損品が多いが完形が 2 点（72・73）含まれる。71 と 72 は外反する側縁と内反もしくは直線状の側縁からなる非対称な形態で、細石刃核素材の可能性が高い。71 は薄い調整剥離によって整形された断面凸レンズ状の両面調整石器である。72 は断面半円状で、表面が膨らみ、階段状のやや粗い剥離が目立つ。長さが 4.6cm であり、細石刃核素材としては小形の部類に含まれる。73 は断面半円状で、調整剥離は表面のみに顕著である。石核を転用したと考えられ、表面上端にはかつての打面縁辺が残り、裏面には石刃剥離作業面の可能性がある剥離痕が残されている。

尖頭器（図 12：74）

黒曜石製の尖頭器が 1 点ある。74 は石刃素材で、腹面側に薄く細かい剥離を施し、尖頭状に整形される。彫器基部の可能性も排除できないが、それにしても薄い（厚さ 0.3cm）ため、尖頭器として分類している。被熱により、光沢が消失している。

搔器（図 13～16：75～107）

69 点（66 個体）の搔器が出土している。全て黒曜石製である。その内 2 個体はブロック 2A との間での折面接合資料である。その大部分（59 点・56 個体）が石刃もしくは石刃様の縦長剥片の端部に刃部を形成している。石核側面付の石刃を素材とするものは 22 点（21 個体）ある。剥片素材は 1 点のみ確認され、それ以外は素材不明である。素材末端部側に刃部があるもの（75～80・83～100・102～106）は 58 点（56 個体）、打点側に刃部を有するもの（101）は 7 点、両端刃部となるもの（81・82・107）は 4 点（3 個体）ある。側縁の 1/2 以上の範囲に加工が施される例は 9 点（8 個体）あり、それ以外のほとんどの搔器では側縁に部分加工や断続的小剥離痕、断続的・連続的微小剥離痕が観察される。搔器刃部の調整剥離と素材面の境界付近の打撃痕（リング・クラック）を有するもの 10 点、潰れのみがあるもの 3 点、小さな剥離痕のあるもの 1 点があり、両極打撃による刃部調整で生じたと考えられる。

幅 2cm 未満の小形の石刃を素材とする搔器（75～79）は 14 点（12 個体）である。75 は素材の細調整打面が残存し、左側縁に連続的微小剥離痕、右側縁に断続的小剥離痕がある。二次加工と素材背面のなす稜線付近のリング・クラックと潰れが観察される。76 は右側面付の石刃を素材とし、両側縁に断続的微小剥離痕がある。77 は左側縁に部分加工、右側縁に断続的微小剥離がある。78 は左側縁に断続的微小剥離痕があり、背面刃部付近にリング・クラックが観察される。79 は右側面付の石刃を素材とした両刃の搔器で、打点側の刃部は右側縁方向に傾き、素材折れ面が残存している。両側縁に断続的微小剥離痕がある。

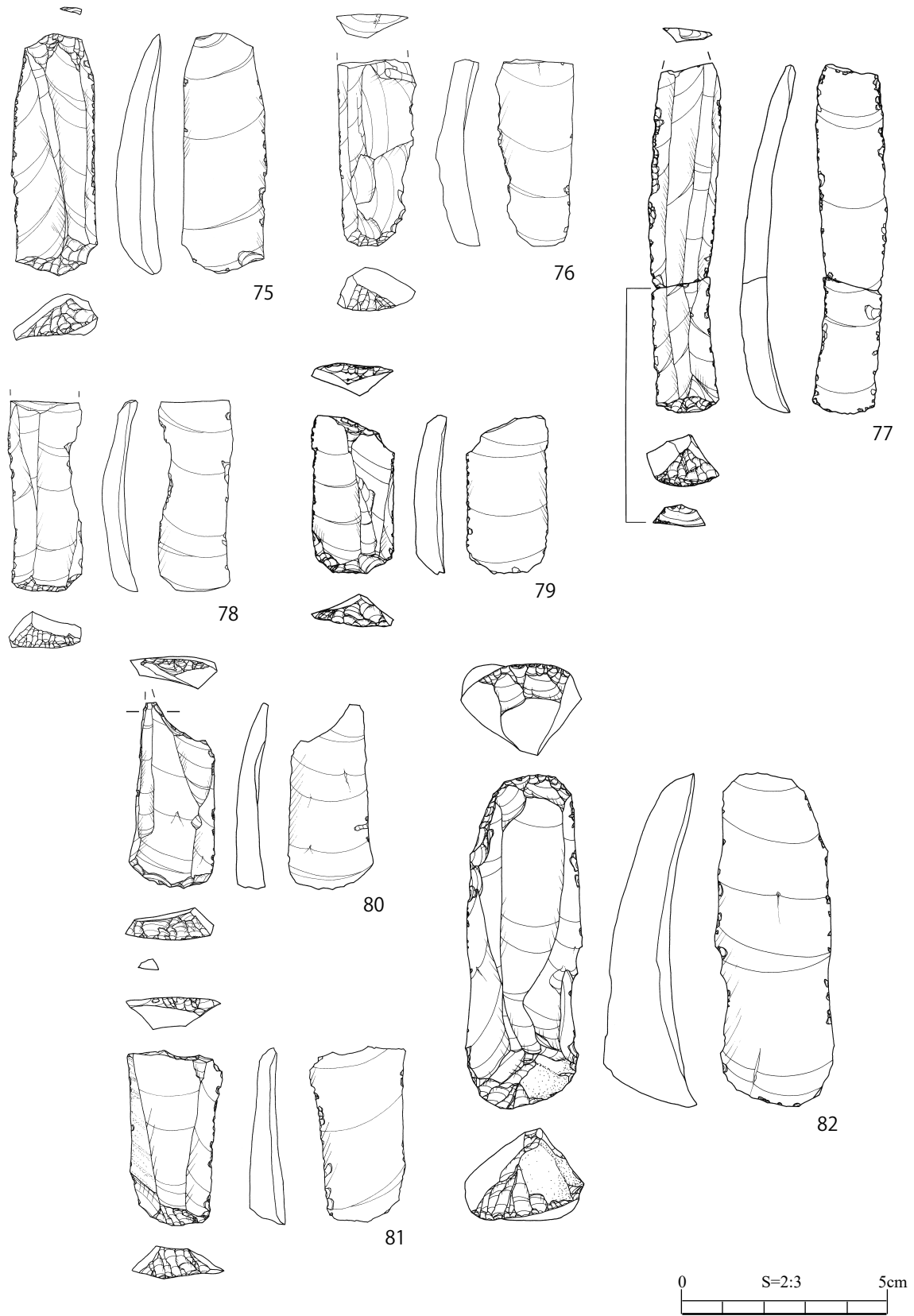


図 13 ブロック 2B 出土遺物 (搔器)

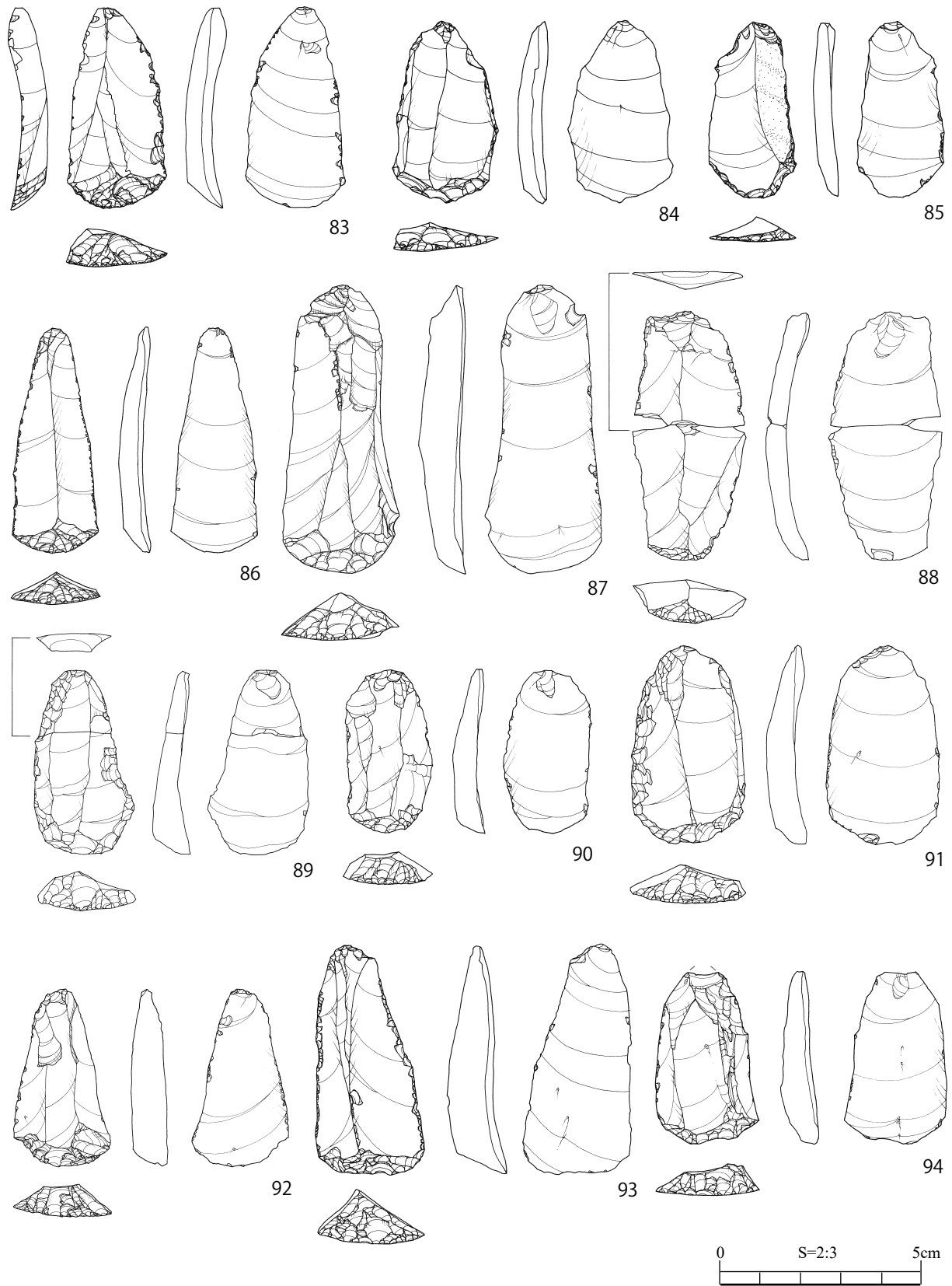


図14 ブロック2B出土遺物（搔器）

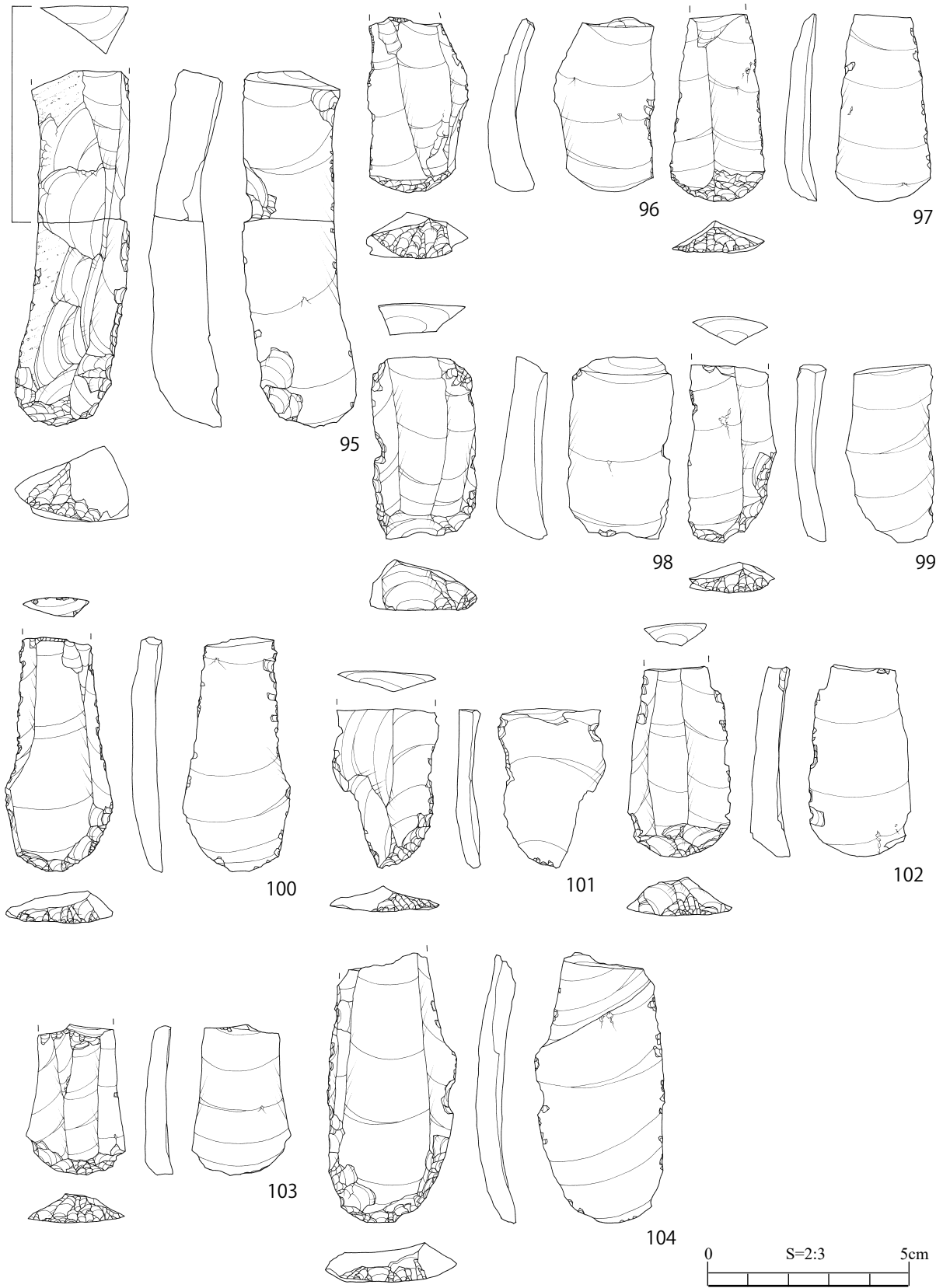


図 15 ブロック 2B 出土遺物 (搔器)

小剥離痕があり、二次加工と素材背面のなす稜線上に潰れが観察される。

幅 2cm 以上 3cm 未満の中形石刃を素材とする搔器（80～103）は 38 点（37 個体）である。83 は両側縁に連続的微小剥離痕があり、素材の点状打面が残る。84 は左側面付の石刃を素材とし、両側縁には断続的微小剥離痕がある。85 は右側縁に連続的微小剥離痕があり、背面に岩屑・角礫面が観察され、素材の細調整打面が残る。86 はブロック 2A との剥離面接合資料（接合資料 g）に含まれるもので、両側縁に断続的微小剥離痕があり、線状の打面が残る。87 は右側面付の石刃を素材とし、素材打面の複剥離がみられる。88 は 0.5cm の薄く湾曲した石刃を素材とし、両側縁に連続する微小剥離痕がある。折面接合資料であり、末端刃部側はブロック 2B、基部側はブロック 2 の範囲から出土している。89 は左側縁の打点側を中心に二次加工が施され、右側縁にも部分加工があり、素材単剥離打面が残る。被熱によるヒビが観察される。基部側はブロック 2B、末端刃部側はブロック 2A から出土している。90 は右側面付の石刃を素材として、両側縁に断続的微小剥離痕がある。91 は左側縁に顕著な二次加工、右側縁には断続的微小剥離痕があり、素材の複剥打面が残る。被熱し、ウロコ状のヒビが認められる。92 は右側面付の石刃素材で、素材複剥離打面が残り、左側縁に断続的微小剥離痕がある。93 は右側縁に部分加工、左側縁に連続的微小剥離痕があり、背面刃部付近にリング・クラックが観察される。94 は右側面付の石刃を素材とし、左側縁には連続的微小剥離痕、右側縁には断続的微小剥離痕がある。95 は左側面付石刃が素材で、岩屑・角礫面が残る。右側縁下半部には加工が連続し、左側縁には断続的微小剥離痕がある。96 は右側面付の石刃素材で、左側縁には連続的微小剥離痕、右側縁には断続的微小剥離痕がある。97 は両側縁に連続する微小剥離痕がある。98 は両側縁に部分加工のある搔器で、刃部は 1 枚の比較的大きな刃部調整剥離によって凹む。99 は刃部が右側縁に傾き、両側縁に断続的微小剥離痕があり、背面刃部付近にリング・クラックが観察される。100 は左側縁に断続的微小剥離痕、右側縁に断続的微小剥離痕がある。101 は右側面付の石刃を素材とし、素材打点側に右上がりの刃部を作出している。102 は両側縁に断続的微小剥離痕があり、搔器刃部の調整剥離の末端の稜付近に打撃によって生じたと考えられる小剥離痕が観察される。103 は両側縁に断続的微小剥離痕があり、打点側折面から背面側に向かって連続する小剥離痕が観察される。

幅 3cm を超える大形石刃を素材とする搔器（104・105・107）は 8 点である。104 は左側縁に部分加工、右側縁に連続的微小剥離痕があり、背面刃部付近にリング・クラックが観察される。105 は両側縁に顕著な加工があり、腹面側縁辺には薄い小剥離痕が断続的にみられる。背面搔器刃部付近にリング・クラックが観察される。107 は左側面付の薄い（厚さ 0.6cm）大形石刃を素材として、両端に刃部のある搔器で、左側縁に断続的微小剥離痕、右側縁に連続的微小剥離痕がある。

剥片を素材とする搔器（106）は 1 点ある。106 の背面左側には素材が剥離された石核のポジ面が残り、潰し調整のある複剥離打面が観察される。厚さ 0.5cm の両面調整から剥離されたと考えられる剥片を素材とする。両側縁には連続的な二次加工が施されている。

彫器 (図 16~18: 108~123)

22 点 (20 個体) の彫器が出土しており、黒曜石製 (114・116~123) が 15 点 (13 個体)、頁岩製 (108~113・115) が 7 点である。基本的に石刃もしくは石刃様の縦長剥片を素材とするが、剥片素材も 2 点ある。素材末端側に彫刀面を形成するもの (109・110・113・117・119~121) は 9 点 (8 個体)、素材打点側に彫刀面を形成するもの (108・112・115・118・122・123) は 10 点 (9 個体)、両端に彫刀面を形成するもの (111・114・116) は 3 点である。

頁岩製の左斜刃形彫器 (108・109・111~113・115) は 6 点で、側刃形 (110) が 1 点で、全て彫刀面が腹面側に傾く。108 は右側縁と基部腹面側への加工が顕著である。109 は左側面付の素材で、右側縁に連続する加工がある。彫刀面からの背面先端部調整は、削片剥離によって切られる。基部加工は右側面背面側の軽微なものであり、細調整打面が観察される。110 は節理面の残る左側面付の大形石刃を素材とし、基部背面側に軽微な加工を施した側刃形の彫器である。111 は節理面の残る左側面付の中形石刃を素材とし、左側縁に微細な加工を施した両刃の彫器である。素材末端側の彫刀面には少なくとも 3 枚の削片剥離痕跡が確認され、彫刀面からの背面先端部調整があり、腹面側に傾く斜刃となる。打点側の彫刀面は単剥離であり、刃部傾斜角 90° の急斜刃となる。112 は左側縁に顕著な加工があり、彫刀面には一枚の幅広の剥離がある。背面先端部調整は削片剥離に切られている。基部腹面側に素材末端方向からの軽微な加工がある。113 は基部側半分を中心に顕著な加工が施され、彫刀面には少なくとも 4 枚の削片剥離痕がある。背面先端部調整は削片剥離によって切られる。115 は右側縁上半部に顕著な加工が施され、左側縁には連続的微小剥離痕があり、基部付近は無加工である。背面先端部調整は削片剥離に切られる。

左側に彫刀面のある黒曜石製の彫器には、斜刃形 (116・117) が 2 点、急斜刃形 (118・119) が 4 点 (3 個体)、横刃形が 1 点含まれる。右側に彫刀面のある黒曜石製彫器は、急斜刃形が 1 点、側刃形 (120) が 2 点ある。両側縁に彫刀面のあるもの (121・123) は 2 点で、両方とも側刃形である。黒曜石の左斜刃・急斜刃形彫器の刃部は背面側に傾くもの (117~119) が 6 点と多いが、腹面側に傾く例 (116) もある。114 は両側縁に顕著な加工のある彫器である。両端が欠損するが、左側縁に上下両方向からの削片剥離の痕跡があり、両端に彫刀面があったと考えられる。116 は石刃を素材とし両端に彫刀面が作出され、素材末端側 (上側) は刃部が腹面側に傾く斜刃形、素材打点側 (下側) では側刃形を呈する。上側の刃部は少なくとも 5 枚の削片剥離痕があり、より古い削片剥離面は背面側に傾いており、初めは急斜刃形であった可能性が高い。117 は基部側を欠損し、右側縁に背面先端付近の顕著な加工、その下に微細加工がある。彫刀面には削片剥離痕が 3 枚あり、いずれも背面側に傾く。118 は両側縁と基部の背面側に顕著な加工がある。彫刀面には 1 枚の削片剥離痕があり、その縁辺に断続的微小剥離痕が観察される。腹面側には彫刀面に直交する線状痕が観察される。119 は細長い小形石刃を素材とし、両側縁に微細な加工が施され、基部が欠損する。石刃末端に細かい剥離による平坦な彫刀面剥離の打面が作出され、一枚の削片剥離が認められる。120 は分厚い (厚さ 1.5cm) 幅広の剥片を素材に、末端の平坦面に調整剥離を施し打面として、2 枚の削片が剥離されている。打面と彫刀面のなす角が潰れている。121

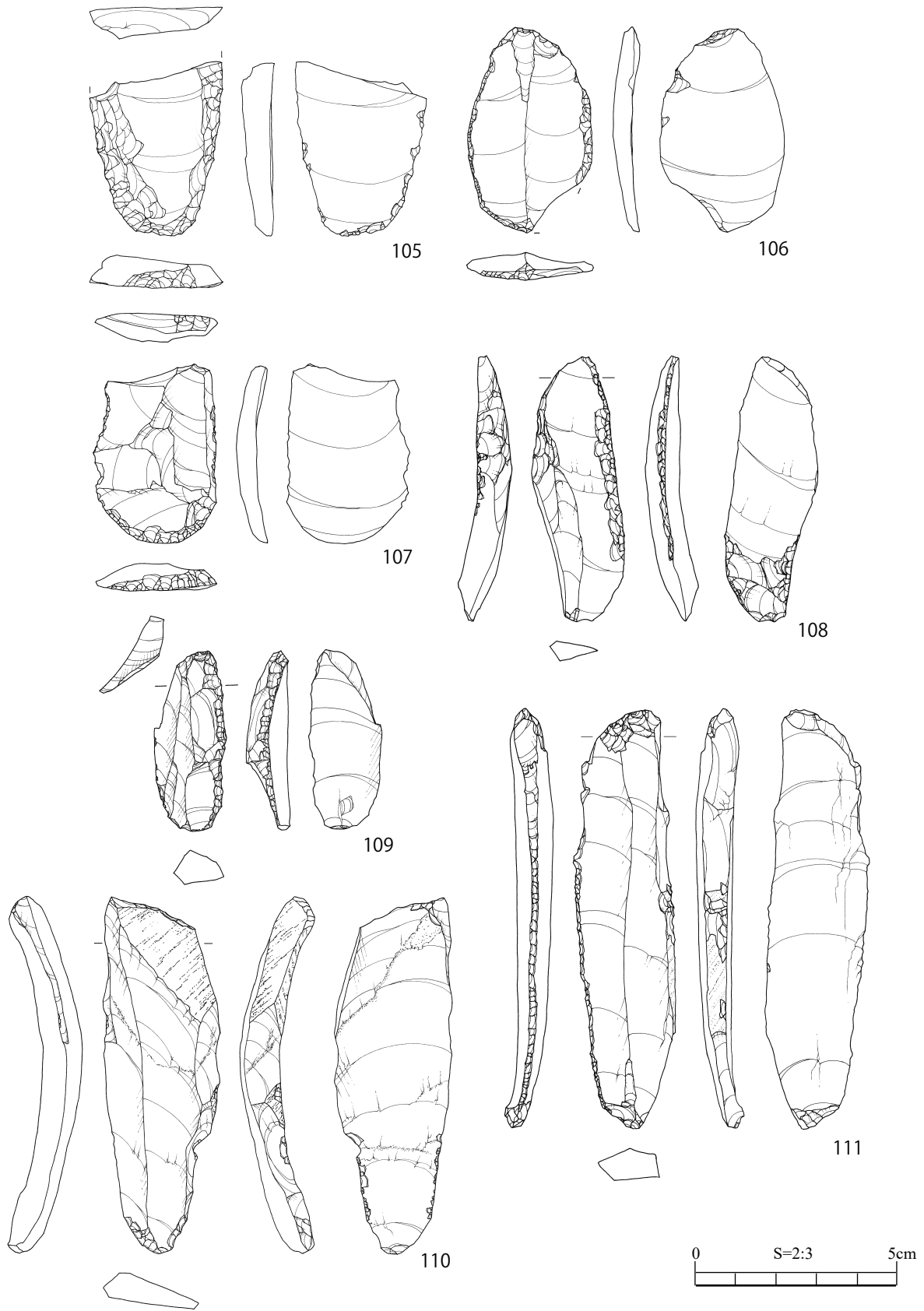


図16 ブロック2B出土遺物（搔器・彫器）

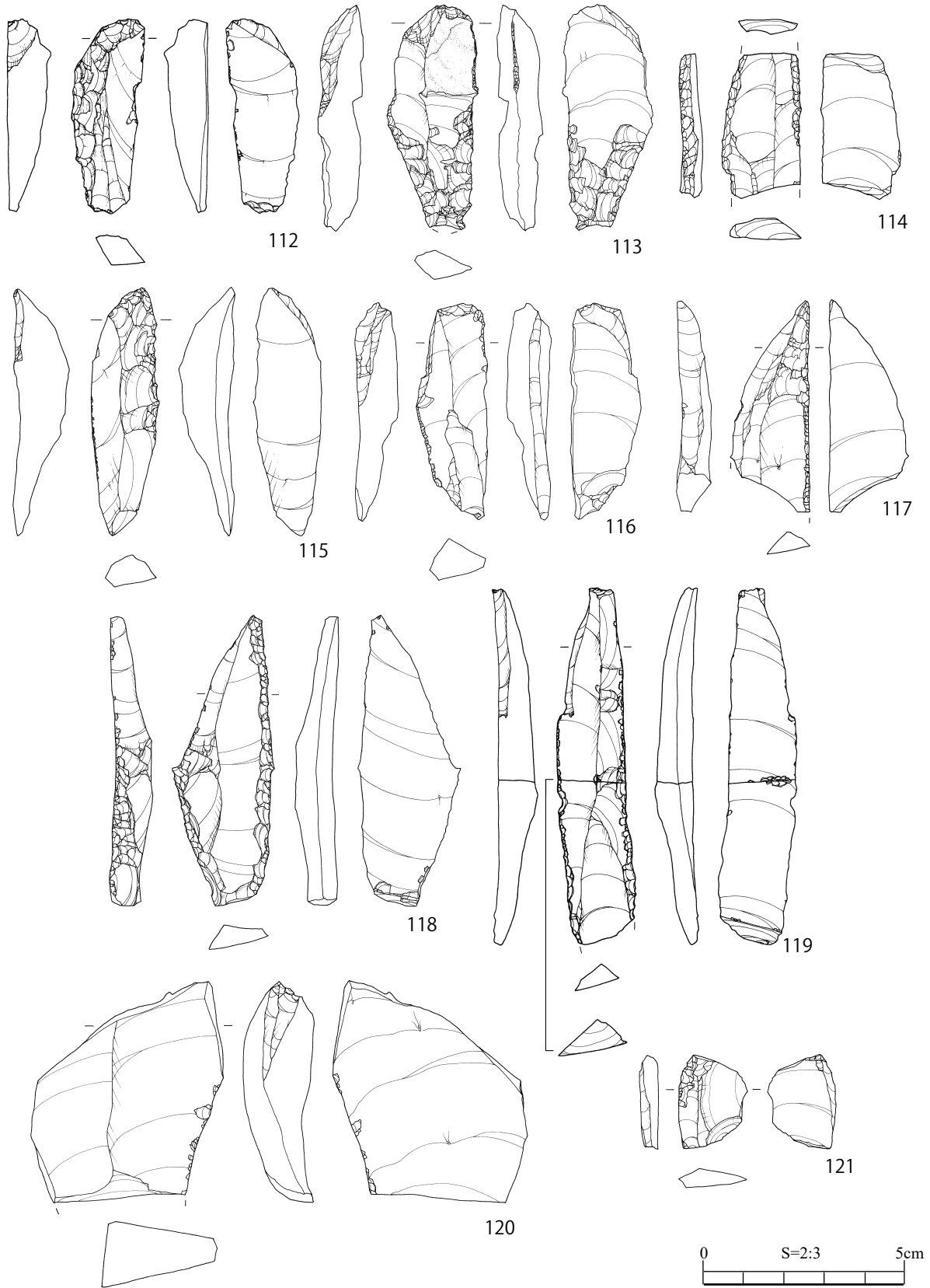


図 17 ブロック 2B 出土遺物 (彫器)

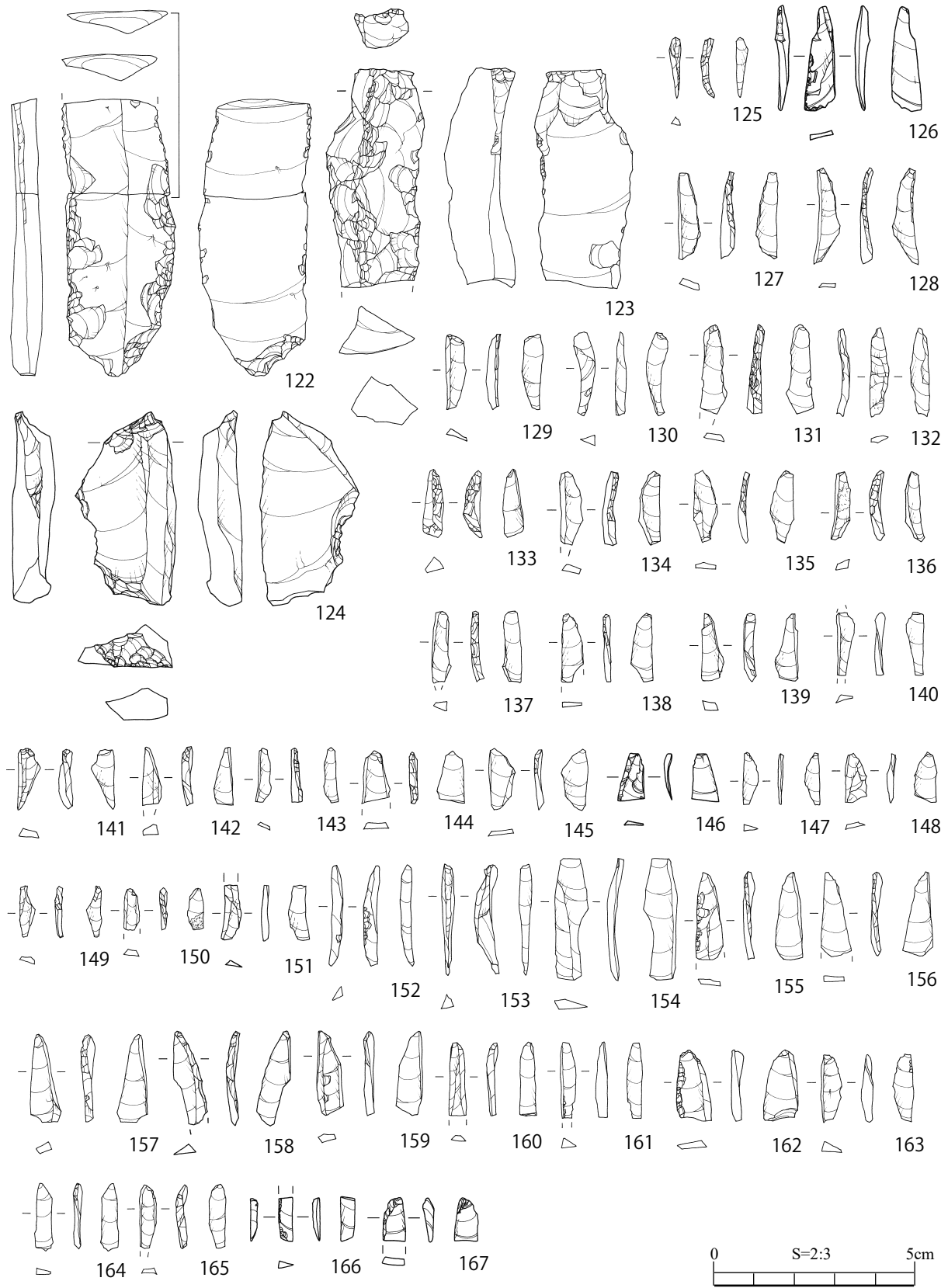


図 18 ブロック 2B 出土遺物（彫器・彫搔器・彫器削片）

は長さ 2.4cm の小形の彫器で、折面を打面として両端から削片剥離が施される。彫刀面を打面とした、背面側への加工が認められる。122 は先端の欠損により彫刀面の末端部しか確認できないが、彫刀面が背面に傾き、急斜刃あるいは側刃形の彫器と推定される。基部側を中心に側縁の顕著な二次加工があり、彫刀面から腹面に向かって連続的な微小剥離痕が観察される。123 は稜付石刃を素材として用い、右側縁に部分加工を施し、打点側の折面打面から両側縁と腹面側に剥離が加えられている。

彫搔器 (図 18 : 124)

頁岩製の彫搔器が 1 点出土している。分厚い (1cm) 石刃あるいは縦長剥片を素材とし、打点側に斜刃形の彫刀面、末端側に急角度の搔器刃部、右側縁に抉入加工が施されている。彫刀面には一枚の剥離痕があり、背面先端部調整の剥離を切る。搔器刃部は左側縁側に傾き、刃縁は凹凸があり加工が粗い。

彫器削片 (図 18 : 125~167)

169 点の彫器削片が発見されている。その内、黒曜石 (152~167) は 97 点、頁岩 (125~151) は 72 点である。

頁岩製のものは一次削片 (125) 6 点、二次削片 (126~129・131~151) 66 点からなる。125 は二次加工の連続する縁辺を取り込んだ一次削片で、素材腹面側に傾く剥離によるものである。126~132・134~151 は腹面側に傾くあるいは傾斜角が 90° に近い彫刀面を作出した際に生じたもので、全て左斜刃形彫器の削片であろう。130 は背面に傾く彫刀面を取り込んで、腹側に傾く彫刀面を形成した際に生じたものである。133 は腹面側に傾く彫刀面を取り込むが、背面側に傾く彫刀面を形成したものである。128・131・133・142・143 は打点の残る彫器背面先端部調整、127・129・134~138・144・145・149・150 は打点の残らない彫器背面先端部調整が確認される。136 の背面には褐色付着物がある。

黒曜石製のものは一次削片 26 点、二次削片 (152~167) 71 点からなる。152~167 は左斜刃・急斜刃を形成したもののだが、152・153・163・165~167 は腹面側に傾く彫刀面を形成したもので、それ以外は背面側に傾く刃部を形成したものである。黒曜石製の彫器では彫刀面が背面側に傾く例が主であるが、削片剥離過程では腹面側に傾く彫刀面が形成されることも少なくなかったようである。152・155・162・166 では彫刀面縁辺に連続する微小剥離痕あるいは断続的小剥離痕が観察される。155・156・164 は打点の残らない背面先端部調整が認められる。157・158 は右側縁側からの二次加工の剥離が認められる。

削器 (図 19・20 : 168~181)

35 点 (32 個体) の削器があり、石材別では黒曜石のもの (168~178) が 30 点 (29 個体)、頁岩のもの (179・180) が 2 点、砂岩のもの (181) が 3 点 (1 個体) である。完形品が少なく、素材形状の不明なものもあるが、石刃素材のもの (170~172・174・177~179) 20 点、剥片素材のもの (168・169・173・175・176・180・181) が 15 点 (12 個体) 含まれる。

170~172・174・177・178 は黒曜石の石刃素材の削器である。172・178 は幅 3cm を超える大形石刃が素材であり、それ以外は幅 2cm 以上 3cm 未満の中形石刃素材と考えられる。170・171 は両側縁背面

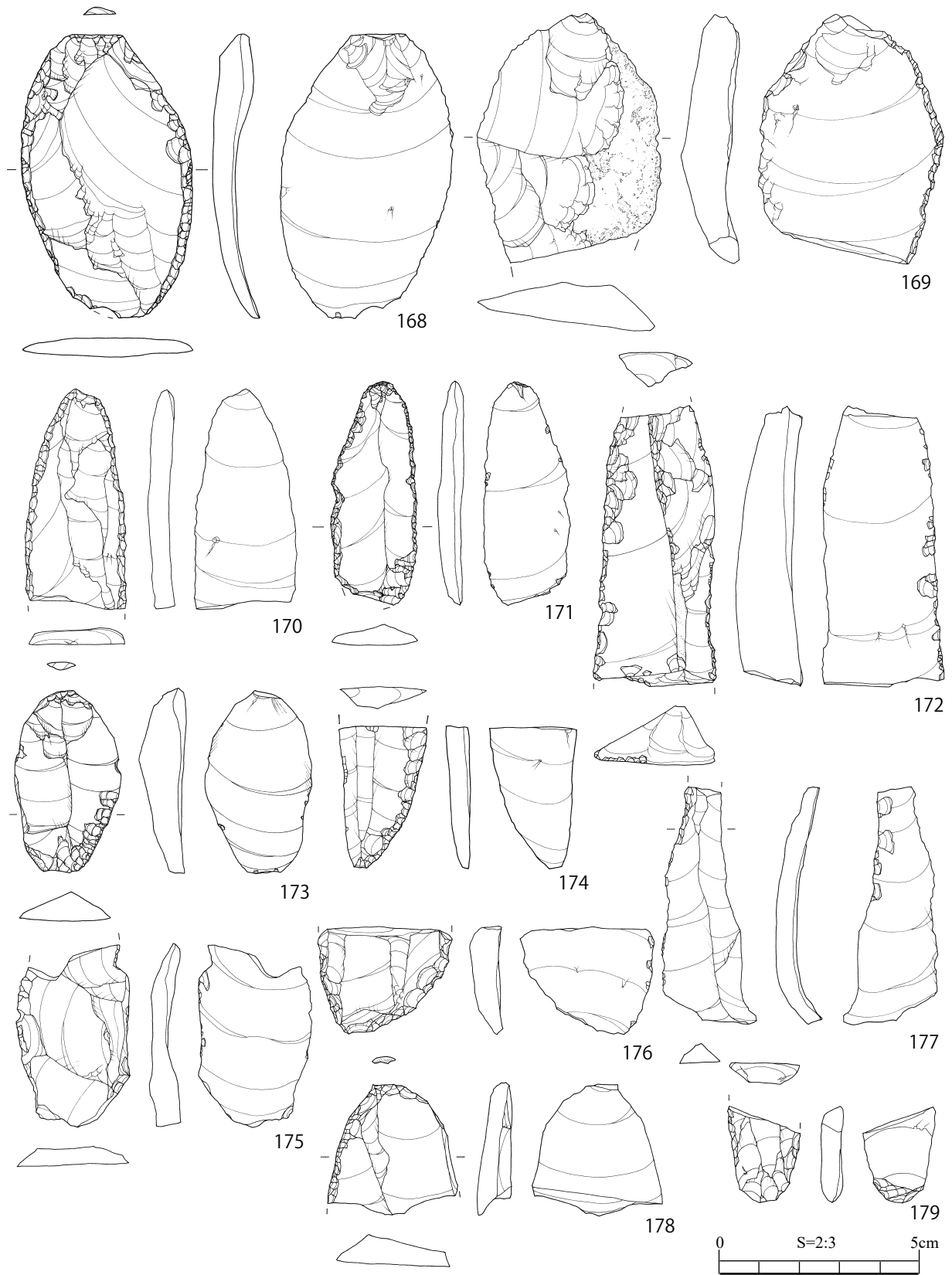


図19 ブロック 2B 出土遺物 (削器)

側に短い二次加工剥離が連続する。172 は稜付石刃素材であり、左側縁側に顕著な二次加工、右側縁は断続的小剥離痕があり、背面に岩屑・角礫の自然面がみられる。174 は末端に向かって緩やかな弧状となる刃部が右側縁に認められる。177 は末広りの石刃を素材として、左側縁に二次加工が施される。剥離面接合資料があり、ブロック 2A の石刃と接合する（接合資料 h）。178 は右側面付の大形石刃を素材とし、左側縁側にのみ二次加工が施される。素材の打面が残り、潰し調整による顕著な摩耗が認められる。

168・169・173・175・176・178 は黒曜石の剥片素材の削器である。168 は薄身の剥片を用い、背面側への二次加工によって両側縁に緩やかな弧状の刃部が形成される。169 は円・亜円礫面の残る厚みのある剥片を素材に用い、左側縁腹面側への連続的な小剥離によって緩やかな弧状刃部を作出している。173 は右側縁の下半部に顕著な加工があり、弧状の刃部が形成される。175 は石刃核の打面調整・再生剥片を素材として、左側縁に弧状の刃部が作出される。176 は両側縁に顕著な二次加工があり、素材打点側に向かって収斂する刃部が形成される。

179 は頁岩製中形石刃の背面基部を中心とした両側縁と腹面基部に二次加工が施されており、彫器基部の可能性が高い。180 は頁岩製の厚みのある石核打面再生剥片（厚さ 1.2cm）の左側縁に急角度の二次加工が施され、凹凸のある刃部が形成される。

181 は薄い板状の砂岩を素材とした削器で、右側縁辺に両面加工で刃部が施される。刃部付近は摩耗している。刃部付近を一部欠損しているが、弧状であった可能性がある。

錐形石器（図 20・21：182～197）

27 点（21 個体）の錐形石器が出土した。黒曜石製（182～190）は 15 点（13 個体）、頁岩製（191～197）は 12 点（8 個体）ある。石刃を素材とするものが 24 点（18 個体）、剥片を素材とするものが 6 点含まれる。

182・184～187・191～194・197 は石刃製である。190 は錐部付近しか残存していないが、石刃素材の可能性はある。182 は小形石刃を素材として用い、素材打点側に急角度の加工を施して錐部とし、素材末端側には短く急角度の剥離により斜行した刃部が形成される。184 は右側面付の大形石刃を素材として、二次加工により素材末端側へ向かって両側縁が収斂する二次加工が施され、急角度の剥離で錐部が作出される。185 は中形石刃素材で、両側縁に連続する微細加工があり、素材末端側に急角度の剥離で錐部が形成される。186 は大形石刃素材であり、素材右側縁に連続する小さな剥離により二つの突起が形成された、所謂「多頭錐」である。187 は左側面付の先細りする大形石刃の末端に微細な加工を施し、錐部を作出したもので、先端部が欠ける。両側縁に断続的小剥離痕が観察される。190 は先細りする石刃あるいは剥片の末端に微細な加工による錐部を形成している。191 は小形の稜付石刃の末端部に急角度の加工が施され、断面三角形の太めの錐部が作られる。192 は右側面付の湾曲する小石刃を素材として、末端部に微細な加工を施し、錐部を形成している。素材の点状打面が残る。193 は小形の稜付石刃の末端に急角度の剥離で錐部を作出している。194 は小形石刃の末端に急角度の剥離で錐部が形成される。被熱し、ポットリッド状の剥落、ウロコ状のヒビが観察される。197 は小形石刃の末端に微細加工によって錐部を作出している。

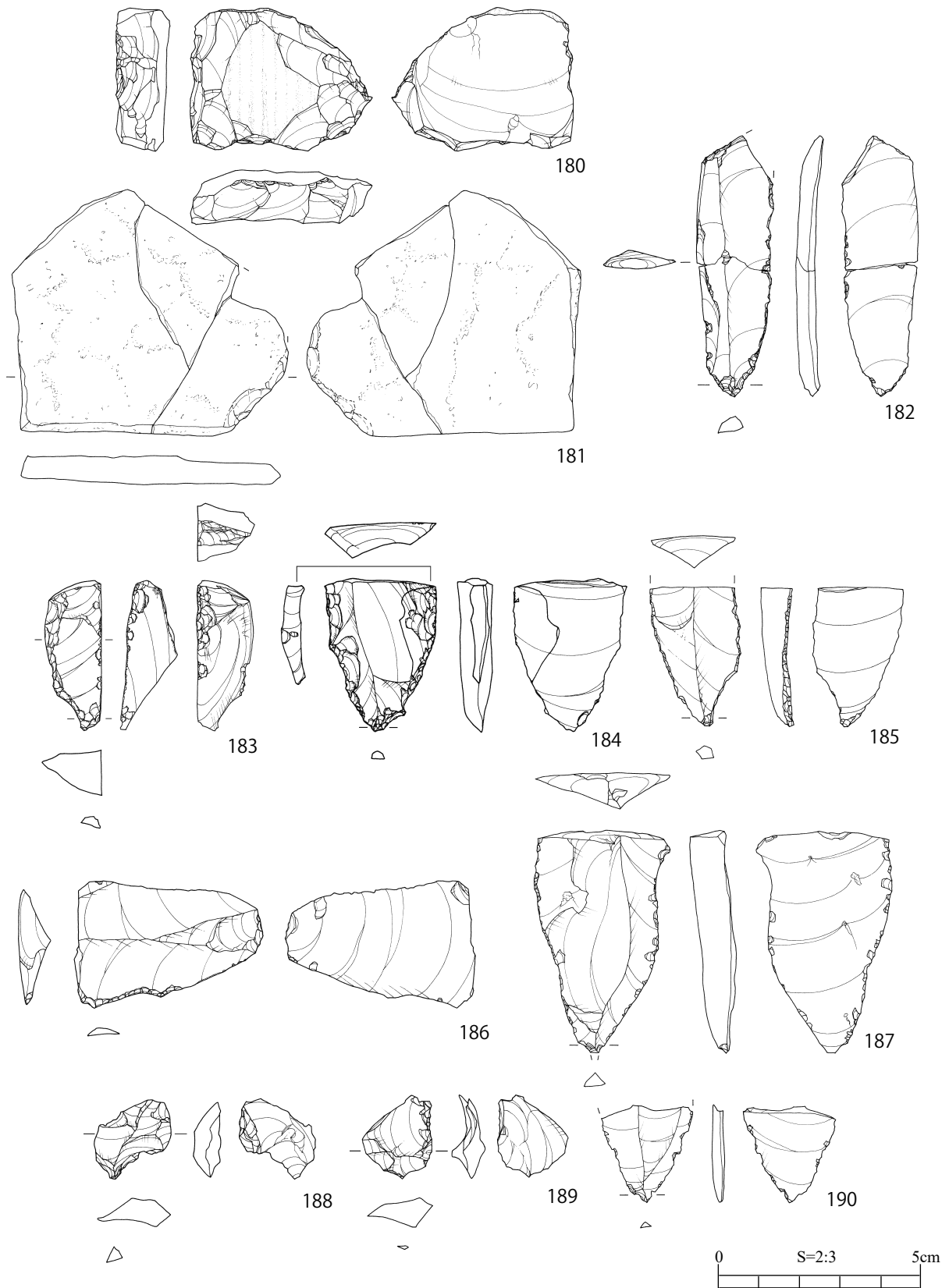


図20 ブロック 2B 出土遺物 (削器・錐形石器)

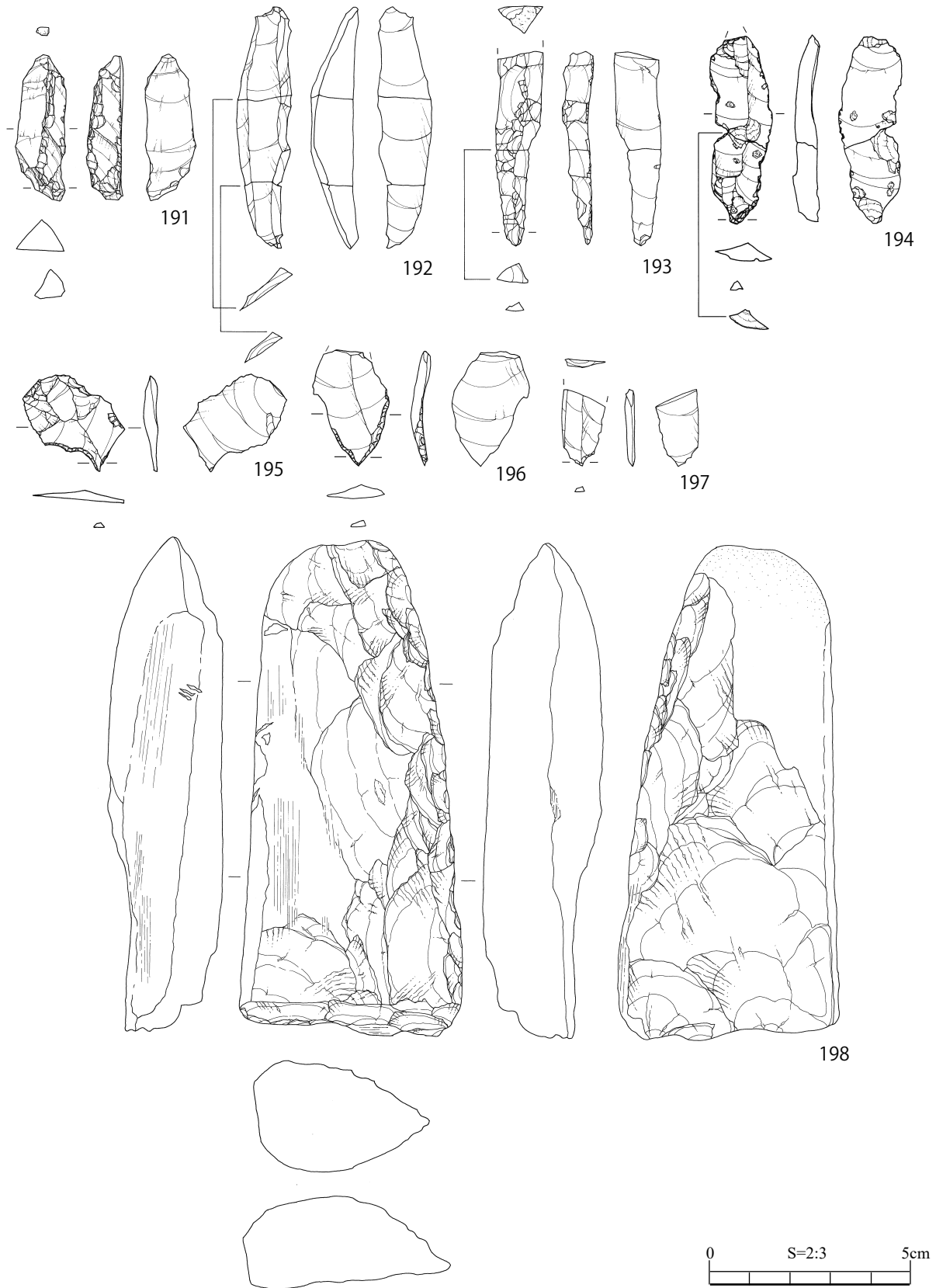


図 21 ブロック 2B 出土遺物（錐形石器・斧形石器）

183・188・189・195・196は剥片製である。183は船底形石器の甲板面から剥離された剥片の右側縁に錐部を形成したものである。錐部の二次加工剥離面は、それ以外の剥離と比べて新鮮である。剥片の背面には船底形石器の端部の縞状剥離面が取り込まれている。188は小形剥片の打点部に急角度の加工を施し、刃部を作出している。189は小形剥片の右側縁の突出部に微細加工を施し、錐部を形成している。195は小形薄手の剥片を素材に用い、左側縁と折面の急角度の短い剥離により錐部を作り出している。196は小形薄手の剥片を素材に、末端に連続する急角度の短い剥離で錐部を形成している。

斧形石器（図 21・22：198～200）

3点の斧形石器が出土した。凝灰岩製（199・200）が2点、安山岩製（198）が1点である。198は、2010年に7-11区に設定した小試掘坑から出土した安山岩製の斧形石器で、片刃様を呈するが、刃部の破損と再加工（研磨）によってリダクションが進行した状態である。右側縁からの階段状剥離によって両面ともに加工されるが、裏面ではそれを切るように刃部方向からの大きな剥離が入る。基部や表面左側、裏面右側を中心に円・垂円礫面が残るが、全体的に研磨され、特に左側面は明瞭に平坦化されている。刃部には部分的に横方向の擦痕が観察される。

199は緑色凝灰岩製で細長い転礫が素材として用いられる。礫の下半部を中心に左右端から階段状の剥離で加工されているが、剥離痕は中央付近まで到達していない。基部には裏面左側を中心に複数の剥離痕や敲打による潰れが確認される。器体両面に縦方向と横方向の研磨痕が観察され、これにより表面は平滑化している。加工剥離の輪郭稜線は研磨で不鮮明であることから、両面の剥離加工後に研磨が施されたと考えられる。刃部は折損しているが、刃部の表側縁辺は潰れて丸みを帯びており、この状態で使用された可能性がある。

200は緑色凝灰岩製の斧形石器の基部片である。垂円礫を素材として表面左側からと裏面の左右両側からの剥離によって整形されている。裏面は階段状の剥離によって平坦化しており、断面カマボコ状を呈する。表面の自然面と両面の加工剥離の稜線上に縦方向の研磨痕が観察されるが、右側面は平坦な自然面がそのまま残される。表面の二次加工や研磨痕は刃部方向からの剥離痕によって切られる。

石刃（図 22～25：201～232）

212点（197個体）の石刃が出土しており、黒曜石製177点（167個体）、頁岩製35点（30個体）からなる。黒曜石製石刃には、大形7点（5個体）、中形54点（51個体）、小形90点（85個体）、不明26点（破片のため）が含まれる。頁岩製石刃には、中形7点（5個体）と小形28点（25個体）が含まれる。完形品は8点と少なく、折面接合で完形に復元できた例（219・231・232）も数点に限られる。打面を有する石刃は56点あり、細かな剥離による調整打面を有するものが多い。

黒曜石の稜付石刃（212・217・218）は18点（17個体）ある。212は右側面方向への剥離による稜調整が認められる。217は大形の石刃で、先行する石刃剥離面から右側面に向かって部分的な稜調整が施される。腹面側に傾く調整打面をもち、被熱により光沢を消失している。218は6cm程度の短く湾曲の

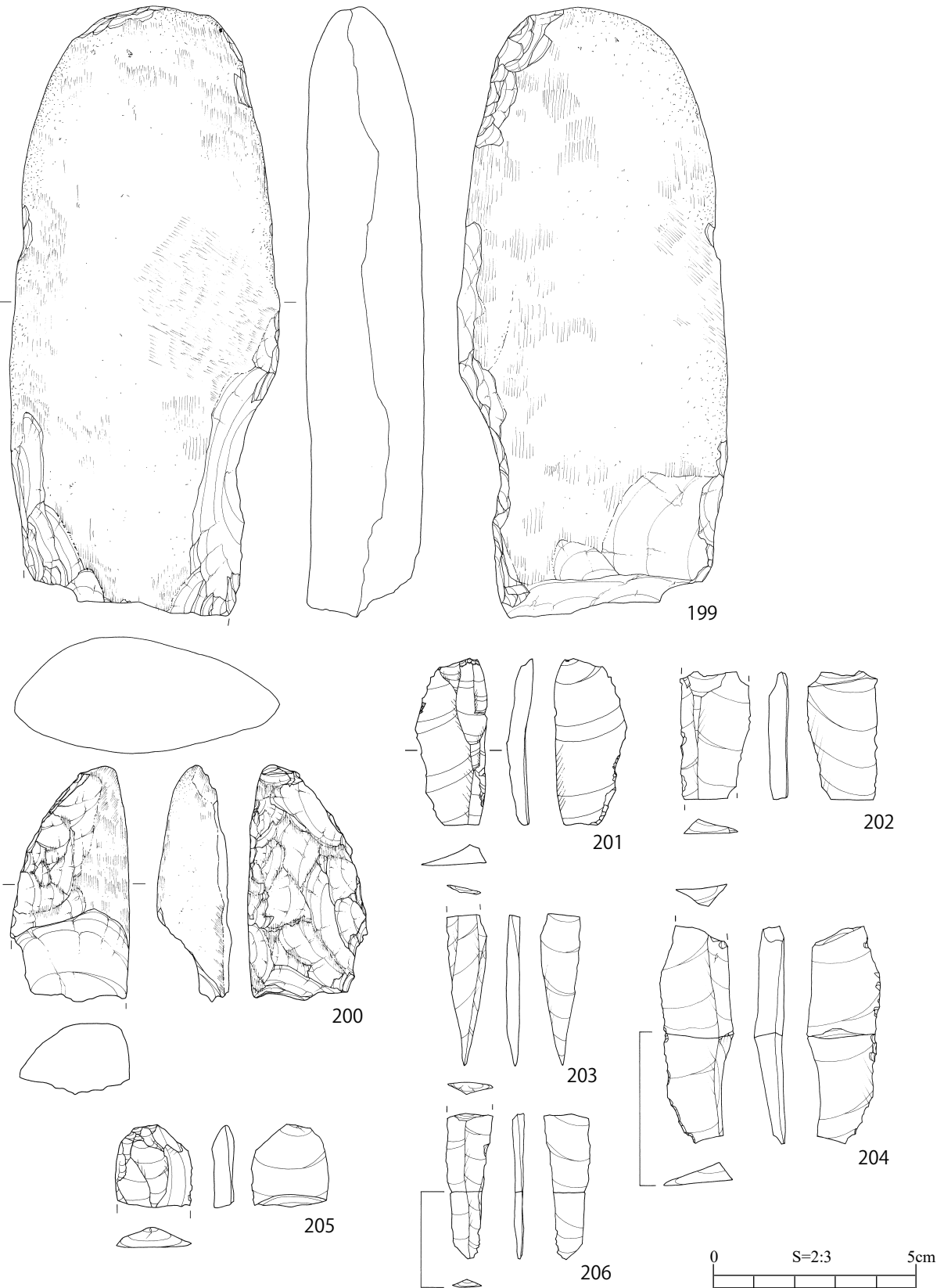


図 22 ブロック 2B 出土遺物 (斧形石器・石刃)

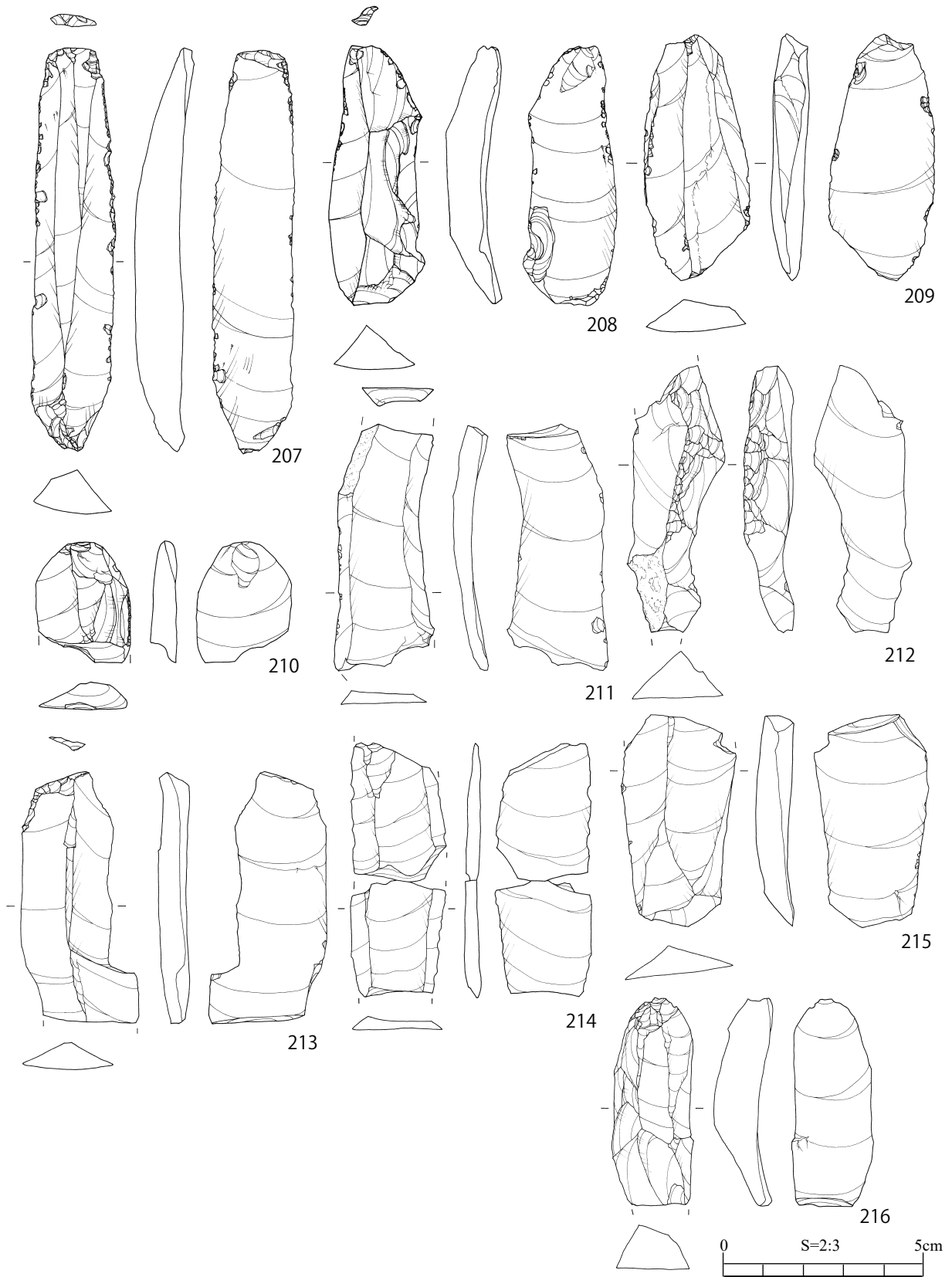


図23 ブロック 2B 出土遺物 (石刃)

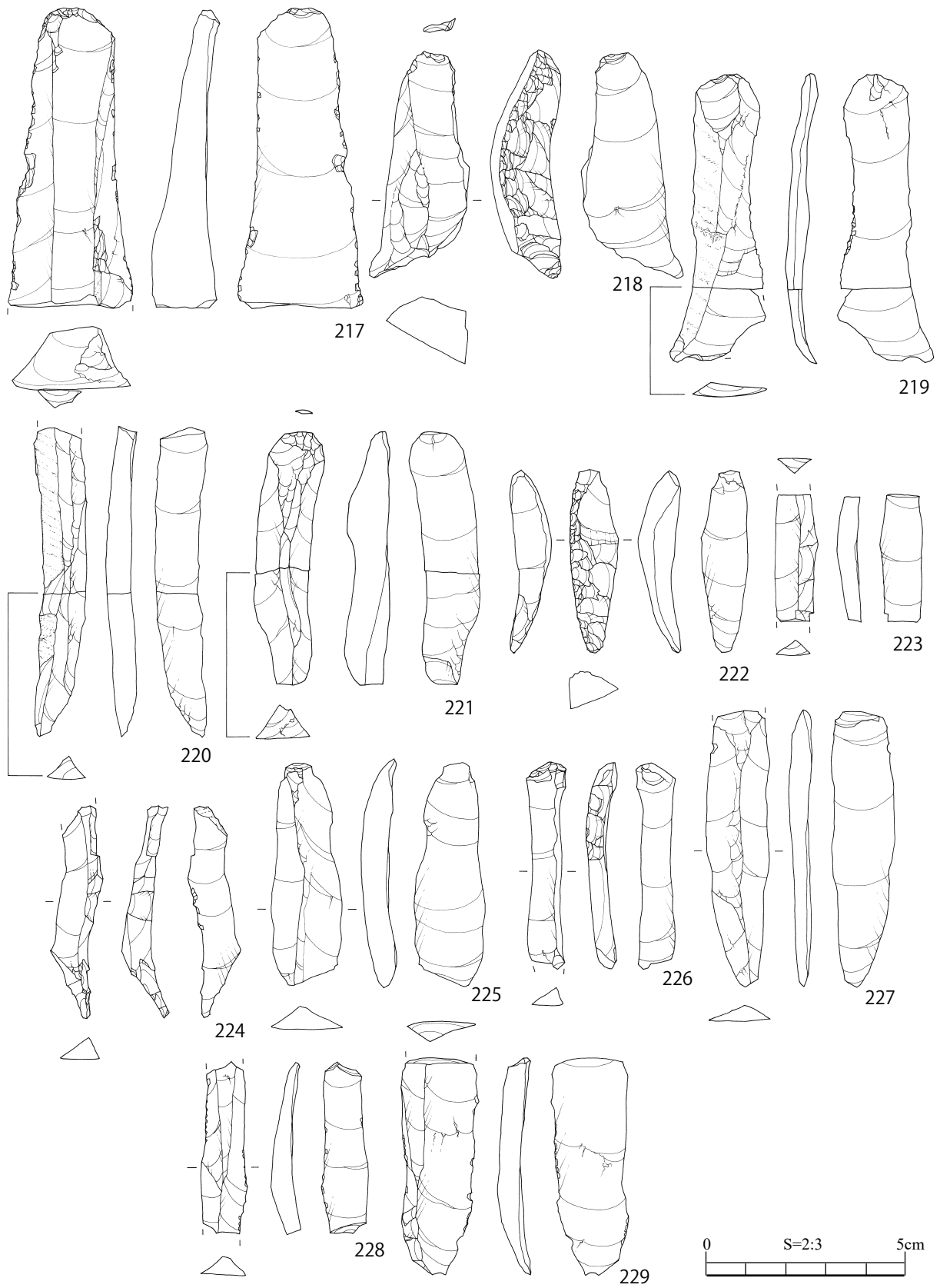


図 24 ブロック 2B 出土遺物 (石刃)

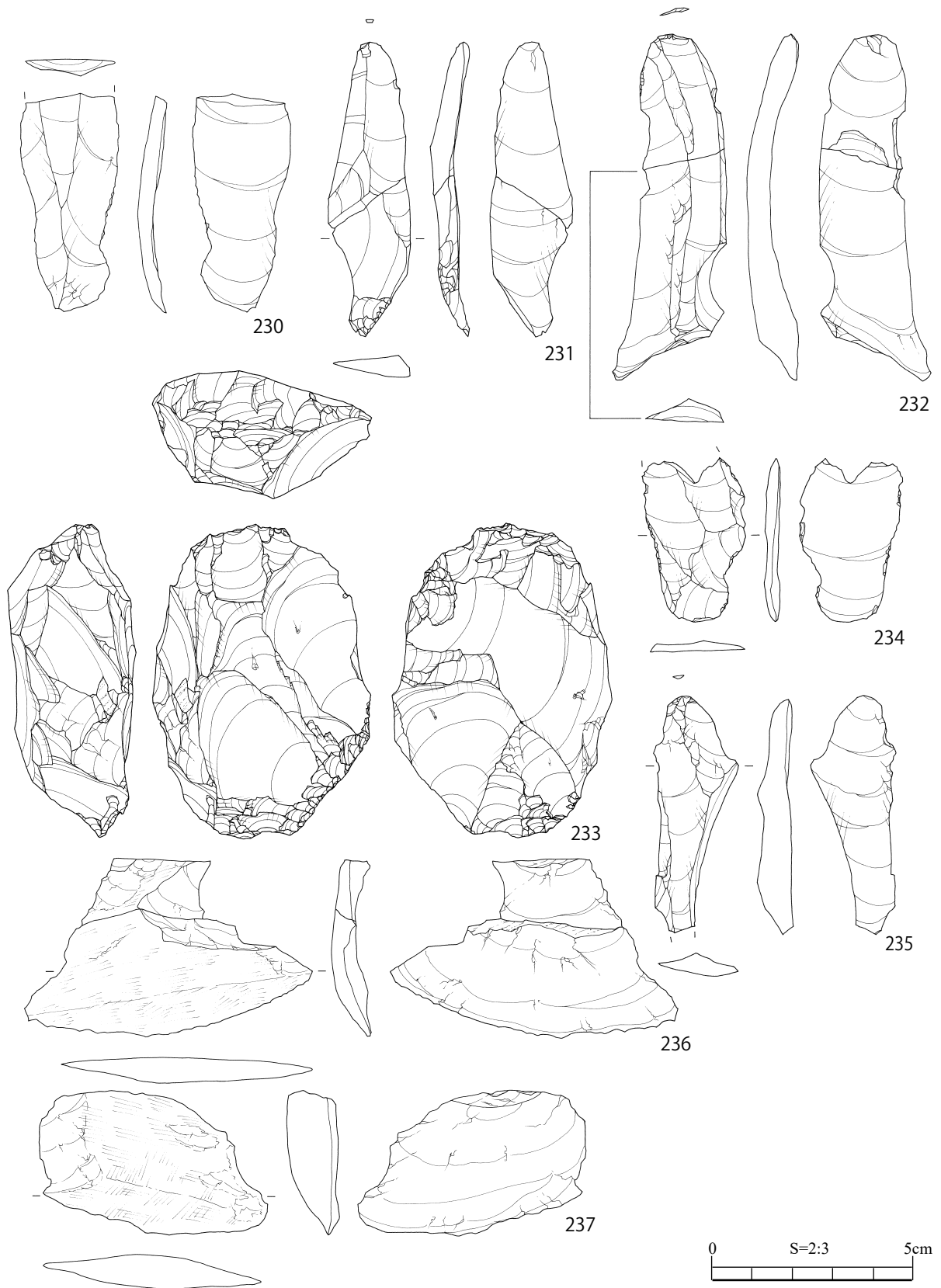


図 25 ブロック 2B 出土遺物 (石刃・剥片石核・剥片)

大きい稜付石刃で、石刃剥離面から右側面側へ稜の再調整が施されている。黒曜石製の右側面付石刃（204・205・208～210・215）は 18 点（17 個体）ある。204・205 は小形、208～210・215 は中形の石刃である。204 は左側縁に断続的微小剥離痕がある。205 と 210 は剥離面接合資料（接合資料 k）の一部で、線状の打面が残り、頭部の潰し調整がみられる。208 は両側縁の打点に近い部分に断続的微小剥離痕を有し、細調整打面が認められる。209 は腹面側に傾く厚い複剥離打面をもつ。黒曜石の左側面付石刃（211・216）は 11 点ある。211 は中形の石刃で、岩屑・角礫面をもつ。216 は中形石刃で、打面には階段状剥離による調整痕がある。黒曜石製の両側面が残るものは 1 点ある。これら以外の黒曜石製石刃（201～203・206・207・213～215・219）は 128 点（121 個体）あり、基本的に背面の剥離痕が腹面と同方向となる。201～203 は小形石刃で、206・207・213～214・219 は中形の石刃である。201 は剥離面接合資料（接合資料 n）の一部、202 は剥離面接合資料（接合資料 j）の一部、203 は剥離面接合資料（接合資料 g）、214 は剥離面接合資料（接合資料 j）の一部である。207 は両側縁に断続的な小剥離・微小剥離痕がある。腹面の打点付近に横方向の部分加工、末端背面側に部分加工があり、彫器素材の可能性もある。213 は単剥離打面をもち、打面縁に顕著な擦痕のある潰し調整が観察される。219 は背面に岩屑・角礫面が取り込まれ、細調整打面をもち、潰し調整が観察される。右側縁背面側に断続的微小剥離がある。

頁岩製の稜付石刃（222・224・226・231）は 6 点（5 個体）ある。222 は右側面方向への顕著な剥離による稜調整が施され、打面には細かい調整剥離痕が残る。224 は末端付近に左右方向の剥離による稜調整痕が残る。226 は先行する縦方向の剥離面を切って、上半分を中心に稜が調整される。231 は末端側に稜調整が残り、点状の打面と細かな剥離による頭部調整が観察される。頁岩製の右側面付（223）は 2 点あり、223 は小形石刃である。頁岩製の左側面付（220・229）は 5 点（4 個体）ある。220 は小形石刃で背面に節理面が残り、末端付近の右側縁に微小剥離痕がある。229 は小形石刃で、両側縁に連続する微小剥離痕がある。背面が石刃剥離痕からなるもの（221・225・227・228・230・232）は 22 点（19 個体）ある。221・225・227・228 は小形で、230・232 は中形の石刃である。221 は細く打面が残り、細かな剥離による頭部調整がある。225 は頭部に階段状剥離があり、打点を欠損している。228 は両側縁に断続的微小剥離がある。232 は石刃核下面を取り込む石刃で、線状の打面が残り、頭部は潰し調整で摩耗している。

剥片石核（図 25：233）

黒曜石の剥片石核が 1 点出土している。233 は石刃核を転用したもので、表面の石刃剥離面が右下方向からの 5 枚の剥片剥離痕によって切られる。左側面には石刃核の側面調整剥離痕をとどめている。裏面は左方向の大きな剥離痕によって石刃核打面の剥離が切られ、さらに下方向からの複数枚の剥離によって左方向からの剥離痕が切られる。器体厚は 3cm と厚いが、両面において剥片剥離作業が行われ、尖頭器や細石刃核の素材となる両面調整石器の未製品の可能性もある。

剥片・細片（図 25・26：234～241）

長さ・幅が 2cm 未満である細片は 12,763 点（黒曜石 12,295 点、頁岩 678 点、凝灰岩 29 点、その他 1 点）で、出土遺物の大部分（88.1%）を占める。剥片は 984 点があり、黒曜石 826 点（819 個体）、頁岩 109 点（107 点）、凝灰岩 48 点（46 個体）、安山岩 1 点からなる。黒曜石の完形の剥片 144 点は、小形（長さ・幅 4cm 未満）127 点（88.2%）、中形（4cm 以上 8cm 未満）17 点（11.8%）からなり、大形（8cm 以上）はない。頁岩の完形剥片 53 点は、小形 40 点（75.5%）、中形 13 点（24.5%）からなる。凝灰岩の完形剥片 36 点は、小形 25 点（69.4%）、中形 11 点（30.6%）からなる。厚さ 0.5 未満の薄身の剥片は 734 点あり、剥片の 74.6%を占める。石材別では、黒曜石で 639 点（77.4%）、頁岩で 72 点（66%）、凝灰岩で 23 点（47.9%）の薄身の剥片がある。黒曜石で小形・薄身の剥片が多い傾向がうかがえ、両面調整石器の加工やその他トウールの二次加工・再加工による剥片を多く含むと考えられる。凝灰岩製剥片のほとんどは斧形石器の二次加工・再加工で生じた剥片であり、相対的に厚身で大きな剥片が多くなっている。自然面（節理面含む）が観察される剥片は 75 点（7.6%）で、背面の半分以上を占めるものは 30 点（3.0%）にとどまる。他の石器集中部で自然面のある剥片が占める比率は、ブロック 1 で 13.3%（46 点）、ブロック 2A で 14.2%（110 点）、ブロック 3 で 19.5%（37 点）であり、ブロック 2B は相対的に低いといえる。このような自然面を有する剥片の比率からみても、ブロック 2B ではある程度整形の進んだ石核や両面調整等を用いた剥片剥離作業が行われたと推測される。

234 は黒灰色を呈する頁岩製の剥片で、本遺跡では稀な石質である。背面の稜線は摩滅し光沢があり、両側縁には連続的の微小剥離痕が観察される。235 は頁岩の縦長剥片で、細かな剥離による頭部調整があり、石刃剥離の過程で剥離されたものであろう。236～241 は凝灰岩の剥片で、背面に顕著な研磨痕のある面を取り込むことから、斧形石器の再加工によって生じたものと考えられる。238 と 241 は斧形石器の刃部から剥離されている。

細片には、両極打撃によって生じた末端部剥離痕をもつ例が 126 点（細片総数の 1%）に認められた（図 28）。全て黒曜石製であり、主に搔器の刃部調整・再生剥片と推定される。ブロック 1 と 3 ではこの種の細片の判別作業をしていないため不明であるが、ブロック 2A では 10 点（細片総数の 0.3%）を確認している。ブロック 2B では 2A に比べて両極打撃痕のある細片の比率が高い。

顔料原材（写真図版 13）

33 点の顔料原材が出土している。大きいものでは直径 6cm の例もあるが、ほとんどは直径 2cm 以下である。使用に伴うと推定されるような顕著な擦痕面や摩耗のある資料はなく、全体的に稜線が鋭い角をもつ破片原材からなる。質感の違いから、赤色系で硬質な材（金属様の光沢をもつ例を含む）と、それよりも多孔質で脆く軟質な材に分けられる。多孔質な例の中には円礫状の丸みを帯びた表面を有するものがある。表面が赤色で内部が明灰色で金属様の光沢をもつ例が含まれ、また表面にひび割れのある原材も多くあり、加熱処理（福井 2001）に関連すると考えられる。斜里知床博物館学芸員の合地氏の鑑定によって、一部は褐鉄鉱と判断されている。

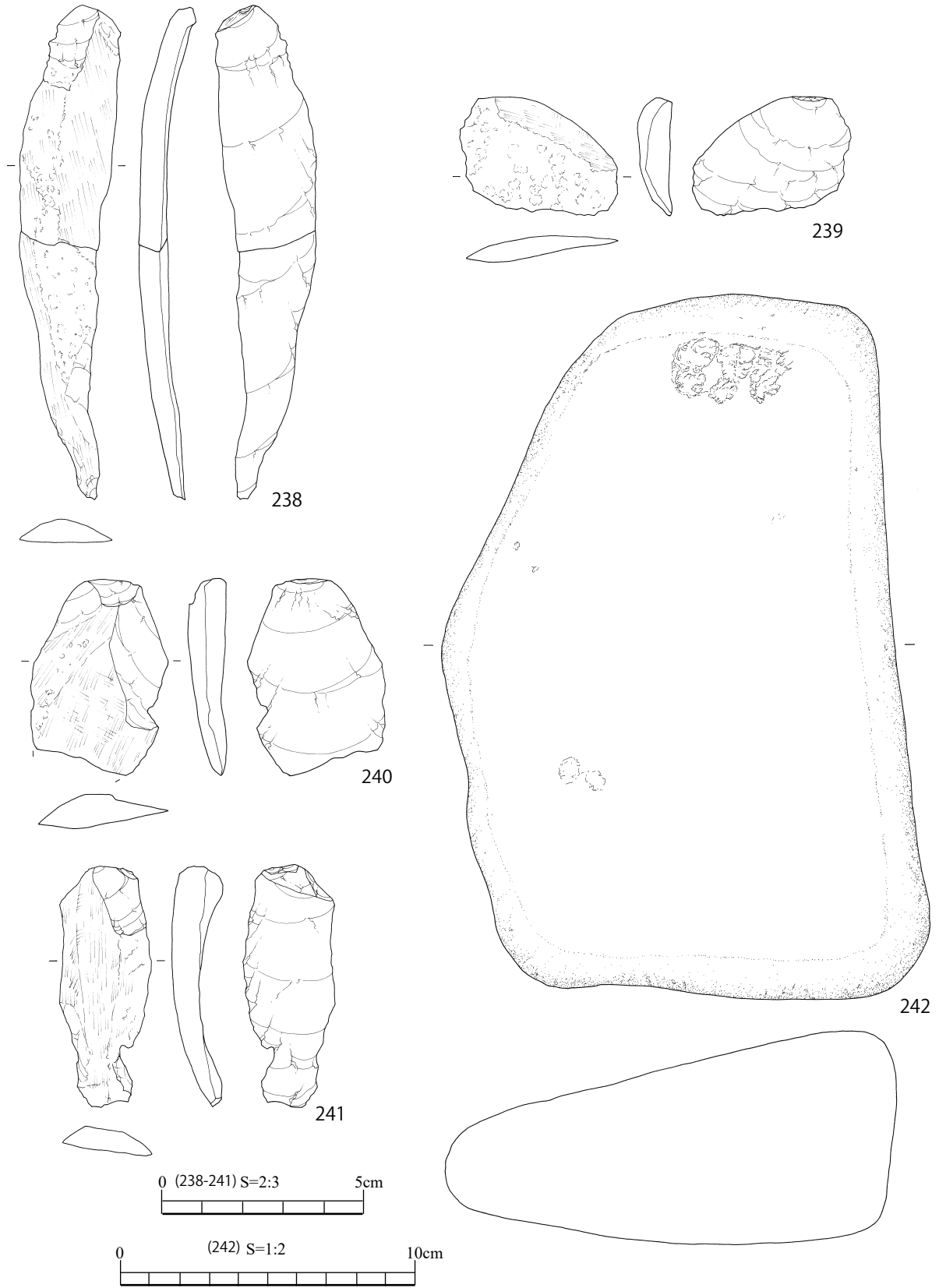


図 26 ブロック 2B 出土遺物 (剥片・礫塊石器)

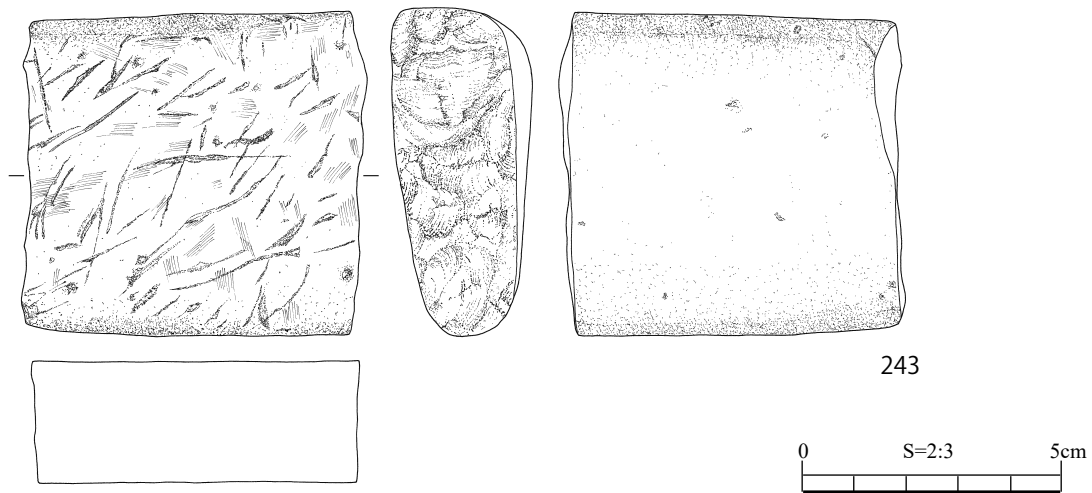


図 27 ブロック 2B 出土遺物（礫塊石器）

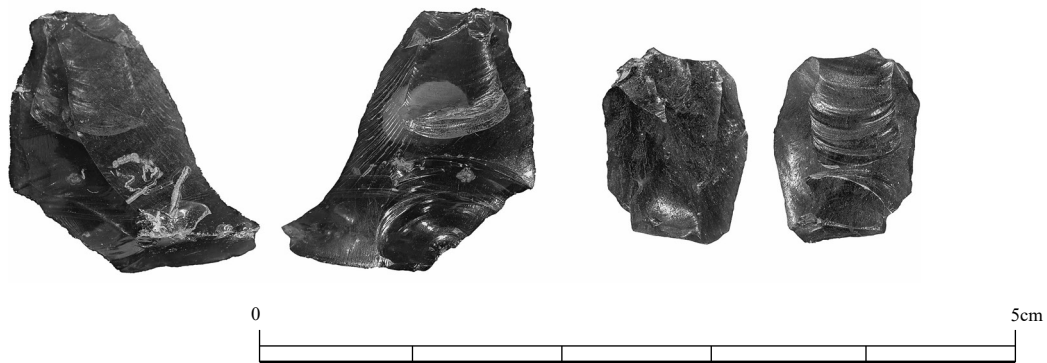


図 28 両極打撃痕のある細片

礫塊石器（図 26・27：242・243）

2 点の安山岩製の礫塊石器が出土した。242 は長軸 24cm、厚さ 7cm 程度の扁平な台石である。表面の端に鼠歯状痕を含んだ窪みが認められ、搔器刃部の剥離の際の両極打撃に利用された可能性がある。243 は厚さ 2.7cm の扁平な台石である。平坦な一面に多数の鼠歯状痕および線状痕、細かな擦痕をもち、所謂「ストーン・リタッチャー」と同様である。左右の折れ面にも摩耗が認められ、折面形成後も利用された可能性がある。

第三節 遺物の分布

ブロック 2 の発掘区は、ブロック 2A とブロック 2B に区分され、2015～2018 年度調査ではブロック 2B の石器集中部を対象に発掘を行った。図 29 はブロック 2B 周辺における遺物垂直（X=8 ライン両側各 1m の範囲）である。ブロック 2B ではⅡ層からⅢ層中部まで遺物が出土している。遺物出土層準は、概ねⅢ層上部～中部を中心とした 0.2～0.3m の範囲に集中するが、Y=13 より北西側（丘陵斜面方向）

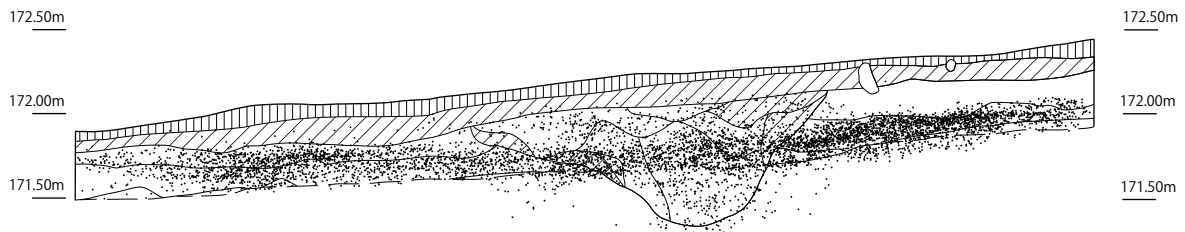


図 29 ブロック 2B の遺物垂直分布 (X=8 ライン)

では角礫を多く含む 3-1 層 (図 9 参照) より下位から遺物が出土する傾向にあり、Y=12 から Y=11 にかけては遺物が 3-1～3-2 層に集中する。X=8 ラインでは Y=12 を中心とした倒木痕と考えられる攪乱堆積が確認されている。倒木痕の範囲において、遺物はⅢ層上～中部相当の特徴をもつ土から多く出土したが、垂直 0.8m 程度の範囲に散布する傾向が認められた。遺物の集中するレベルの傾斜は、現在の地表面にみる傾斜に比べて緩やかである。

ブロック 2 区では、6-11 区、6-12a・b・d 区、7-11・12 区、7-13a・b・d 区、8-11・12・13 区がブロック 2B で、その範囲では顕著な遺物の集中が広く認識できる (図 30)。8-13a・b、8-12a・c・b、7-12b、7-11d 区では周辺に比べて遺物が少なく、この範囲を挟み南北に分かれて東西方向に帯状を呈する顕著な石器の集中がある。Ⅱ～Ⅲ層中部にかけて観察された攪乱 (図 31) としては、8-12c 区を中心とした弧状の倒木痕 (図 31：①と②) があり、長さ・幅が約 4m、最深部は地表面からの深さが約 1m で基本層序Ⅳ層相当の褐色・赤褐色砂礫層に達する。倒木痕の北東側でⅡ層相当の暗褐色土が深く入り込んでおり、南西側への倒木であった可能性が高い。倒木痕内から出土した遺物 (図 32) は 1,621 点 (11.2%) であり、攪乱に含まれる遺物はそれほど多くないため、相対的に遺物分布密度の低い範囲を中心として倒木が生じたと考えられる。8-13a、7-13b、7-12a・c・d、6-12b・d 区ではⅢ層上・中部で軟質な角礫を含む堆積 (図 31：③) が帯状に広がっていた。同区の中では 5,297 の点取り遺物 (倒木内 520 点を含む) があるが、帯状に広がる礫の多い層からは 575 点しか出土していない。8-12d では表土からⅢ層下部に達する掘り込み (図 31：④) が確認され、中にはⅠ～Ⅲ層の攪拌された土が堆積していた。この中からは細片 5 点しか出土しておらず、遺物分布が不自然に途切れる。この攪乱範囲は発掘区の外にも広がると推測される。この攪乱範囲に隣接して焼土ブロック (図 31：⑤) が検出されている。この焼土ブロックの中からは、炭化物が採取されたが (図 33)、この範囲に重複して分布する遺物はそれほど多くない (図 32)。ブロック 2B では、94 点の炭化物の出土位置を記録し、採取した (図 33)。それらの内、8-11d 区から 2 点 (Ⅲ層上部)、8-13c 区から 3 点 (Ⅲ層上部)、8-13d 区から 5 点 (Ⅲ層中部、3 点は焼土ブロック内) を抽出し、炭素年代測定用の試料としている (第三章第一節國木田)。8-11d 区と 8-13c 区では遺物出土のピークに近いレベルで炭化物が採取されたが、8-13d 区ではピークよりやや下のレベルでの採取が多い (第四章参照)。

ブロック 2B では剥離面接合 21 個体、折面接合 41 個体が得られた。その内、14 個体の剥離面接合、4 個体の折面接合がブロック 2A との間で生じている (図 34・35)。ブロック 2A では全体的に遺物の分

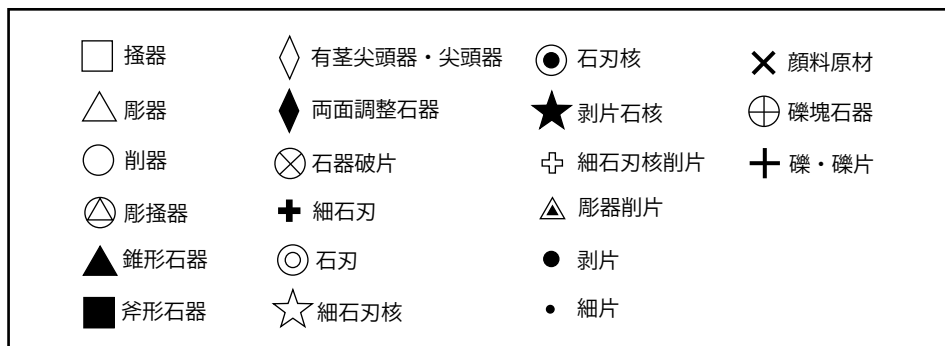
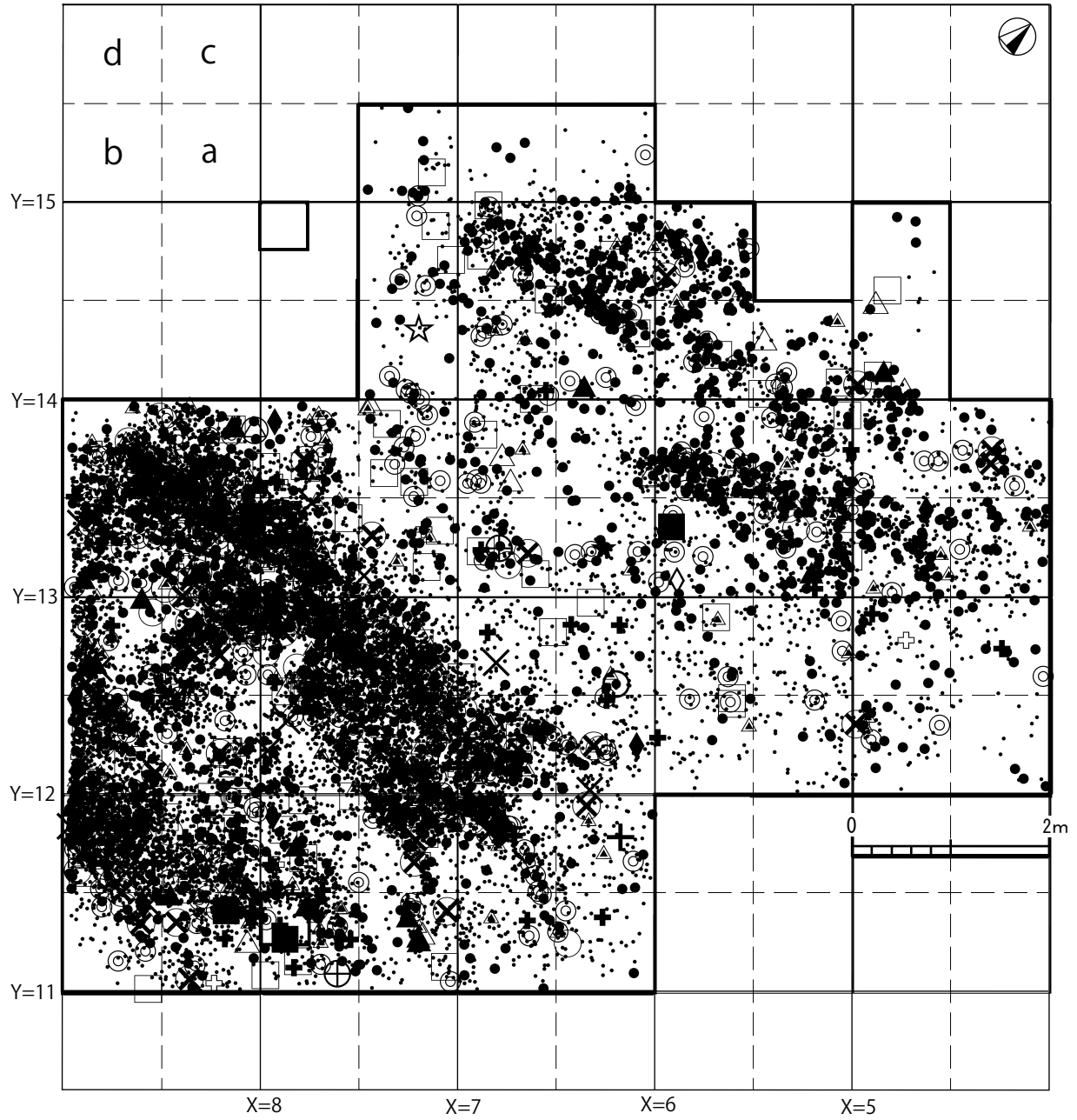
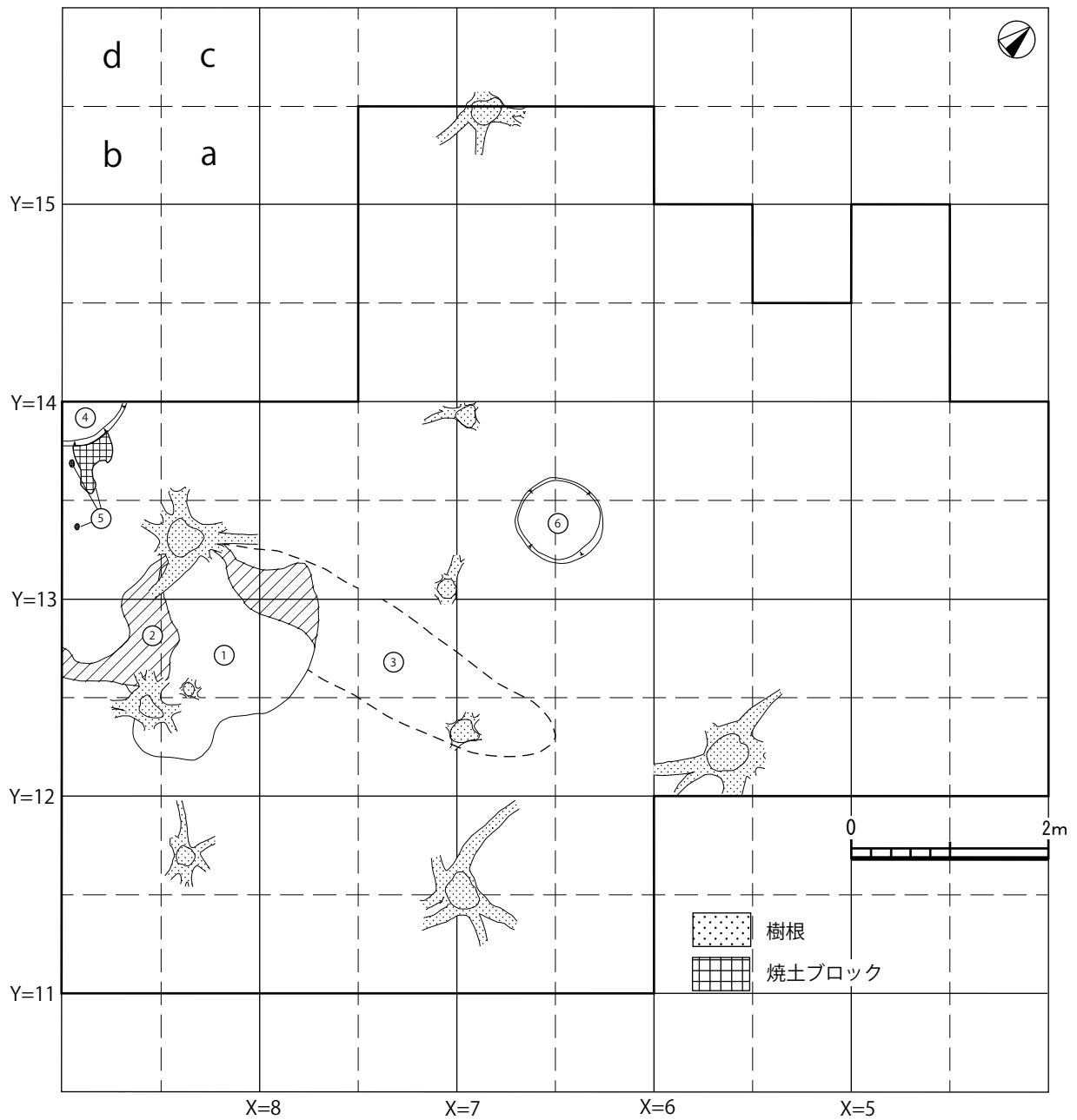


図 30 ブロック 2B の遺物分布 (全点)



- ①褐色土 (10YR4/3) : しまりやや強い、粘性やや強い、径 1cm 以下の角礫をわずかに含む。
この下には②黒褐色土が入り込む。Ⅲ層上部の礫が少ない部分が倒木によって持ち上げられた土。
- ②黒褐色土 (10YR4/2) : しまりやや弱い、粘性弱い、径 2cm 以下の角礫を多く含む。
- ③土層断面図 3-2' と同じ。Ⅲ層上部～中部で礫を多く含む堆積。
- ④表土の黒色土からⅢ層までの土が攪拌された土。
- ⑤5YR4/8、2.5YR4/8 の焼土ブロックを含む範囲。しまり、粘性はⅢ層中部に同じ。
- ⑥表土の黒色土からⅢ層中部までの土が攪拌された土。

図 31 ブロック 2B の攪乱等分布

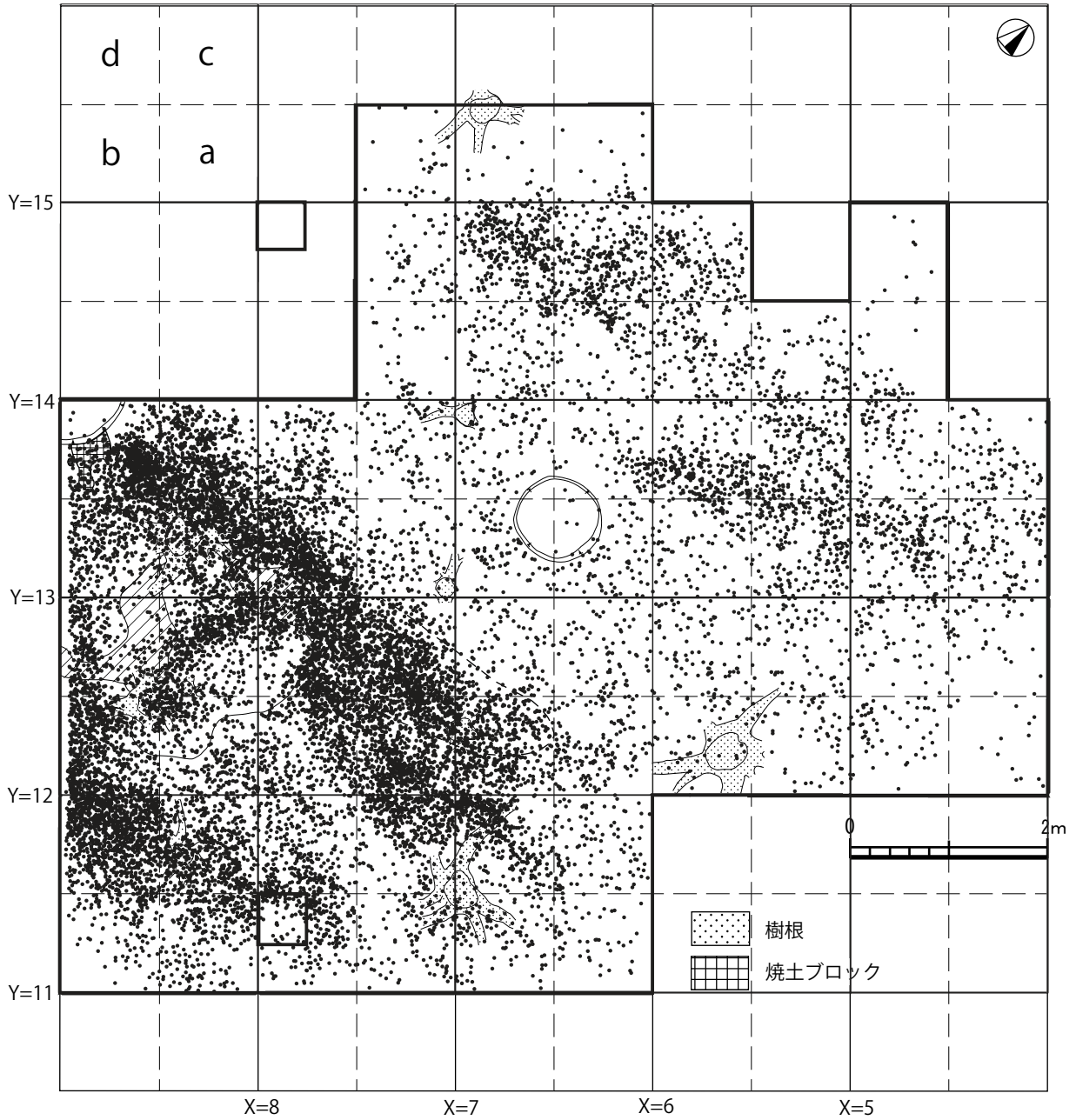


図 32 ブロック 2B の遺物分布（全点）と攪乱等分布

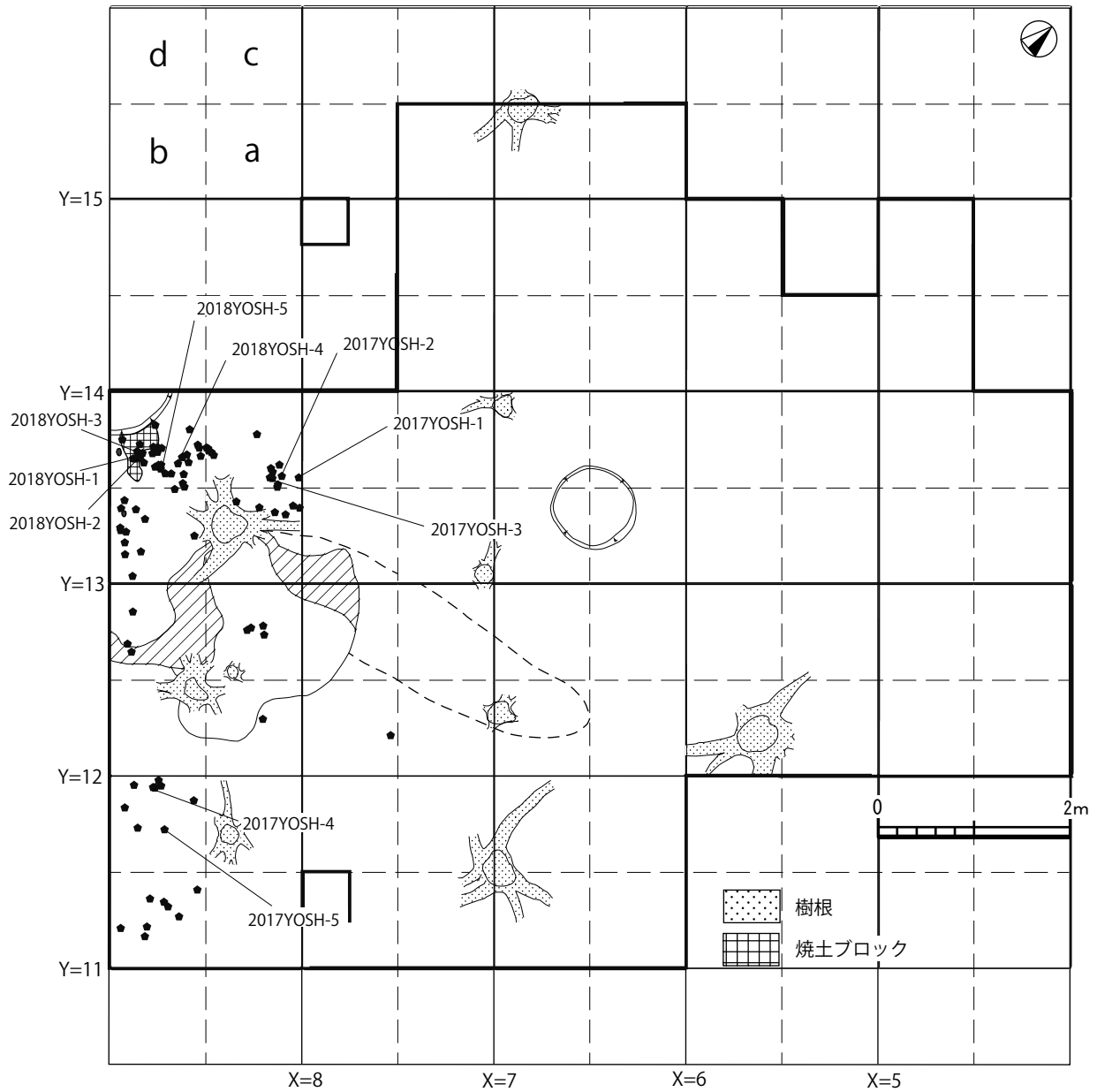


図 33 ブロック 2B の採取炭化物分布

布が東西に伸びる傾向にあり、ブロック内での接合関係にも東西方向のものが多いことから、傾斜に沿ってソリフラクションや土壌葡行等の重力性擾乱を被った可能性が指摘されている（佐藤・山田編 2014）。ブロック 2B でも東西に離れた折面接合資料は多く含まれるため、南北二つの帯状集中は重力性擾乱の影響を受けた可能性がある。一方で、南北方向の折面接合関係は人為的な石器の移動を示唆し、ブロック 2B 内の南北帯状集中部の間では 5 個体、ブロック 2A・2B 間では 3 個体に認められる。折面接合資料の剥片の中には、被熱によりヒビ割れて 5 点に砕けたもの（遺物観察表の接合番号折 151）があり、南と北の帯状集中部に分かれて分布する。その中には被熱の程度が異なるものが含まれており、南側に分布する 3 点のみ表面の光沢が失われ、部分加工が施されている。被熱の時間差や石器の再利用を示す資料である。ブロック 2A との剥離面接合資料は、ブロック 2B 内でも北側の範囲で出土した遺物がほとんどである。ブロック 2B の北側と南側の帯状集中範囲の間では二つの剥離面接合資料が生じている。

本ブロックの遺物組成の大部分を占める剥片・細片の分布（図 42・43）は、主要なツール（図 36～41）と概ね同様であり、石器製作による残滓とツールの分布はほぼ一体となっている。主要なツールの内、搔器（図 36）と石刃（図 40）はブロック 2A とブロック 2B の剥片・細片が少ない区域においても多く分布する。彫器と彫器削片（図 37）の分布は大きく変わらないが、彫器は北側帯状集中の範囲に多い傾向にある。両極打撃痕のある細片（図 44）は、主に搔器の刃部調整によって生じたと推測され、その分布傾向は搔器（図 36）と異ならない。錐形石器（図 38）は北側帯状集中の範囲に目立つが、その中でも東端（7-11 区）と西端（8-13 区）に多く分布し、その間（7-12 区）では少ない。顔料原材（図 41）はブロック 2B にのみ分布する。石材別の分布（図 45～48）は、全体の分布傾向と大きく変わらないが、頁岩（図 46）は北側帯状集中の西側に分布する石器が多い。凝灰岩の剥片は主に斧形石器の調整剥片であるが、ブロック 2B の南側帯状集中とブロック 2A では斧形石器と剥片の分布が重複していない（図 47）。被熱石器（図 49）は 8-13b・d 区や 8-11d 区、7-12d 区といった顕著に集中する区域もあるが、概ね遺物全体の分布と同様の傾向にあるといえる。

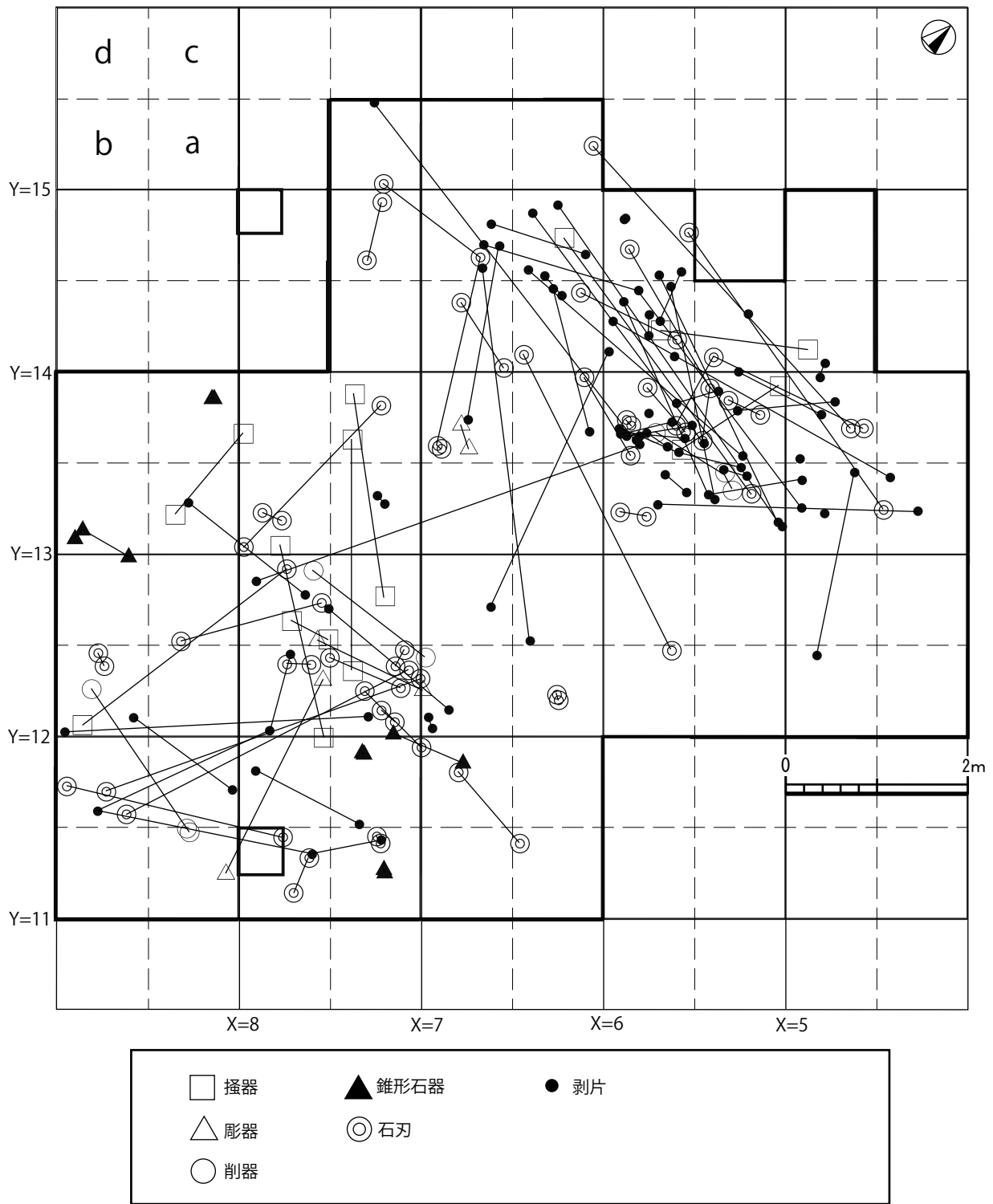


図 34 ブロック 2B の接合資料分布 (折面接合資料)

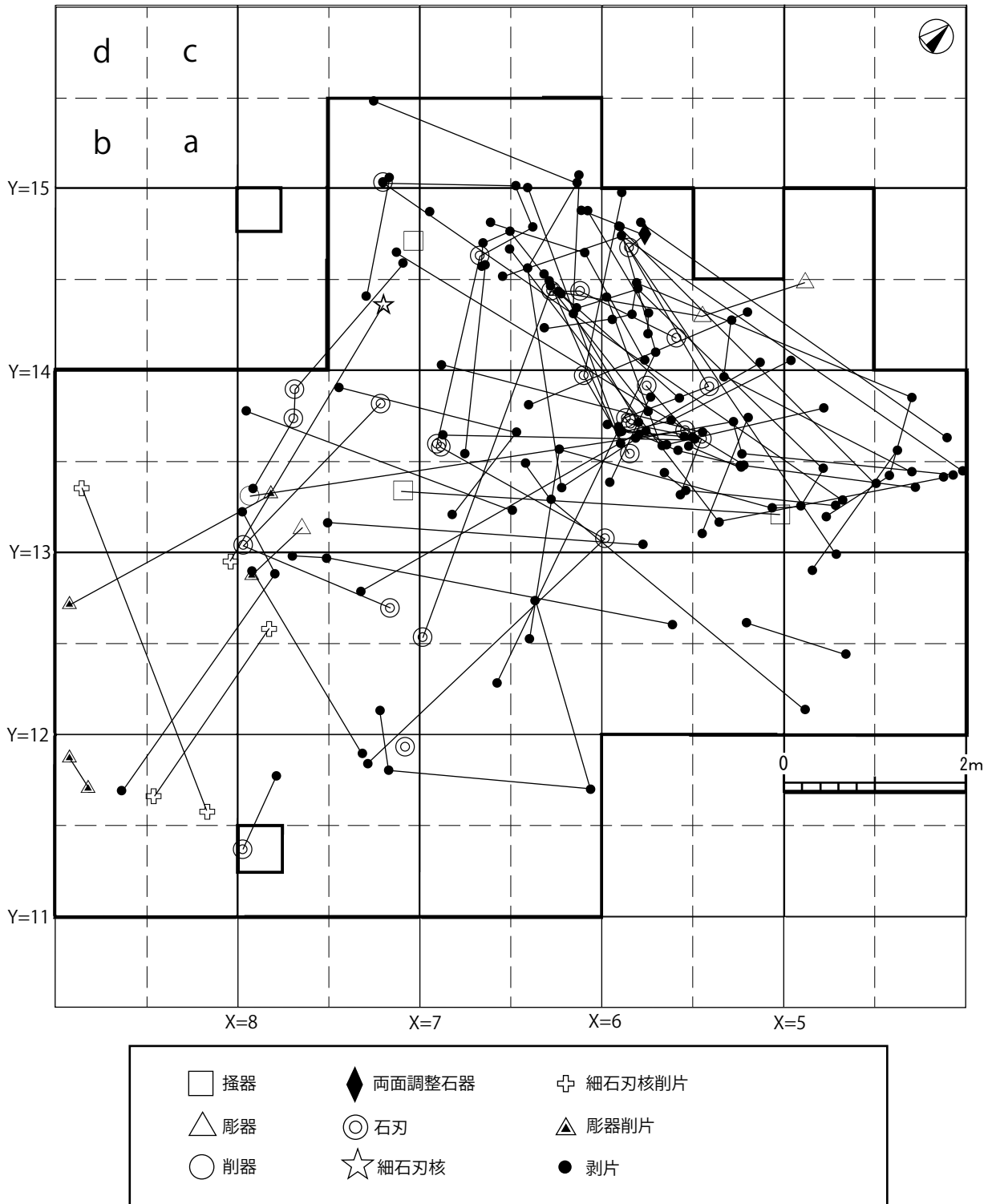


図 35 ブロック 2B の接合資料分布 (剥離面接合資料)

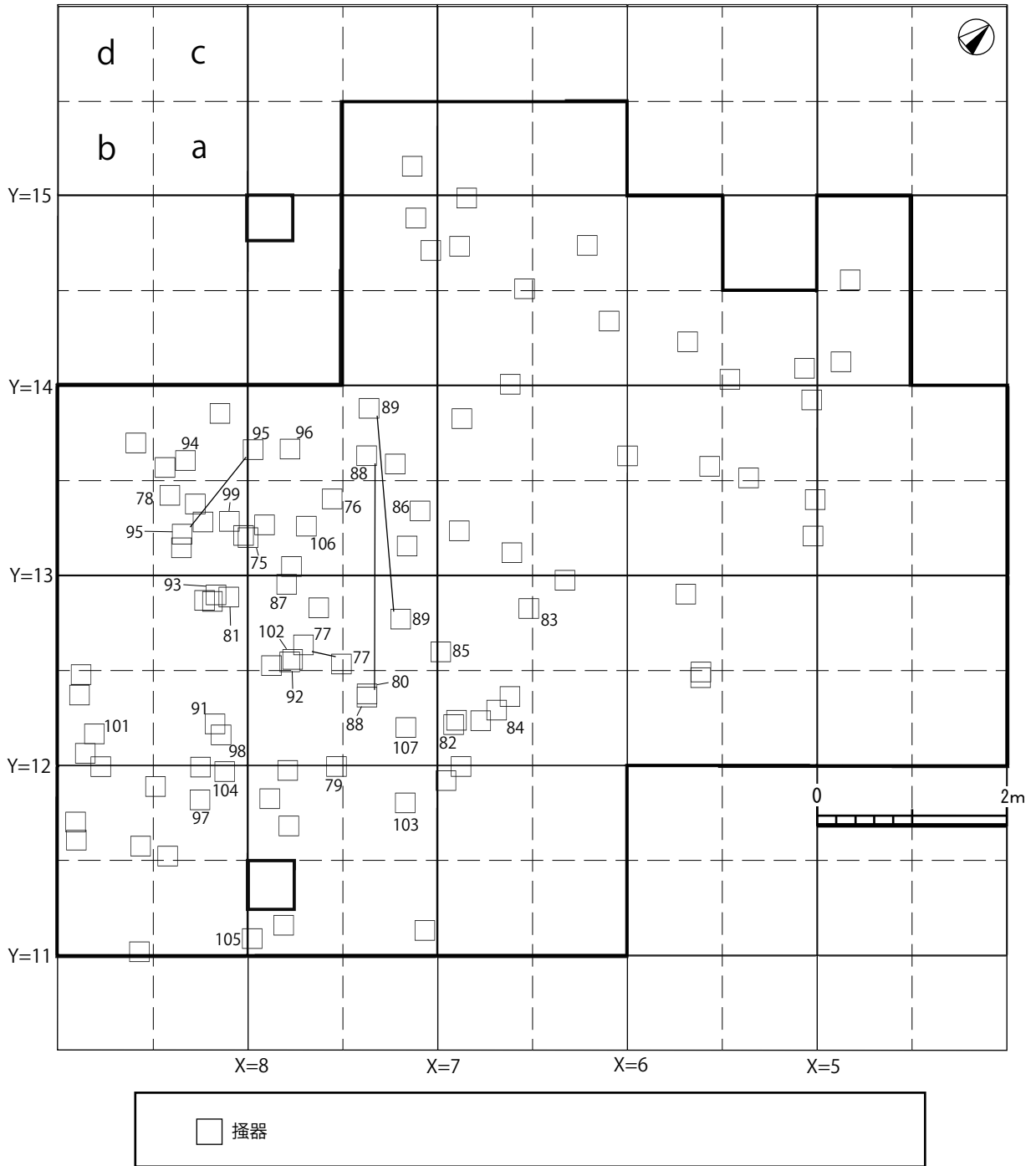


図 36 ブロック 2B の遺物分布 (搔器)

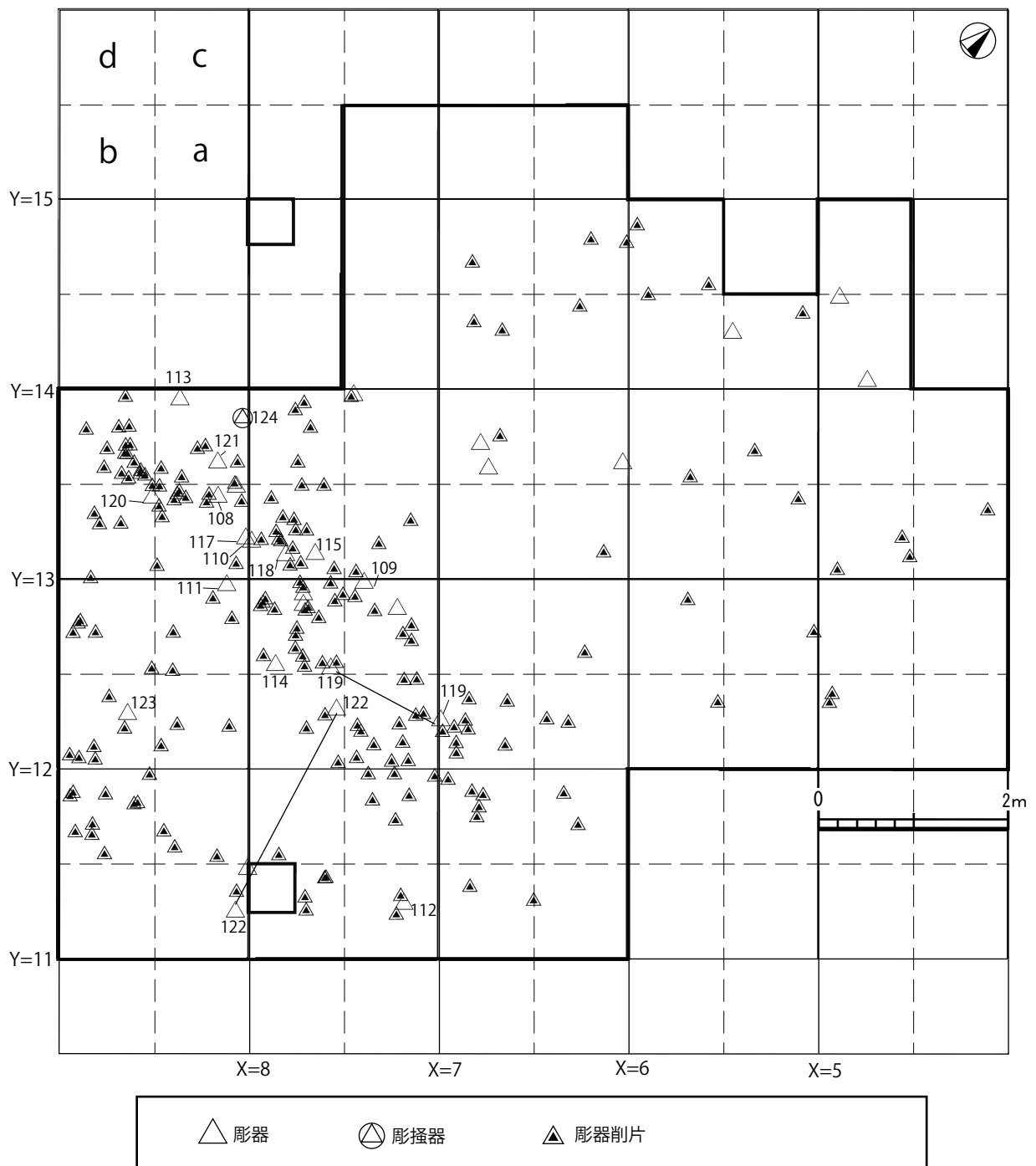


図 37 ブロック 2B の遺物分布 (彫器・彫搔器・彫器削片)

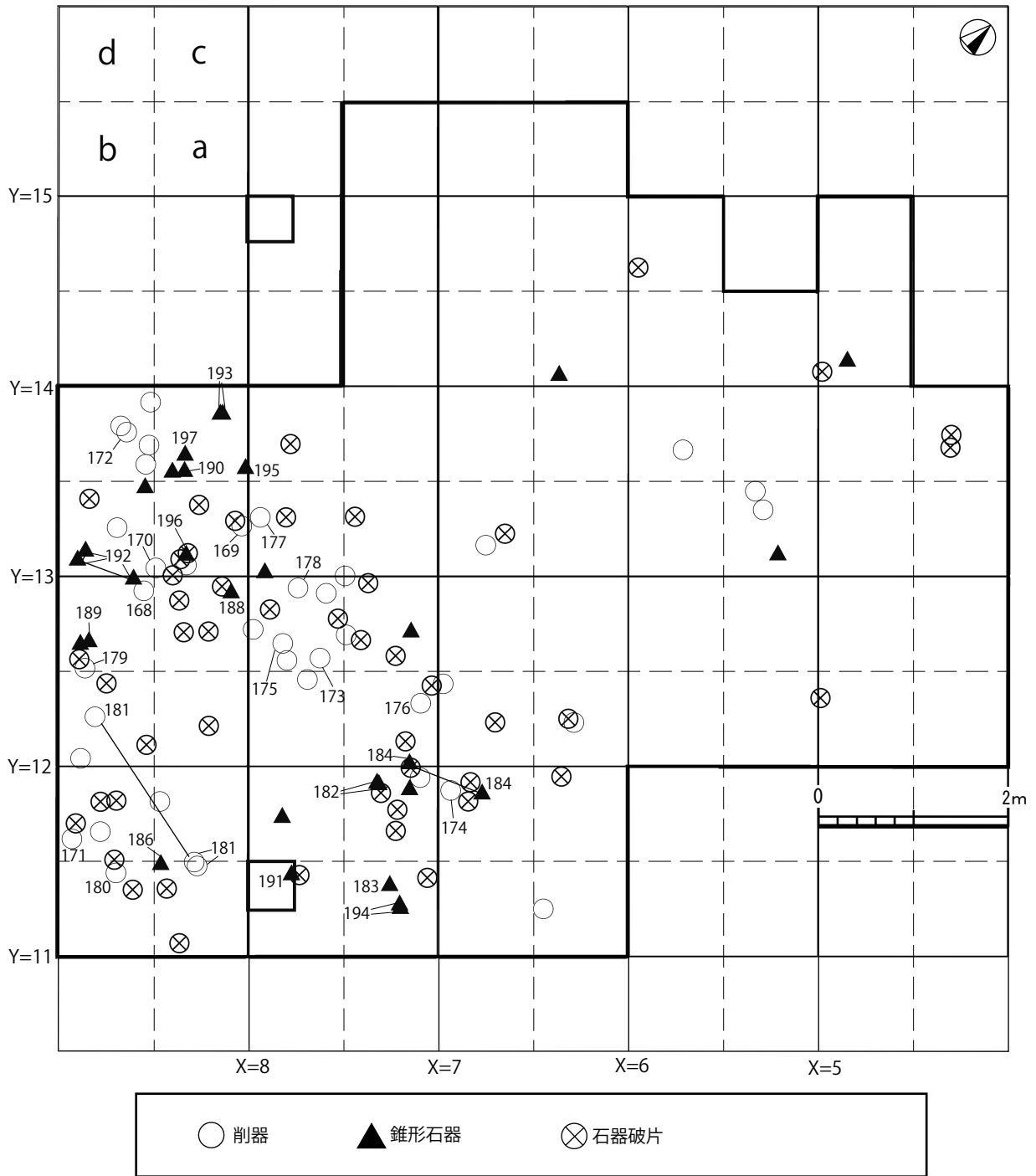


図 38 ブロック 2B の遺物分布 (削器・錐形石器・石器破片)

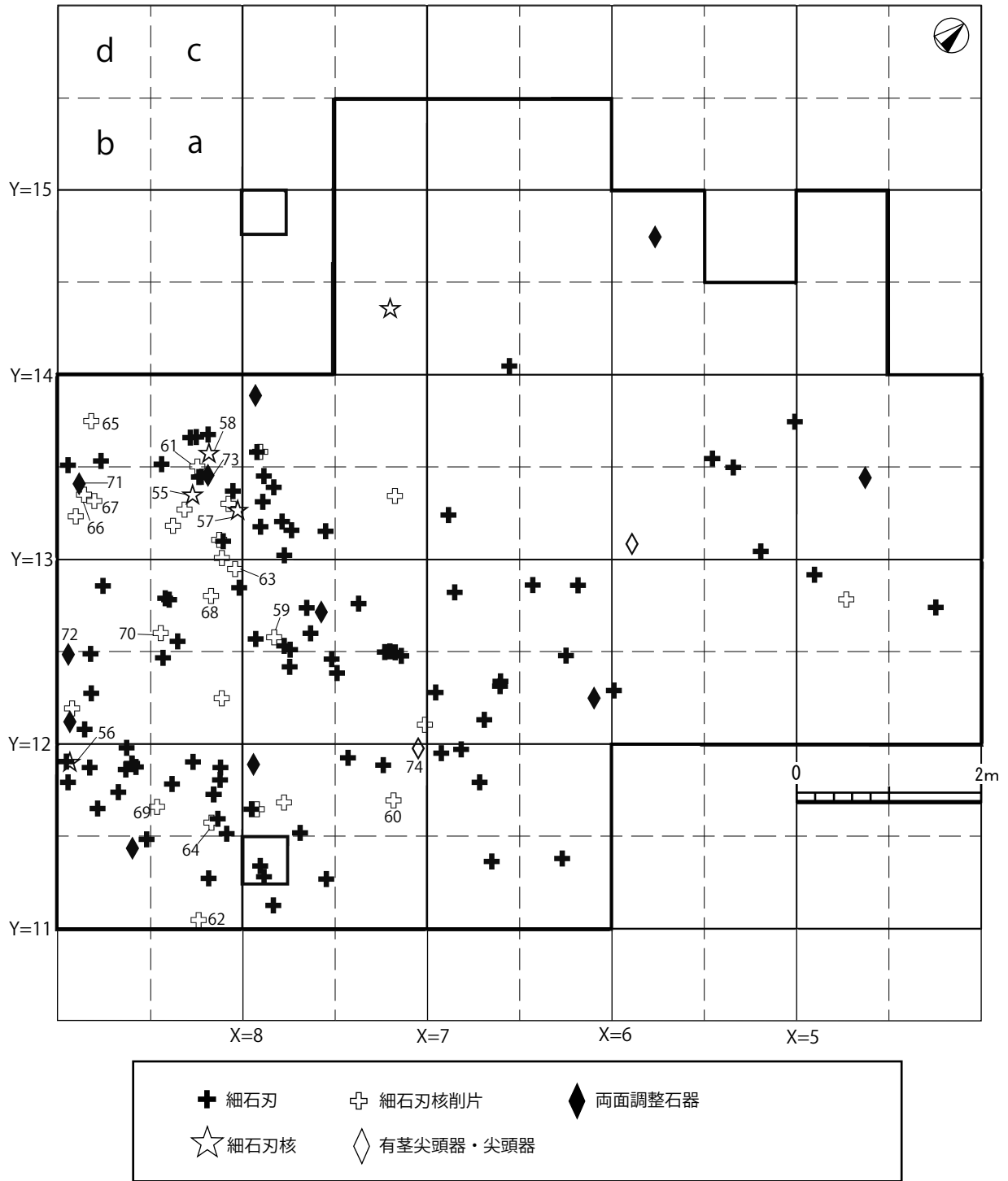


図 39 ブロック 2B の遺物分布（細石刃関連遺物・尖頭器類・両面調整石器）

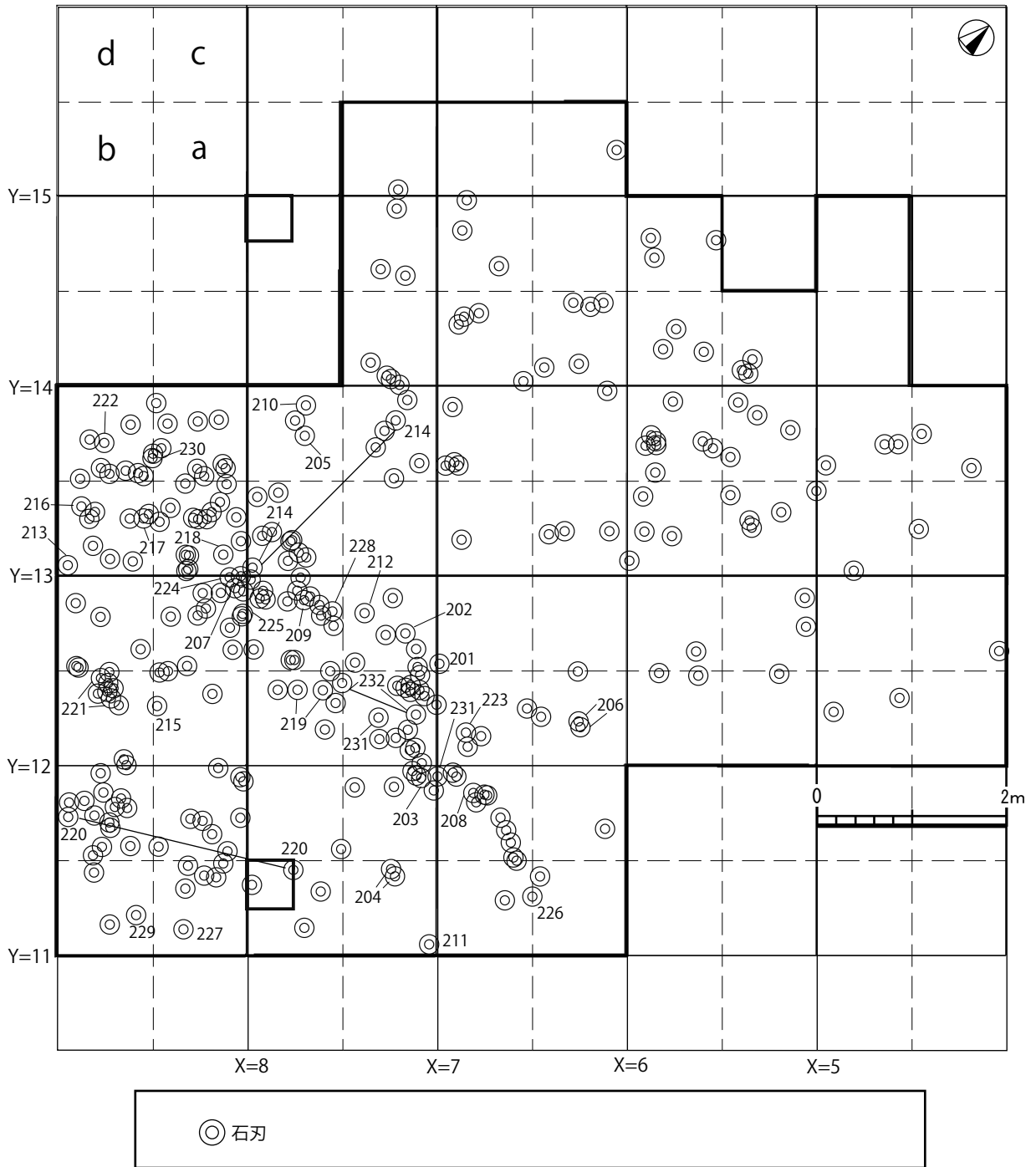


図 40 ブロック 2B の遺物分布 (石刃)

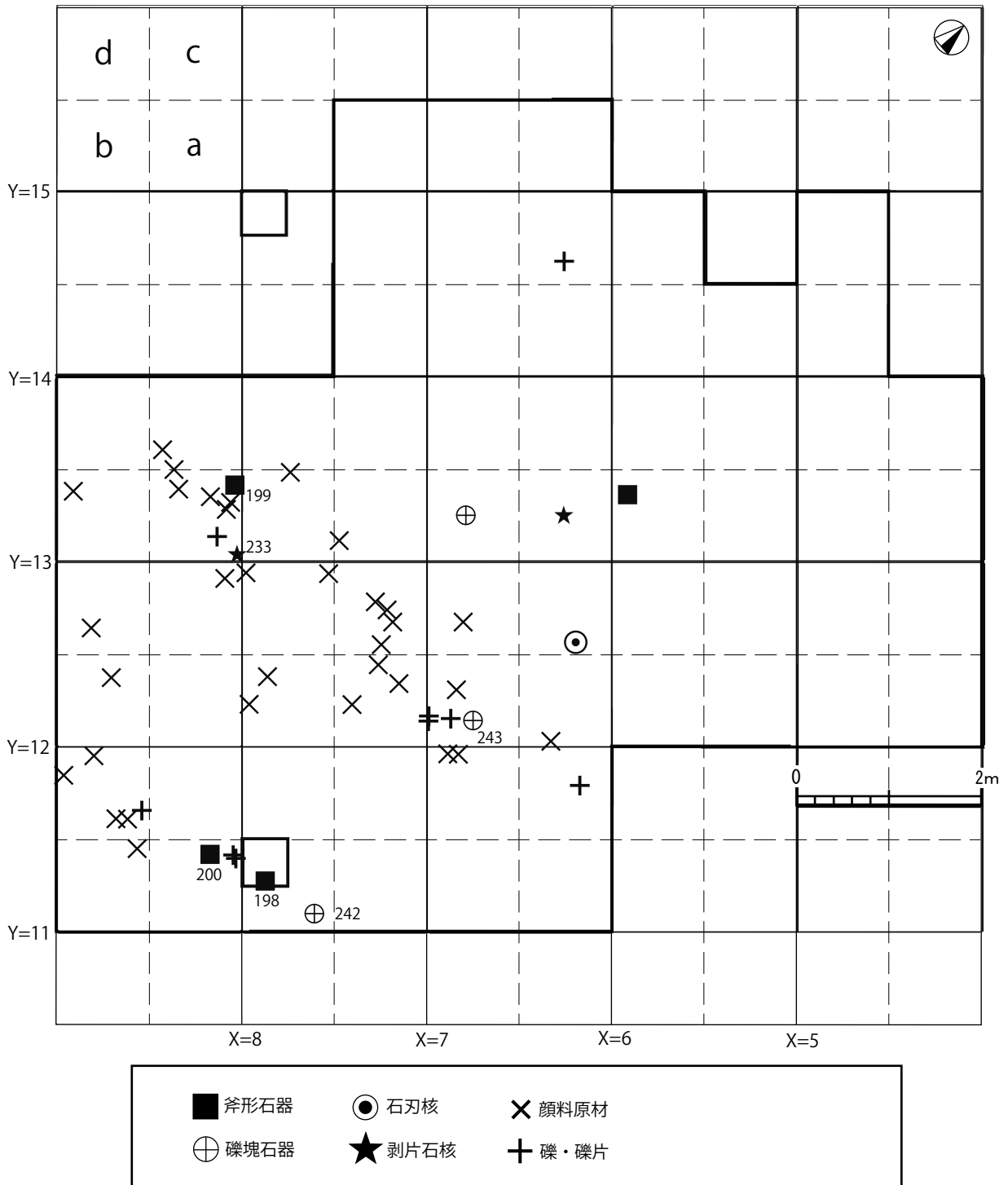


図 41 ブロック 2B の遺物分布 (斧形石器・礫塊石器・石核・顔料原材・礫)

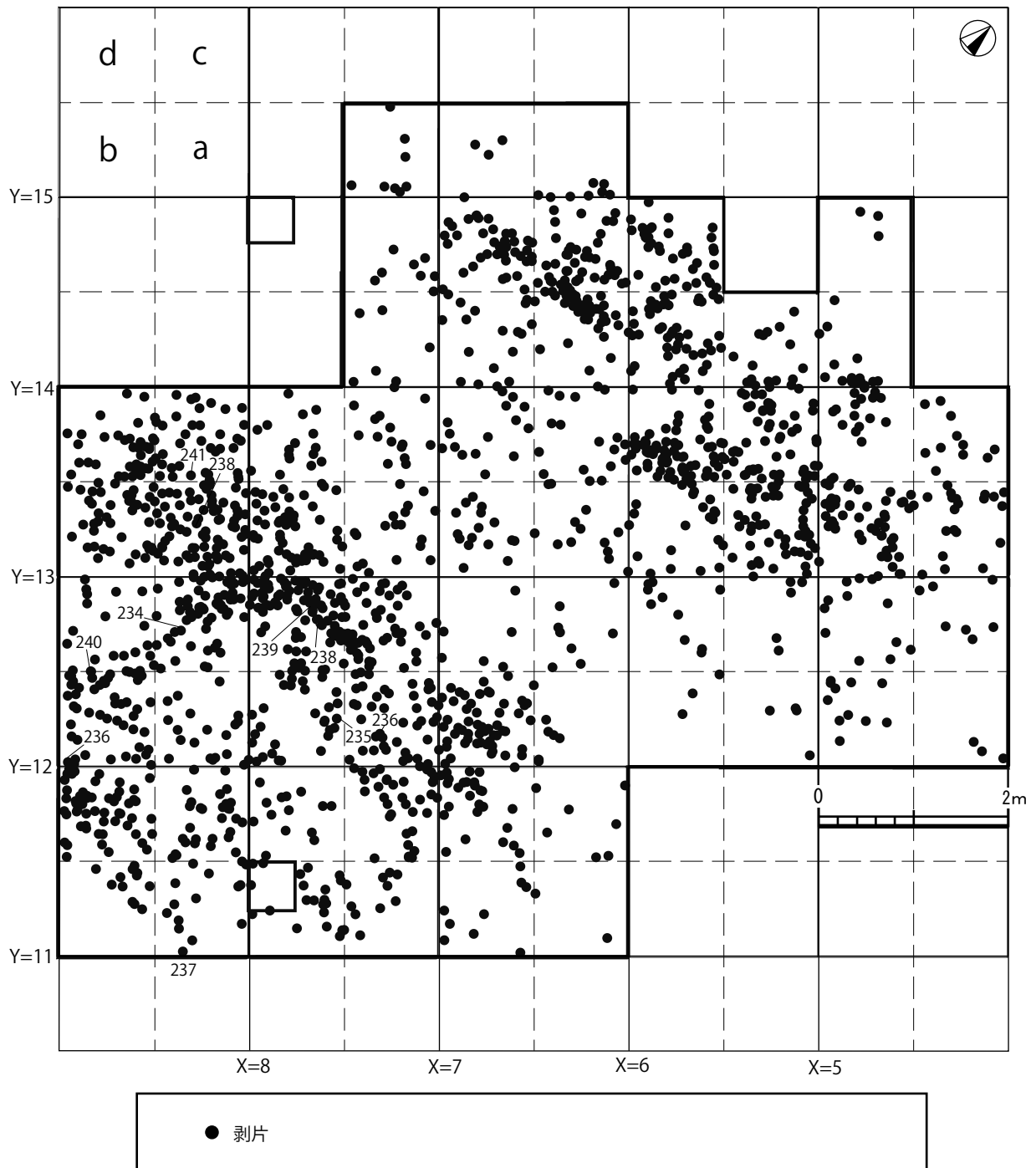


図 42 ブロック 2B の遺物分布 (剥片)

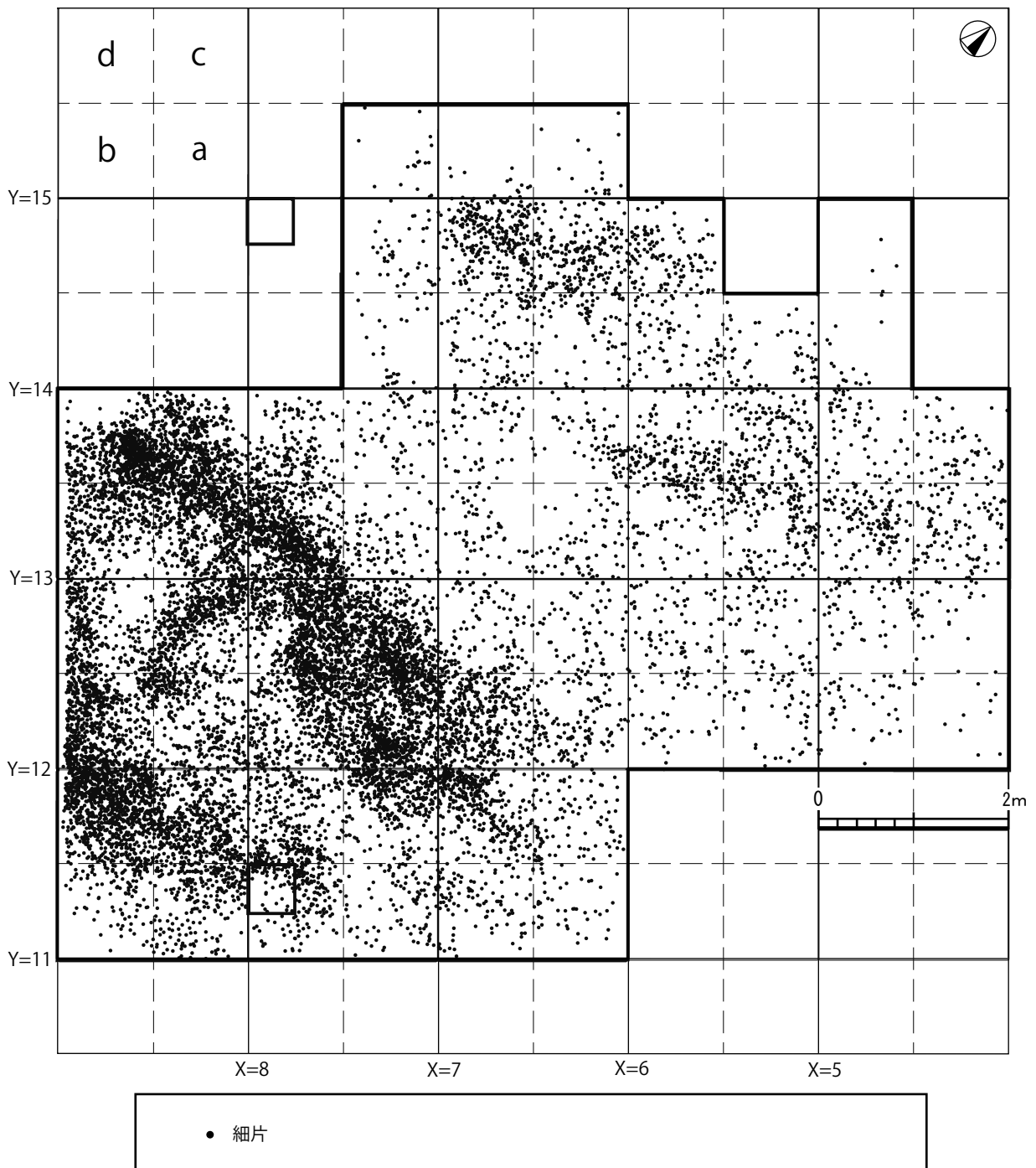


図 43 ブロック 2B の遺物分布（細片）

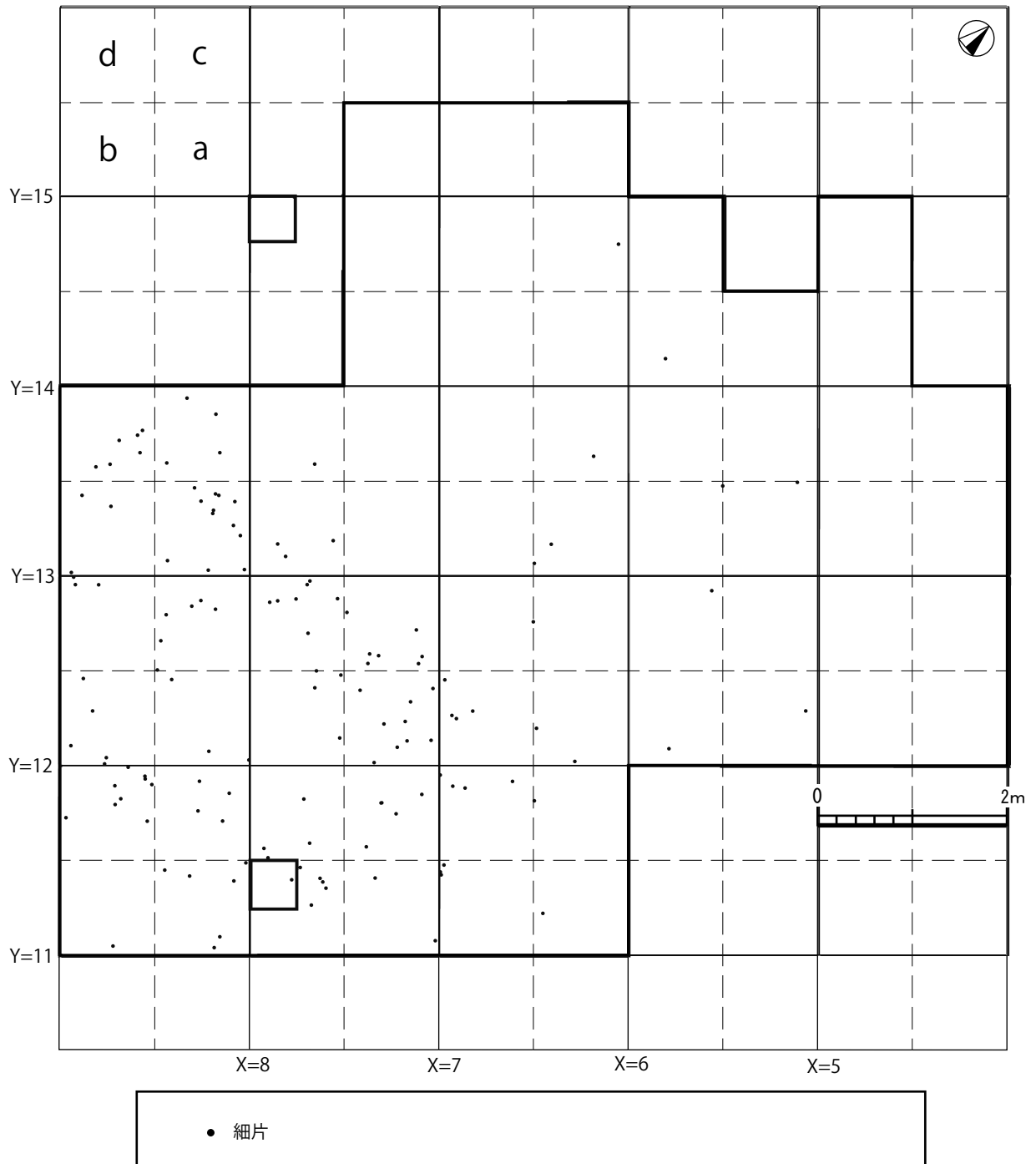


図 44 ブロック 2B の遺物分布 (両極打撃痕のある細片)

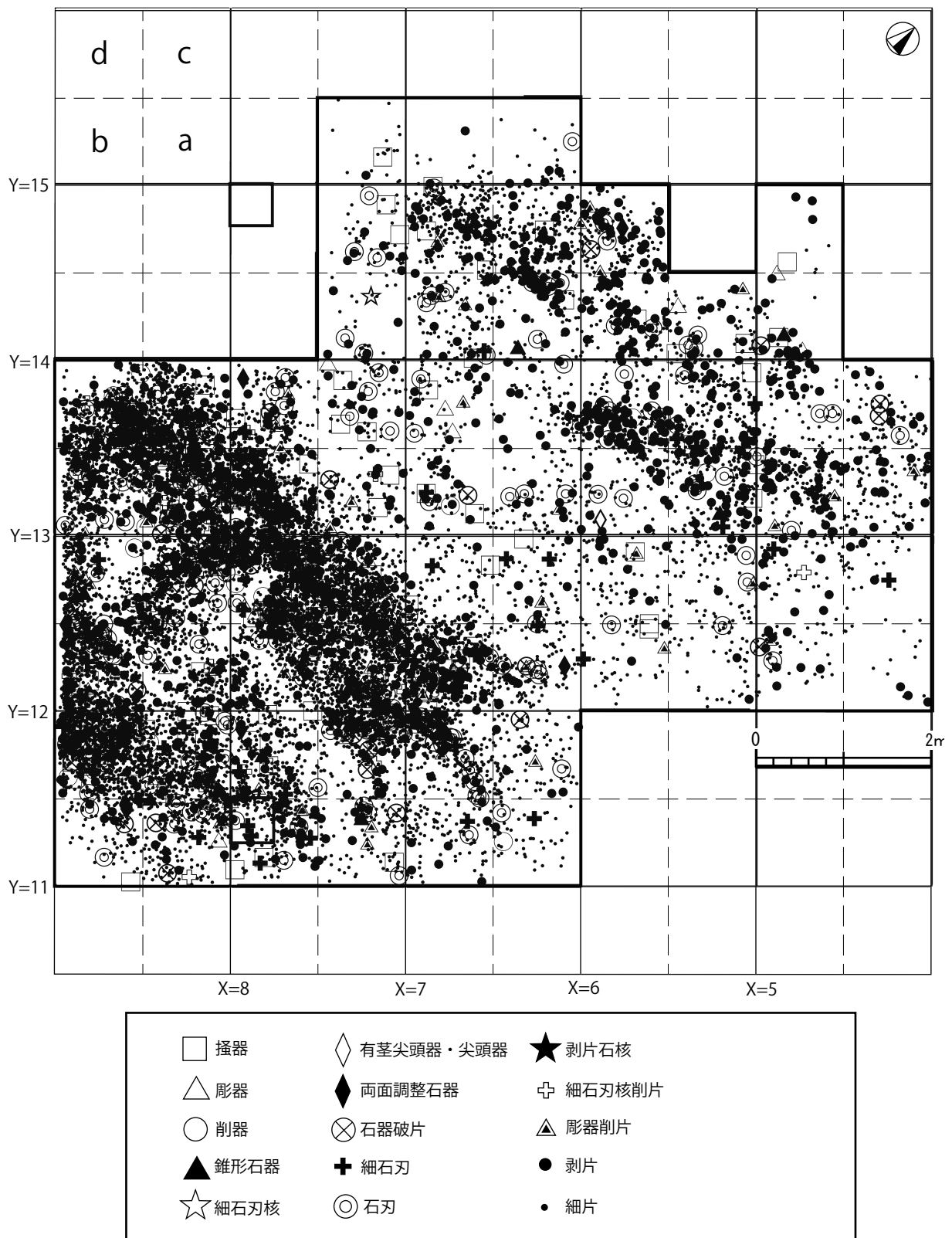


図 45 ブロック 2B の遺物分布（黒曜石）

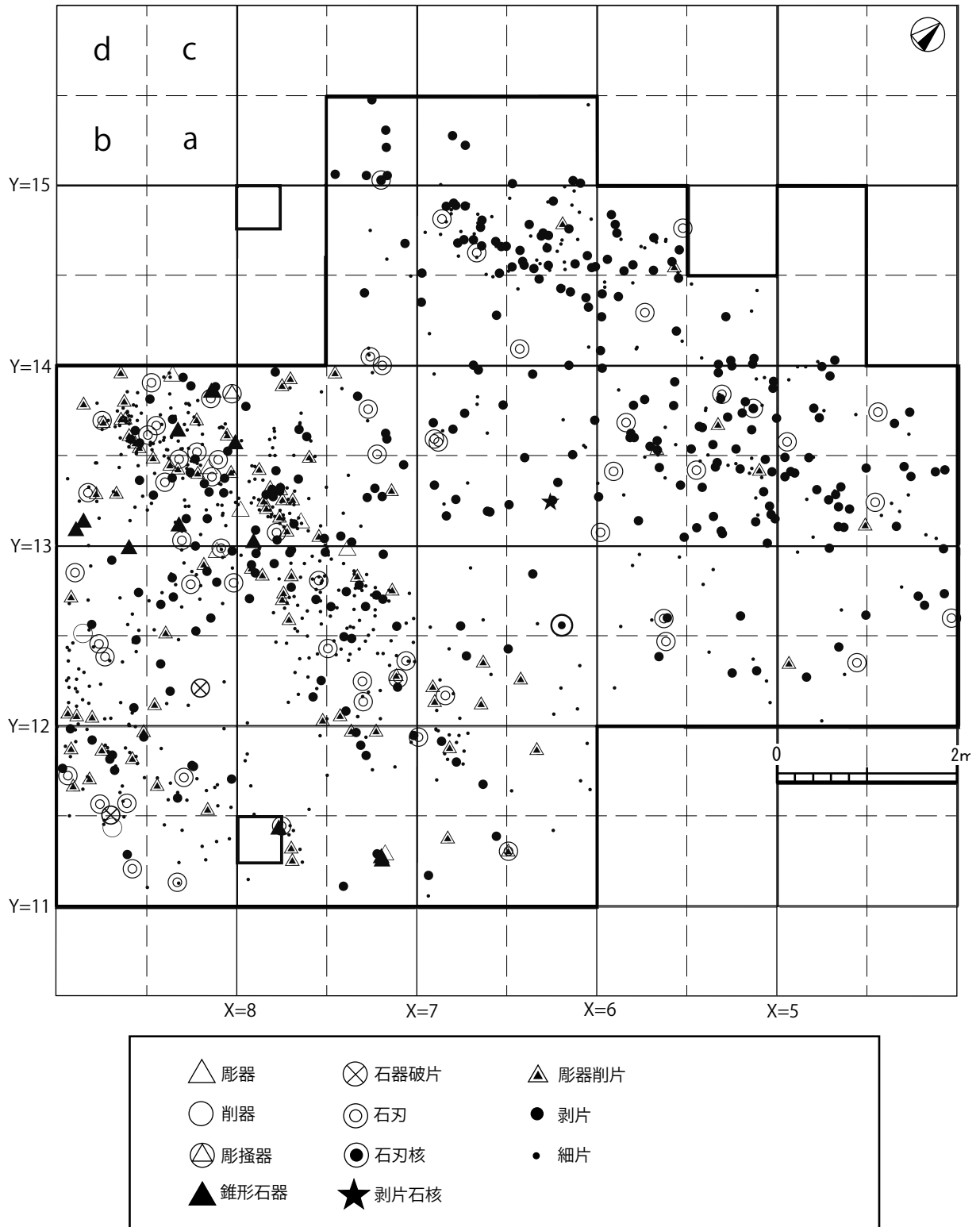


図 46 ブロック 2B の遺物分布 (頁岩)

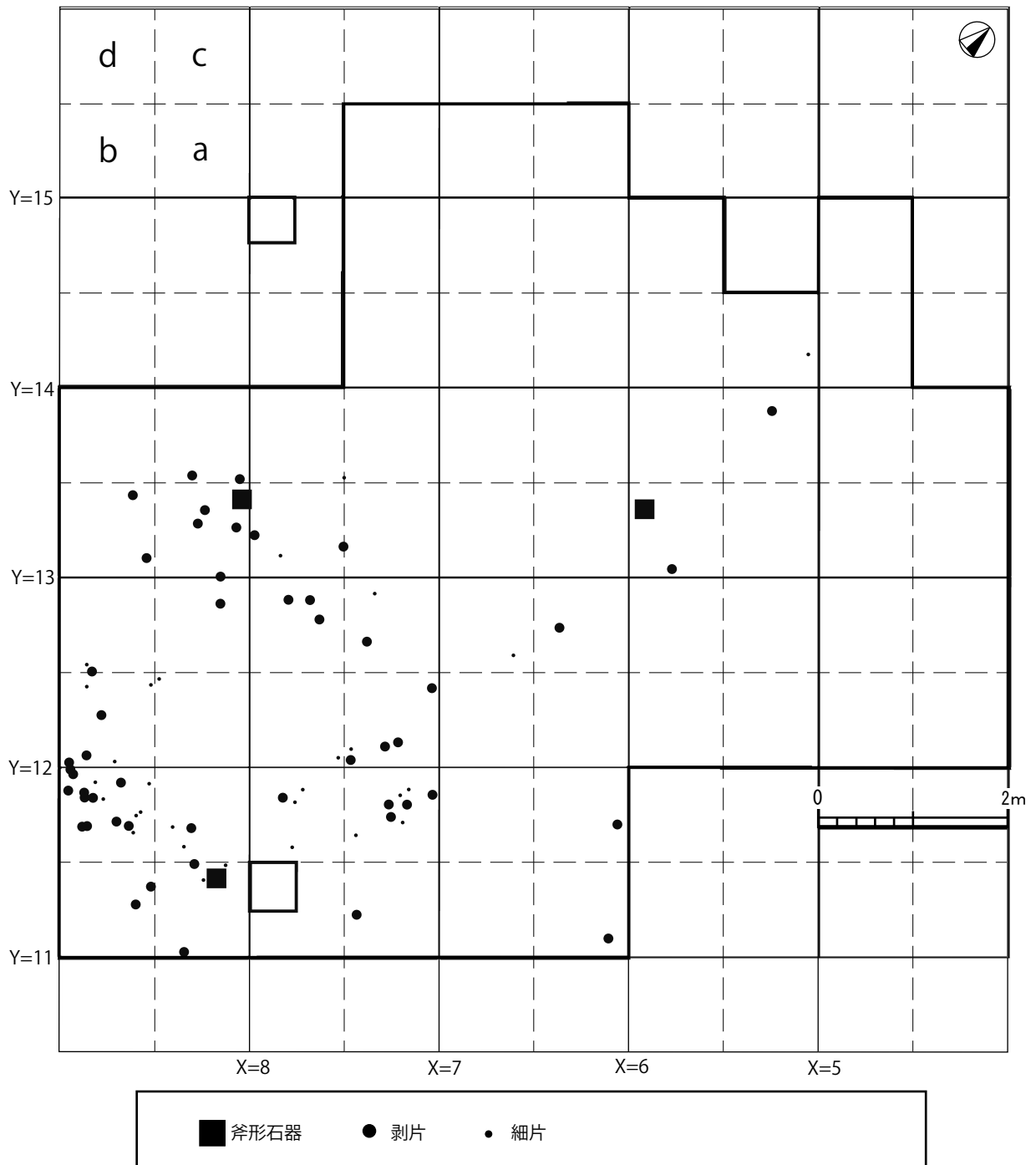


図47 ブロック2Bの遺物分布(凝灰岩)

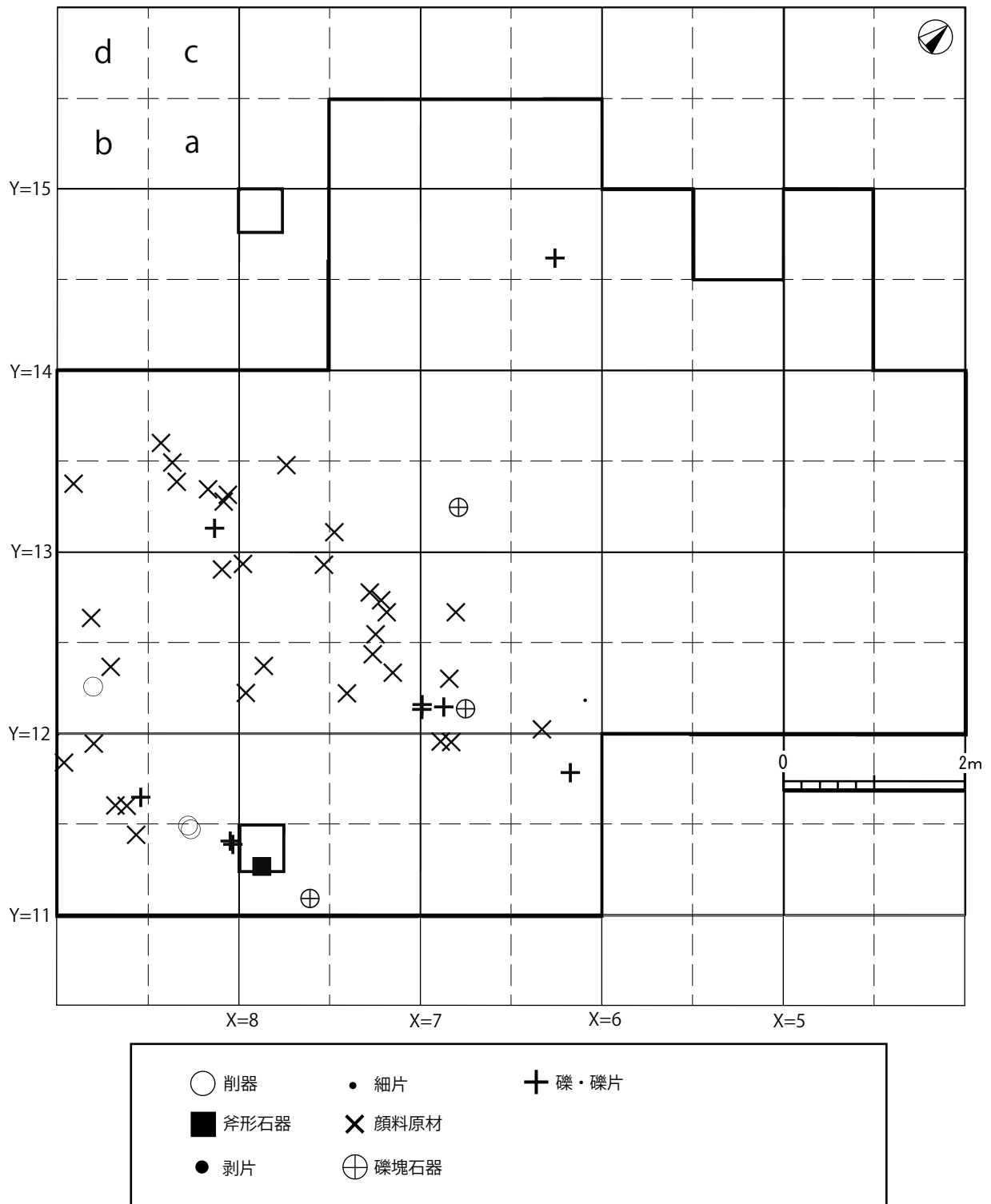


図 48 ブロック 2B の遺物分布 (その他石材)

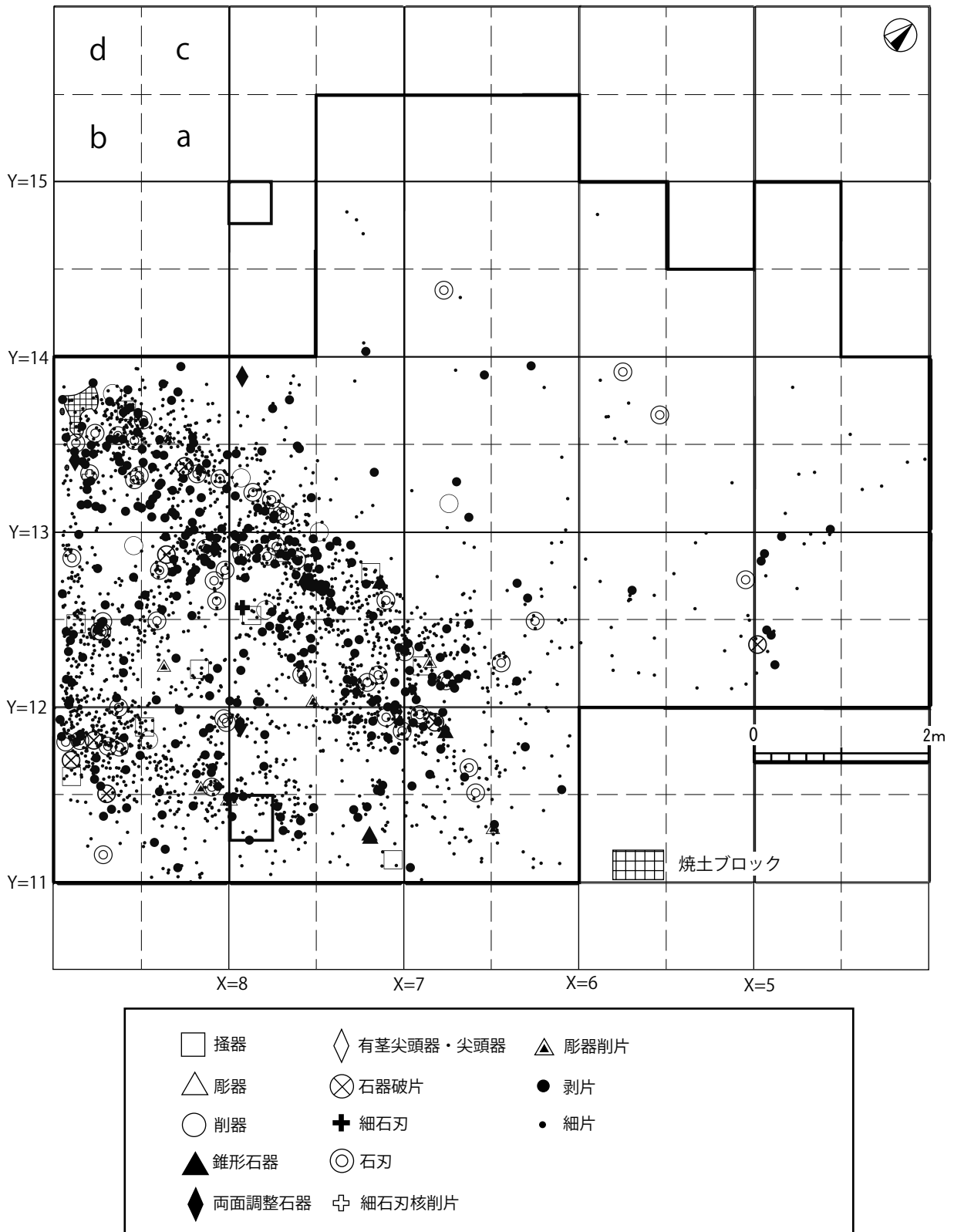


図 49 ブロック 2B の遺物分布 (被熱石器)

第四節 接合資料

接合資料 a (図 50・56 左上)

黒曜石製の忍路子型細石刃核 1 点 (a-1) と細石刃核削片 1 点 (a-2) の接合資料である。a-1 は両面調整石器を素材とし、a-2 の二次削片の剥離によって打面が形成されている。細石刃核 (a-1) の打面幅は器体の幅より狭く、主な細石刃剥離は 4 枚で、細石刃剥離作業面の長さは 1.8cm、細石刃剥離痕の最大幅は 0.3cm 程度である。細石刃核削片 (a-2) は打面部を欠損しており、打面再生のための削片かどうかは確認できない。

細石刃核 (a-1) は 7-14a 区出土で、ブロック 2A においても 2B よりの範囲に分布する。細石刃核削片 (a-2) は 8-12c 区でブロック 2B の範囲に分布する。南北方向に約 3m 離れた資料が接合している。

接合資料 b (図 50・56 右上)

黒曜石製の細石刃核削片 2 点 (b-1 と b-2) の接合資料で、b-2 の二次削片の上に b-1 の一次削片が接合する。どちらの細石刃核削片も打面部付近が欠損している。両側面には細石刃核素材上縁方向からの細かな剥離痕が観察される。これらの削片剥離によって最大幅 0.4cm 程度の細石刃核の打面が形成されたとみられる。

先行して剥離された一次削片 (b-1) は 7-12d 区、次の二次削片 (b-2) は 8-11c 区から出土し、全てブロック 2B の範囲に分布する。南北方向に 2.4m ほど離れた資料の接合である。

接合資料 c (図 50・56 左下)

黒曜石製の細石刃核削片 2 点 (c-1 と c-2) の接合資料で、c-2 の二次削片の上に c-1 の二次削片が接合する。c-1 はほぼ完形で、c-2 は打面付近と末端部が欠損している。細石刃核削片の右側面には平坦な一枚の剥離面が残り、左側面には打面方向からの細かな剥離が観察される。c-2 の削片剥離によって形成された細石刃核の打面幅は 0.6cm 程度と推測される。

先行して剥離された c-1 の二次削片は 8-11c 区、続く c-2 の二次削片は 8-13b 区から出土し、全てブロック 2B の範囲に分布する。東西方向に 3m ほど離れた資料が接合している。

接合資料 d (図 50・56 右下)

頁岩製の彫器 (d-1) と彫器削片 (d-2) が接合する。d-2 は打面付近が欠損する。d-1 は彫刀面が腹面側に傾く彫器で、彫器削片 (d-2) が接合した状態でも腹面側に傾く。幅 0.4cm 程度の d-2 の削片剥離の後に、彫器 (d-1) に彫刀面付近の先端部背面調整が施されている。

彫器 (d-1) は 7-13d 区、彫器削片 (d-2) は 7-12d 区から出土した。接合距離は 1m に満たず、ブロック 2B 内で近接して分布する。

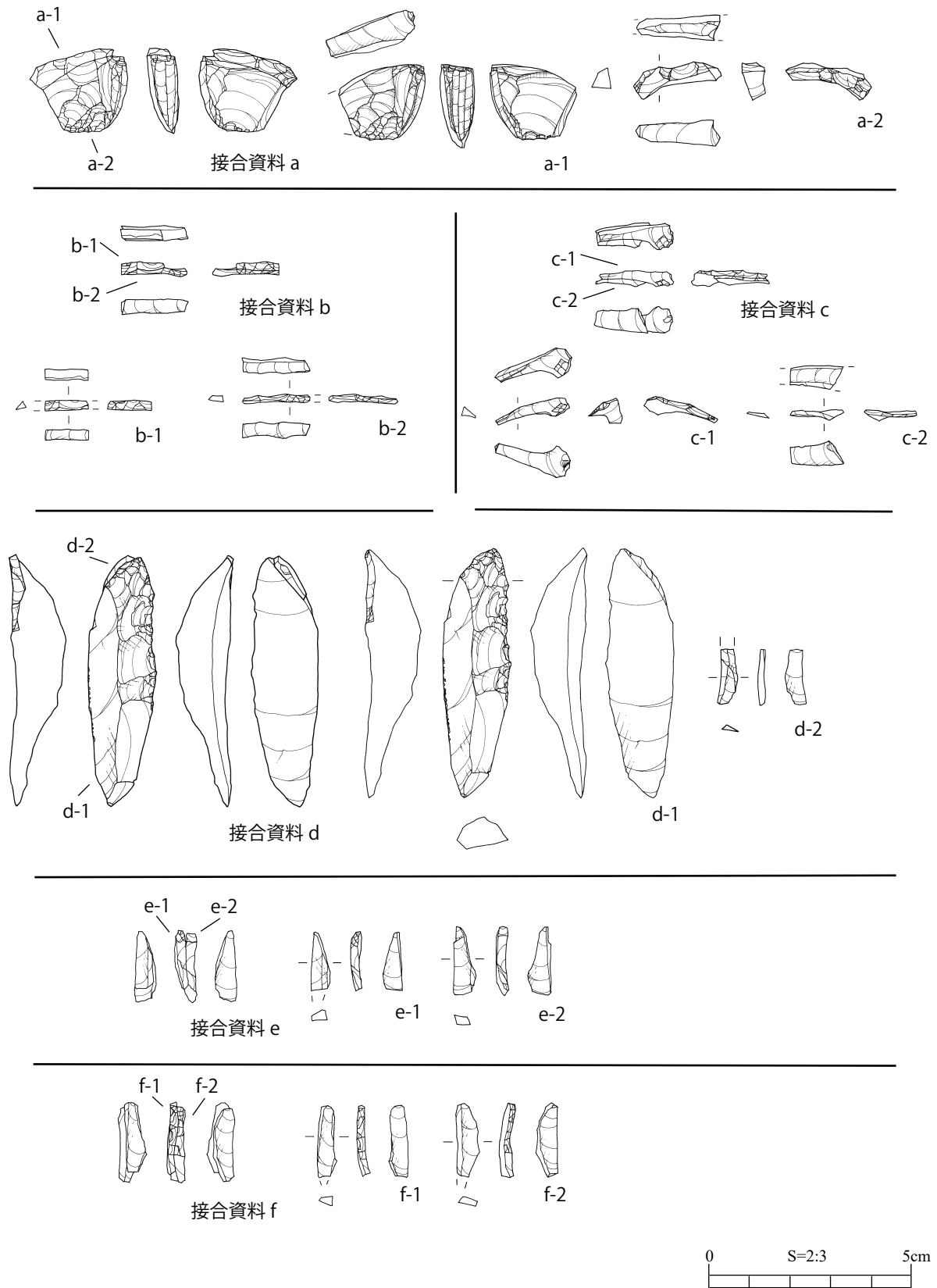


図 50 ブロック 2B の接合資料 (接合資料 a~f)

接合資料 e (図 50・57 左上)

頁岩製の彫器削片 2 点 (e-1 と e-2) の接合資料で、両方とも二次削片である。e-1 は末端が欠損する。彫器の背面における先端部調整の痕跡はない。これら二枚の削片剥離によって腹面側に傾く彫刀面が形成されたと推測される。

先行して剥離された e-1 は 7-13b 区、e-2 は 8-13d 区から出土し、全てブロック 2B 内に分布する。南北方向に 2.5m ほど離れた資料が接合している。

接合資料 f (図 50・57 右上)

頁岩製の彫器削片 2 点 (f-1 と f-2) が接合する。両方とも二次削片で、右側面には f-1 の背面を打面とした背面先端部調整が確認される。背面の二面が成す角度は鈍角であり、削片剥離された彫器の彫刀面は腹面側に傾いていた可能性が高い。

両方とも 8-11d 区内から出土し、近接して分布する。

接合資料 g (図 51・57 左下)

黒曜石製の搔器 3 点 (g-2・g-3・g-4) と石刃 (g-1) 1 点が接合する。g-1 は小形石刃で打面側を欠損している。g-2 と g-3 は中形石刃を素材としてその末端部に搔器刃部が作出され、g-4 は大形石刃を素材に打面側に刃部加工がなされる。それぞれの搔器の側縁には削器様の連続的な加工はなく、素材石刃の形状を概ねとどめている。剥離順序は g-1 → g-2 → g-3 → g-4 である。

g-1 の石刃は 7-11c 区、g-3 は 7-13a 区でブロック 2B の範囲から出土した。g-2 は 6-14d 区、g-4 は 5-13a 区でブロック 2A の範囲から出土した。個々の資料は広い範囲に分布し、出土位置の間隔は 3～6m ほど離れている。遺跡内で石刃剥離され、石刃あるいは搔器の状態でブロック間を移動したと考えられる。

接合資料 h (図 51・57 右下)

黒曜石製の石刃の折面接合資料 1 点 (h-1) と削器 1 点 (h-2) の接合資料で、石刃剥離過程を示す。剥離された石刃は末広がり、末端部付近で湾曲が大きい。削器 (h-2) の長さが 6cm 程度で、石刃核下面を取り込んでいるため、剥離された石刃核の作業面長はそれを大きく超えないサイズであると推測される。黒曜石は灰色を呈し、光沢のにぶい特徴的な石質である。2007～2013 年度出土の黒曜石の産地分析において、同石質の黒曜石が用いられた試料は全て留辺蘂産と判別されている (ファーガソン 2014)。h-2 の削器は被熱により変色し、白みがかっている。

折面接合した石刃 (h-1) は 5-13d 区のブロック 2A の範囲に分布し、削器 (h-2) は 7-13b 区のブロック 2B の範囲に分布する。南北方向に約 5m 離れた資料が接合している。この石質の黒曜石は、2A では 77 点あり、削片剥離の証拠となる接合資料も複数あるが、ブロック 2B では 17 点と数は多くない。削器 (h-2) は、ブロック 2B 側で被熱したとみられる。

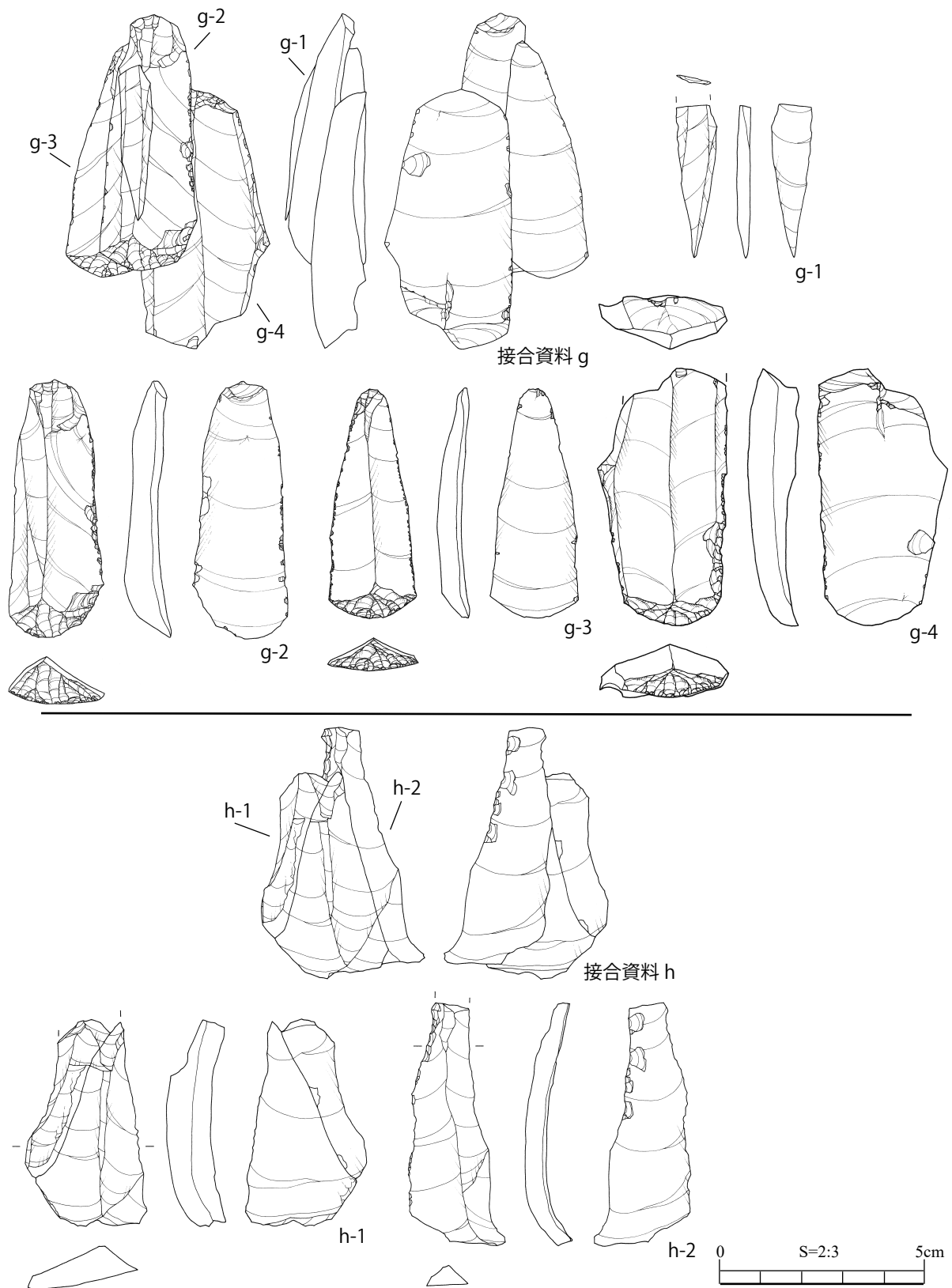


図 51 ブロック 2B の接合資料 (接合資料 g・h)

接合資料 i (図 52・58 左上)

頁岩製の石刃の基部片 1 点 (i-1)、折面接合した石刃 1 点 (i-2)、剥片 3 点 (i-3~5) が接合し、石刃剥離過程を示す。剥片 3 点は石刃核の打面調整・再生に関連する剥片である。石刃は、i-1 中形石刃 → i-2 小形石刃の順に剥離される。剥片は i-5 → i-3 → i-4 の順に接合し、接合する石刃は i-5 剥離後に作出されている。

i-2 の折面接合の石刃を構成する資料 4 点はブロック 2A 西側で、東西方向に散らばって分布する。i-2 の石刃と i-1 の石刃、i-4 と i-5 の剥片はブロック 2A 内の比較的近い範囲に分布するが、i-3 の剥片は 7-11c 区のブロック 2B 内から出土している。i-3 の剥片の移動は斜面方向とは異なり、単純に埋没後過程によるものと判断できないが、この剥片には二次加工や顕著な微小剥離痕など使用を示唆する痕跡は観察されない。

接合資料 j (図 52・58 右上)

黒曜石製の石刃 1 点 (j-1) と石刃の折面接合 1 点 (j-2) が接合する。それぞれ基部と末端部を欠損する。石刃剥離過程を示す接合資料で、j-1 の小形石刃 → j-2 中形石刃の順に剥離されている。

j-1 の石刃は 7-12c 区のブロック 2B の範囲から出土した。j-2 の折面接合石刃の内、1 点は 7-13c 区でブロック 2A の範囲から、もう 1 点は 7-13b 区のブロック 2B の範囲から出土するが、南北方向に 2m ほどしか離れていない。それぞれ約 2m 程度離れ、比較的近接した分布を示す。

接合資料 k (図 53・58 左下)

黒曜石の石刃基部片 2 点 (k-1 と k-2) と剥片 2 点 (k-3 と k-4) が接合し、石刃剥離過程を示す。k-1 の小形石刃 → k-2 中形石刃の順に剥離される。k-1 と k-2 は石刃核の打面調整・再生の剥片で、k-3 の剥片剥離後に、2 点の石刃 (k-1 と k-2) が剥離され、その後に k-4 の剥片剥離で石刃核の打面が再生されたようである。k-4 の背面打面付近は階段状剥離が進行していることから、打角の鈍角化が原因で打面が再生された可能性がある。

石刃 2 点 (k-1 と k-2) は 7-13d 区、k-4 の剥片は 7-13b 区から出土し、ブロック 2B 内の近い範囲に分布する。k-3 の剥片は 7-14c 区のブロック 2A 内に分布するが、接合する石刃 (k-1 と k-2) とは北方方向に 2m 程度しか離れていない。

接合資料 l (図 53・58 右下)

頁岩の剥片 2 点 (l-1 と l-2) の接合資料である。l-1 剥片の打面に石刃剥離痕が残ることから、これらは石刃核の打面調整・再生の過程で剥離されたと考えられる。l-1 → l-2 の順に剥離される。

l-1 の剥片は 7-12c 区のブロック 2B の範囲から、l-2 の剥片は 5-14a 区のブロック 2A の範囲から出土し、南北方向に 5m 離れて分布する。それぞれの出土位置が遺棄的狀況を示すとすれば、ブロック 2B から 2A へと石刃核を移動して剥離作業が行われたことになる。

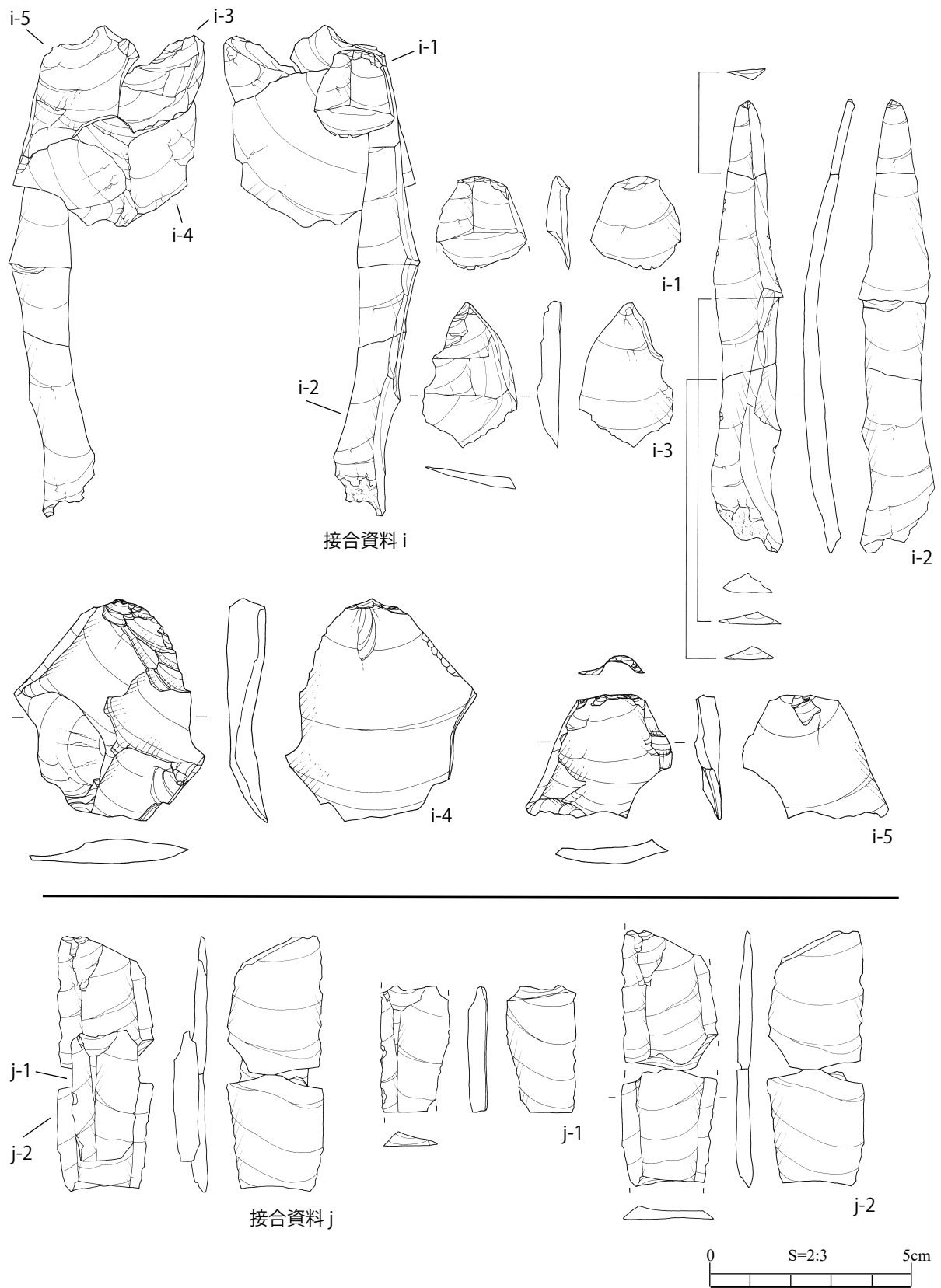


図 52 ブロック 2B の接合資料 (接合資料 i・j)

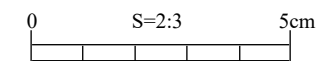
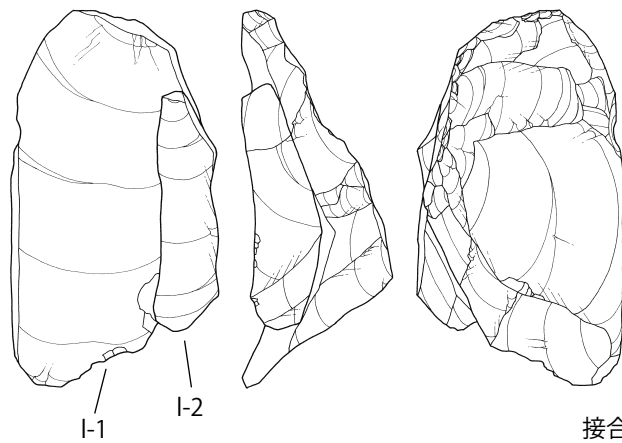
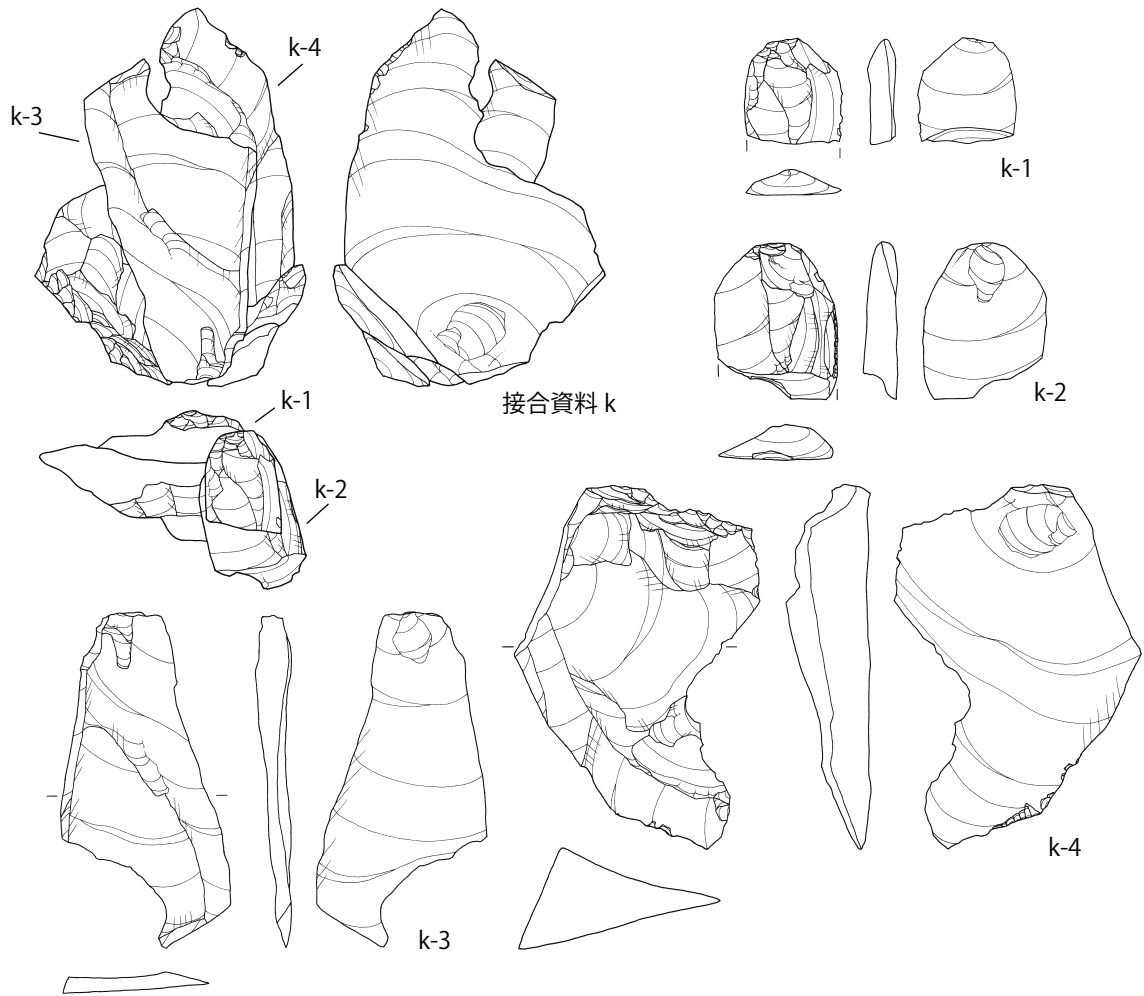


図 53 ブロック 2B の接合資料 (接合資料 k・l)

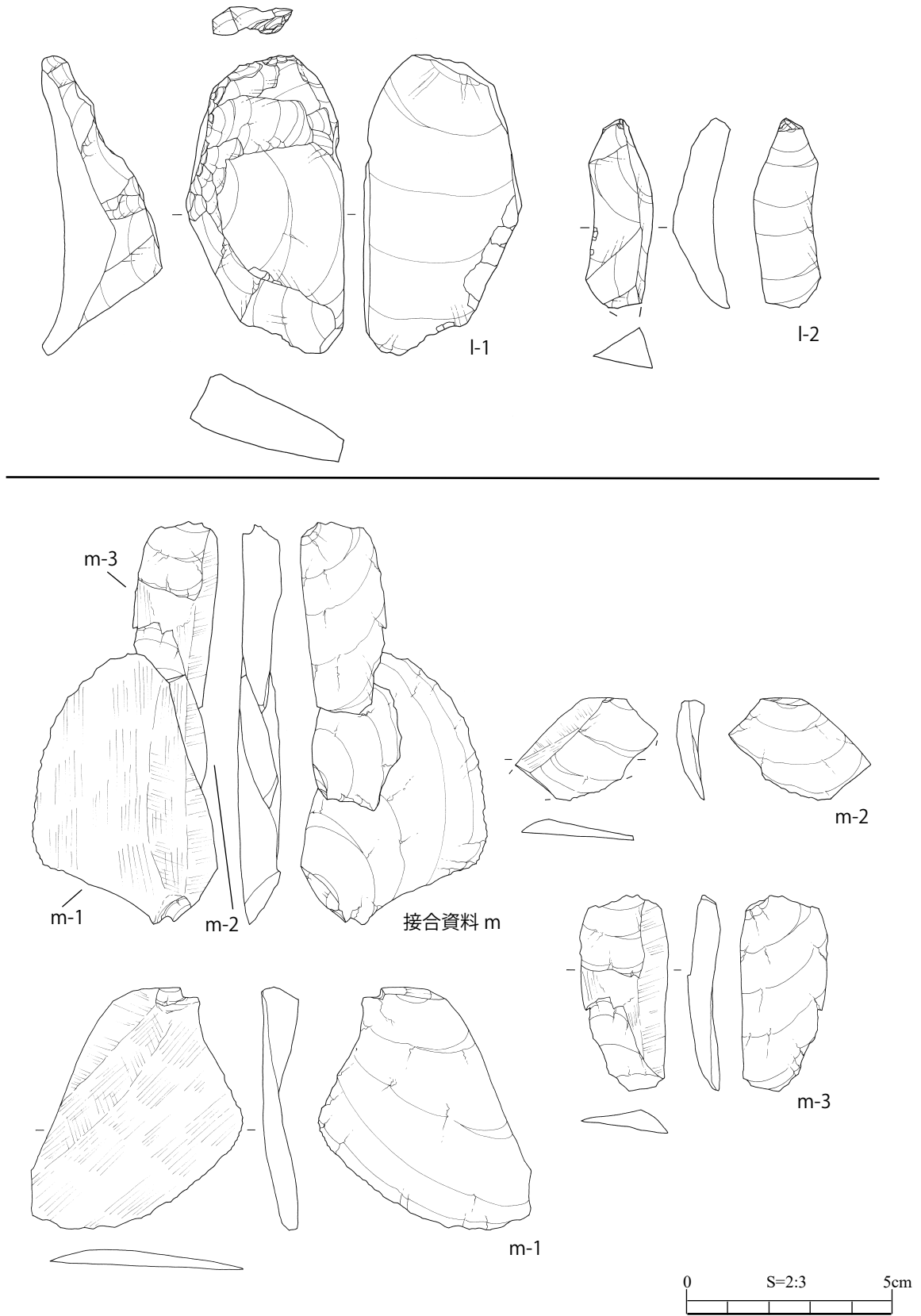


図 54 ブロック 2B の接合資料 (接合資料 1・m)

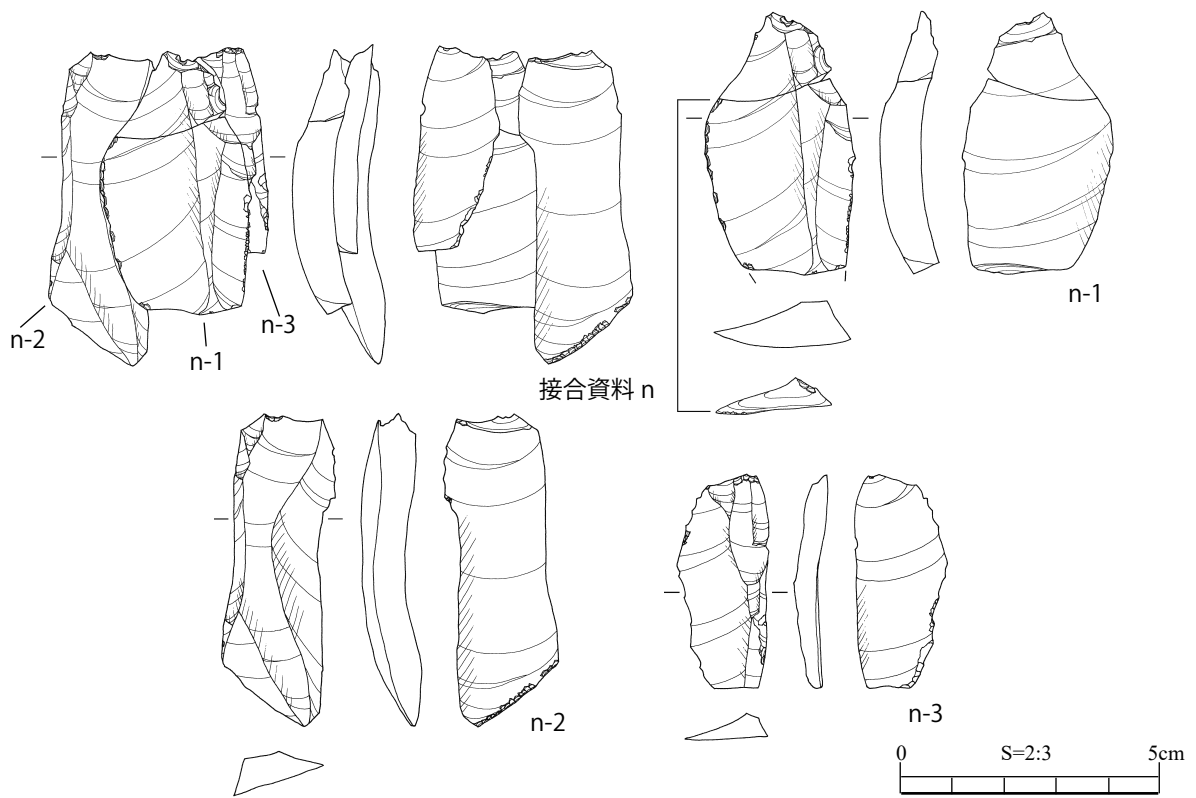
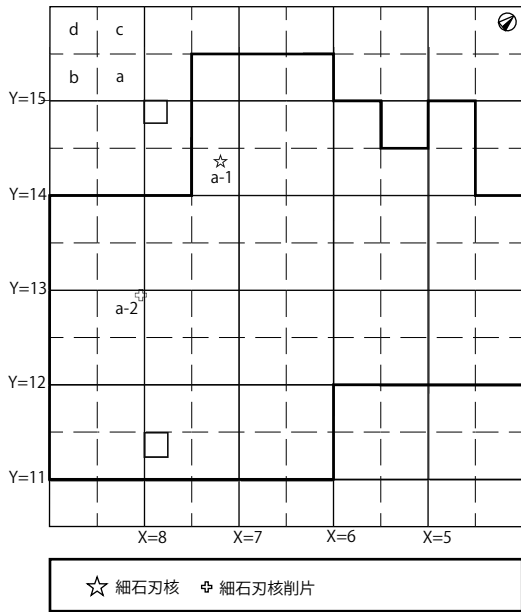
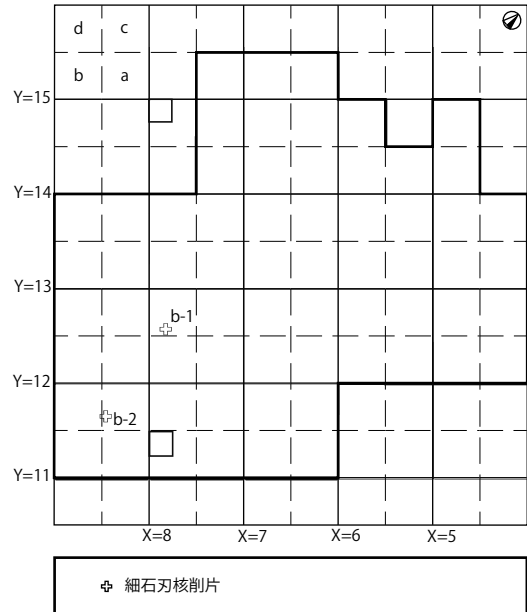


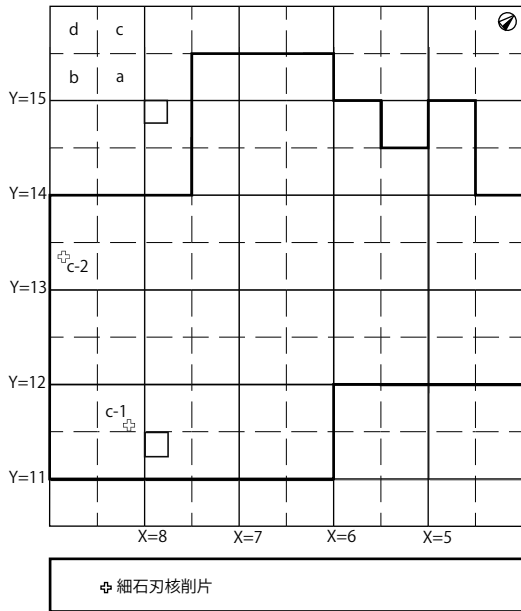
図 55 ブロック 2B の接合資料 (接合資料 n)



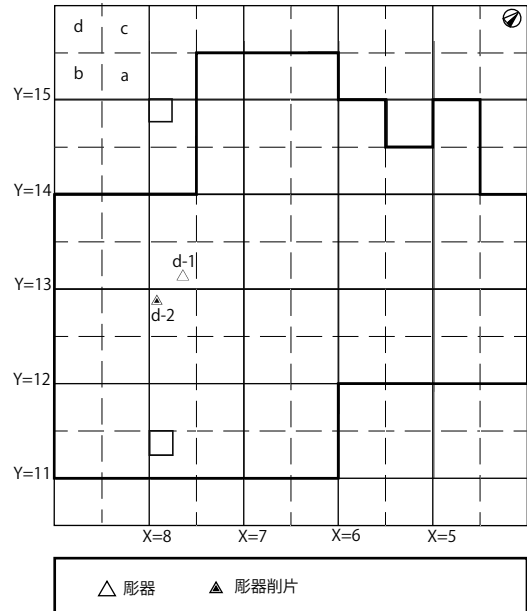
接合資料 a



接合資料 b

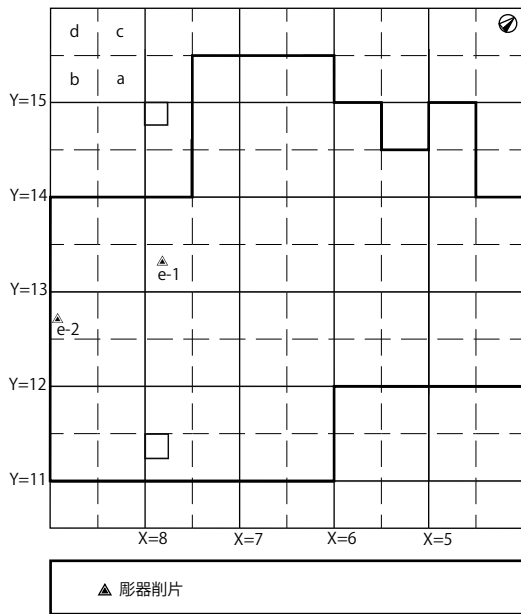


接合資料 c

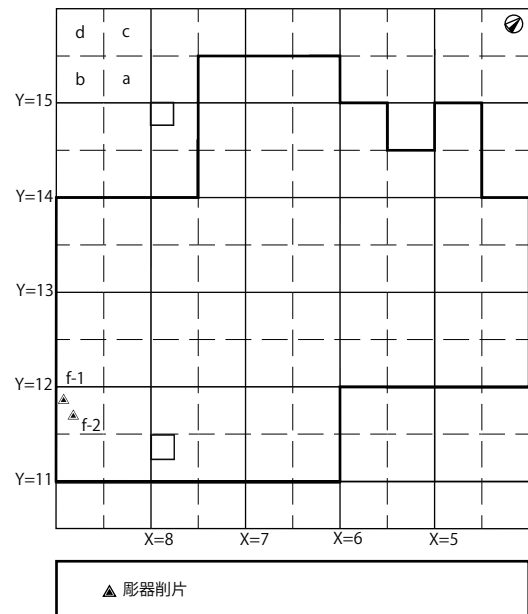


接合資料 d

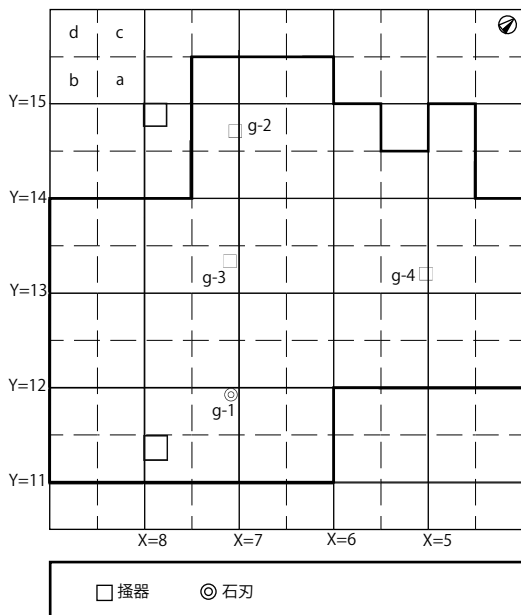
図 56 ブロック 2B の接合資料分布 (接合資料 a~d)



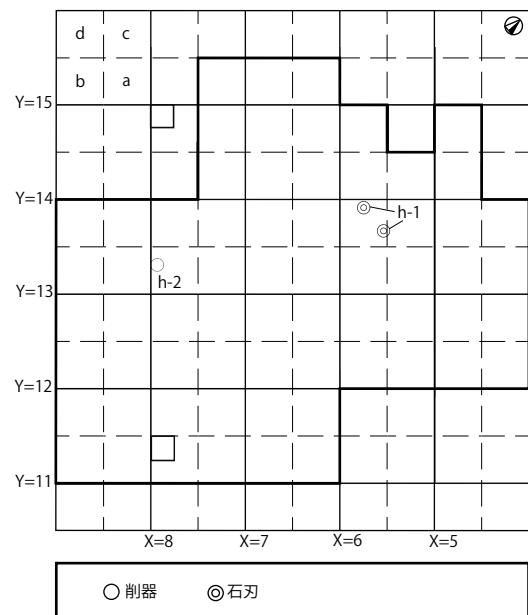
接合資料 e



接合資料 f

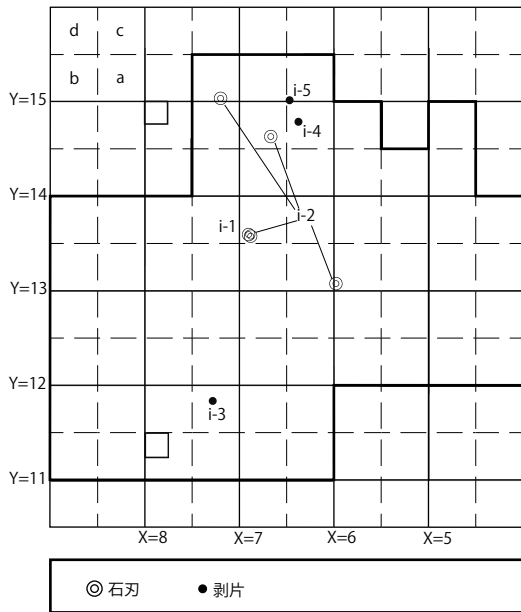


接合資料 g

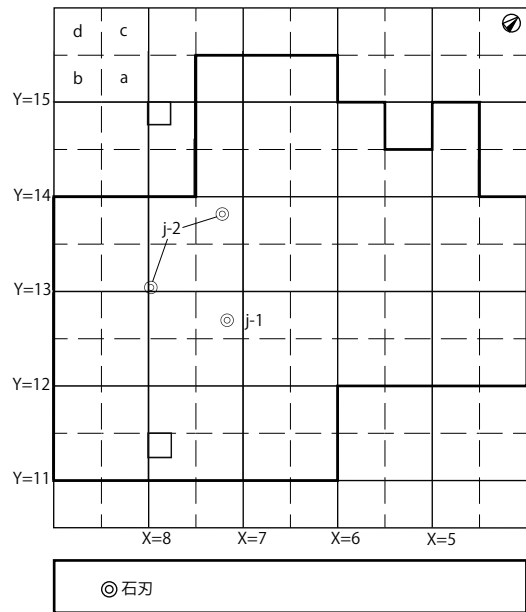


接合資料 h

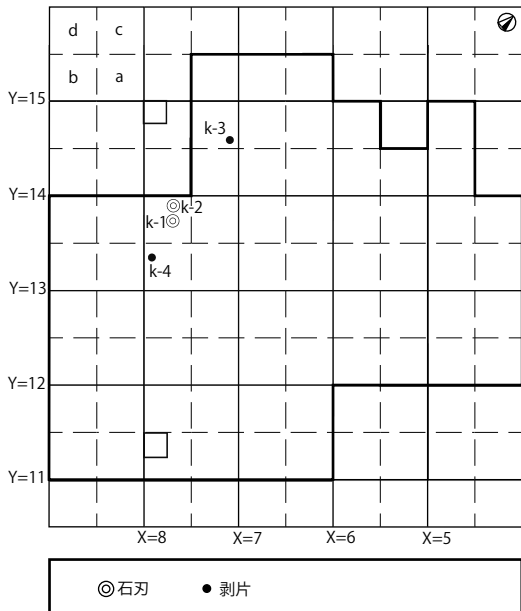
図 57 ブロック 2B の接合資料分布 (接合資料 e~h)



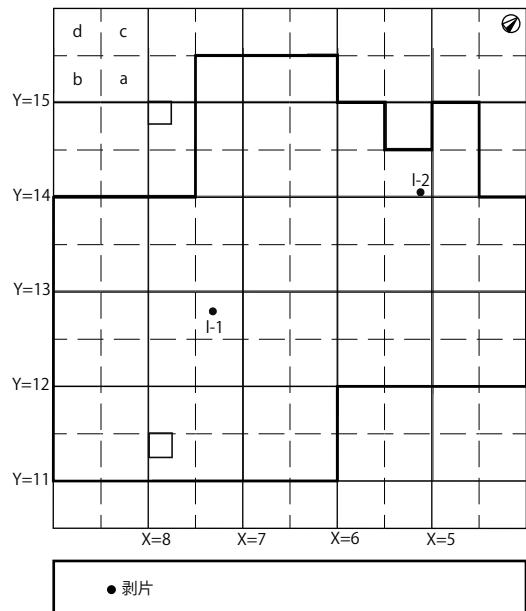
接合資料 i



接合資料 j

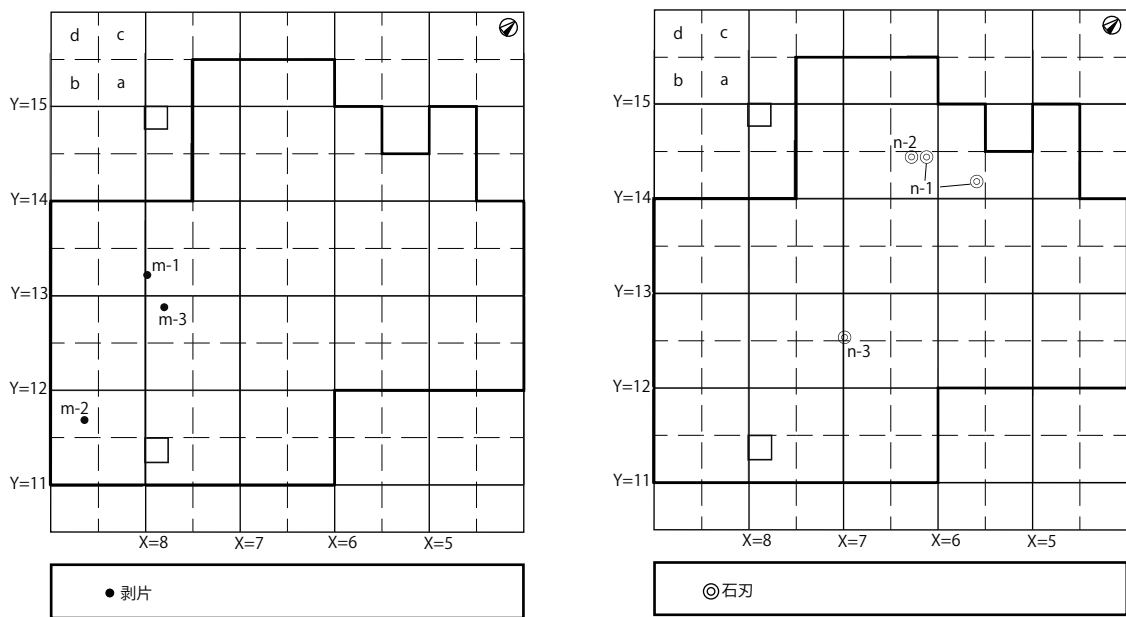


接合資料 k



接合資料 l

図 58 ブロック 2B の接合資料分布 (接合資料 i~l)



接合資料 m

接合資料 n

図 59 ブロック 2B の接合資料分布 (接合資料 m・n)

接合資料 m (図 59 左上)

凝灰岩の剥片 3 点 (m-1~3) の接合資料である。剥片の背面に顕著な研磨痕を有することから、斧形石器の再生加工に伴う剥片と考えられる。m-1 → m-2 → m-3 の順で剥離される。m-1 と m-3 は斧形石器の刃部と基部側から剥離されている。剥片が剥離された斧形石器の長さは 10cm 程度と推定される。

全てブロック 2B の範囲に分布する。m-1 は 7-13b 区、m-3 は 7-12d 区から出土し、分布が近い。しかし、m-1 は 8-11d 区から出土しており、m-1 と m-3 の間に挟まる接合資料であるが、分布は南に 3m ほど離れている。

接合資料 n (図 60 右上)

黒曜石の折面接合石刃 1 点 (n-1)、石刃 2 点 (n-2 と n-3) が接合し、石刃剥離過程を示す。留辺蘂産の可能性のある灰色の石質の黒曜石が利用されている。n-1 → n-2 ・ n-3 の順に短寸の石刃が剥離されている。

n-1 の折面接合石刃は 5-14b 区と 6-14a 区、n-2 は 6-14a 区から出土し、それぞれブロック 2A 内の近い範囲に分布する。n-3 は 6-13d 区のブロック 2B に分布し、それ以外とは 4m ほど南に離れている。

第五節 ブロック 1・2A・3 の接合資料

(追加報告)

接合資料 o (図 60・66 左上)

黒曜石製の折面接合の搔器 1 点 (o-1)、剥片 5 点 (o-2~6) からなる。黒曜石の産地分析では十勝三股産の判別結果が得られている (ファーガソン 2014)。搔器 (o-1) は分厚い剥片を素材とし、急角度 (60~90°) の刃部を形成したもので、端部だけでなく側縁への二次加工も顕著である。剥片 5 点は長さ 2cm を大きく超えない短い小形のもので、搔器の左側縁に接合することから、刃部調整剥片と考えられる。この刃部調整剥片は o-2 ・ 3 → o-4 → o-5 → o-6 の順に剥離されている。搔器 (o-1) は被熱による無数のヒビがみられるが、その他の剥片には被熱痕跡と判断できる変化は認められない。

全てブロック 1 の範囲から出土している。o-1 搔器の欠片 3 点はそれぞれ 3-4 ・ 4-4 区の近い範囲に分布するが、それに対し剥片 5 点は散在する傾向にあり、その 1 点は南側に離れている。ブロック 1 では集中部の西側が流路等の埋没後擾乱の影響を受けており (夏木 2016)、これにより剥片がやや散漫な分布となった可能性が高い。

接合資料 p (図 60・66 下)

黒曜石製大形石刃の折面接合資料である。右側面付であり、それを取り込むような二枚の石刃剥離痕が背面にみられる。左側縁に連続的微小剥離痕と破損が観察されるが、過去の分析において使用痕は検出されていない。

p-1 はブロック 1 から、p-2 はブロック 3 から出土しており、約 30m 離れた資料のブロック間接合である。

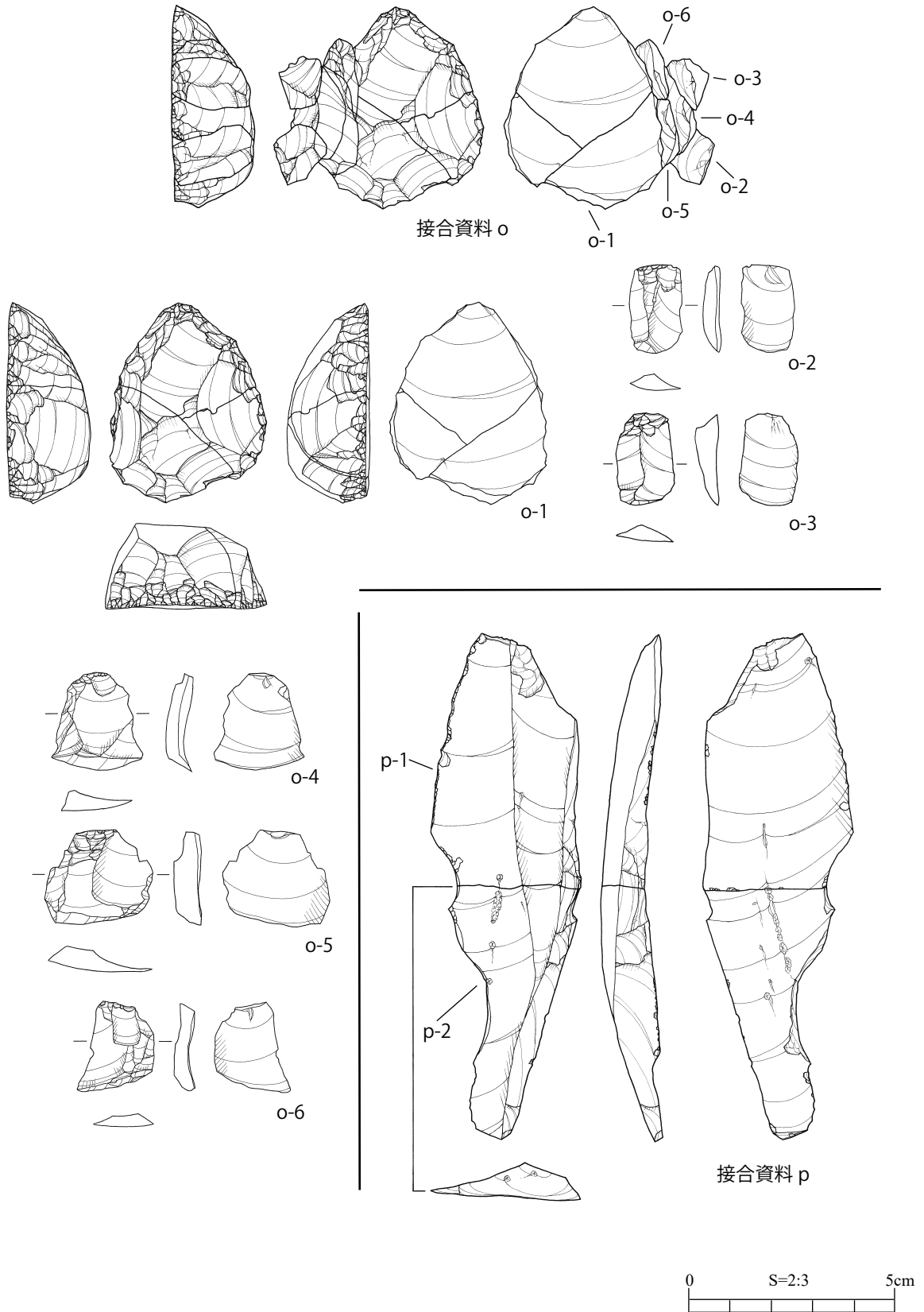


図 60 その他ブロックの接合資料（接合資料 o・p）

接合資料 q (図 61・62・66 右上)

黒曜石製で、両面調整石器 1 点 (q-1) と折面接合の石刃 2 点 (q-5 と q-6)、剥片 3 点 (q-2~4) が接合する。黒曜石は光沢のにぶい灰色を呈する石質で、留辺蘂産の可能性はある。q-1 は背面に垂円礫面を取り込む大形の剥片を素材とし、主に右側縁の背腹両面に調整剥離が施される。q-5 は稜付石刃であり、その腹面に中形石刃 q-6 の背面が接合し、石刃剥離開始時の過程を示す。石刃の折面接合 2 点 (q-5 と q-6) と剥片 3 点 (q-2~4) の背面が、両面調整石器 (q-1) の腹面に接合する。垂円礫を分割した剥片の一方から両面調整石器が作出され、もう一方では石刃核を準備し、石刃が剥離されたと考えられる。q-6 石刃の背面構成から、q-5 稜付石刃と q-6 石刃の間に少なくとも二枚の石刃・縦長剥片剥離が生じたことがうかがえる。

折面接合の稜付石刃 (q-5) は 5-13c 区と 5-14d 区から出土し、東西方向にわずかに離れて分布する。その他の両面調整石器 (q-1) や q-6 の石刃、剥片 (q-2~4) は概ね稜付石刃 (q-5) 付近にまとまっているが、東西方向約 3m の範囲に広がっている。ブロック 2A 出土石器のファブリック解析 (夏木 2016) では斜面方向への移動が示唆されていることから、本来はより近い位置にあったものが、土壌移行等により斜面方向に移動した可能性がある。したがって、ブロック 2A の北側で剥片剥離と石器製作作業が行われたという理解にとどまる。

接合資料 r (図 62・63・67 左上)

頁岩製で、剥片の折面接合資料 2 点 (r-4 と r-5) と剥片 4 点 (r-1~3) からなる接合資料である。r-1 と r-6 は短寸の稜付剥片で、r-1 は左右両方向、r-6 は右方向への稜調整が観察される。それ以外は縦長剥片であり、背面には複数枚の横方向の剥離からなる石刃核側面を取り込んでいる。r-4 と r-5 は剥離方向に直行するような節理面が原因で折れている。稜付剥片を除き、縦長剥片の全てに細かな剥離による頭部調整が認められる。稜付や側面付の縦長剥片から成り、石刃剥離の初期段階を示している。r-1 稜付剥片→r-2 縦長剥片→r-3 縦長剥片→r-4 縦長剥片→r-5 縦長剥片→r-6 稜付剥片の順に剥離されている。r-4 縦長剥片から r-6 稜付剥片の間に複数の縦長剥片あるいは石刃が生じたとみられるが、該当する資料は出土していない。

すべてブロック 2A の北側から出土し、東西 8m ほどの広い範囲に分かれて分布している。r-4 と r-5 の折面接合資料も東西に分離しており、埋没後過程の影響を被って遺物が再配置された可能性がある。

接合資料 s (図 63・64・67 右上)

黒曜石の剥片 4 点 (s-1~4) が接合する。黒曜石は留辺蘂産と推定される光沢のにぶい灰色を呈する石質である。s-1 は長さ 8cm を超える縦長剥片で、s-2~4 は中形の剥片である。全ての剥片の背面に垂円礫面が観察される。s-1 の左側縁には断続的微小剥離と部分加工があり、s-3 の右側縁末端付近にも部分加工がある。同一の打面から s-3 → s-4 の順に剥離され、横方向へ打面転移して s-2 → s-1 と剥離されている。接合した状態では長軸が 11cm ほどとなり、それをわずかに超えるサイズの垂円礫が用いられ

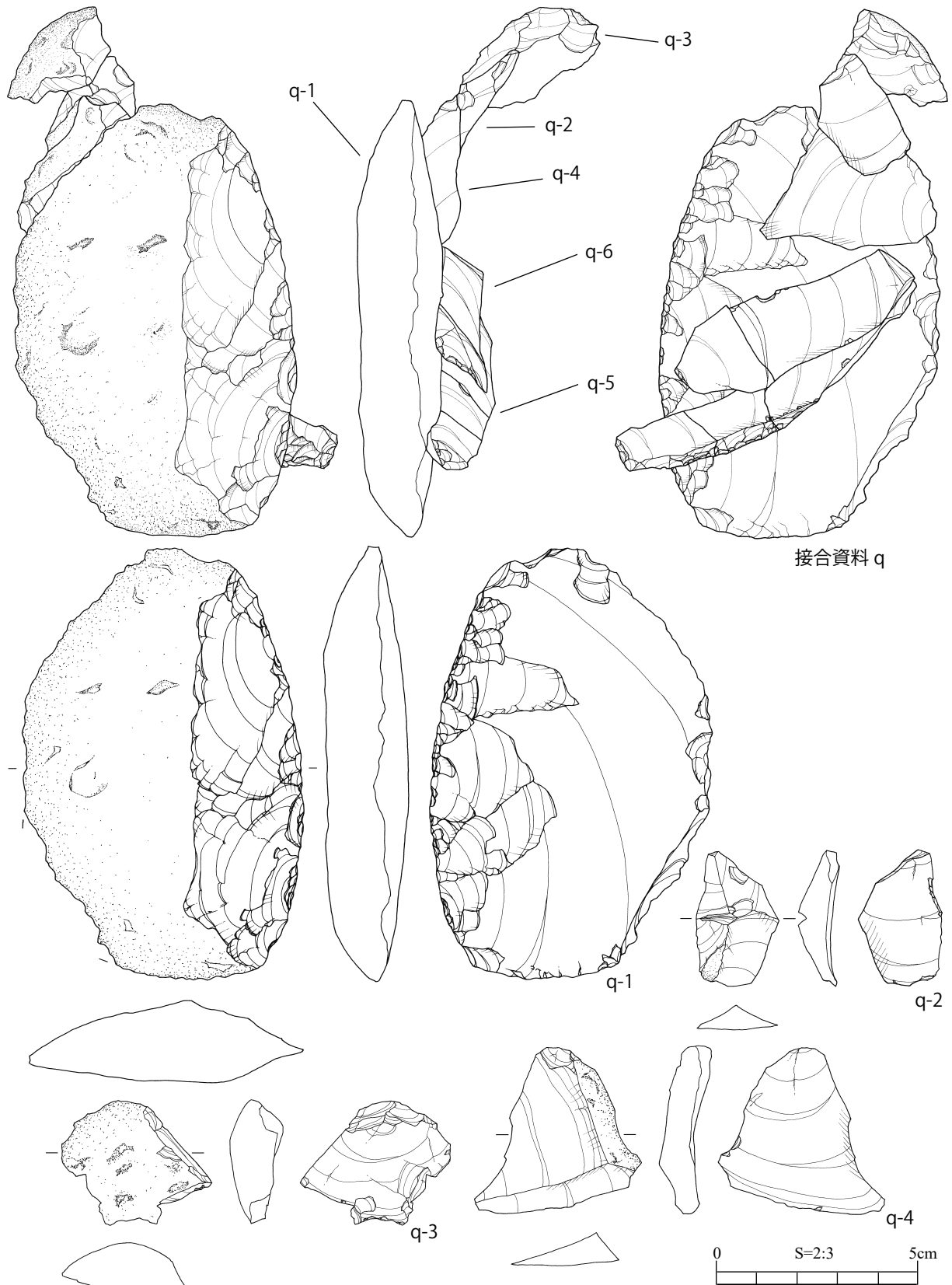


図 61 その他ブロックの接合資料 (接合資料 q)

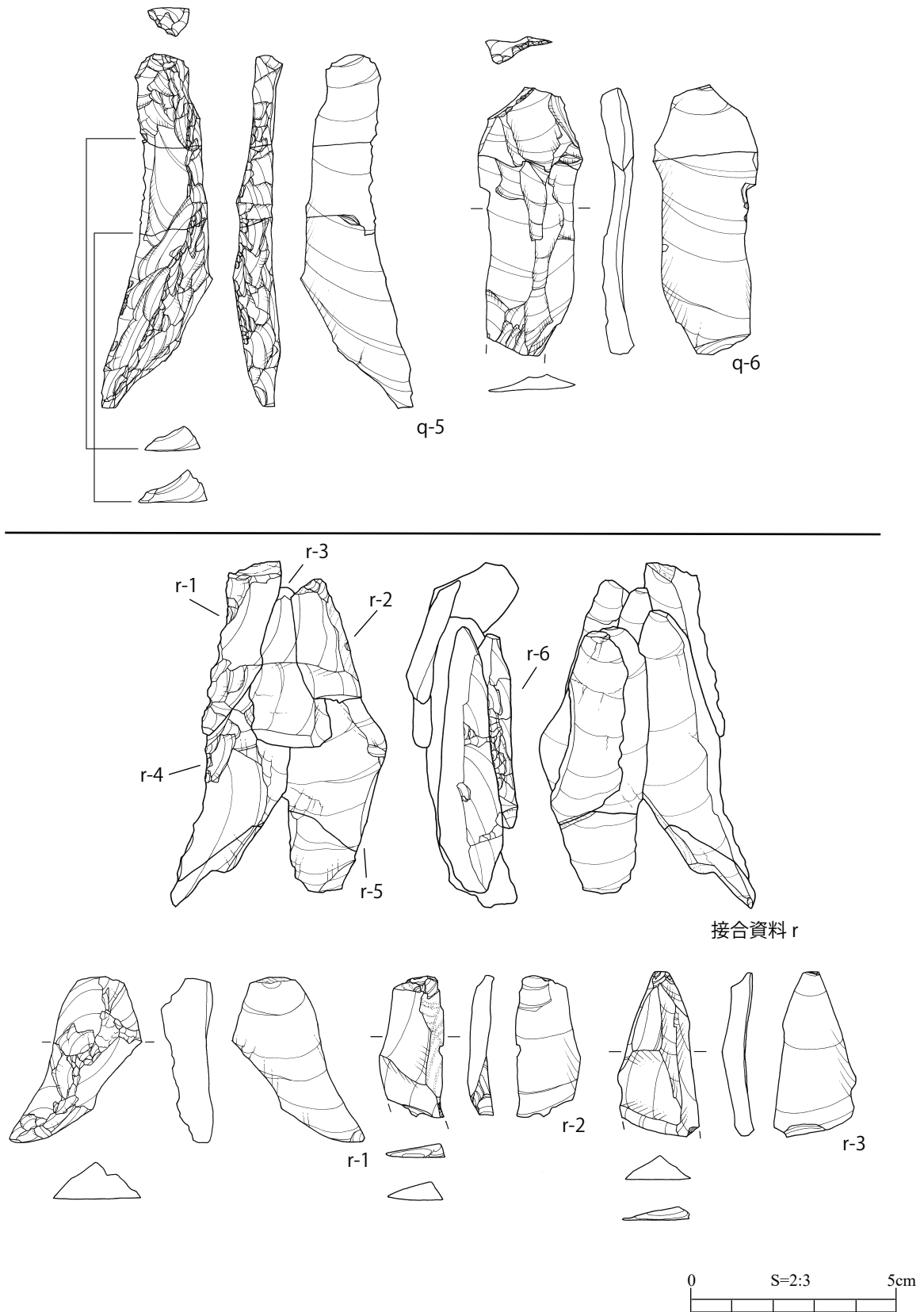


図 62 その他ブロックの接合資料（接合資料 q・r）

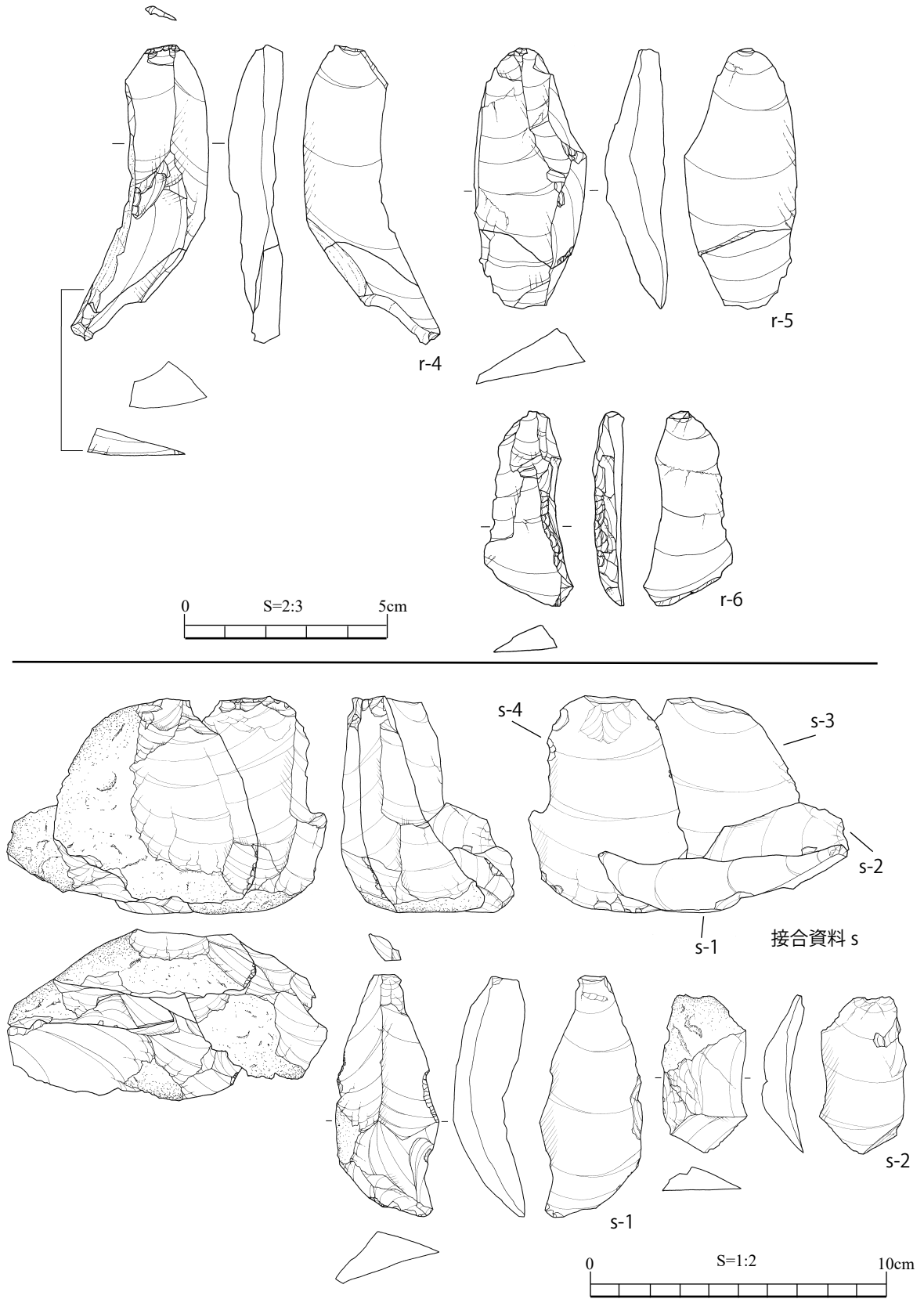


図 63 その他ブロックの接合資料（接合資料 r・s）

たと推測される。

全てブロック 2A から出土している。s-1 と s-2 の剥片は 6-13a 区内で近接し、s-3 はそれらより東に 4m 離れた 4-12b 区より出土した。s-4 は 5-13d 区表土から回収された。s-3 のみが離れた分布を示す。

接合資料 t (図 64・67 左下)

黒曜石製の細石刃核 (t-1) に細石刃核削片 2 点 (t-2 と t-3) が接合する。細石刃核 (t-1) は細石刃剥離作業面長 1.6cm、作業面幅 0.5 である。主な細石刃剥離痕は 5 枚で、その最大幅は 0.2cm である。打面と作業面の角度は 75°~90°である。t-2 は一次削片、t-3 は二次削片である。一次削片 (t-2) は左側面への調整が右側面の調整を切っている。一次削片 (t-2) はウートラパッセ状に基部側に抜けている。細石刃核 (t-1) の打面には、これら削片剥離の後に施された細かな調整剥離痕がある。

資料はブロック 3 から出土している。細石刃核 (t-1) は 17-10a 区、一次削片 (x-2) は 17-9c 区、二次削片 (x-3) は 17-9d 区に分布し、倒木痕の範囲内で出土している。

接合資料 u (図 64・67 右下)

黒曜石製の細石刃核 (u-1) に細石刃核削片 1 点 (u-2) が接合する。細石刃核 (u-1) の作業面長は 1.2cm で、作業面の最大幅 0.8cm である。主な細石刃剥離痕は 8 枚でその最大幅は 0.2cm である。打面と作業面の角度は 75°~90°である。一次削片 (u-2) はウートラパッセ状に基部側に抜け、その後やや短めの剥離によって打面が準備されている。

全てブロック 3 から出土し、細石刃核 (u-1) は 17-10a 区で倒木痕の範囲内、一次削片 (u-2) は 17-10b 区に分布する。

接合資料 v (図 64・68 左上)

黒曜石製の細石刃核 (v-1) に細石刃核削片 1 点 (v-2) が接合する。細石刃核 (v-1) の作業面長は 1.5cm、最大幅は 0.7cm である。主な細石刃剥離痕は 4 枚で、その最大幅は 0.2cm である。打面と作業面の角度は概ね 75°である。v-2 は二次削片 (v-2) であり、背面に二枚の剥離痕が認められる。

全てブロック 3 から出土している。細石刃核 (v-1) は 18-10a 区、二次削片 (v-2) は 17-10b 区に分布し、概ね南北方向に 1m ほど離れている。

接合資料 w (図 64・69 右上)

頁岩の彫器削片 2 点 (w-1 と w-2) の接合資料である。どちらも二次削片であり、それぞれの右側面に打点の残る背面先端部調整の痕跡がある。w-1 → w-2 の順に剥離される。その結果、削片剥離された彫器の彫刀面は腹面側に傾いたと推測される。

w-1 は 17-9c 区から、w-2 は 17-9d から出土し、概ね東西方向に約 1m 離れている。

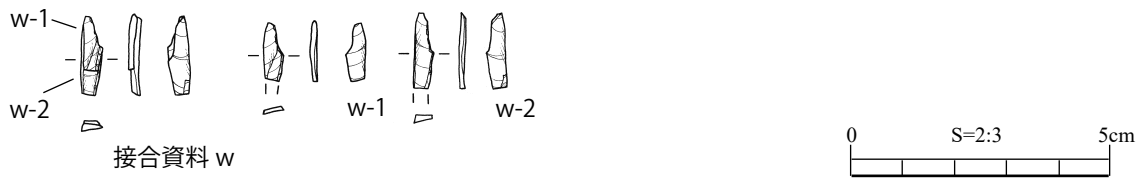
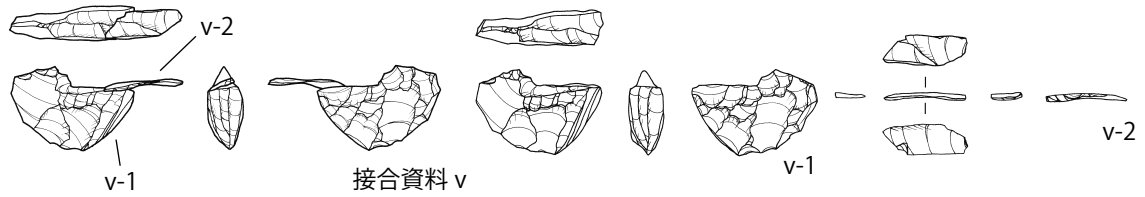
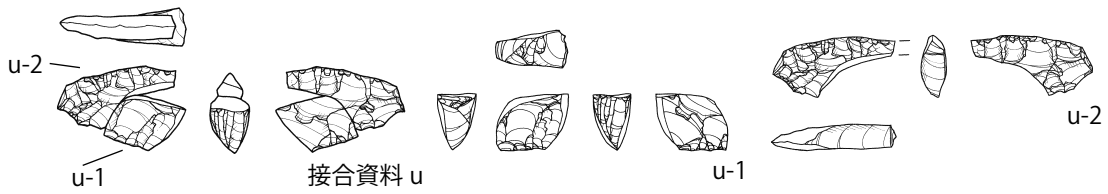
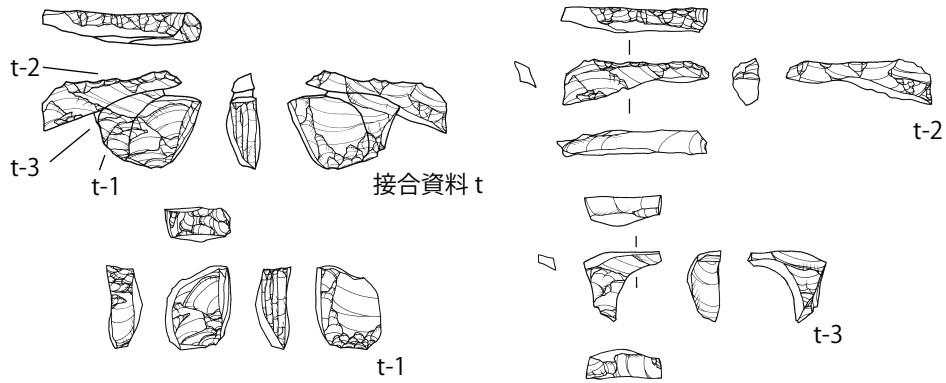
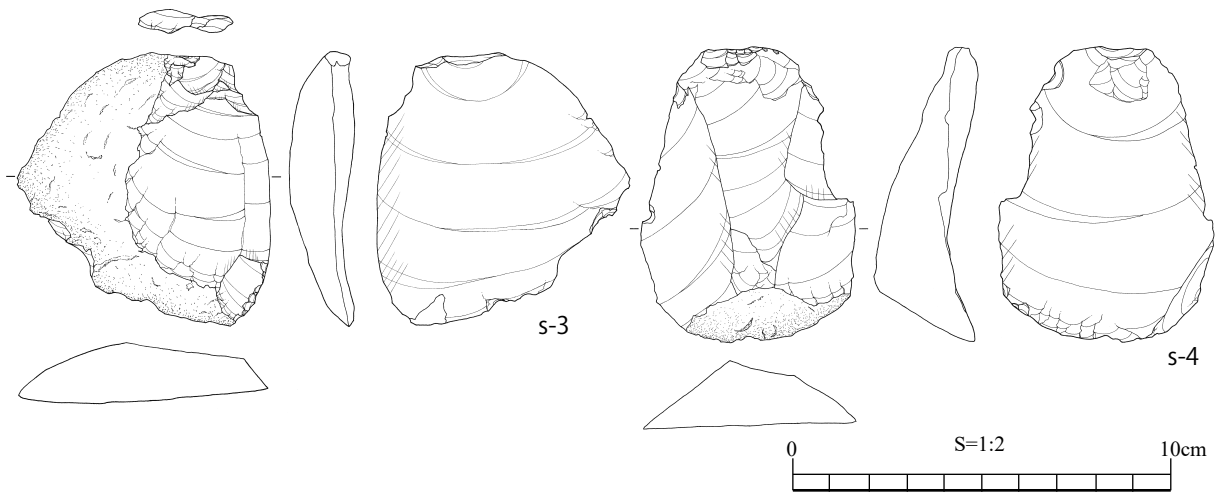


図 64 その他ブロックの接合資料 (接合資料 s~w)

接合資料 x (図 65・69 左下)

頁岩の彫器 (x-1) に彫器削片 2 点 (x-2 と x-3) が接合する。x-1 は石刃素材の左急斜刃形の彫器で、素材打点側に彫刀面が形成され、背面先端部調整がある。両側縁には連続する短い微細加工が施され、幅が大きく減じられておらず、素材は中形石刃と推定される。x-3 の彫器削片剥離前は 105°前後の鈍角な刃部であったが、x-3 と続く一枚の削片剥離によって直角 90°の刃部が形成されている。

全てブロック 3 から出土し、17-9d 区とその隣の 17-10b 区の範囲に近接して分布する。

接合資料 y (図 65・69 右下)

黒曜石製搔器 (y-1) の刃部に剥片 1 点 (y-2) が接合する。y-1 は右側面付の大形石刃を素材とする搔器である。両端に刃部があるが、特に下端の刃部は厚く (厚さ 1.8mm)、中央部付近は急角度 (70~120°) である。y-2 の刃部調整剥片は y-1 の下端刃部左側に接合する。この剥片剥離と続く微細調整によって、100°前後の鈍角な刃部が 75°程度に鋭角化されている。

全てブロック 3 から出土している。搔器 (y-1) は 17-10c 区、剥片 (y-2) は 17-9d 区から出土し、南北方向に 2m ほど離れて分布する。

(夏木・太田)

引用文献

- 佐藤宏之・山田 哲 (編) 2014 『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容 (Ⅲ) - 吉井沢遺跡の研究 -』 東京大学常呂実習施設研究報告第 13 集、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 寺崎康史 1999 「細石刃石器群の変遷とその終末」『日本考古学協会 1999 年度大会発表要旨』、pp.11-12、『日本考古学協会 1999 年度釧路大会 シンポジウム 海峡と北の考古学 - 文化の接点を探る - 資料集 I・テーマ I : 旧石器から縄文へ』、pp.45-56
- 夏木大吾 2016 「北海道における晩氷期人類の居住生活 - 吉井沢遺跡の事例から -」、佐藤宏之・山田 哲・出穂雅実 (編) 『晩氷期の人類社会 - 北方先史狩猟採集民の適応行動と居住形態』、pp.43-63、六一書房
- ジェフリー R. ファーガソン 2014 「吉井沢遺跡出土 572 点の黒曜石製遺物の蛍光 X 線分析」、佐藤宏之・山田 哲 (編) 2014 『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容 (Ⅲ) - 吉井沢遺跡の研究 -』 東京大学常呂実習施設研究報告第 13 集、pp.219-238、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 福井淳一 2001 「旧石器時代の顔料とその生産 - 北海道柏台 1 遺跡出土顔料関連遺物の分析を中心に -」『北海道考古学』 第 37 輯、pp.45-61
- 山田 哲 2006 『北海道における細石刃石器群の研究』、六一書房

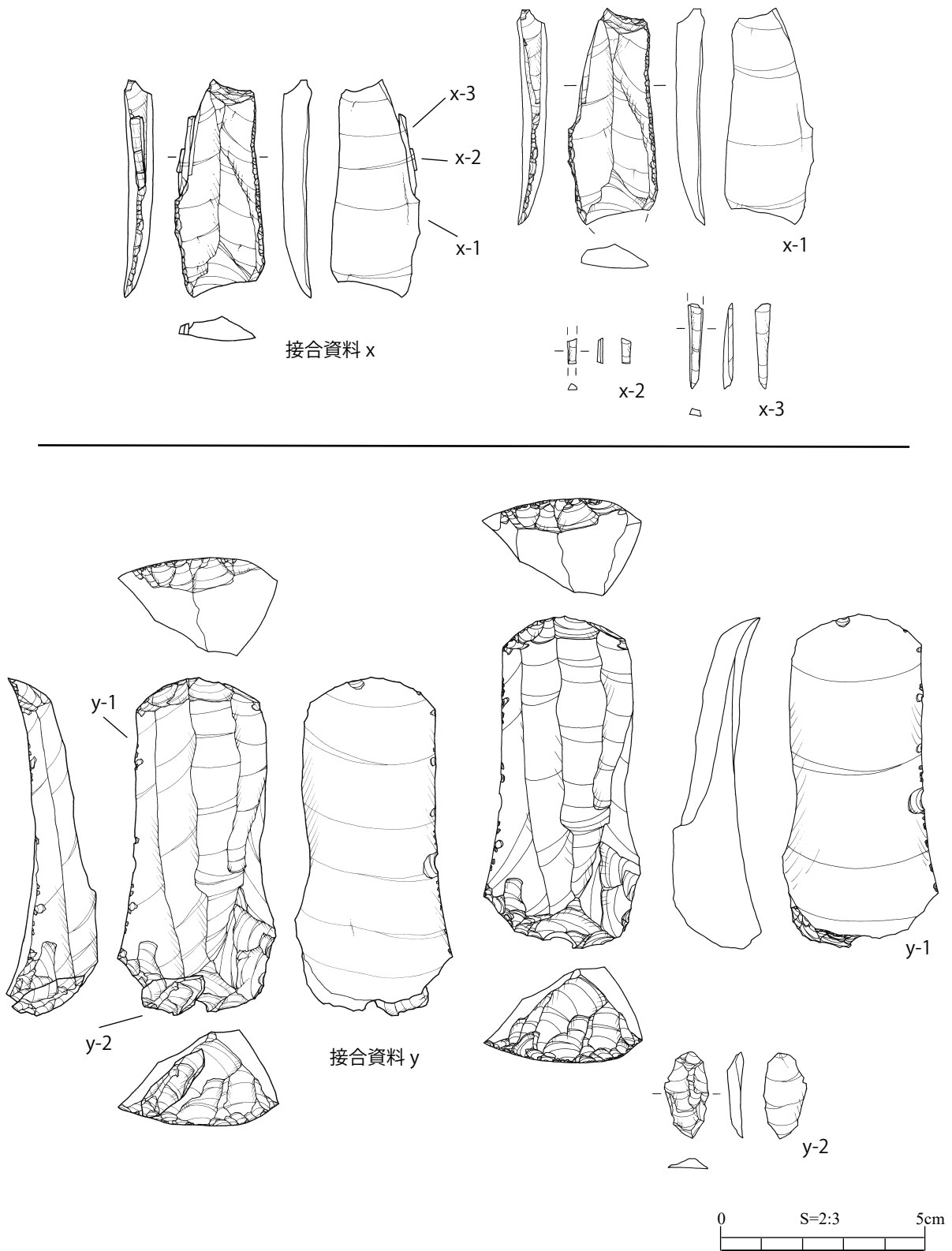
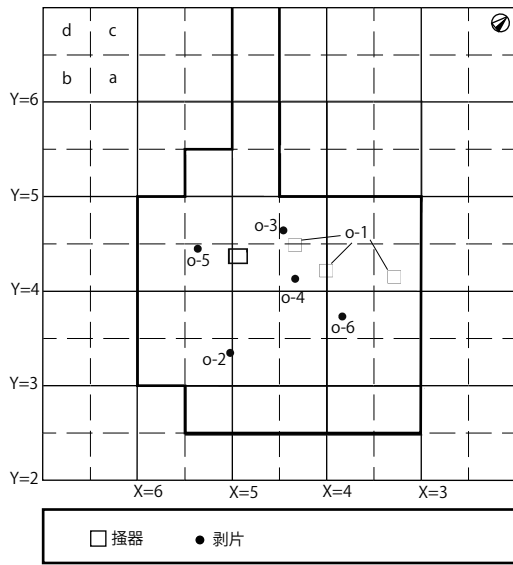
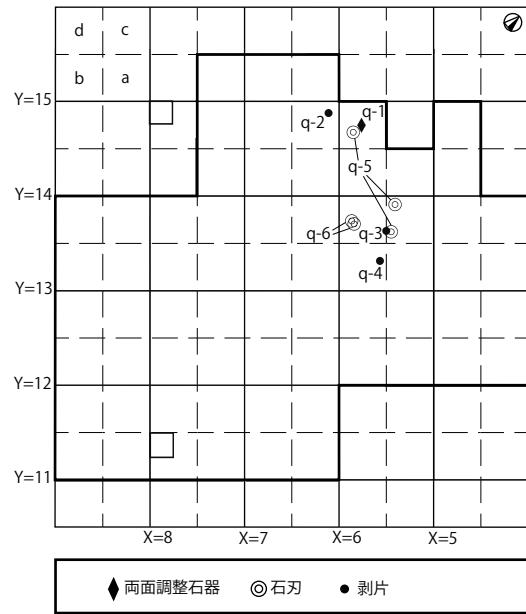


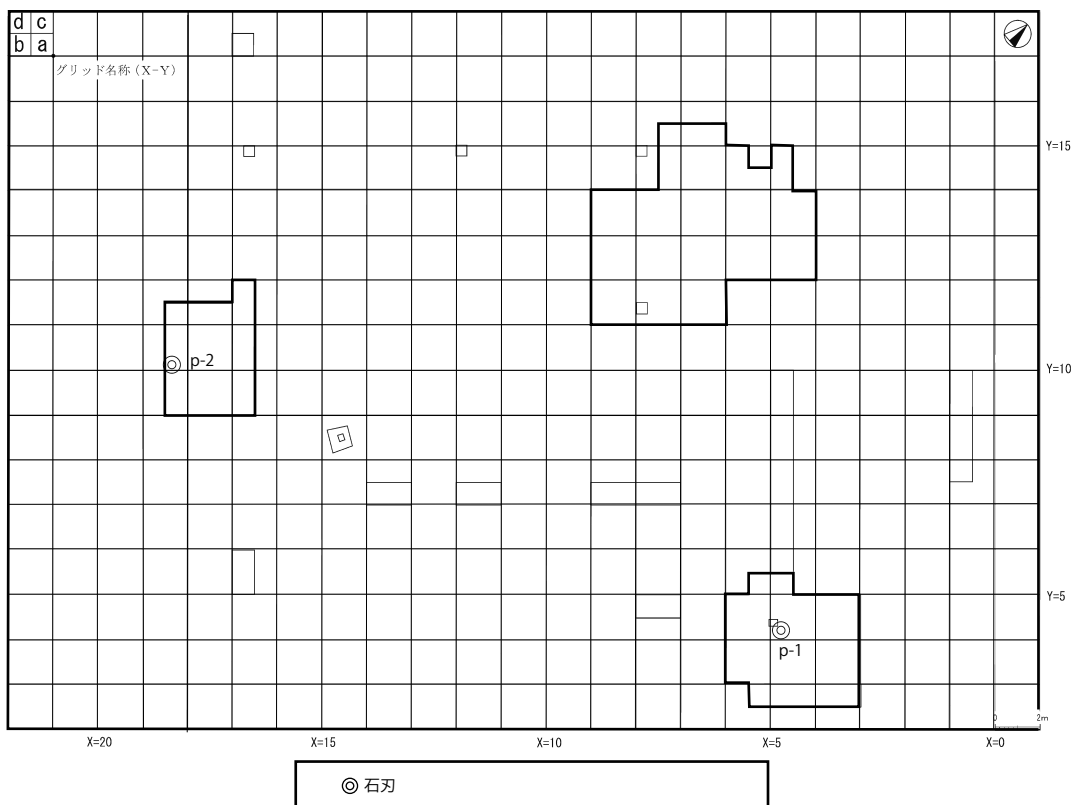
図 65 その他ブロックの接合資料 (接合資料 x・y)



接合資料 o

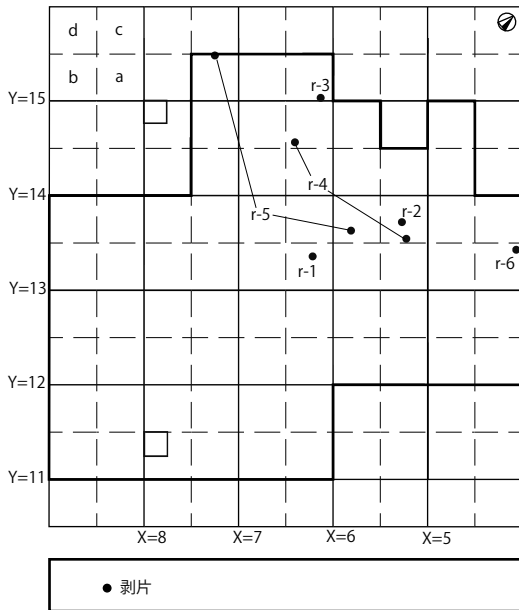


接合資料 q

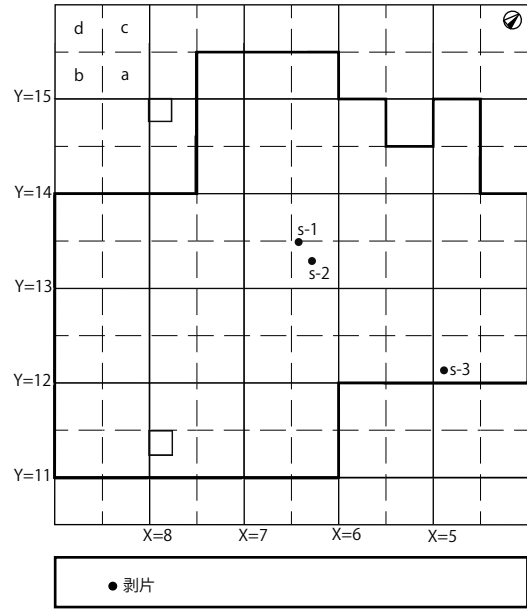


接合資料 p

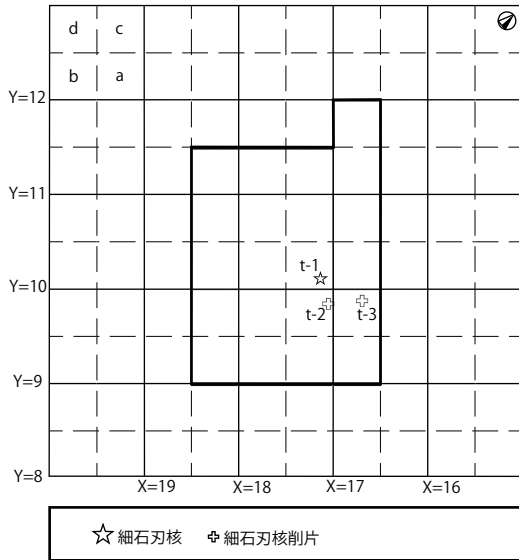
図 66 その他ブロックの接合資料分布 (接合資料 o~q)



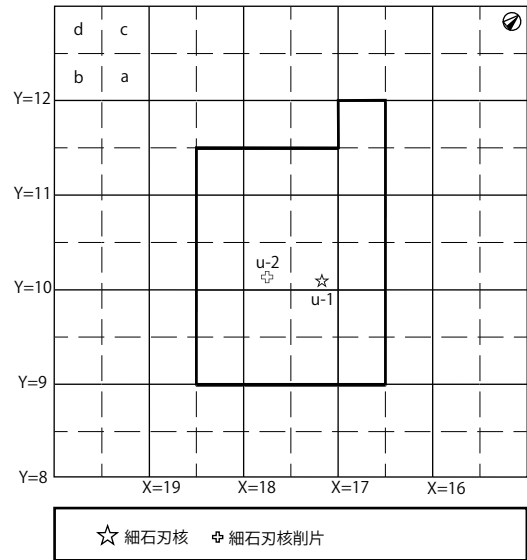
接合資料 r



接合資料 s

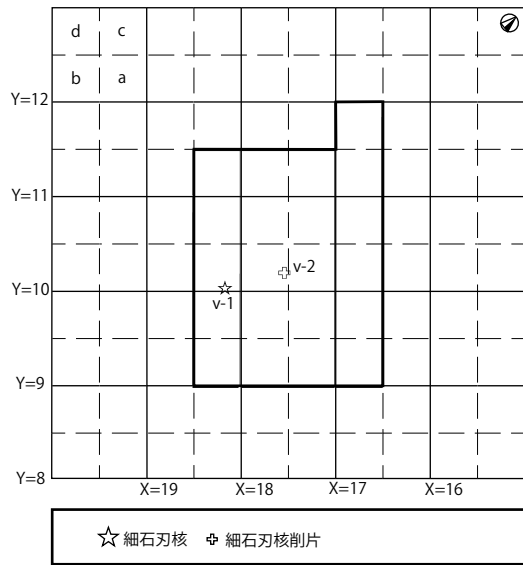


接合資料 t

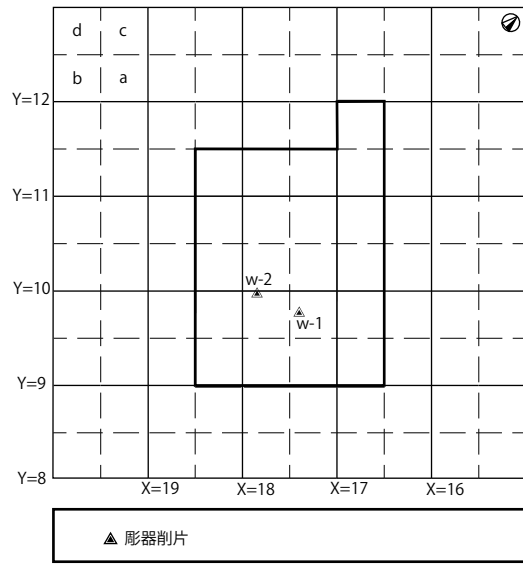


接合資料 u

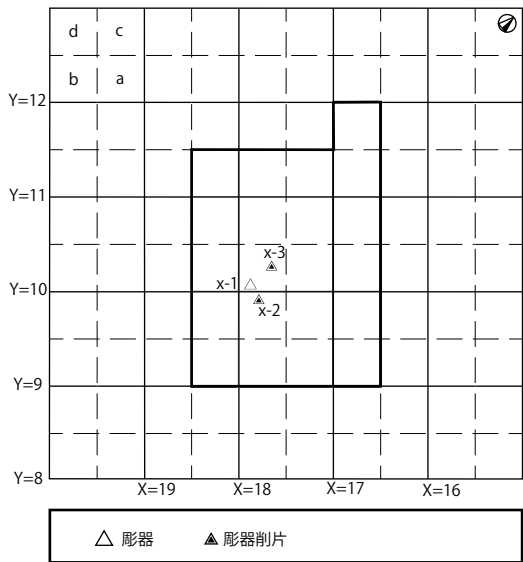
図 67 その他ブロックの接合資料分布 (接合資料 r~u)



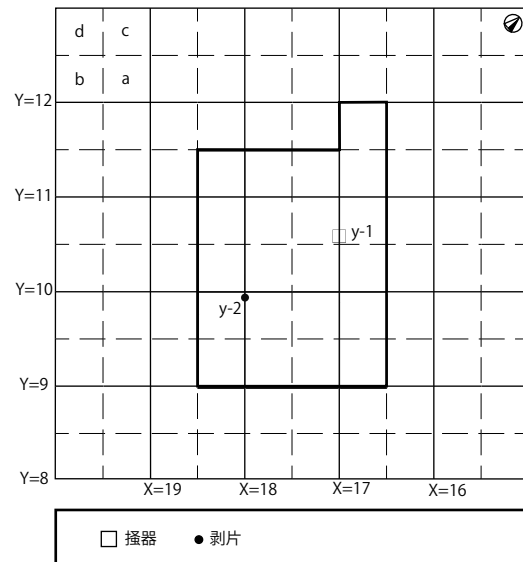
接合資料 v



接合資料 w



接合資料 x



接合資料 y

図 68 その他ブロックの接合資料分布 (接合資料 v~y)

表6 遺物観察表(1)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
09719	198	斧形石器	2B	7-11	Ⅲ	安山岩		12.74	5.72	2.84	230.4
12393		削器	2B	6-12a	Ⅱ	黒曜石		1.95	2.44	0.5	3.5
13010	206	石刃	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石	折 142	1.98	1.14	0.24	0.6
13011	206	石刃	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石	折 142	1.7	0.81	0.21	0.3
13484	166	彫器削片	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		1.12	0.38	0.17	0.1
13486		剥片	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		2.45	1.1	0.16	0.2
13598		顔料原材	2B	6-12a	Ⅲ	不明		3.33	2.62	1.22	6.5
14210		剥片	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		2	2.14	0.42	1.4
15494	83	搔器	2B	6-12d	Ⅱ	黒曜石		5.17	2.52	0.76	9.9
15495		礫・礫片	2B	6-12b	Ⅱ	砂岩		2.42	2.59	1.59	10.9
15496		礫・礫片	2B	6-12b	Ⅱ	砂岩		2.62	3.24	1.4	12.6
15498		剥片	2B	6-12a	Ⅱ	頁岩		3.16	2.6	0.94	4.4
16220	201,n-3	石刃	2B	6-12d	Ⅱ	黒曜石	剥 45	4.18	1.81	0.46	2.8
16224		剥片	2B	6-12b	Ⅱ	黒曜石		2.57	2.73	0.48	2.7
16517		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石	折 86	1	1.17	0.37	0.6
16738	167	彫器削片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.07	0.57	0.21	0.1
16740		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.11	0.43	0.16	0.1
16745		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石	剥 36	3.31	2	0.51	3.3
16746		石刃	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		3.32	1.84	0.32	2.5
16747	82	搔器	2B	6-12b	Ⅱ	黒曜石		8.36	2.9	1.85	38.9
16748		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.11	2.07	0.07	0.4
16749		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.46	1.8	0.43	1.7
16750		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石	折 86	1.37	1.82	0.46	1.2
17106	146	彫器削片	2B	6-12b	Ⅲ	頁岩		1.19	0.65	0.14	0.1
17503		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.4	1.32	0.15	0.5
17510		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.16	2.13	0.22	0.5
17511		石刃	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.55	2.07	0.81	3.9
17512		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		3.2	2	0.32	2
17513		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.72	1.28	0.3	0.9
17514		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.77	2.06	0.17	0.6
17515		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		3.38	4.3	0.73	8.6
17516	84	搔器	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		4.6	2.61	0.56	7.1
17519		顔料原材	2B	6-12d	Ⅲ	不明		1.89	1.38	1.05	3.6
18153		礫・礫片	2B	6-12b	Ⅲ	砂岩		2.42	3.64	2.05	15.6
18154	126	彫器削片	2B	6-12b	Ⅲ	頁岩		2.65	1.76	0.21	0.5
18210		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.17	1.96	0.42	1.6
18211		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.12	2.01	0.18	0.8
18887		剥片	2B	6-12d	Ⅲ	黒曜石	折 83	3.03	2.64	0.73	5.8
18888	85	搔器	2B	6-12d	Ⅲ	黒曜石		4.48	2.14	0.4	3.8
18889		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.84	3.48	0.3	2.8
18890		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石	折 166	3.2	1.96	0.68	3.4
18891		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.56	1.54	0.43	1
18892		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		4.29	2.53	0.48	4.2
20197		石刃	2B	7-12a	Ⅱ	黒曜石		1.12	2.48	0.47	1
20571		剥片	2B	7-12a	Ⅱ	頁岩		2.48	1.52	0.21	0.8
20573	I-1	剥片	2B	7-12c	Ⅱ	頁岩	剥 13	7.55	4.08	1.92	47.2
20574		剥片	2B	7-13a	Ⅱ	黒曜石		3.32	1.95	0.19	1.6
20575		剥片	2B	7-13a	Ⅱ	黒曜石		3.6	2.07	0.32	2.8
20858		剥片	2B	7-12a	Ⅱ	黒曜石		2.12	1.51	0.4	1.2
20862		剥片	2B	7-12a	Ⅱ	黒曜石		3.26	2.18	0.35	2.4

表7 遺物観察表(2)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
20863		剥片	2B	7-12a	Ⅱ	黒曜石		3.76	2.03	0.22	1.6
20868		剥片	2B	7-13a	Ⅱ	黒曜石		2.21	2.97	0.51	2.2
21197		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.42	0.41	0.2	0.2
21204		顔料原材	2B	7-12a	Ⅲ	不明		0.92	0.92	0.34	0.3
21216		彫器削片	2B	7-13a	Ⅲ	頁岩		1.22	0.58	0.22	0.2
21426		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.51	2.09	0.43	2.4
21427	236	剥片	2B	7-12a	Ⅲ	凝灰岩	折 169	3.31	7.52	0.71	16.7
21428		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	凝灰岩	剥 81	3.8	2.71	0.84	10.3
21429		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.92	1.92	0.29	1.4
21430		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.32	2.79	0.57	2.6
21431		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.29	2.88	0.38	2.2
21432		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		2.37	1.76	0.41	1.5
21433	86,g-3	搔器	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石	剥 18	5.74	2.1	0.62	6.3
21434		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	頁岩	折 44	3.49	2.36	0.44	3.5
21435		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		2.28	1.72	0.4	1.8
21731		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.71	2.4	0.25	0.8
22062		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		0.88	0.25	0.14	<0.1
22070		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	頁岩		1.46	0.45	0.08	0.1
22080		顔料原材	2B	7-12a	Ⅲ	不明		1.18	0.96	0.24	0.2
22085		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	凝灰岩		3.02	1.91	0.58	2.8
22086		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		3.62	1.83	0.62	3.3
22087		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石	折 130	3.67	2.28	0.59	4.6
22088	107	搔器	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		4.4	3.12	0.55	9.2
22089	231	石刃	2B	7-12a	Ⅲ	頁岩	折 150	2.81	2.34	0.63	4
22090		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.5	2.15	0.33	1.2
22091		石刃	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石	折 165	3.56	3	1.02	9.6
22092		顔料原材	2B	7-12a	Ⅲ	不明		2.9	1.05	1.08	5.7
22093		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		3.41	3.07	0.77	5.3
22094		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	頁岩		2.11	2.55	0.32	2
22095		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		4.46	1.92	0.46	3
22096		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.63	2.21	0.33	1.9
22097		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.48	1.73	0.25	0.8
22098	89	搔器	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石	折 137	1.98	2.12	0.6	2.4
22099		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.37	3.37	0.45	2.8
22101		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2	1.08	0.22	0.5
22110		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.48	0.31	0.26	0.2
22122		彫器削片	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		0.62	0.33	0.13	0.1
22127		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.43	2.3	0.22	0.7
22135		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.66	2.03	0.32	0.6
22151		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		2.1	2.01	0.12	0.7
22154		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		1.91	1.94	0.55	1.1
22156		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	頁岩		2.16	1.65	0.31	0.8
22158		搔器	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		6.96	3	0.75	14.1
22159		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	頁岩	折 44	1.89	2.14	0.44	1.8
22523		石器破片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		0.81	1.6	0.62	0.7
22533		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		0.91	2.02	0.25	0.5
22538		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.01	0.36	0.3	0.2
22549		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		0.75	0.57	0.13	0.1
22550	18	細石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.2	0.3	0.07	0.1
22552		石器破片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.31	0.28	0.25	0.1

表8 遺物観察表(3)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
22559		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.89	2	0.19	0.7
22576		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.68	2.55	0.25	1.5
22583		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.26	1.88	0.29	1
22587		顔料原材	2B	7-12c	Ⅲ	不明		1.27	0.93	0.63	0.6
22595		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.79	2.12	0.41	1.2
22597		彫器	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.59	1.26	0.4	1.1
22599		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		1.4	2.09	0.34	0.8
22603		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	頁岩		2.08	1.75	0.32	1
22609		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		1.7	2.09	0.36	1.3
22610		細石刃核削片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		1.13	0.29	0.16	0.1
22613		石器破片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		2.03	1.04	1.4	1.7
23375		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石	折 130	1.5	1.95	0.45	1
23376		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.33	2.18	0.6	2.4
23390		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.22	1.81	0.2	0.9
23391	88	搔器	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石	折 128	3.68	2.92	0.5	4.8
23392		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.03	2.13	0.18	1
23393		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.26	2.77	0.2	1
23394		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石	折 129	2.83	1.22	0.32	1
23400	14	細石刃	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.43	0.27	0.08	<0.1
23408		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.89	2.6	0.21	1.3
23410		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.42	1.59	0.22	0.5
23411		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.63	2.4	0.41	2.4
23430		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		2.3	1.13	0.17	0.5
23440		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		0.83	2.37	0.22	0.8
23450		彫器削片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		0.82	0.43	0.12	0.1
23454		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		3.73	1.91	0.26	1.7
23455		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.87	2.48	0.31	2
23456		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		3.68	2.65	0.33	3
23457	109	彫器	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		4.55	1.89	0.84	6.7
23458		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		3.82	1.1	0.78	2
23459		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		1.79	2.41	0.49	1.6
23464		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	頁岩		1.2	2.05	0.32	0.7
23465		彫器削片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		2.23	0.69	0.19	0.3
23496		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.08	1.8	0.2	0.6
23498		搔器	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.95	1.76	1.01	6.7
23499		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.57	1.45	0.25	0.6
23500		石刃	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		4.16	1.9	0.73	5.3
23501		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		3.12	2.35	0.27	1.3
23538		両面調整石器	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		1.29	1.85	0.58	1.1
23542		剥片	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		3.55	1.85	0.37	1.2
23704	184	錐形石器	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石	折 151	2.46	1.12	0.55	1.3
23752		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		2.17	1.28	0.19	0.5
23761	133	彫器削片	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		1.72	0.58	0.13	0.1
23768		石器破片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.12	1.64	0.47	1.5
23773		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	頁岩		2.83	2.16	0.48	1.6
23774		彫器削片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		1.31	0.6	0.18	0.2
23794		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.82	2.11	0.18	0.8
23796		彫器削片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.23	0.43	0.12	0.1
23799		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.43	1.08	0.32	0.7
23800		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		0.83	2.26	0.18	0.3

表9 遺物観察表(4)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
23801		細石刃	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		0.56	0.47	0.13	0.1
23820	51	細石刃	2B	6-12d	Ⅲ	黒曜石		1.08	0.31	0.12	<0.1
23828		剥片	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		2.12	0.98	0.17	0.4
23965		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石	折 129	1.33	1.22	0.25	0.5
23971		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.86	1.95	0.38	1.4
23977		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.54	1.65	0.29	1
23978		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.47	1	0.18	0.5
23979	80	搔器	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		4.6	2.09	0.68	6.7
23980		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.76	1.91	0.226	1.2
23981		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		6.62	2.18	0.42	5.9
23982		石刃	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.86	2.62	0.36	1.4
23983		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.77	3.38	0.34	2.1
23984		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		3.15	3.03	0.61	3.8
23985		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		4.53	1.41	0.7	4.4
23986		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.69	1.51	0.19	1
23987		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		4.13	2.82	0.48	5.5
24036		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		2.16	1.41	0.39	0.9
24062		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.21	2.08	0.25	0.8
24063		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		4.19	1.33	0.44	2.4
24064		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.35	3.38	0.3	2.1
24065		石器破片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		3.66	2.45	1.23	9.1
24066	223	石刃	2B	6-12b	Ⅲ	頁岩		3.27	1.03	0.48	1.6
24079		剥片	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		1.79	2	0.22	0.8
24083		石刃	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		1.76	1.06	0.33	0.6
24191		細石刃	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		0.83	0.42	0.1	0.1
24222		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.96	2.23	0.27	0.9
24230		細石刃	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		0.64	0.27	0.05	<0.1
24240		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.33	1.4	0.81	2.1
24248		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.04	1.28	0.3	0.6
24260		彫器削片	2B	6-12b	Ⅲ	頁岩		1.6	0.66	0.15	0.2
24265		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.5	2.14	0.23	0.9
24266		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.41	2.29	0.15	0.9
24267		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.35	1.85	0.24	0.7
24268		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.15	2.67	0.32	1.3
24269		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.12	1.77	0.18	0.7
24270		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.59	2.24	0.31	1.7
24271		彫器削片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		3.88	0.68	1.07	2.1
24272		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.64	2.41	0.26	1.2
24273		剥片	2B	6-12d	Ⅲ	黒曜石		1.91	2.76	0.3	1.3
24283		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.21	2.1	0.22	0.8
24287		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	頁岩		1.45	2.39	0.39	0.9
24312		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	頁岩		1.79	0.62	0.16	0.2
24332		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.23	1.72	0.22	0.7
24337		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.86	2	0.44	1.2
24349	119	彫器	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石	折 145	4.98	1.78	0.7	5.3
24350		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		3.69	2.9	0.28	1.9
24351	232	石刃	2B	7-12a	Ⅲ	頁岩	折 149	3.42	2.18	0.53	4.7
24352		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		3.5	2.65	0.35	3.3
24373		顔料原材	2B	7-12c	Ⅲ	不明		0.95	0.7	0.2	0.2
24396		剥片	2B	6-12d	Ⅲ	黒曜石		2.87	2.21	0.29	2.2

表 10 遺物観察表 (5)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)
24397		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.65	2.59	0.23	0.9
24404		剥片	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		2.27	1.86	0.61	2
24405		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.13	0.94	0.19	0.3
24406		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.87	2.18	0.35	1.3
24407		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.98	2.06	0.13	0.7
24408		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.8	2.54	0.25	1
24409	243	礫塊石器	2B	6-12b	Ⅲ	安山岩		6.72	6.45	2.67	224.8
24410		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.19	0.38	0.19	0.2
24411		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.4	2.38	0.12	1
24412		石器破片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.8	3.28	1.03	8.4
25011		剥片	2B	7-12b	Ⅱ	黒曜石		1.64	2.34	0.17	0.6
25041		剥片	2B	6-11b	Ⅱ	黒曜石		2.04	0.76	0.34	0.6
25076		剥片	2B	7-12d	Ⅱ	黒曜石		2.19	2.37	0.21	1.3
25080		剥片	2B	7-11c	Ⅱ	黒曜石		2.28	1.7	0.2	0.7
25083		搔器	2B	6-11d	Ⅱ	黒曜石		0.87	1.41	0.21	0.2
25089		剥片	2B	6-11d	Ⅱ	黒曜石		2.58	1.08	0.2	0.5
25092		剥片	2B	7-12d	Ⅱ	黒曜石		2.69	3.39	0.7	4
25093	m-3	剥片	2B	7-12d	Ⅱ	凝灰岩	剥 96	4.88	2.22	0.58	7.8
25094		搔器	2B	7-12d	Ⅱ	黒曜石		3.62	2.66	0.59	6.9
25095	i-3	剥片	2B	7-11c	Ⅱ	頁岩	剥 71	3.62	2.5	0.48	3.3
25096		剥片	2B	7-11b	Ⅱ	黒曜石		2.01	2.07	0.48	2.2
25097		石刃	2B	7-11b	Ⅱ	黒曜石	剥 86	4.16	3.07	0.72	8.1
25098	105	搔器	2B	7-11b	Ⅱ	黒曜石		4.39	3.39	0.76	12.7
25099		石刃	2B	7-11c	Ⅱ	黒曜石		4.33	1.93	0.51	4
25100		剥片	2B	7-11a	Ⅱ	黒曜石		3.83	2.02	0.64	4.2
25101	183	錐形石器	2B	7-11a	Ⅰ	黒曜石		3.81	1.43	1.28	5.4
25102		剥片	2B	6-11b	Ⅰ	黒曜石		3.85	6.97	1.39	26.2
25103		剥片	2B	6-11b	Ⅱ	頁岩		2.83	1.79	0.37	1.8
25104		剥片	2B	6-11d	Ⅱ	頁岩		2.32	1.38	0.43	1.3
25105		剥片	2B	6-11c	Ⅱ	凝灰岩	剥 81	5.3	1.73	0.72	7.2
25106		剥片	2B	6-11c	Ⅱ	黒曜石		4.21	2.46	0.33	3.8
25112		剥片	2B	7-11d	Ⅱ	黒曜石		0.84	2.13	0.39	0.6
25116		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		2.65	1.2	0.19	0.6
25118		彫器削片	2B	7-11b	Ⅲ	頁岩		0.68	0.24	0.08	<0.1
25119		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		2.2	0.89	0.38	0.5
25120		剥片	2B	7-11c	Ⅱ	黒曜石		2.44	0.91	0.62	1.1
25134		石刃	2B	6-11c	Ⅱ	黒曜石		2.19	1.23	0.56	1.2
25143		剥片	2B	7-13b	Ⅱ	頁岩		3.58	4.58	0.69	7
25147	228	石刃	2B	7-12d	Ⅱ	頁岩		4.38	1.2	0.53	2.6
25148		剥片	2B	7-12d	Ⅱ	黒曜石		3.62	2.72	0.45	3.3
25149	114	彫器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.62	2	0.5	4.6
25159		剥片	2B	7-11b	Ⅱ	黒曜石		2.05	1.85	0.49	1.9
25161		石器破片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.17	2.03	0.51	1.8
25164		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石	折 153	2.23	1.45	0.23	1.1
25168		剥片	2B	6-11b	Ⅱ	黒曜石		2.91	2.62	0.28	1.6
25182		剥片	2B	7-11d	Ⅱ	黒曜石		2.86	2.28	0.29	1.7
25183		剥片	2B	7-11b	Ⅱ	黒曜石		1.97	2.53	0.31	1.4
25184		搔器	2B	7-11b	Ⅱ	黒曜石		3.41	2.64	0.68	7.2
25185		剥片	2B	7-11b	Ⅱ	黒曜石		1.75	2.14	0.22	0.8
25186		石刃	2B	7-11b	Ⅱ	黒曜石	折 147	3.66	3.39	1.12	12.3

表 11 遺物観察表 (6)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
25187		剥片	2B	7-11b	Ⅱ	黒曜石		2.82	2.23	0.25	1.6
25188		剥片	2B	7-11c	Ⅱ	黒曜石		1.92	2.38	0.42	2
25189		剥片	2B	7-11c	Ⅱ	黒曜石		6.25	5.02	1.15	34.9
25190		剥片	2B	7-11a	Ⅱ	凝灰岩		2.5	1.58	0.24	1.3
25191		剥片	2B	7-11b	Ⅱ	黒曜石		1.79	2.35	0.21	1.3
25192	174	削器	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		3.7	2.26	0.62	4.6
25193		石刃	2B	6-11b	Ⅱ	黒曜石		3.96	1.02	0.24	1
25194		礫・礫片	2B	6-11c	Ⅱ	砂岩		5.03	2.89	2.9	47.6
25195		剥片	2B	6-11c	Ⅱ	黒曜石		4.17	3.9	0.92	10
25196		剥片	2B	6-11c	Ⅲ	黒曜石		3.38	2.09	0.33	1.7
25197		石刃	2B	6-11a	Ⅱ	黒曜石	折 154	2.68	1.43	0.27	1.2
25206		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.37	1.13	0.42	0.8
25220		細石刃核削片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		1.45	0.49	0.23	0.2
25238		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		2.56	1.56	0.62	2.7
25247	41	細石刃	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		0.74	0.29	0.06	<0.1
25256		石刃	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		0.82	1.52	0.45	0.4
25258		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.48	2.16	0.13	0.5
25262		石刃	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.64	1.62	0.29	0.8
25265		石刃	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		0.77	0.81	0.35	0.2
25266		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	凝灰岩		2.12	2.08	0.38	1.3
25276		顔料原材	2B	6-11d	Ⅲ	不明		0.94	0.59	0.41	0.3
25292		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	頁岩		2.17	1	0.18	0.3
25310		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		1.58	2.06	0.25	0.7
25311		細石刃核削片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		1.39	0.34	0.12	0.1
25314		彫器削片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		0.84	0.29	0.26	0.1
25337	150	彫器削片	2B	6-11a	Ⅲ	頁岩		1.03	0.38	0.1	0.1
25338	210,k-2	石刃	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石	剥 85	3.1	2.4	0.69	5.1
25339		両面調整石器	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		2.48	1.1	0.86	2.2
25340		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	頁岩	剥 70	3.23	1.68	0.4	2.1
25341	95	搔器	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石	折 161	5.42	2.55	1.48	21.5
25342		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.88	3.12	0.45	1.5
25343		搔器	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石	折 144	2.49	1.88	0.48	1.9
25345		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.08	1.52	0.6	1.7
25346		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.95	1.94	0.46	2.6
25348		石刃	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		3.28	2.63	1.08	10.9
25349		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		1.32	2	0.51	1.6
25350		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石	折 146	1.82	2.59	1.19	5.4
25351		搔器	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		3.77	2.77	0.32	5
25352		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		2.52	2.38	0.31	1.7
25353		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		3.26	1.86	0.32	1.6
25354		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.68	4.07	0.82	5.6
25355		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	頁岩	剥 83	1.76	2.28	0.4	0.5
25356		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		3.26	3.11	0.95	7.5
25357		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.55	1.34	0.16	0.6
25358		石刃	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.28	1.38	0.23	1
25359		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.06	1.92	0.32	1.2
25360		剥片	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		2.68	2.01	0.66	3.1
25361		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		4.7	5.58	0.95	24.9
25362		剥片	2B	6-11c	Ⅲ	黒曜石		2.23	1.79	0.31	1.3
25363		剥片	2B	6-11c	Ⅲ	黒曜石		2.38	1.21	0.3	1

表 12 遺物観察表 (7)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
25364		剥片	2B	6-11a	Ⅲ	黒曜石		2.68	1.51	0.26	1.2
25367		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		0.82	2.14	0.17	0.3
25372		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		2.64	1.35	0.52	1.4
25377		細石刃核削片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		0.79	0.43	0.05	0.1
25380		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		2.07	1.84	0.19	0.6
25396		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.24	0.29	0.47	0.1
25397		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		1.56	0.61	0.18	0.2
25400		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.86	2.29	0.2	0.8
25404		細石刃	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		0.49	0.21	0.05	<0.1
25414		両面調整石器	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		0.84	1.11	0.7	0.7
25426		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		2.19	1.73	0.09	0.3
25432	19	細石刃	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		0.91	0.24	0.03	<0.1
25444		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		1.67	2.25	0.3	0.7
25450		彫器削片	2B	7-11c	Ⅲ	頁岩		1.57	0.26	0.19	0.1
25459		彫器削片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.18	0.91	0.55	0.8
25461	60	細石刃核削片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.36	0.31	0.19	0.1
25482		石刃	2B	6-11b	Ⅲ	黒曜石		1	1.71	0.57	0.8
25507		彫器削片	2B	7-13d	Ⅲ	頁岩		1.08	0.49	0.05	0.1
25508		彫器削片	2B	7-13d	Ⅲ	頁岩		1.02	0.43	0.09	0.1
25513		彫器削片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		0.68	0.35	0.06	<0.1
25523		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.45	2.08	0.58	1.3
25537		石器破片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		0.92	1.91	0.35	0.6
25564		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石	剥 86	2.11	0.78	0.14	0.3
25654	37	細石刃	2B	6-11a	Ⅲ	黒曜石		0.66	0.23	0.4	<0.1
25663		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	頁岩		2.4	2.67	0.42	1.9
25664		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	頁岩		2.22	1.54	0.23	0.7
25665		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		3.11	2.19	0.54	3
25666		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.38	2.05	0.38	1.6
25667		石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.41	1.42	0.21	0.8
25668		石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.56	1.61	0.92	3.4
25669		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.75	1.35	0.28	1.4
25670		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		2.82	2.41	0.78	3.8
25671		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	凝灰岩		3.61	4.46	0.58	10.8
25672		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		3.36	2.89	0.5	3.4
25673		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		2.39	1.82	0.49	2.1
25674	191	錐形石器	2B	7-11b	Ⅲ	頁岩		3.68	1.26	0.74	3.9
25675		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.14	1.63	0.12	0.5
25676		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.27	1.88	0.2	1.1
25677	203,g-1	石刃	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石	剥 18	3.82	1.01	0.24	0.7
25678		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.79	3.13	0.48	4.6
25679		剥片	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		3.99	1.47	0.3	2.2
25680		搔器	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		3.91	2.9	0.96	13.5
25681		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.39	1.49	0.22	0.8
25682		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	頁岩		2.71	2.15	0.26	1.7
25683		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.26	1.18	0.12	0.5
25684		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.21	1.99	0.3	1.3
25685		石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.98	2.52	0.94	6.6
25686		剥片	2B	6-11b	Ⅲ	黒曜石		2.07	1.43	0.18	0.8
25687		剥片	2B	6-11c	Ⅲ	黒曜石		2.06	1.97	0.17	0.9
25702		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.63	2.21	0.29	0.8

表 13 遺物観察表 (8)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
25715		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		1.38	2.13	0.17	0.6
25717		彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.59	0.47	0.65	0.3
25724		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		2.56	0.97	0.42	0.8
25726		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		0.97	0.29	0.03	<0.1
25727		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.1	2.18	0.25	0.5
25728		石器破片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		0.72	0.96	0.45	0.3
25733		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.67	1.04	0.3	0.5
25753		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.18	0.67	0.16	0.4
25758		顔料原材	2B	7-12b	Ⅲ	不明		1.16	0.64	0.62	0.5
25761		顔料原材	2B	7-12b	Ⅲ	不明		1.3	0.73	0.78	0.6
25762		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		1.06	2.04	0.29	0.5
25801		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		2.03	1.67	0.13	0.4
25836		剥片	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		1.08	2.24	0.25	0.6
25840		剥片	2B	7-11a	Ⅲ	頁岩		1.47	2.22	0.32	0.5
25846		彫器削片	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		0.86	0.21	0.24	0.1
25863		剥片	2B	6-11b	Ⅲ	頁岩		1.85	2.17	0.17	0.5
25892		石器破片	2B	6-11c	Ⅲ	黒曜石		0.68	1.96	0.84	0.7
25907		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		1.62	2.12	0.19	0.8
25918	8	細石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.49	0.21	0.1	0.1
25929		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		1.98	0.66	0.34	0.4
25948		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石	折 153	1.22	1.21	0.13	0.3
25976		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		0.59	0.31	0.09	<0.1
25984		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.31	0.8	0.26	0.5
25996		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.15	2.5	0.22	0.7
25997		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		1.79	0.48	0.18	0.2
26038	36	細石刃	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		0.63	0.29	0.07	0.1
26042		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		0.94	2.13	0.15	0.4
26043		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		1.31	2	0.26	0.4
26048		彫器削片	2B	7-11b	Ⅲ	頁岩		1.67	0.46	0.37	0.2
26054		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		2.26	0.73	0.33	0.5
26068		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.67	0.92	0.15	0.5
26109		剥片	2B	6-11b	Ⅲ	黒曜石		2.04	1.32	0.22	0.6
26113		剥片	2B	6-11b	Ⅲ	黒曜石		1.39	2.99	0.17	0.8
26128	226	石刃	2B	6-11a	Ⅲ	頁岩		5.23	1.01	0.44	2.3
26129		削器	2B	6-11a	Ⅲ	黒曜石		3.45	2.07	0.48	3.8
26131		剥片	2B	6-11a	Ⅲ	凝灰岩		2.47	2.65	0.42	3.2
26136		剥片	2B	6-11b	Ⅲ	黒曜石		2.06	0.79	0.31	0.4
26148		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.46	1.76	0.29	1.2
26149	208	石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		6.61	2.45	1.17	15.3
26150		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		3.98	3.65	1.29	17.7
26151		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.09	2.28	0.24	0.5
26160		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		3.68	1.44	0.68	2.6
26161		削器	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.49	2.36	0.47	3.3
26162		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.04	0.98	0.3	0.6
26163		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.59	1.22	0.21	0.5
26164		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	凝灰岩		2.76	2.64	0.39	3.6
26165		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.17	2.16	0.21	0.6
26166		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.89	2.31	0.58	2.7
26167		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.79	0.48	0.26	0.3
26176		剥片	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		1.92	2.5	0.17	0.9

表 14 遺物観察表 (9)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
26177		錐形石器	2B	7-11a	Ⅲ	頁岩	折 148	2.93	1.45	0.44	1.9
26178	211	石刃	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		6.33	2.45	0.51	8.7
26193	220	石刃	2B	7-11b	Ⅲ	頁岩	折 170	3.79	1.17	0.5	1.9
26194		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石	折 146	2.87	2.9	1.49	9.6
26195		剥片	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		1.93	2.68	0.41	2.6
26196	242	礫塊石器	2B	7-11b	Ⅱ	安山岩		24.1	15.18	7.41	4250
26204		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		2.06	1.37	0.2	0.6
26205		搔器	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		1.51	1.08	0.53	2.1
26220		彫器削片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		0.91	0.38	0.07	0.1
26239		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.6	2.8	0.95	5.7
26240		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		1.83	2.28	0.13	0.8
26241	219	石刃	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石	折 152	2.03	2.05	0.33	1.5
26242		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.79	3.85	0.31	3.7
26243		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		3.25	3.74	0.56	4.6
26264	52	細石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.08	0.23	0.06	0.1
26277		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.32	0.23	0.12	0.1
26280		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.68	1.41	0.28	0.8
26281		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.72	2.09	0.61	2.8
26282		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩	剥 82	4.23	1.73	0.63	3.9
26283		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.17	3.26	0.36	2.4
26284		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.27	3.18	0.75	4.6
26285		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.76	3.78	0.51	4.5
26286		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.42	2.68	0.3	2.7
26287		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.26	1.41	0.38	1.1
26293		石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.72	1.8	0.44	1.7
26304		顔料原材	2B	7-13b	Ⅲ	不明		1.27	1.03	0.22	0.3
26307		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.19	1.98	0.23	0.9
26308		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.52	2.57	0.35	2.8
26309		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		2.28	2.6	0.27	1.9
26310		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.41	1.31	0.47	1.5
26311		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		5.71	7.63	2.28	97.4
26312	k-4	剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石	剥 85	7.38	5.31	1.58	28.8
26313		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.14	1.88	0.18	0.6
26314	177,h-2	削器	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石	剥 84	5.89	2.08	0.58	6.7
26315		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.29	2.44	0.44	1.6
26316	106	搔器	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		5.2	3.17	0.54	8.1
26317	214,j-2	石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石	剥89・折168	2.85	2.39	0.31	2.6
26336		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		1.51	2.86	0.18	0.6
26337	205,k-1	石刃	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石	剥 85	2.08	1.91	0.49	2.2
26338		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		1.55	3.45	0.42	2.2
26350		彫器削片	2B	6-11c	Ⅲ	黒曜石		0.94	0.38	0.09	0.1
26353		剥片	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		2	1.92	0.33	1.2
26367		細石刃	2B	6-11b	Ⅲ	黒曜石		0.62	0.25	0.63	<0.1
26368		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.3	2.01	0.56	1.3
26387		石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		0.98	0.72	1.01	1
26389		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.22	2.01	0.23	1.4
26390		石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石	折 154	1.89	1.14	0.39	0.8
26392		石器破片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.5	0.63	0.93	0.5
26404		剥片	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石	折 146	2.5	0.7	1.22	1.5
26405	112	彫器	2B	7-11a	Ⅲ	頁岩		4.95	1.67	1.08	7.8

表 15 遺物観察表 (10)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
26411		石器破片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.45	0.71	0.23	0.4
26420		石器破片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.11	0.92	0.21	0.3
26422		彫器削片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.01	0.27	0.17	0.1
26426		細石刃	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		0.83	0.29	0.06	<0.1
26443		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.46	1.83	0.4	0.9
26444		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	頁岩		1.69	2.62	0.43	2.2
26448		細石刃	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		0.68	0.27	0.04	<0.1
26450		細石刃	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		0.76	0.24	0.07	<0.1
26455		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		1.38	2.03	0.18	0.5
26458		彫器削片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		1.49	0.81	0.2	0.3
26462		石器破片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		1.34	0.53	0.26	0.2
26474		石刃	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石	折 147	1.42	1.88	1.94	2.1
26484		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		2.07	1.56	0.14	0.5
26502		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		2.74	1.27	0.49	1.2
26503		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		2.24	1.4	0.32	1.1
26508		彫器削片	2B	7-12b	Ⅲ	頁岩		0.72	0.42	0.05	<0.1
26524		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.19	2.69	0.4	2.1
26525		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.1	3.56	0.85	4.9
26526		石刃	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.14	1.38	0.26	0.9
26527		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		1.76	2.01	0.27	0.7
26528		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.53	1.68	0.14	0.8
26529		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	頁岩		1.61	3.03	0.77	2.3
26530		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.76	2.38	0.42	1.7
26531		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.21	1.91	0.22	1
26532	79	搔器	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石	折 144	3.92	1.97	0.68	5.8
26562		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.91	2.28	0.44	1.7
26563		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.37	2.22	0.29	1.2
26564		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.33	2.38	0.52	3.8
26565		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.88	1.43	0.32	0.9
26566		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.44	1.51	0.56	2.2
26567		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.67	2	0.55	1.5
26578	141	彫器削片	2B	7-13d	Ⅲ	頁岩		1.48	0.54	0.18	0.2
26580	118	彫器	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		7.4	2.51	0.86	14
26581		石刃	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		3.76	1.36	0.5	2.2
26582		錐形石器	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		3.91	2.58	0.91	6.5
26590		石器破片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		0.64	0.6	0.39	0.1
26613		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.82	2.07	0.28	0.9
26616		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2	0.28	0.2	0.1
26619		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.75	2.19	0.41	1.2
26628		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		0.68	0.57	0.13	0.1
26631		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.14	1.6	0.3	0.9
26634	59,b-1	細石刃核削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石	剥 93	1.12	0.36	0.16	0.1
26636		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		0.77	0.23	0.1	0.1
26646		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.19	1.37	0.27	0.9
26692	4	細石刃	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		1.51	0.43	0.17	0.1
26697		彫器削片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		0.79	0.57	0.07	<0.1
26727		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.02	1.2	0.25	0.9
26730		石器破片	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		1.05	0.52	0.24	0.1
26732	155	彫器削片	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		1.35	0.63	0.11	0.1
26751		彫器削片	2B	6-11d	Ⅲ	頁岩		0.84	0.15	0.17	<0.1

表 16 遺物観察表 (11)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
26762	136	彫器削片	2B	6-11c	Ⅲ	頁岩		1.75	0.36	0.29	0.2
26773		石器破片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		0.56	1.15	0.62	0.4
26809	42	細石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		0.56	0.21	0.05	<0.1
26811		石器破片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.33	1.06	0.56	0.9
26812		細石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		0.4	0.21	0.05	<0.1
26823		石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		3.22	1.73	0.51	3.2
26824		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.81	1.64	0.41	1.6
26825		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.27	2.97	0.34	2.5
26826		石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.13	2.49	0.73	1.7
26831		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.38	2.38	0.13	0.4
26844		石刃	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.83	1.63	0.42	1.2
26874		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		3.79	3.57	0.67	8.9
26895		彫器削片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		1.64	0.37	0.14	0.2
26911		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石	折 146	2.15	2.11	1.2	6.1
26912		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.29	2.01	0.41	1.1
26913		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		1.83	2.24	0.27	0.9
26914		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.49	1.75	0.33	1
26915		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.45	1.03	0.33	0.8
26916		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.88	1.86	0.42	1.6
26936		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.4	1.82	0.41	2.7
26943		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		4.09	1.41	0.65	2.4
26945		彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		1.9	0.74	0.35	0.3
26948		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		6.35	4.01	0.62	11.3
26950		石刃	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石		0.76	1.29	0.72	0.8
26967		細石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.12	0.39	0.15	0.1
26976		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.08	1.24	0.13	0.5
26980		石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.61	1.2	0.26	0.5
26988		石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.56	1.83	0.38	0.8
27070		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.3	1.16	0.11	0.5
27072	184	錐形石器	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石	折 151	3.93	2.68	0.85	7.4
27073		石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.84	1.97	0.27	1.7
27074	231	石刃	2B	6-11d	Ⅲ	頁岩	折 150	4.83	1.8	0.61	4.4
27078		石器破片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.07	1.02	0.25	0.3
27084	185	錐形石器	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		3.57	2.14	0.81	5.6
27085		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.42	2.71	0.44	3.4
27086	103	搔器	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		3.82	2.46	0.64	6.7
27087		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.2	1.29	0.24	0.6
27088		剥片	2B	7-11a	Ⅲ	頁岩		7.88	5.83	1.19	40.1
27091		剥片	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		3.44	1.54	0.39	1.8
27093	90	搔器	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		4.11	2.22	0.66	7.1
27120		石刃	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		0.51	1.01	0.32	0.1
27122		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.11	1.54	0.28	1
27123	235	剥片	2B	7-12b	Ⅲ	頁岩		6.11	2.04	0.66	4.6
27124		石刃	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		3.88	2.93	0.61	6.2
27125	232	石刃	2B	7-12a	Ⅲ	頁岩	折 149	5.5	2.4	0.82	9.9
27126	219	石刃	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石	折 152	5.57	1.83	0.41	4.8
27127		削器	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		3.09	2.29	0.58	4.6
27128		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.15	2.31	0.24	1.1
27130		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.42	2.11	0.31	0.8
27163		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.36	1.02	0.3	0.5

表 17 遺物観察表 (12)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
27176	119	彫器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石	折 145	4.22	1.76	0.83	6.3
27177	77	搔器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石	折 143	3.42	1.51	0.73	4.6
27178	102	搔器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		4.81	2.56	0.92	12.4
27179		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		4.77	1.66	0.62	4.3
27180		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.82	3.41	0.5	4
27181	87	搔器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		7.32	2.92	0.97	20.4
27197		彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		1.28	0.11	0.19	0.1
27214		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		4.07	2.71	0.4	3.2
27215	127	彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		2.18	0.53	0.17	0.3
27216		石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		3.12	1.87	0.53	2.5
27217	76	搔器	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		4.68	1.93	0.67	6.4
27241	38	細石刃	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		0.71	0.25	0.06	<0.1
27244		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		2	1.6	0.16	0.8
27246	96	搔器	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		4.52	2.59	0.74	8.7
27247		石刃	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		3.7	2.54	0.42	3.8
27251		彫器削片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.2	0.25	0.08	0.1
27265		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.36	1.59	0.16	0.5
27299		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.24	2	0.15	0.8
27308		彫器削片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.37	0.49	0.1	0.2
27312		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	頁岩		2.07	0.72	0.16	0.3
27319		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.17	1.48	0.12	0.6
27372		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.5	1.55	0.17	0.6
27374		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.11	0.26	0.06	0.1
27431		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		2.05	1.57	0.15	0.5
27443	162	彫器削片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		1.86	0.84	0.13	0.4
27444		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		1.94	2.36	0.3	1.9
27462		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		2.45	1.6	0.25	1.2
27476		彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		0.59	0.63	0.12	0.1
27492	23	細石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		0.92	0.34	0.1	0.1
27497		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.12	2.21	0.15	0.5
27498		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		3.4	2.37	0.35	2.8
27499		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.61	1.59	0.2	1
27500		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		4.69	2.02	0.35	3.5
27501		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		2.26	1.03	0.3	0.6
27513		顔料原材	2B	7-12d	Ⅲ	不明		0.71	0.49	0.35	0.2
27516		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		0.95	0.26	0.09	0.1
27536		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.34	0.82	0.17	0.3
27540		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.41	3.03	0.24	1.7
27541		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.66	2.94	0.52	3
27542		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩	剥 83	3.43	3.87	0.58	9.5
27543		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩	折 155	4.63	2.28	0.72	5.3
27544		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.5	2.8	0.77	5.7
27545	173	削器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		4.67	2.73	1.11	10.1
27546		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.4	2.2	0.27	2.4
27547	175	削器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		4.71	2.86	0.72	8.2
27548		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.34	2.9	0.42	1.1
27581		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.41	1.35	0.2	0.4
27583		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2	1	0.12	0.4
27626	182	錐形石器	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石	折 160	3.39	1.88	0.41	3.1
27662	21	細石刃	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.33	0.37	0.07	0.1

表 18 遺物観察表 (13)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
27673		石刃	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.78	1.09	0.34	0.7
27674		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.26	1.89	0.2	0.8
27675		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.63	1.74	0.51	1.8
27712		顔料原材	2B	6-11d	Ⅲ	不明		3	1.81	1.41	7.9
27719		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.62	2.71	0.36	2.3
27725		彫器削片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.06	0.35	0.08	0.1
27737		石刃	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.46	2.08	0.4	2.2
27738		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.58	1.34	0.39	1.1
27748	122	彫器	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石	折 175	2.62	2.55	0.64	5.2
27757	140	彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		1.6	0.42	0.15	0.1
27772		彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		0.91	0.46	0.22	0.1
27779	6	細石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.56	0.5	0.07	0.1
27799		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.03	2.13	0.18	1
27800		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.95	2.55	0.83	4.4
27889		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.14	0.81	0.27	0.4
27920		剥片	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石		2.32	1.01	0.45	0.7
27943		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.11	0.67	0.24	0.3
28020		彫器削片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		1.72	0.64	0.18	0.3
28045		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		3.16	1.68	0.35	1.6
28046		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		2.66	2.79	0.55	3.6
28047		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.68	3.29	0.46	2.8
28048	m-1	剥片	2B	7-13b	Ⅲ	凝灰岩	剥 96	5.99	5.01	0.7	19.2
28049	110	彫器	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		9.1	2.99	0.84	25.5
28050	75	搔器	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		6.04	1.98	0.76	10.1
28051		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		4.2	2.22	0.5	4.4
28052		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	凝灰岩	剥 80	3.59	2.6	0.95	7.3
28053		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩	剥 82	3.01	1.5	0.43	0.6
28054		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.42	3	0.76	3.3
28055		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		2.47	3.37	0.4	2.4
28056		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.4	0.97	0.19	0.3
28057	77	搔器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石	折 143	5.6	1.7	0.56	7.7
28058		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.36	2.92	0.81	2.3
28059		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.12	2.52	0.37	1.3
28060		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.81	3.14	0.52	2.7
28062		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.17	0.87	0.12	0.4
28063		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	凝灰岩	剥 81	3.03	2.91	0.92	6.6
28064		錐形石器	2B	7-11a	Ⅲ	頁岩	折 148	2.22	1.31	0.52	1.7
28065		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.14	2.88	0.43	1.9
28066		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.55	1.66	0.22	1.1
28067		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		4.35	4.9	1.24	29.7
28089		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.15	2.14	0.37	1.3
28092		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.88	2.28	0.63	2.2
28093	31	細石刃	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		0.93	0.28	0.07	<0.1
28105		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.23	2	0.2	0.5
28121		彫器削片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		1.59	0.4	0.11	0.1
28143		剥片	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石		2.24	1.94	0.45	1.6
28157		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		2.55	2.56	0.38	2.2
28158		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		3.02	1.63	0.58	2.9
28159		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	凝灰岩		2.3	2.87	0.47	2.8
28160	74	尖頭器	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.19	1.23	0.33	0.8

表 19 遺物観察表 (14)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
29006		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.17	2.26	0.26	1.1
29049		顔料原材	2B	7-13a	Ⅲ	不明		0.77	0.63	0.46	0.2
29064		両面調整石器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.19	1.04	0.88	1.2
29106	156	彫器削片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.09	0.74	0.09	0.3
29166		剥片	2B	6-12d	Ⅲ	頁岩		1.56	2.07	0.2	0.6
29220		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.26	1.59	0.24	0.7
29224		彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		1.68	0.51	0.07	0.1
29259		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.27	1.32	0.17	0.5
29262		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.27	1.54	0.32	0.8
29322		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.73	2.08	0.21	0.9
29338		顔料原材	2B	6-12b	Ⅲ	不明		1.56	1.08	0.63	1.1
29382		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.98	2.2	0.23	1
29384		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.63	2.42	0.42	1.8
29419		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石	折 164	1.85	0.68	0.5	0.4
29422		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.29	1.68	0.44	0.8
29450		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.55	2.47	0.52	1.8
29451		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石	折 166	1.45	2.66	0.68	1.7
29481		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.13	1.86	0.22	1
29519		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.29	2.35	0.18	0.6
29531		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.18	1.2	0.2	0.5
29564		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.78	2.09	0.45	2.3
29567	7	細石刃	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.47	0.36	0.04	< 0.1
29569		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.64	1.73	0.25	0.9
29588	143	彫器削片	2B	6-11b	Ⅲ	頁岩		1.33	0.33	0.1	< 0.1
29611	28	細石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		0.59	0.23	0.07	< 0.1
29616		彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		1.7	0.48	0.28	0.3
29687	144	彫器削片	2B	7-11c	Ⅲ	頁岩		1.32	0.67	0.14	0.2
29713	50	細石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		0.59	0.2	0.07	< 0.1
29837	25	細石刃	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		0.68	0.25	0.06	< 0.1
29894		彫器削片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		0.75	0.44	0.09	< 0.1
29902	142,e-1	彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩	剥 90	1.42	0.46	0.2	0.2
29906		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.95	3.08	0.48	2.1
29921		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.41	0.75	0.23	0.5
29922		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.45	2.71	0.15	0.7
29998		剥片	2B	6-12d	Ⅲ	黒曜石		2.13	1.31	0.2	0.6
30020		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.14	1.52	0.13	0.7
30027		彫器削片	2B	6-12b	Ⅲ	頁岩		1.1	0.23	0.08	< 0.1
30031		彫器削片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		0.82	0.53	0.11	< 0.1
30040		石器破片	2B	6-12a	Ⅲ	黒曜石					0.1
30041	129	彫器削片	2B	6-12a	Ⅲ	頁岩		1.91	0.46	0.16	0.3
30063		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.23	2.6	0.38	2.8
30064		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.64	2.61	0.49	1.7
30065		石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石	折 167	2.23	2.04	1.99	6.4
30066		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		3.24	2.33	0.26	2
30067		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		2.07	1.85	0.51	1.2
30068		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.41	1.72	0.42	1.9
30069		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		3.5	2.34	0.79	4.5
30070		剥片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		2.11	1.82	0.28	0.8
30071		搔器	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.85	2.02	0.64	3.5
30072		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.81	2.5	0.53	3.9

表 20 遺物観察表 (15)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
30173		顔料原材	2B	7-12c	Ⅲ	不明		1.13	1.02	0.28	0.3
30182	27	細石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		0.91	0.21	0.03	< 0.1
30197		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.29	0.38	0.13	0.2
30250		搔器	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.31	1.93	0.28	1.3
30263		彫器削片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.31	0.58	0.13	0.1
30271		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		2.86	1.83	0.26	1.1
30273		剥片	2B	6-11d	Ⅲ	頁岩		2.9	1.61	1.42	3.3
30288		剥片	2B	7-13d	Ⅲ	黒曜石		1.75	1.9	0.73	1.5
30296		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.61	2.47	0.18	0.8
30311		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.2	1.86	0.2	0.8
30313		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		4.01	1.87	0.47	3.6
30320		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		1.55	2.06	0.32	0.7
30325		搔器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.43	1.37	0.31	0.5
30381		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.05	0.36	0.05	< 0.1
30416		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.08	2.4	0.31	1.3
30485	152	彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.53	0.22	0.34	0.2
30557	24	細石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.1	0.42	0.13	0.1
30574		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.33	0.96	0.15	0.5
30588		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.77	2.4	0.21	1
30589		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		0.97	0.63	0.01	< 0.1
30601		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.97	2.87	0.78	3.8
30667	176	削器	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.72	3.42	0.72	7.6
30668		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	頁岩	折 178	2.73	1.67	0.44	2.3
30669		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	凝灰岩		2.52	3.76	0.65	5.2
30672		細石刃核削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石					0.2
30687		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.74	2.72	0.3	1.8
30708		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.76	2.14	0.23	0.8
30725	26	細石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1	0.32	0.09	< 0.1
30749		顔料原材	2B	7-12c	Ⅲ	不明		0.73	0.43	0.17	< 0.1
30812		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		3.04	2.19	0.26	1.4
30826		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		0.97	2.32	0.2	0.5
30828		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.66	2.06	0.2	0.9
30836		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.03	1.58	0.42	0.8
30846		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.24	1.56	0.22	0.8
30855		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.15	0.7	0.34	0.4
30930		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.24	1.05	0.33	0.5
30957		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.43	1.36	0.28	1
30958		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	頁岩		1.97	1.55	0.31	0.9
30967		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		2.19	1.77	0.19	0.8
31006		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石					0.9
31007		剥片	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石					1.5
31009		搔器	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		4.65	2.52	0.47	5.7
31010		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.97	2.86	0.41	3.1
31011		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		3.35	1.68	0.51	1.8
31012	238	剥片	2B	7-12d	Ⅲ	凝灰岩	折 179	6.19	2.4	0.64	13.7
31013		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.57	2.45	0.71	3.8
31014		削器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石	折 162	4	4.12	1.02	14.5
31015		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.35	2.65	0.52	3.6
31016		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.12	2.81	0.4	0.9
31017		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		3.17	3.6	0.7	5.2

表 21 遺物観察表 (16)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)
31018		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.28	1.91	0.48	2.9
31019		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.67	2.07	0.22	1.8
31020		削器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.27	2.3	0.68	3.4
31021	92	搔器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		4.48	2.34	0.79	7.7
31022		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.5	3.61	0.54	7.6
31023	212	石刃	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		6.69	2.33	1.14	12.9
31024		削器	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		6.9	4.61	0.95	28.7
31025		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.15	4.11	0.82	5.5
31026		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		3.36	2.04	0.39	2.3
31027		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		3.17	3.07	0.65	6
31028		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		4.08	2.67	0.84	5
31029		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		3.4	2.37	0.34	2.6
31030		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		2.63	1.57	0.32	1.5
31031		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	凝灰岩		2.93	1.83	0.39	1.9
31032		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.52	1.57	0.42	1.3
31033		石刃	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.51	1.3	0.35	1.2
31034		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		5.5	1.83	0.63	4.5
31035		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.52	2.79	0.96	6.7
31036	182	錐形石器	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石	折 160	3.56	1.73	0.48	2.9
31037	204	石刃	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石	折 163	2.81	1.73	0.43	1.7
31038	204	石刃	2B	7-11a	Ⅲ	黒曜石	折 163	2.83	1.74	0.56	3
31039		搔器	2B	6-11d	Ⅲ	黒曜石		5.06	2.73	1.49	17.5
31045		彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.77	0.3	0.35	0.3
31049	43	細石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		0.56	0.21	0.05	< 0.1
31086		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.24	1.89	0.26	1
31139		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.42	1.47	0.23	0.6
31174		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		3.12	1.78	0.46	2.9
31175		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.68	1.39	0.67	2.4
31176		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.39	2.4	0.54	4
31216		石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石	折 167	3.6	2.77	1.6	9.8
31218		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.47	0.61	0.12	0.2
31220		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.44	1.53	0.57	0.9
31221		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.68	1.86	0.18	1.2
31222		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.7	3.41	1.12	7.9
31232		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.17	0.27	0.12	< 0.1
31284		剥片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		2.78	1.94	0.26	1.6
31309	9	細石刃	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石		1.37	0.31	0.11	< 0.1
31320		削器	2B	6-12b	Ⅲ	黒曜石	折 162	2.23	1.91	0.77	2.2
31345		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.72	2.3	0.55	2.5
31354	40	細石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		0.42	0.19	0.02	< 0.1
31389	157	彫器削片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.28	0.77	0.17	0.4
31391		石刃	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.6	1.45	0.31	0.8
31392		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	頁岩		3.91	3.48	0.43	5.4
31403	163	彫器削片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.69	0.55	0.16	0.2
31405		錐形石器	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.19	0.74	0.54	0.7
31430	164	彫器削片	2B	7-11c	Ⅲ	黒曜石		1.65	0.45	0.09	0.1
31467		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.5	3.25	0.53	4.3
31495	39	細石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		0.62	0.27	0.04	< 0.1
31510		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.68	1.19	0.31	0.9
31529		細石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		0.48	0.15	0.03	< 0.1

表 22 遺物観察表 (17)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)
31547		石器破片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.94	1.54	0.43	0.9
31564		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		0.74	0.31	0.19	< 0.1
31569		彫器削片	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		1.11	0.32	0.13	< 0.1
31588		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.93	3.79	1.43	11.5
31591		彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		1.91	0.75	0.14	0.2
31596		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.11	0.66	0.16	0.1
31598		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.84	2.22	0.26	2.1
31600		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.9	2.13	0.48	3.2
31602		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.11	1.81	0.51	2.8
31619		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.19	1.36	0.38	1.4
31622		石刃	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.37	1.18	0.48	1.4
31624		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		2.5	1.93	0.19	1.5
31659		剥片	2B	6-12d	Ⅲ	黒曜石		1.89	2.85	0.42	2.1
31661		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.87	1.99	0.26	1.4
31662		石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.78	1.24	0.31	0.7
31684	125	彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		1.51	0.23	0.2	< 0.1
31716	33	細石刃	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		0.86	0.27	0.05	< 0.1
31726		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	頁岩		1.39	1.27	0.21	0.7
31746		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.85	2.83	0.37	2.5
31747	151,d-2	彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩	剥 95	1.37	0.41	0.18	0.1
31748		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.68	1.76	0.22	1
31757		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.23	3.09	0.35	2.8
31758		彫器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		4.3	2.42	0.69	7.9
31759	209	石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		6.22	2.66	0.79	13.2
31770		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.62	2.19	0.22	0.7
31771		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		5.04	2.08	1.04	8.5
31775		削器	2B	7-13a	Ⅲ	黒曜石		2.55	2.34	0.92	6.6
31783	202,j-1	石刃	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石	剥 89	3.2	1.72	0.46	2.7
31789		石刃	2B	7-12a	Ⅲ	黒曜石		5.15	2.07	0.59	4.9
31803		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.43	2.03	0.54	1.2
31810		石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.55	2.39	0.63	3.9
31811		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		2.48	3.72	0.51	4
31812		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.12	2.98	0.52	1.3
31813		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		4.54	1.47	0.34	2.3
31815		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		5.23	2.2	0.99	8
31822		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.59	2.13	0.53	2.1
31837		錐形石器	2B	7-11d	Ⅲ	黒曜石					0.7
31849		剥片	2B	7-12c	Ⅲ	黒曜石		1.61	3.38	0.21	0.9
31880	46	細石刃	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.36	0.27	0.07	< 0.1
31883		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.27	1.82	0.4	1.3
31885	239	剥片	2B	7-12d	Ⅲ	凝灰岩		2.84	4.32	0.84	10.9
31890		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		1.55	2.78	0.77	2.2
31902		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.49	2.25	0.15	0.7
31904		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.44	3.23	0.63	2.8
31915	115,d-1	彫器	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩	剥 95	6.33	1.74	1.14	9.4
31932		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.7	3.09	0.28	1.6
31949		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.11	2.1	0.29	2.7
31953		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		5.58	2.07	0.4	3.8
31961		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.12	2.13	0.23	0.7
31962		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石					0.4

表 23 遺物観察表 (18)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
31969		彫器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.76	2.02	0.76	4
31970	178	削器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		3.41	3.35	0.86	7.7
31971		石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石	折 176	2.23	2.51	0.52	2.9
31972		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.83	2.26	0.46	2.5
31974		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2	2.78	0.34	1.6
31998		彫器削片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.19	0.49	0.12	0.1
32007		彫器削片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.38	0.28	0.26	< 0.1
32008		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.85	2.42	0.17	1
32012		顔料原材	2B	7-12d	Ⅲ	不明		6.03	5.28	3.48	70.5
32025		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	頁岩		4.54	1.87	0.4	3.4
32029		剥片	2B	8-13d	Ⅱ	黒曜石		2.21	2.12	0.56	2.4
32036		剥片	2B	8-12c	Ⅱ	黒曜石		2.46	1.17	1.12	3.4
32037		搔器	2B	8-12b	Ⅱ	黒曜石		3.88	3.14	0.5	5.4
32047		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.56	2.87	0.27	2.3
32052		石刃	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		4.33	2.29	0.81	6.9
32053		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		3.88	2.62	0.59	6.1
32056		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	頁岩		2.48	1.2	0.24	0.7
32059		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石	折 146	1.98	2.92	0.68	3.8
32060		石刃	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		4.26	2.34	1.44	11.6
32063		剥片	2B	8-11b	Ⅱ	黒曜石		3.22	1	0.47	1.2
32070		剥片	2B	8-11a	Ⅱ	黒曜石		0.86	2.56	0.18	0.4
32071		剥片	2B	8-11a	Ⅱ	黒曜石		1.82	2.14	0.11	0.7
32073		剥片	2B	8-11a	Ⅱ	黒曜石		3.47	1.83	0.55	3.1
32075		彫器削片	2B	8-13b	Ⅱ	頁岩		1.36	0.44	0.17	0.2
32082		剥片	2B	8-12c	Ⅱ	黒曜石		2.8	3.5	0.66	5
32083	12	細石刃	2B	8-12c	Ⅱ	黒曜石		1.35	0.31	0.07	< 0.1
32091		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.13	2.54	0.22	1.4
32094		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.48	1.05	0.1	0.4
32114		石刃	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		1.82	1.42	0.56	1.8
32116		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.25	0.79	0.14	0.2
32119		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.13	1.25	0.15	0.6
32123		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.25	1.67	0.15	0.7
32131		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.64	3.18	0.32	2.8
32132		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.03	2.25	0.37	1.4
32133		石刃	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石	折 165	0.75	2.94	0.93	2.3
32134		石刃	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		4.59	2.02	0.86	6.4
32135		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.91	2.05	0.49	2.1
32137		搔器	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		3.39	2.55	1.2	9.9
32138		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		1.32	2.48	0.27	1.3
32140		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.85	3.19	0.38	2.3
32142		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.78	2.63	0.25	1.4
32144	213	石刃	2B	8-13b	Ⅱ	黒曜石		6.5	2.45	0.63	11.4
32146		搔器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.5	2.47	0.51	4.1
32147		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.08	2.1	0.22	1.5
32148		石器破片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.07	2.3	0.67	1.2
32151		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石	折 164	1.5	1.02	0.66	0.9
32153		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.55	2.38	0.23	0.9
32165		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石					0.5
32173	130	彫器削片	2B	8-11d	Ⅱ	頁岩		2.1	0.42	0.23	0.2
32175		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.16	1.99	0.38	1.6

表 24 遺物観察表 (19)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)
32176		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	頁岩		7.63	5.09	1.03	33.1
32177	220	石刃	2B	8-11d	Ⅱ	頁岩	折 170	4.28	1.21	0.48	3.6
32178		石刃	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		4.32	2.42	1.2	10
32179	97	搔器	2B	8-11c	Ⅱ	黒曜石		4.76	2.44	0.66	7.3
32180		石刃	2B	8-11b	Ⅱ	黒曜石		3.22	1.93	0.54	3.2
32181		剥片	2B	8-11b	Ⅱ	頁岩		3.97	2.67	0.56	7.8
32182	229	石刃	2B	8-11b	Ⅱ	頁岩		5.53	1.95	0.46	5.8
32183		搔器	2B	8-11b	Ⅱ	黒曜石		2.33	3.23	0.99	7.5
32185	227	石刃	2B	8-11a	Ⅱ	頁岩		7.06	1.53	0.47	4.7
32194		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		2.51	2.11	0.31	1.7
32196		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.99	2.1	0.89	2.3
32213		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.37	1.72	0.11	0.5
32215		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		3.51	3.31	0.56	4.9
32216		石刃	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		4.03	1.45	0.47	2.3
32219		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.86	2.95	0.5	1.8
32231		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	凝灰岩		1.53	2.67	0.24	1.1
32234		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		1.99	2.17	0.43	1.5
32238		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.55	1.61	0.31	0.8
32239		石器破片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		1.71	0.61	0.43	0.4
32244		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		1.46	2.14	0.31	1
32245		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		3.35	1.4	0.4	2
32251		剥片	2B	8-11b	Ⅱ	凝灰岩		1.62	2.26	0.33	1.3
32254		剥片	2B	8-11a	Ⅱ	黒曜石		2.36	1.33	0.31	1
32257		剥片	2B	8-11a	Ⅱ	黒曜石		2.05	1.29	0.21	0.5
32260	113	彫器	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		5.75	2.14	0.8	11.2
32262		石器破片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.87	1.56	0.49	1.1
32263		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		0.89	2.23	0.14	0.4
32265		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		7.39	4.93	1.6	54.5
32266	95	搔器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石	折 161	3.82	2.47	1.13	13.3
32267		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.29	2.24	0.29	0.9
32270		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.01	2.41	0.15	0.5
32271		剥片	2B	8-12b	Ⅱ	黒曜石		2.19	1.26	0.22	0.7
32272	236	剥片	2B	8-12b	Ⅱ	凝灰岩	折 169	1.94	2.8	0.54	3.7
32275		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		3.32	1.92	0.55	3
32279	48	細石刃	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		1.01	0.29	0.13	< 0.1
32284		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.48	2.03	0.16	0.9
32290		石刃	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.34	1.97	0.86	4.5
32291		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	頁岩		2.49	3.49	0.57	4.1
32292		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		3.67	2.64	0.72	5.6
32293		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.64	3.83	0.41	3.6
32294		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.63	4.07	1.06	8.9
32295		石刃	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.85	2.07	0.38	2.5
32296	171	削器	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		5.65	2.21	0.52	7.1
32297		石刃	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.73	1.95	0.64	2.9
32298		搔器	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.52	2.11	0.83	3.8
33008		剥片	2B	8-12c	Ⅱ	黒曜石		4.01	3.56	1.75	13.9
33014		石刃	2B	8-11a	Ⅱ	黒曜石		1.54	0.85	0.4	0.4
33017		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.47	0.87	0.24	0.7
33019		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	凝灰岩		3.19	2.09	0.4	2.3
33030		剥片	2B	8-11a	Ⅱ	黒曜石		2.01	2.45	0.41	1.6

表 25 遺物観察表 (20)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
33041		剥片	2B	8-11a	Ⅱ	黒曜石		1.04	2.37	0.69	1.8
33058		剥片	2B	8-11b	Ⅱ	凝灰岩		1.42	2.49	0.2	0.6
33059		石器破片	2B	8-11b	Ⅱ	黒曜石		1.21	0.42	0.19	0.1
33101		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	頁岩		2.46	2.35	0.2	1.4
33103		剥片	2B	8-12a	Ⅱ	黒曜石		2.65	2.15	0.31	1.9
33104		剥片	2B	8-12a	Ⅱ	黒曜石		2.09	2.18	0.36	1.5
33105	135	彫器削片	2B	8-12a	Ⅲ	頁岩		1.26	0.47	0.06	0.1
33129		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		2.13	1.15	0.21	0.5
33132		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.36	2.38	0.48	1.5
33137	196	錐形石器	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		2.97	1.84	0.3	1.7
33143		削器	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.68	2.09	1.39	7.4
33149		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		2.19	2.11	0.98	3
33163	70	細石刃核削片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.35	0.41	0.24	0.2
33184		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.83	2.14	0.56	2.7
33190		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		2.21	1.06	0.22	0.4
33217	147	彫器削片	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		1.33	0.37	0.1	<0.1
33226		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.06	1.33	0.2	0.7
33232		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.49	2.29	1.3	6
33236	29	細石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.08	0.23	0.06	<0.1
33246		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		0.87	0.53	0.13	<0.1
33249		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.9	1.94	0.31	1.2
33262		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.44	2.12	0.36	1.3
33279	165	彫器削片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.61	0.42	0.18	0.2
33290		剥片	2B	8-11a	Ⅱ	黒曜石		2.7	1.78	0.37	1.5
33291	237	剥片	2B	8-11a	Ⅲ	凝灰岩		3.32	6.21	1.08	23.6
33292	181	削器	2B	8-11a	Ⅲ	砂岩	折 173	4.21	6.37	0.67	21.7
33293		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	頁岩	折 177	5.76	3.73	1.76	20.5
33294		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	頁岩		4.37	1.91	0.37	2.8
33295		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	頁岩	折 177	5.85	2.87	1.83	25.4
33296		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		0.73	2.6	0.51	0.8
33297		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.3	2.71	0.62	4.9
33298		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.95	1.05	0.22	0.8
33299	225	石刃	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		5.69	1.85	0.65	5.8
33300		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.73	2.61	0.38	4.3
33301		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.51	1.42	0.21	1
33302		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.28	2.86	0.52	4
33303		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.61	1.93	0.21	1
33304		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.13	1.11	0.46	1.1
33305		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		3.24	2.06	0.61	2.3
33306		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		3.42	1.8	0.25	1.5
33328		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.42	1.52	0.18	0.6
33338		石刃	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		3.18	1.22	0.35	1.2
33372		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.04	2.04	0.3	1
33395		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.83	1.47	0.27	1.1
33398		細石刃核削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.38	0.43	0.3	0.2
33399		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.08	0.81	0.93	1.2
33427		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		3.05	2.95	0.52	3.5
33431		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		3.17	2.43	0.22	1.6
33432		剥片	2B	8-11c	Ⅱ	黒曜石		2.89	2.17	0.39	2.2
33439		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.93	2.54	0.34	1.1

表 26 遺物観察表 (21)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
33441		顔料原材	2B	8-11d	Ⅲ	不明					0.2
33448		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.54	2.18	0.16	0.6
33451		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	凝灰岩		2.4	3.14	0.48	4.2
33456		石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.75	2.08	0.61	2.3
33463		石刃	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		2.11	1.45	0.41	1.5
33471		石刃	2B	8-12b	Ⅱ	黒曜石		2.08	2.5	0.51	2.5
33474		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.52	2.28	0.53	2.9
33492		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.17	2.33	0.2	0.8
33494		彫器削片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		0.64	0.43	0.13	<0.1
33496		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	頁岩		1.52	2.03	0.46	0.9
33506		石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.1	2.41	0.83	3.9
33516		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.4	1.62	0.59	1.9
33528	20	細石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.35	0.37	0.08	<0.1
33542		剥片	2B	8-12b	Ⅱ	黒曜石		2.27	2.38	0.28	1.4
33556		細石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		0.85	0.57	0.09	<0.1
33571		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.03	1.78	0.22	1.3
33576		搔器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.71	2.03	0.44	1.7
33599	53	細石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		0.88	0.24	0.07	<0.1
33600		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.03	1.95	0.29	1.2
33604		石刃	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩	折 178	1.92	1.63	0.42	1.2
33607		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.43	1.44	0.1	0.5
33626		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.67	2.66	0.39	1.3
33632		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.25	1.76	0.42	1.4
33642	68	細石刃核削片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.45	0.52	0.23	0.2
33644		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.41	1.88	0.49	0.9
33657		剥片	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		2.57	1.6	0.17	0.9
33658		石刃	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		2.31	1.54	0.35	1.4
33659		剥片	2B	8-11b	Ⅲ	黒曜石		2.42	1.04	0.19	0.4
33660		剥片	2B	8-11b	Ⅱ	黒曜石		2.85	2.58	0.72	4.1
33661		両面調整石器	2B	8-11b	Ⅱ	黒曜石		5.27	1.06	0.94	4.6
33662		剥片	2B	8-11b	Ⅱ	黒曜石		3.01	3.37	0.51	5
33663	180	削器	2B	8-11b	Ⅱ	頁岩		4.49	3.47	1.2	27.5
33664		搔器	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		3.23	2.39	0.97	5.4
33665	215	石刃	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		5.46	2.92	0.87	12.4
33666		石刃	2B	8-12b	Ⅱ	黒曜石		3.12	1.94	1.05	6.7
33667		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		5.07	1.9	0.54	3.3
33668		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		3.71	2.05	0.36	3.5
33669		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		4	2.5	0.55	5.6
33670		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.62	2.18	0.52	3.5
33671		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.49	2.12	0.42	2.9
33672		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.79	3.8	0.44	4.2
33673		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.94	1.71	1.1	7
33674		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		2.82	1.46	0.5	1.4
33675	168	削器	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		7.37	4.34	0.81	22.2
33676		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.15	2.71	0.84	5.9
33677		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.64	1.76	0.52	2.2
33678	233	剥片石核	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		8.1	5.44	2.97	137.9
33691		剥片	2B	8-11b	Ⅱ	黒曜石		2.1	2.39	0.26	0.9
33703	69,b-2	細石刃核削片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石	剥 93	1.69	0.43	0.14	0.1
33726		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.52	0.92	0.55	1.5

表 27 遺物観察表 (22)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
33728		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.92	2.15	0.4	1.6
33729		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.55	1.89	0.16	0.7
33730		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	凝灰岩		2.94	2.43	0.4	2.4
33731		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.81	2.66	0.99	5.3
33749		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		0.65	1.41	0.57	0.6
33751		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.04	1.37	0.3	0.7
33758		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.22	1.75	0.42	1.5
33778		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.09	2.36	0.93	3.7
33785		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.15	1	0.26	0.7
33794	62	細石刃核削片	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		1.56	0.62	0.17	0.2
33822	64,c-1	細石刃核削片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石	剥 94	1.85	0.74	0.33	0.2
33824		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.52	2.51	0.3	1.5
33825		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.46	2.27	0.15	0.5
33827		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.1	1.74	0.21	0.6
33828		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.22	1.34	0.09	0.4
33829		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2	2.01	0.16	0.7
33831		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.77	2.04	0.29	1.3
33841		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		2.55	2.3	0.2	1
33866		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.45	1.03	0.36	1.4
33874		搔器	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.79	2.25	0.94	4.2
33908		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		2.36	0.74	0.19	0.5
33909		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.32	2.07	0.39	0.9
33917		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		4.31	1.44	0.41	2.7
33918		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.1	2.35	0.37	3.6
33922		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.37	2.22	0.17	0.7
33923		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		4.28	4.02	0.78	10.6
33932	122	彫器	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石	折 175	4.71	2.74	0.73	10.3
33933		石刃	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		3	2.11	0.34	2.9
33934		石刃	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		2.63	1.08	0.27	0.8
33935	186	錐形石器	2B	8-11a	Ⅱ	黒曜石		3.27	4.77	0.86	12.2
33936		剥片	2B	8-11b	Ⅱ	黒曜石		3.65	2.76	0.62	4.9
33937		搔器	2B	8-11c	Ⅱ	黒曜石		2.7	3.5	0.8	5.2
33938		搔器	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		3.32	3.09	1.03	8.8
33939		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.19	1.1	0.19	0.7
33940		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩		2.67	2.45	0.26	1.4
33941		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	凝灰岩		2.86	1.31	0.37	1.4
33942		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		3.55	2.31	0.79	8.6
33943		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		3.13	1.92	0.57	3.3
33944		石刃	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		4.6	1.74	0.61	4.7
33945		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		4.91	2.93	0.9	8.7
33946		石刃	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		3.61	1.2	0.45	1.4
33947		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.38	3.08	0.28	2
33948		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.56	1.18	0.21	0.8
33949	240	剥片	2B	8-12d	Ⅲ	凝灰岩		4.88	3.28	0.77	13.4
33950		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		3.33	2.21	0.35	2
33951	195	錐形石器	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		2.58	2.15	0.27	1.6
33952		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		4.34	1.8	0.39	3
33953		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.71	2.93	0.13	0.9
33954		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.68	0.64	0.2	0.5
33962		剥片	2B	8-11a	Ⅲ	凝灰岩		3.87	3.79	0.73	11.9

表 28 遺物観察表 (23)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
33976		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	頁岩		3.18	2.44	0.73	3.5
33984		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.83	2.29	0.65	2.6
33992		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		3.08	1.47	0.39	1.9
34004		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	凝灰岩		2.18	2.85	0.32	2.3
34007		石器破片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		0.97	0.35	0.2	<0.1
34016		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩		2.7	1.66	1.02	2.2
34031		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.21	2	0.25	0.9
34036		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.96	2.58	0.34	2.6
34041		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.95	2.15	0.53	1.7
34049	181	削器	2B	8-12b	Ⅲ	砂岩	折 173	3.04	3.69	0.51	5.7
34052		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		3.27	1.85	0.27	1.4
34056		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.6	1.56	0.25	0.7
34067		石器破片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		0.53	1.88	0.48	0.5
34069		石器破片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.86	1.08	0.3	0.6
34093		石刃	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.26	2.66	1.41	4.4
34103		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.14	1.9	0.1	0.5
34104	193	錐形石器	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩	折 174	2.58	1.18	0.81	2.6
34122		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		1.69	0.41	0.19	0.2
34140		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	凝灰岩		2.43	2.29	0.36	1.8
34148	32	細石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		0.73	0.26	0.03	<0.1
34156		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	凝灰岩		1.55	2.21	0.43	1.6
34163		彫器削片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.13	0.32	0.21	0.1
34170		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		1.85	2.01	0.4	1.1
34171		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		1.88	2.08	0.44	1.6
34175		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1.36	2.35	0.22	1
34212		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.25	1.38	0.2	0.7
34217		削器	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.62	2.56	0.58	3.4
34228		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.07	1.71	0.3	1.1
34231		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	凝灰岩		1.92	2.12	0.32	1.7
34246		彫器削片	2B	8-12b	Ⅲ	頁岩		1.19	0.19	0.09	<0.1
34273		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.75	3.16	0.75	6.1
34282		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.53	3.85	0.66	5.9
34350		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.05	1.52	0.27	1.3
34364		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.5	1.75	0.36	1.3
34369		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	凝灰岩		2.15	2.54	0.51	2.6
34383		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		2.24	1.63	0.18	0.7
34390		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.4	2.06	0.26	0.7
34392		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.51	1.36	0.19	0.5
34406		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.39	1.32	0.12	0.5
34422		彫器削片	2B	8-13b	Ⅲ	頁岩		2.27	0.7	0.27	0.5
34423	181	削器	2B	8-11a	Ⅲ	砂岩	折 173	3.07	3.14	0.58	6.4
34424		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	頁岩		3.81	1.24	0.55	2.5
34425		石器破片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.94	1.75	0.86	4.2
34426		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩		4.07	2.57	0.66	5.3
34428		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	頁岩		2.97	0.83	0.34	1.5
34429	93	搔器	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		5.94	2.69	1.16	15.2
34430	111	彫器	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		10.63	2.49	0.92	26.2
34431		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.21	2.94	0.66	6.1
34432		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.62	2.03	0.36	2.4
34459		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.78	2.4	0.22	1.5

表 29 遺物観察表 (24)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
34460		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.3	1.39	0.24	1.1
34467		顔料原材	2B	8-11d	Ⅲ	不明					1.1
34497		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.18	1.58	0.28	0.6
34501		石器破片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.34	0.43	0.14	0.2
34543		石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.76	2.14	0.64	3.3
34559		顔料原材	2B	8-11d	Ⅲ	不明					0.4
34580		石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.34	0.87	0.21	0.4
34598		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		2.79	2.22	0.33	1.1
34608		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.16	2.05	0.2	1
34612		削器	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.61	1.3	0.29	0.7
34619	15	細石刃	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.36	0.3	0.1	<0.1
34623		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.83	2.13	0.14	0.6
34627	148	彫器削片	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		1.4	0.53	0.16	0.2
34630		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.6	2	0.42	0.9
34671		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		1.99	0.54	0.23	0.3
34673		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.01	1.49	0.86	1
34674	200	斧形石器	2B	8-11a	Ⅲ	凝灰岩		5.92	3	1.76	35.7
34675		剥片	2B	8-11b	Ⅱ	黒曜石		2.29	1.39	0.16	0.8
34676		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩		2.45	1.5	0.3	0.6
34677		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		3.1	2.23	0.42	1.7
34678	56	細石刃核	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		5.88	2.15	0.85	11.6
34679		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		4.08	2.67	0.78	8.4
34680	91	搔器	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		5.02	2.94	0.73	12.3
34681	101	搔器	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		4.08	2.59	0.57	5.7
34682		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		3.05	1.63	0.54	2.8
34683	72	両面調整石器	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		4.61	2.36	0.87	8.8
34684		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.25	0.98	0.27	0.7
34685		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		4.09	1.2	0.42	1.8
34687		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		4.83	3.01	0.37	4.9
34688	170	削器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		5.61	2.56	0.44	9.3
34689	169	削器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		5.89	4.76	1.26	39.3
34690		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		5.18	5.3	1.65	42.7
34691	124	彫搔器	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		4.95	2.48	1.03	13.2
34692		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		3.18	1.48	0.23	1.5
34695		剥片	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		2.88	2.01	0.14	0.9
34709		石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.33	1.16	0.2	0.7
34720		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.13	2.66	0.31	1.3
34724		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.97	2.28	0.36	1.4
34737		石器破片	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩		1.33	1.48	0.9	2
34741		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.15	2.04	0.3	0.8
34785		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	凝灰岩		2.02	1.39	0.33	0.9
34794	160	彫器削片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		1.86	0.39	0.18	0.2
34797		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		2.11	1.17	0.87	1.3
34806		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.7	2	0.18	0.6
34839		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	凝灰岩		1.41	2.56	0.41	1.8
34846		細石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		0.82	0.25	0.09	<0.1
34848		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.19	2.14	0.41	1.1
34876		細石刃核削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		0.98	0.45	0.07	<0.1
34878		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.43	1.64	0.29	1.1
34886		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1.5	2.52	0.28	1.9

表 30 遺物観察表 (25)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
34900		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.74	2.17	0.2	0.7
34902	193	錐形石器	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩	折 174	2.44	0.84	0.52	0.9
34935		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.03	1	0.3	0.9
34964	47	細石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		0.99	0.29	0.08	<0.1
34965		彫器削片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		0.83	0.31	0.35	0.1
35011	149	彫器削片	2B	8-12b	Ⅲ	頁岩		1.28	0.4	0.17	0.1
35018		搔器	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.29	1.67	0.46	0.9
35066	65	細石刃核削片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.11	0.23	0.18	0.1
35071		剥片	2B	8-11d	Ⅱ	黒曜石		2.61	2.01	0.26	1.2
35072		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.9	2.45	0.06	0.7
35073		搔器	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		3.82	2.55	0.5	4.7
35074		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		2.9	3.33	0.89	7.3
35075		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.87	2.89	0.59	3.9
35076		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.61	1.54	0.32	1.5
35077	207	石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		10.34	2.09	1.15	23.6
35078		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.12	4.52	1.52	18
35079		削器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		5.06	2.59	0.81	10.5
35080		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.02	3.18	0.43	2.7
35090		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.04	2.22	0.12	0.2
35091		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.18	0.74	0.14	0.4
35092		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		3.13	1.46	0.35	1.5
35105		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	凝灰岩		2.15	2.26	0.42	1.8
35114		石刃	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩		1.61	1.2	0.46	0.9
35132	137,f-1	彫器削片	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩	剥 91	1.76	0.54	0.19	0.2
35139		細石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		0.47	0.17	0.04	<0.1
35158		細石刃核削片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		0.88	0.5	0.11	<0.1
35181		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.42	1.7	0.14	0.6
35197		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		2.88	1.47	0.55	2.3
35200		搔器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.88	2.07	0.29	1.4
35216		搔器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.22	1.63	0.26	1.4
35225		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.47	1.43	0.26	1.1
35235		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.34	2.87	0.4	3.2
35246		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.36	1.06	0.19	0.6
35254		顔料原材	2B	8-13a	Ⅲ	不明					0.5
35276		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.62	2.12	0.27	0.7
35283		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.29	2.32	0.3	1.6
35284		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.01	2.95	0.32	2
35285		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.55	2.82	0.33	1.7
35291		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.4	1.97	0.19	0.8
35293		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.91	2.88	0.34	2.7
35305		礫・礫片	2B	8-13a	Ⅲ	砂岩		2.59	3.04	2.45	25.6
35374		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.59	2.86	0.6	2.4
35375		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		3.28	1.89	0.36	2
35376		搔器	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.16	3.89	0.43	4.5
35377		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		4.15	1.72	0.59	5.7
35378	224	石刃	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		5.49	1.02	0.7	3.1
35379		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.51	2.03	0.44	3.3
35380	238	剥片	2B	8-13a	Ⅲ	凝灰岩	折 179	7.12	2.03	0.67	9.5
35381	117	彫器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		5.36	1.95	0.74	6.4
35389		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.29	1.97	0.16	0.7

表 31 遺物観察表 (26)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
35396		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.98	2.02	0.82	4.1
35397	63,a-2	細石刃核削片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石	剥 92	2.27	0.51	0.59	0.7
35403		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.27	2.18	0.21	0.9
35426	190	錐形石器	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.48	2.23	0.25	1.4
35466		彫器削片	2B	8-11c	Ⅲ	頁岩		1.26	0.26	0.15	<0.1
35474	m-2	剥片	2B	8-11d	Ⅲ	凝灰岩	剥 96	2.71	2.5	0.62	4
35488		彫器削片	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩		0.81	0.41	0.07	<0.1
35518		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		2.38	1.77	0.23	1.3
35519		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.82	1.86	0.37	1.6
35528		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.89	2.13	0.34	1.8
35545		錐形石器	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.1	1.75	0.42	1.6
35586		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		2.68	1.49	0.34	1
35589	154	彫器削片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.08	0.88	0.21	0.5
35594		顔料原材	2B	8-12c	Ⅲ	不明					1.4
35602		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.66	2.28	0.37	1.9
35627		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		3.27	1.65	0.4	2.9
35630		顔料原材	2B	8-13a	Ⅲ	不明					1.2
35632		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.18	2.28	0.64	3.2
35645		顔料原材	2B	8-13c	Ⅲ	不明					0.2
35653		礫・礫片	2B	8-11a	Ⅲ	泥岩		8.29	3.62	1.89	46.2
35654		礫・礫片	2B	8-11a	Ⅲ	泥岩		6.33	2.78	0.47	11.6
35655		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		3.12	2.43	0.32	2.6
35656		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	頁岩		3.51	4.61	1.84	19
35657	104	搔器	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		6.89	3.18	0.64	16.3
35658		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	凝灰岩		5.28	4.42	0.45	8.8
35659		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		3.44	1.91	0.66	3
35660		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		4.04	2.6	1.3	11.3
35661		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		3.33	1.86	0.19	1.6
35662		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.87	2.5	0.25	1.2
35663	2	細石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.83	0.38	0.17	0.2
35670		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		4.68	3.89	1.14	17.5
35687		石器破片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.15	2.33	0.21	0.7
35698		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		2.28	1.57	0.26	0.7
35705		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		0.6	0.48	0.05	<0.1
35725	128	彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		2.43	0.58	0.12	0.3
35736		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		3.23	1.19	0.42	1.2
35737		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.48	2.55	0.26	0.8
35738		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.91	3.17	0.32	2.3
35739	57	細石刃核	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.59	1.14	0.82	1.5
35740	199	斧形石器	2B	8-13a	Ⅲ	凝灰岩		15.14	6.78	2.92	455.2
35741	116	彫器	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		5.47	1.73	1	8.9
35746		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.23	0.75	0.13	0.3
35754		顔料原材	2B	8-13a	Ⅲ	不明					0.2
35762		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	凝灰岩		3.49	1.47	0.64	4.3
35764		石刃	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.41	1.23	0.18	0.4
35767		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2	1.48	0.46	0.9
35786		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.14	1.04	0.09	0.3
35800		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.57	3.12	0.32	1.3
35814		石刃	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		2.96	0.86	0.41	0.8
35827		彫器削片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.31	0.74	0.15	0.2

表 32 遺物観察表 (27)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
35828		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.34	1.19	0.13	0.5
35846		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.7	2.27	0.21	0.7
35854		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.44	1.97	0.3	1.7
35856		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.65	2	0.17	0.7
35861		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	凝灰岩		3.38	4.73	0.77	11.8
35867		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		2.32	0.95	0.28	0.7
35871		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.18	2.12	0.46	2.3
35874		石器破片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.2	1.85	0.27	1.2
35901		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.57	0.92	0.38	0.8
35904		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		3.31	2.4	0.85	5.7
35906		彫器削片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1.36	0.58	0.13	0.1
35911		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		2.44	1.78	0.58	2
35926		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		3.25	2.65	0.38	3.9
35937		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.96	2.01	0.35	1.4
35941		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.31	2.56	0.27	1.1
35964		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.78	1.13	0.23	0.7
35965		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		2.09	1.13	0.28	0.7
35975		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.29	1.25	0.34	0.9
35976	234	剥片	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		4.14	2.53	0.41	4.5
35981		彫器削片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		1.59	0.62	0.11	0.2
35982		彫器削片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		0.95	0.6	0.11	0.1
35983		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.04	2.82	0.33	1.9
35988		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.51	2.57	0.21	0.7
35991		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		3.39	2.15	0.57	2.6
35992		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.52	2.15	0.31	0.9
35994		搔器	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.6	1.51	0.92	2.3
35999		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.1	2.01	0.11	0.7
36000		石刃	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		3.04	1.44	0.77	1.7
36006		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		3.2	2.31	0.76	3.7
36016		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		0.88	0.26	0.2	<0.1
36044		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.08	1.5	0.22	0.6
36060	10	細石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.21	0.21	0.08	<0.1
36066		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.27	0.83	0.39	0.4
36112	134,f-2	彫器削片	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩	剥 91	1.81	0.69	0.14	0.3
36116		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.58	1.15	0.76	1.3
36136		搔器	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.34	1.32	0.34	0.8
36137		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.66	1.67	0.26	0.9
36144	138	彫器削片	2B	8-12b	Ⅲ	頁岩		1.36	0.61	0.13	0.2
36162		搔器	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石	折 176	1.82	1.56	0.5	1.4
36181		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.26	2.05	0.18	1
36197		石器破片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.91	2.17	0.65	1.6
36199		石刃	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		0.83	2.66	0.6	1.4
36200		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		4.42	4.94	0.95	18.9
36220		石刃	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		2.46	1.5	0.55	1.7
36229		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.23	1.23	0.41	1
36230		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1.69	2.45	0.67	1.9
36231		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1.4	2.4	0.18	0.8
36241		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	凝灰岩		2.36	2.64	0.36	2.9
36254		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		3.03	1.31	0.28	0.6
36258		彫器削片	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		1.68	0.45	0.13	0.1

表 33 遺物観察表 (28)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
36261		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.51	1.93	0.68	2
36267		細石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		0.57	0.25	0.06	<0.1
36273		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.69	1.58	0.22	1.1
36275		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.33	0.45	0.15	0.1
36281	11	細石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.87	0.48	0.11	0.2
36283		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.41	2.35	0.43	1.8
36284		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.28	1.87	0.26	1.2
36285		礫・礫片	2B	8-11d	Ⅲ	不明		7.84	5.93	1.85	43.9
36286		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		4.19	3.26	0.31	3.4
36287		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		3.28	1.69	0.4	1.7
36288	73	両面調整石器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		6.73	3.48	1.63	35.7
36289		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	頁岩		2.89	1.69	0.36	1.6
36290		石刃	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		4.42	1.91	0.44	3.4
36291		石刃	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		3.41	2	0.35	2.2
36292		石刃	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		4.02	1.76	0.91	4.8
36293	94	搔器	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		4.38	2.55	0.72	7.9
36298	13	細石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.41	0.38	0.1	<0.1
36317		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		2.01	1.98	0.62	2.3
36321		石刃	2B	8-12c	Ⅲ	頁岩		1.92	0.85	0.2	0.5
36329		細石刃核削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		0.76	0.31	0.17	<0.1
36334		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.56	2.66	0.27	1.4
36355		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.13	1.09	0.17	0.4
36372		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.81	2.34	0.27	1.2
36403	158	彫器削片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.39	0.66	0.2	0.3
36435		彫器削片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.74	0.43	0.28	0.2
36441		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.07	1.58	0.33	1
36444		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.99	2.11	0.26	1.1
36454		石刃	2B	8-13b	Ⅲ	頁岩		1.89	2.14	0.52	1.8
36464		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.99	2.38	0.38	1.8
36465		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.26	3.12	0.4	1.4
36486		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	凝灰岩		1.16	2.08	0.34	0.7
36488		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.22	1.39	0.1	0.4
36489		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.96	0.8	0.65	0.9
36490		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.69	2.17	0.39	1.5
36491		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.02	0.93	0.32	0.6
36495		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		3.2	3.39	0.43	3.5
36503		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.57	2.56	0.78	5.2
36504		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.33	2.24	0.32	0.8
36510		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.96	2.04	0.2	0.7
36527		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.86	2.1	0.23	0.8
36528		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		1.26	2.02	0.31	0.8
36530		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		3.11	2.23	0.42	2.4
36531		削器	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		3.12	3.19	1.07	11.9
36554		石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.76	2.48	0.59	3.3
36557		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		3.27	2.94	0.42	4.6
36572		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.66	2.25	0.2	0.8
36584		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.24	1.69	0.21	0.7
36589		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.74	2.3	0.29	1.6
36607		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.75	1.44	0.35	1.3
36615		細石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		0.6	0.24	0.04	<0.1

表 34 遺物観察表 (29)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
36620	121	彫器	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.39	1.7	0.47	2.2
36623		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.67	1.61	0.39	0.9
36628		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.55	1.78	0.21	0.9
36631		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.89	1.16	0.86	2.3
36633		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.02	1.92	0.76	2.3
36639		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.62	2.15	0.13	0.4
36642		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		3.16	2.05	0.51	3
36654		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		1.6	2.21	0.19	0.6
36656		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		1.8	2.2	0.19	0.7
36664		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.76	1.75	0.34	1.3
36665		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		3.06	1.19	0.21	0.8
36672		細石刃核削片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.12	0.4	0.2	<0.1
36678		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2	2.28	0.41	0.8
36683		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.07	2.32	0.55	1.3
36686		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.16	1.65	0.85	1.6
36687		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.66	1.63	0.28	1.4
36700		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.03	0.34	0.11	<0.1
36704		細石刃核削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.48	0.48	0.14	<0.1
36741	30	細石刃	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		0.9	0.27	0.07	<0.1
36753	179	削器	2B	8-12d	Ⅲ	頁岩		2.47	1.88	0.6	3.1
36755		石刃	2B	8-12d	Ⅲ	頁岩		2.73	1.74	0.87	3.1
36756		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.44	2.03	0.23	1
36757		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	頁岩		1.09	2.12	0.26	0.8
36759	188	錐形石器	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.22	1.47	0.64	1.7
36763	81	搔器	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		4.35	2.35	0.76	6.7
36764		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		1.67	2.43	0.29	1
36765		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.69	2.62	0.61	3.3
36767		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.63	1.51	0.25	0.9
36768		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.88	2.66	0.19	1.3
36775		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.32	2.34	0.63	2.7
36780		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.04	2.42	0.37	1.4
36814	98	搔器	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		4.69	2.68	1.16	17.4
36815	218	石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		5.93	2.27	1.32	16.4
36816	99	搔器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		4.54	2.26	0.65	6.3
36817		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		3.26	1.12	0.38	1.3
36818		石刃	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		3.57	2.18	0.66	4.7
36819		石刃	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		6.67	2.05	0.67	10.7
36820	241	剥片	2B	8-13c	Ⅲ	凝灰岩		6.13	2.27	1.14	14.6
36821		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		3.21	1.38	0.31	1.4
36822		石刃	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		4.29	1.88	1.11	7.9
36823		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.87	1.61	0.35	1.5
36826		剥片	2B	8-12c	Ⅲ	黒曜石		2.83	2.14	0.36	2.4
36835		石刃	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.77	1.76	0.31	1.4
36857		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.48	2.1	0.15	0.6
36865		細石刃	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		0.8	0.28	0.05	<0.1
36899		両面調整石器	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		0.9	1.83	0.54	0.7
36907		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.16	1.23	0.24	1
36914		石刃	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		3.76	1.65	0.53	2.7
36919		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.17	2.55	0.55	2.7
36922	192	錐形石器	2B	8-13b	Ⅲ	頁岩	折 172	2.44	1.61	0.3	1.2

表 35 遺物観察表 (30)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
36925		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.91	2.01	0.19	1.2
36941		削器	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.21	3.43	0.76	5.8
36951		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.2	0.99	0.21	0.4
36958		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		1.21	0.43	0.17	0.1
36976	61	細石刃核削片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.11	0.8	0.3	0.4
36992	197	錐形石器	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		1.88	1.04	0.23	0.4
37007		石刃	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.38	2.51	0.57	2.6
37011		石刃	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1.55	1.43	0.51	1.1
37014	189	錐形石器	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.11	1.77	0.78	1.6
37015		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1.64	2.32	0.28	0.9
37016		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.34	1.74	0.25	1
37024		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.93	2.69	0.25	1.1
37025		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.46	2.42	0.21	0.5
37027		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.99	2.1	0.24	0.8
37028		石刃	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.4	1.93	0.51	1.2
37034		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.3	1.05	0.25	0.5
37036		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		3.13	2.05	0.16	0.9
37039		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		3.2	1.43	0.39	1.9
37046	131	彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		1.58	0.72	0.07	0.2
37056		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.37	1.5	0.46	1.1
37073		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.58	1.85	0.38	1.7
37075		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.57	2.14	0.22	1.2
37085		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.14	2.53	0.21	1
37098	217	石刃	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		7.66	3.19	1.61	29.8
37099		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		3.35	1.69	0.36	1.6
37100	172	削器	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		7.15	3.15	1.52	33.1
37101	58	細石刃核	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		4.3	1.88	0.68	5.9
37102		石刃	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		3.71	1.54	0.26	1.5
37106		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.34	1.69	0.35	0.9
37107		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.36	1.99	0.25	0.9
37135		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.49	2	0.42	1.2
37156		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.86	1.45	0.36	1.5
37166	222	石刃	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		4.67	1.33	0.81	4
37168		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.31	2.32	0.2	1.3
37175	221	石刃	2B	8-12b	Ⅲ	頁岩	折 171	3.06	1.36	0.78	3
37192		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.2	1.34	0.24	0.8
37193	108	彫器	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		6.65	2.19	0.78	12.2
37204		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.11	2.06	0.34	1
37207		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.82	1.77	0.18	1
37211	22	細石刃	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		0.96	0.34	0.07	<0.1
37230		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		3.32	4.72	0.85	12.5
37242		搔器	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.59	2.57	0.8	5.8
37252		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.47	1.54	0.32	1.1
37253	187	錐形石器	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		5.7	3.42	0.95	14.3
37254	230	石刃	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		5.5	2.52	0.53	6.8
37256		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		1.88	0.53	0.25	0.4
37274		石刃	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		2.29	1.65	0.39	1.4
37277		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.35	2.03	0.12	0.4
37278		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		0.94	0.6	0.12	<0.1
37280		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.25	2.39	0.4	0.7

表 36 遺物観察表 (31)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
37282		石器破片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		0.94	1.08	0.62	0.7
37287		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.63	2.26	0.26	0.9
37316		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		3.13	2.13	0.49	3.3
37343		彫器削片	2B	8-13c	Ⅲ	頁岩		1.13	0.24	0.28	<0.1
37382		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.65	1.65	0.25	1.1
37387		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.34	2.03	0.17	0.6
37390		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		3.31	0.54	0.61	1.3
37396		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		1.16	2.13	0.35	0.7
37402		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		2.04	1.7	0.17	0.7
37419		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.16	2.51	0.26	0.5
37428		細石刃	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		0.71	0.25	0.05	<0.1
37433		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.9	2.85	1.31	9.1
37439		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.58	2.09	0.43	1.4
37445		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		3.01	2.39	0.26	1.8
37448		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.01	2.35	0.3	1.2
37449		石刃	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.75	1.07	0.41	0.8
37465		顔料原材	2B	8-13a	Ⅲ	不明					15.5
37468		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		3.11	2.02	0.44	1.4
37473		搔器	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.18	1.55	0.26	0.5
37509		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.32	2.21	0.6	3.1
37534		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		3.04	1.47	0.32	1.3
37538		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.18	1.47	1.26	3.1
37542		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		1.18	0.55	0.14	0.2
37545		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		0.97	0.38	0.2	<0.1
37546		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.21	2.29	0.21	0.8
37564		剥片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		1.28	2.01	0.28	0.7
37565		細石刃核削片	2B	8-12a	Ⅲ	黒曜石		0.67	0.51	0.06	<0.1
37572		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.02	1.44	0.25	0.7
37576		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.04	2.36	0.25	1.7
37578		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.65	2.05	0.25	1.4
37579		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.27	2.26	0.23	0.6
37592		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.13	1.81	0.3	2
37645	78	搔器	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		4.73	1.77	0.62	5.4
37646		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.32	1.38	0.47	1.5
37647		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		1.47	0.5	0.14	0.2
37650		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		3.66	3.64	1.17	13.4
37656		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		1.17	0.21	0.19	<0.1
37665	67	細石刃核削片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.37	0.53	0.13	0.1
37667		彫器削片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.27	0.53	0.16	0.1
37671		石刃	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.47	2.19	0.57	2.7
37672		細石刃	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		0.75	0.18	0.07	<0.1
37673		石刃	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		3.66	2.1	0.35	3.2
37676		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.24	1.53	0.15	0.4
37680		石刃	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.58	2.21	0.48	1.3
37691		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		1.08	0.71	0.19	0.2
37701		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		0.92	2.55	0.5	0.9
37718		彫器削片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		0.85	0.2	0.12	<0.1
37723		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.05	1.24	0.17	0.5
37730		石刃	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		3.3	2.86	0.43	4.2
37732		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.72	2.71	0.23	1.2

表 37 遺物観察表 (32)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
37737	120	彫器	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		5.72	4.62	1.54	38.6
37742		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.55	1.34	0.33	0.7
38034		石刃	2B	8-11c	Ⅲ	頁岩		2.45	1.2	0.34	1
38054		石器破片	2B	8-12a	Ⅲ	頁岩		1.61	1.98	0.36	1.2
38077		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.81	2.29	0.57	1.1
38083		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.29	1.46	0.27	0.8
38093	153	彫器削片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		2.77	0.36	0.42	0.4
38098	192	錐形石器	2B	8-12d	Ⅲ	頁岩	折 172				0.5
38102		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.14	2.54	1	5.5
38104		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.87	2.05	0.26	0.9
38109		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.52	2.56	0.37	2.3
38125		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.58	0.72	0.17	0.2
38156		細石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		0.61	0.36	0.09	>0.1
38159		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.08	1.24	0.12	0.5
38185		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.07	2.41	0.15	0.3
38199	54	細石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		0.94	0.2	0.09	>0.1
38247	45	細石刃	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.52	0.31	0.08	>0.1
38256	139,e-2	彫器削片	2B	8-12d	Ⅲ	頁岩	剥 90	1.68	0.55	0.13	>0.1
38265		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	頁岩		2.63	1.24	0.27	0.9
38267		細石刃核削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.32	0.45	0.15	0.1
38268		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.22	2.06	0.26	1.4
38269		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2	1.94	0.17	0.7
38270		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.67	2.77	0.71	3.4
38285		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		4.72	3.85	0.69	13.5
38314		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		0.71	0.21	0.05	>0.1
38315		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.01	1.48	0.19	0.7
38319		彫器	2B	7-11b	Ⅲ	黒曜石		2.39	3.15	0.8	6
38320		石刃	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		2.86	2.27	0.68	4.2
38326		剥片	2B	8-11b	Ⅲ	黒曜石		0.76	2.08	0.15	0.3
38338	17	細石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.46	0.43	0.19	0.2
38390		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2	1.46	0.27	0.7
38409		剥片	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石					1.2
38431	1	細石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.12	0.48	0.25	0.3
38433		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.01	1.4	0.21	0.4
38436		細石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		0.51	0.28	0.05	>0.1
38442	49	細石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.11	0.34	0.1	>0.1
38443		石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.46	1.28	0.68	1
38450		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.51	2.57	0.34	2
38501		石器破片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.13	0.98	0.38	0.8
38522		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.58	0.95	0.57	1.7
38535		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.92	1.91	0.53	1.2
38560		石器破片	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		1.12	0.57	0.15	>0.1
38580	5	細石刃	2B	8-11b	Ⅲ	黒曜石		1.38	0.44	0.19	0.1
38590		石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.92	1.54	0.77	1.8
38601		石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.85	1.54	0.43	1.4
38631		細石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		0.5	0.24	0.08	>0.1
38633		彫器削片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.33	0.38	0.11	>0.1
38656		剥片	2B	7-12b	Ⅲ	黒曜石		1.26	2.01	0.21	0.6
38700		錐形石器	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1.71	1.95	0.23	0.8
38702		彫器削片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1.45	0.32	0.1	>0.1

表 38 遺物観察表 (33)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
38714		細石刃	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		0.6	0.28	0.05	>0.1
38728		彫器削片	2B	8-11c	Ⅲ	頁岩		0.88	0.41	0.16	>0.1
38818		顔料原材	2B	8-12b	Ⅲ	不明		2.19	1.84	1.13	3.9
38837		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1.91	2	0.14	0.5
38843		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	凝灰岩		3.21	3.84	0.67	9.5
38848		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.11	0.39	0.32	>0.1
38907		剥片	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		2.94	1.82	0.28	1.8
38915		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.77	1.64	0.15	0.6
38917		彫器削片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.37	0.34	0.17	0.1
38926		削器	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		4.36	1.63	0.48	3.8
38952		剥片	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		2.18	1.13	0.3	0.8
38964		顔料原材	2B	8-11d	Ⅲ	不明		1.97	1.58	1.47	3.2
38969	123	彫器	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		5.65	2.42	1.41	20.1
38978		剥片	2B	7-12d	Ⅲ	頁岩		7.25	4.13	0.72	17.9
38979		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		5.36	2.47	0.52	6.6
38980		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		3.89	2.15	0.57	4.9
38983	55	細石刃核	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.98	1.36	0.83	2.2
38987		彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		0.93	0.54	0.11	>0.1
38989		顔料原材	2B	8-13a	Ⅲ	不明		1.31	0.67	0.41	0.6
38991		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.31	4.58	0.43	4.1
38992		彫器削片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		0.86	0.48	0.19	0.1
38998	192	錐形石器	2B	8-13b	Ⅲ	頁岩	折 172	2.29	1.69	0.27	1.7
38999		石刃	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		3.33	1.87	0.4	2.2
39000		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		4.1	2.29	0.43	4
39007	71	両面調整石器	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		3.57	2.57	0.9	8.4
39012		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.08	0.4	0.13	>0.1
39037		彫器削片	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		0.99	0.41	0.3	0.2
39043		石器破片	2B	8-11a	Ⅲ	黒曜石		1.32	0.37	0.24	0.1
39080	3	細石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.41	0.33	0.06	>0.1
39141	35	細石刃	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		0.86	0.24	0.09	>0.1
39143	159	彫器削片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.14	0.63	0.21	0.3
39153		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.25	1.11	0.17	0.4
39186		細石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		0.82	0.21	0.11	>0.1
39207		顔料原材	2B	8-11b	Ⅲ	不明		3.34	1.38	0.79	3.4
39213		剥片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		2.02	1.36	0.2	0.6
39245		剥片	2B	7-13b	Ⅲ	黒曜石		1.44	2.21	0.25	0.7
39250		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	凝灰岩		3.41	2.5	0.69	5.5
39260		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.22	2.17	0.17	0.4
39264		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		1.74	0.54	0.21	0.3
39291	34	細石刃	2B	8-11d	Ⅲ	黒曜石		1.02	0.27	0.1	>0.1
39297	44	細石刃	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		1.86	0.39	0.18	0.2
39320	132	彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	頁岩		2.22	0.5	0.18	0.3
39363		彫器削片	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩		1.04	0.36	0.08	>0.1
39392		石刃	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.36	1.53	0.39	0.9
39399		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		0.8	0.23	0.1	>0.1
39448		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.31	2.16	0.22	0.4
39468		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		3.17	2.7	0.35	3.3
39469		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.66	2.39	0.45	2
39470		削器	2B	7-12d	Ⅲ	黒曜石		4.6	3.7	0.59	11.5
39473		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.59	1.93	0.48	3.1

表 39 遺物観察表 (34)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
39474		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.19	1.82	0.15	0.6
39480		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.02	1.46	0.18	0.5
39486		剥片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		2.06	2.56	0.44	2
39497	66,c-2	細石刃核削片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石	剥 94	1.39	0.62	0.13	0.1
39535		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.37	0.44	0.25	0.1
39563		石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		0.69	2.06	0.75	0.9
39578	16	細石刃	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.38	0.31	0.07	>0.1
39604	145	彫器削片	2B	8-11d	Ⅲ	頁岩		1.54	0.68	0.1	0.2
39609		石器破片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		0.82	1.12	0.37	0.2
39642		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.68	1.93	0.21	0.6
39643		細石刃	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.15	0.43	0.12	>0.1
39649		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.05	1.58	0.18	0.6
39656		彫器削片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.34	0.46	0.12	0.1
39658		削器	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		1.62	2.39	0.53	1.6
39700		顔料原材	2B	8-12d	Ⅲ	不明		0.79	0.82	0.68	0.3
39719		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.75	1.58	0.28	1.2
39720		石刃	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.51	1.06	0.46	0.7
39725		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.41	1.52	0.34	1.4
39756		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.22	0.8	0.12	0.3
39768		石器破片	2B	8-12d	Ⅲ	黒曜石		1	0.82	0.28	0.2
39781		石器破片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.02	1.52	0.6	0.9
39784		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.36	2.31	0.25	1.2
39789		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.53	1.94	0.34	1.2
39877		細石刃	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.61	0.31	0.1	>0.1
39907	161	彫器削片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.93	0.4	0.19	0.2
39923		石刃	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.61	1.06	0.39	0.9
39938		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		1.01	2.06	0.25	0.6
39939		剥片	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.19	1	0.15	0.4
39974		顔料原材	2B	8-13b	Ⅲ	不明		1.76	1	0.76	1.2
39976		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		2.6	1.39	0.32	0.9
39996		石刃	2B	8-11b	Ⅲ	黒曜石		3.25	1.23	0.56	2.7
39997		剥片	2B	8-11b	Ⅲ	黒曜石		5.69	4.4	0.84	17.4
40003		石刃	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.66	2.08	0.51	2.6
40004	221	石刃	2B	8-12b	Ⅲ	頁岩	折 171	3.84	1.4	0.96	5.3
40005		剥片	2B	8-12d	Ⅲ	頁岩		5.28	4.54	0.89	17
40019	216	石刃	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		5.31	2.07	1.02	11.2
40026		削器	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		3.65	1.63	0.55	2.7
40053		彫器削片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.28	0.7	0.08	0.1
40055		石刃	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		1.32	1.18	0.31	0.5
40068		剥片	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		2.14	2.21	0.65	2.3
40109		彫器削片	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.03	0.51	0.13	0.1
40139		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		2.21	2.12	0.24	0.8
40152		石刃	2B	8-13d	Ⅲ	黒曜石		4.62	2.07	0.8	6.4
40199		剥片	2B	8-13b	Ⅲ	黒曜石		1.7	2.71	0.22	1
40203		石刃	2B	8-13a	Ⅲ	黒曜石		2.15	1.67	0.35	1.2
40207		石刃	2B	8-13c	Ⅲ	黒曜石		1.11	0.98	0.4	0.5
S00879		石器破片	2B	7-11		黒曜石		1.8	3.68	0.45	4
S00894		剥片	2B	7-11		黒曜石		1.92	2.72	0.47	1.6
S01225		剥片	2B	6-12d	表土	黒曜石	剥 43	2.17	2.89	0.5	2.6
S01226		剥片	2B	6-12d	表土	黒曜石		2.15	2.27	0.31	1.1

表 40 遺物観察表 (35)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
S01230		剥片	2B	6-12b	表土	黒曜石		3.16	2.86	0.62	4.7
S01231		剥片	2B	6-12b	表土	黒曜石		2.42	1.63	0.15	0.5
S01301		剥片	2B	7-12a	Ⅲ層	安山岩		2.9	3.52	0.99	7.4
S01402		石刃	2B	7-11c	表土	黒曜石		2	1.82	1.08	4.7
S01404		剥片	2B	6-11c	表土	黒曜石		2.47	1.57	0.24	1.1
S01405		剥片	2B	6-11c	表土	凝灰岩		5.94	7.96	1.44	37.4
S01409		石刃	2B	7-11b		黒曜石		1.11	2.06	0.56	1.4
S01413		剥片	2B	7-11b		黒曜石		1.63	2.2	0.3	0.9
S01419		剥片	2B	廃土		黒曜石		2.02	0.82	0.14	0.3
S01420		剥片	2B	7-12d	Ⅱ	頁岩		1.73	2.09	0.43	1.4
S01421		剥片	2B	7-11b		黒曜石		2.09	1.06	0.38	1.1
S01429		彫器削片	2B	廃土		黒曜石		2.15	0.91	0.33	0.8
S01505	100	搔器	2B	8-11a	表土	黒曜石		6	2.77	0.65	11.5
S01506		剥片	2B	8-11a	表土	黒曜石		3.41	1.98	0.64	3.2
S01507		剥片	2B	8-11a	表土	黒曜石		2.32	3.47	0.53	3.5
S01508		剥片	2B	8-11a	表土	黒曜石		2.35	2.44	0.39	2.1
S01509		剥片	2B	8-11a	表土	黒曜石		2.56	2.98	0.63	2.2
S01510		剥片	2B	8-11a	表土	黒曜石		2.75	3.04	0.49	3.4
S01511		剥片	2B	8-11a	表土	黒曜石		1.53	2.74	0.18	0.7
S01516		彫器削片	2B	8-11a	表土	頁岩					0.1
S01518		剥片	2B	8-11b	表土	頁岩		5.37	6.51	1.01	27
S01519		剥片	2B	8-11b	表土	黒曜石		2.14	1.76	0.52	1.6
S01528		剥片	2B	8-12b	表土	黒曜石		1.84	2.48	0.46	2.1
S01529		剥片	2B	8-13d	表土	黒曜石		1.15	2.13	0.24	0.5
S01531		剥片	2B	廃土		黒曜石		3.49	3.11	0.42	3.9
S01601		石刃	2B	9-13a	表土	黒曜石		3	1.39	0.74	2.9
S01602		彫器削片	2B	8-11c	Ⅲ	黒曜石		1.01	0.8	0.06	0.1
S01706		剥片	2B	8-12b	Ⅲ	黒曜石		3.51	4.65	0.87	
00423	o-5	剥片	1	5-4	Ⅱ	黒曜石	剥 19	2.25	2.66	0.48	2.7
01350	p-1	石刃	1	4-4	Ⅲ	黒曜石	折 135	6.4	3.74	0.86	21.7
02184	o-4	剥片	1	4-4	Ⅱ	黒曜石	剥 19	2.39	2.22	0.62	2.1
04330	o-1	搔器	1	4-4	Ⅲ	黒曜石	剥19・折3	3.45	3.45	2.02	19.1
04579	o-3	剥片	1	4-4	Ⅲ	黒曜石	剥 19	2.26	1.43	0.62	1.4
05312	o-1	搔器	1	3-4	Ⅲ	黒曜石	剥19・折3	1.74	2.26	2.02	6.3
06858	o-2	剥片	1	5-3	Ⅲ	黒曜石	剥 19	2.14	1.29	0.33	1
07080	o-1	搔器	1	3-4	Ⅲ	黒曜石	剥19・折3	1.87	3.66	2.07	15.8
07089	o-6	剥片	1	3-3	Ⅱ	黒曜石	剥 19	2.24	1.81	0.38	1.3
10333	t-3	細石刃核削片	3	16-9d	Ⅲ	黒曜石	剥 50				0.7
11133	s-1	剥片	2A	6-13a	Ⅱ	黒曜石	剥 49	8.17	3.79	1.33	34.6
11134	r-1	剥片	2A	6-13a	Ⅱ	頁岩	剥 69	4.6	2.38	1.25	7.9
11135	s-2	剥片	2A	6-13a	Ⅱ	黒曜石	剥 49	5.36	2.95	1.03	14.7
11402	n-1	石刃	2A	5-14b	Ⅱ	黒曜石	剥45・折101	1.54	2.16	0.51	1.1
11404	r-2	剥片	2A	5-13c	Ⅱ	頁岩	剥 69	3.46	1.56	0.52	2.8
11417	s-3	剥片	2A	4-12b	Ⅱ	黒曜石	剥 49	7.01	7	1.6	73.2
12252	q-5	石刃	2A	5-13c	Ⅱ	黒曜石	剥46・折103	5.29	2.17	1.07	7.8
12265	q-3	剥片	2A	5-13d	Ⅱ	黒曜石	剥 46	3.25	2.82	1.26	11.4
12266	h-1	石刃	2A	5-13d	Ⅱ	黒曜石	剥84・折105	4.18	1.37	0.66	3.5
12269	r-4	剥片	2A	5-13c	Ⅱ	頁岩	剥69・折120	6.87	1.99	1.06	15.4
13173	v-1	細石刃核	3	18-10a	Ⅲ	黒曜石	剥 77	2.45	1.68	0.73	2.6
13177	p-2	石刃	3	18-10a	Ⅱ	黒曜石	折 135	6.3	3.24	0.94	13.7

表 41 遺物観察表 (36)

遺物番号	図版番号	器種	ブロック	グリッド	層位	石材	接合番号	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)
13497	r-6	剥片	2A	4-13a	Ⅲ	頁岩	剥 69	4.92	2.18	0.57	5.2
13553	r-5	剥片	2A	5-13d	Ⅲ	頁岩	剥69・折157	5.62	2.87	0.84	12.9
13567	q-4	剥片	2A	5-13b	Ⅲ	黒曜石	剥 46	4.32	4.3	0.81	9.5
13580	n-1	石刃	2A	6-14a	Ⅲ	黒曜石	剥45・折101	3.77	3.01	0.81	9.4
13595	i-1	石刃	2A	5-13b	Ⅲ	頁岩	剥 71	2.38	2.28	0.51	1.7
13599	h-1	石刃	2A	5-13d	Ⅲ	黒曜石	剥84・折105	5.2	2.84	1.2	10.3
14077	q-5	石刃	2A	5-13c	Ⅲ	黒曜石	剥46・折103	2.48	1.72	0.92	3.6
14112	q-6	石刃	2A	5-13d	Ⅲ	黒曜石	剥46・折102	2.38	2.6	0.68	3.1
14162	n-2	石刃	2A	6-14a	Ⅲ	黒曜石	剥 45	6.06	2.06	0.8	9.5
14240	q-6	石刃	2A	5-13d	Ⅲ	黒曜石	剥46・折102	4.98	2.45	0.63	7.8
15452	q-5	石刃	2A	5-14d	Ⅱ	黒曜石	剥46・折103	2.45	1.59	0.76	3.2
15453	q-1	両面調整石器	2A	5-14d	Ⅱ	黒曜石	剥 46	11.08	6.99	2.17	187.1
15464	i-5	剥片	2A	6-15a	Ⅱ	頁岩	剥 71	3.2	3.51	0.37	3.6
15794	t-2	細石刃核削片	3	17-9c	Ⅱ	黒曜石	剥 50	2.91	0.39	0.78	0.8
16756	i-2	石刃	2A	6-13d	Ⅲ	頁岩	剥71・折115	4.83	1.65	0.36	3.2
16757	i-2	石刃	2A	6-13d	Ⅲ	頁岩	剥71・折115	2.07	1.71	0.38	1.3
16804	r-4	剥片	2A	6-14c	Ⅲ	頁岩	剥69・折120	0.97	3.44	0.68	1.9
17090	t-1	細石刃核	3	17-10a	Ⅲ	黒曜石	剥 50	1.46	1.53	0.57	1.7
17625	i-2	石刃	2A	6-14d	Ⅲ	頁岩	剥71・折115	3.33	1.85	0.39	1.8
17698	i-4	剥片	2A	6-14c	Ⅲ	頁岩	剥 71	5.42	5.01	0.88	15.2
18520	r-3	剥片	2A	6-15a	Ⅲ	頁岩	剥 69	4.09	1.99	0.52	3.7
18659	w-1	彫器削片	3	17-9c	Ⅲ	頁岩	剥 79	1.14	0.36	0.07	0.1
18828	q-2	剥片	2A	6-14c	Ⅲ	黒曜石	剥 46	3.44	2.14	0.87	4
19121	y-1	搔器	3	17-10a	Ⅲ	黒曜石	剥 75	8.4	3.77	1.81	52.4
19130	u-1	細石刃核	3	17-10a	Ⅲ	黒曜石	剥 76	1.4	1.01	0.72	1.2
20552	g-4	搔器	2A	5-13a	Ⅱ	黒曜石	剥 18	6.43	3.26	0.94	18.9
20577	a-1	細石刃核	2A	7-14a	Ⅱ	黒曜石	剥 92	2.28	1.86	0.73	3.6
20594	g-2	搔器	2A	7-14c	Ⅱ	黒曜石	剥 18	6.41	2.31	0.91	12.5
20598	i-2	石刃	2A	7-15a	Ⅱ	頁岩	剥71・折115	1.96	1.02	0.31	0.4
20854	l-2	剥片	2A	5-14a	Ⅱ	頁岩	剥 13	4.62	1.53	1.07	5.6
20876	89	搔器	2A	7-13c	Ⅱ	黒曜石	折 137	3.62	2.8	0.83	9.4
20896	k-3	剥片	2A	7-14c	Ⅱ	黒曜石	剥 85	6.67	3.12	0.36	7.7
20921	r-5	剥片	2A	7-15a	Ⅱ	頁岩	剥69・折157	1.87	2.37	0.63	2
21447	88	搔器	2A	7-13c	Ⅲ	黒曜石	折 128	3.1	2.81	3.01	4.5
21448	214.j-2	石刃	2A	7-13c	Ⅲ	黒曜石	剥89・折168	3.59	2.34	0.28	2.8
21621	v-2	細石刃核削片	3	17-10b	Ⅲ	黒曜石	剥 77	1.67	0.69	0.1	0.1
22436	y-2	剥片	3	18-9c	Ⅲ	黒曜石	剥 75	2.13	1.09	0.37	0.6
22686	x-2	彫器削片	3	17-9d	Ⅲ	頁岩	剥 78	0.6	0.22	0.11	<0.1
22902	u-2	細石刃核削片	3	17-10b	Ⅲ	黒曜石	剥 76	2.43	1.17	0.53	1
22910	x-3	彫器削片	3	17-10b	Ⅲ	頁岩	剥 78	2.1	0.34	0.17	0.2
22954	w-2	彫器削片	3	17-9d	Ⅲ	頁岩	剥 79	1.48	0.39	0.13	0.1
23160	x-1	彫器	3	17-10d	Ⅲ	頁岩	剥 78	5.39	2.21	0.54	7.2
S01001	s-4	剥片	2A	5-13d	表土	黒曜石	剥 49	7.83	5.66	2.31	84.2

第三章 分析

第一節 2017・2018年吉井沢遺跡出土資料の¹⁴C年代測定

國木田大（北海道大学）

はじめに

北見市吉井沢遺跡は、忍路子型細石刃核を伴う細石刃石器群として早くより知られ、北海道および環日本海地域における更新世／完新世移行期を理解する上で、鍵となる遺跡である。1966年に、北見郷土研究会を主体、大場利夫を担当者として発掘調査が実施され、同年に概報、1983年に本報告が刊行されている（北見郷土研究会編1966；大場ほか1983）。その後、2006年に東京大学の調査チームにより新たな調査が開始され、2007年以降継続的な調査が実施されている。2006～2013年調査に関しては、『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容（Ⅲ）－吉井沢遺跡の研究－』（東京大学常呂実習施設研究報告第13集）として、報告書が刊行されている。吉井沢遺跡の年代に関しては、1966年調査で第2層出土遺物4点の黒曜石水和層年代値（15,700±500 BP, 15,700±600 BP, 12,800±300 BP, 12,700±400 BP）が示されている（大場ほか1983）。2007年～2012年調査では、筆者らにより、ブロック1の第Ⅲ層上部、4-4区南西・北西壁Ⅳ・Ⅴ層、ブロック3外縁部のⅢ層中部出土炭化物の¹⁴C年代測定が実施され、遺跡形成年代に関して議論が行われた（國木田ほか2014）。同報告での年代値はかなりばらついた結果となっており、包含層の炭化物資料が、人間活動と無関係の自然現象で生じたものであった可能性が高いことを指摘した。このような結果は、富良野市東麓郷1遺跡等でも得られており（國木田・吉田2009）、北海道における後期旧石器時代遺跡の年代評価に関する問題点と言える。2014年の年代報告では、今後の方針として、炉跡や明瞭な炭化物集中部の探索が大きな課題となることを指摘した。

本稿では、このような先行研究を受けて、コンテクストが比較的明瞭な2017・2018年調査におけるブロック2BのⅢ層上部および中部出土炭化物について¹⁴C年代測定を実施し、吉井沢遺跡の年代的位置づけに関して、改めて議論を行う。

1 測定試料と分析法

本稿での測定試料は、2017年調査ブロック2BのⅢ層上部出土炭化物5点、2018年調査ブロック2BのⅢ層中部および同層の焼土ブロック出土炭化物5点の計10点である（表42）。詳細な出土位置に関

表 42 測定試料の出土地点・層位・グリッド等

No.	試料番号	測定資料	出土地点（層位など）	グリッド	取上げ番号
1	2017YOSH-1	炭化物	2017年調査、ブロック2B、Ⅲ層上部	8-13c	35383
2	2017YOSH-2	炭化物	2017年調査、ブロック2B、Ⅲ層上部	8-13c	35384
3	2017YOSH-3	炭化物	2017年調査、ブロック2B、Ⅲ層上部	8-13c	35230
4	2017YOSH-4	炭化物	2017年調査、ブロック2B、Ⅲ層上部	8-11d	36301
5	2017YOSH-5	炭化物	2017年調査、ブロック2B、Ⅲ層上部	8-11d	34427
6	2018YOSH-1	炭化物	2018年調査、ブロック2B、Ⅲ層中部（焼土ブロック）	8-13d	38554
7	2018YOSH-2	炭化物	2018年調査、ブロック2B、Ⅲ層中部（焼土ブロック）	8-13d	39667
8	2018YOSH-3	炭化物	2018年調査、ブロック2B、Ⅲ層中部（焼土ブロック）	8-13d	39668
9	2018YOSH-4	炭化物	2018年調査、ブロック2B、Ⅲ層中部	8-13d	40193
10	2018YOSH-5	炭化物	2018年調査、ブロック2B、Ⅲ層中部	8-13d	39987

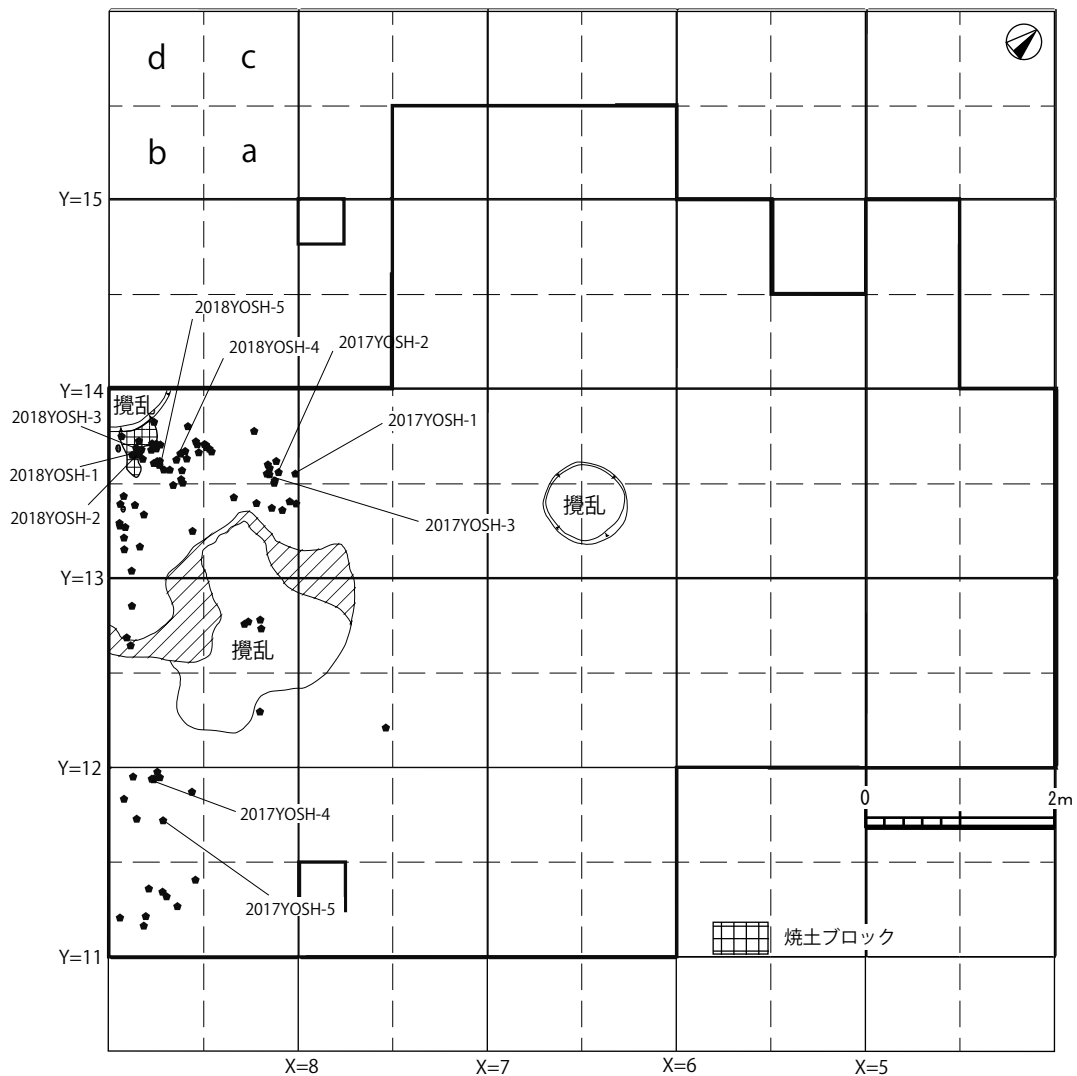


図 69 炭化物の分布と測定試料の位置

しては図 69 に示している。測定試料は、遺物の主な出土層準であるⅢ層上部～中部から採取され、石器の顕著な集中域と重複する範囲に分布している。

¹⁴C年代測定における試料調製は、通常の方法にしたがって行った（吉田 2004）。化学処理におけるアルカリ処理濃度は、試料がすべて溶解しない程度にとどめた。測定試料の化学処理収率等は表 43 に示している。試料の CO₂ 収率は 19.7～60.7% であり、2018YOSH-2（19.7%）以外は、標準的な炭化物の値と判断できる。試料の化学処理は、筆者がグラファイト化までを東京大学の実験室で行い、加速器測定のみを東京大学総合研究博物館放射性炭素年代測定室に依頼した。本稿での暦年較正年代値は、OxCal v4.4.2（Bronk Ramsey 2009, 2020）を用いて IntCal20（Reimer et al. 2020）で較正した。

2 測定結果および考察

測定結果を表 44 に示した。2017年調査ブロック 2B のⅢ層上部出土炭化物 5 点の年代値は、27,950～3605 BP（31,958～3877 calBP, 1 σ ）の範囲で得られた。2017YOSH-4, 5 試料は、他の 3 点と離れた 8-11d 区出土である（図 69）。この 2 点を除いた 8-13c 区出土 3 点は、13,670～13,480 BP（16,431～16,176 calBP, 1 σ ）の範囲で、かなりまとまった年代である。一方、2018年調査ブロック 2B のⅢ層中部および

表 43 測定試料の化学処理収率

No.	試料番号	使用量 (mg)	AAA 後 (mg)	AAA 後回収率 (mg)	酸化量 (mg)	CO ₂ 生成量 (mg)	CO ₂ 収率 (%)	CO ₂ 使用量 (mg)
1	2017YOSH-1	13.9	4.4	32.0	2.9	1.2	43.2	1.2
2	2017YOSH-2	9.7	4.6	47.5	2.7	1.1	39.9	1.1
3	2017YOSH-3	2.8	1.2	41.2	1.2	0.6	48.7	0.6
4	2017YOSH-4	11.2	6.2	55.0	3.1	1.7	56.4	1.7
5	2017YOSH-5	34.7	12.3	35.4	3.2	2.0	60.7	2.0
6	2018YOSH-1	6.3	1.8	27.7	1.8	0.9	48.6	0.9
7	2018YOSH-2	17.3	7.3	41.9	4.7	0.9	19.7	0.9
8	2018YOSH-3	16.1	5.2	32.1	4.2	1.3	31.5	1.3
9	2018YOSH-4	18.2	7.0	38.6	4.0	1.4	35.6	1.4
10	2018YOSH-5	26.6	10.0	37.7	4.2	1.5	35.0	1.5

表 44 測定試料の¹⁴C年代値および暦年較正年代値

No.	試料番号	¹⁴ C年代 (BP)	暦年較正年代値 (calBP, 1 σ)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰, 加速器)	Lab. No.
1	2017YOSH-1	13,670 ± 40	16,606–16,431 (68.3%)	–25.2 ± 0.5	TKA-20851
2	2017YOSH-2	13,510 ± 40	16,355–16,220 (68.3%)	–26.1 ± 0.3	TKA-20852
3	2017YOSH-3	13,480 ± 40	16,315–16,176 (68.3%)	–22.3 ± 0.5	TKA-20853
4	2017YOSH-4	3605 ± 20	3968–3945 (20.0%), 3929–3877 (48.3%)	–25.5 ± 0.4	TKA-20854
5	2017YOSH-5	27,950 ± 100	31,958–31,714 (68.3%)	–26.4 ± 0.6	TKA-20855
6	2018YOSH-1	17,680 ± 50	21,680–21,598 (11.2%), 21,483–21,247 (57.0%)	–25.8 ± 0.3	TKA-21095
7	2018YOSH-2	18,020 ± 50	22,056–21,900 (68.3%)	–24.2 ± 0.4	TKA-21096
8	2018YOSH-3	18,000 ± 60	22,034–21,865 (68.3%)	–26.0 ± 0.3	TKA-21097
9	2018YOSH-4	18,030 ± 60	22,064–21,901 (68.3%)	–26.3 ± 0.1	TKA-21098
10	2018YOSH-5	17,860 ± 50	21,850–21,670 (41.6%), 21,607–21,477 (26.7%)	–25.9 ± 0.1	TKA-21099

同層の焼土ブロック出土炭化物5点は、18,030～17,680 BP (22,064～21,247 calBP, 1 σ) の範囲で得られた。このうち、焼土ブロック外の2点 (2018YOSH-4, 5) も焼土ブロックと同様の年代値であり、当該グリッドⅢ層中部の炭化物 (図 69) は、この焼土と関連する可能性が高い。ちなみに、CO₂ 収率の低かった試料 (2018YOSH-2) も、他の近接試料と変わらない年代値であった。2017年調査試料のまとまった年代 (13,670～13,480 BP : 16,431～16,176 calBP, 1 σ) と、2018年調査試料の年代 (18,030～17,680 BP : 22,064～21,247 calBP, 1 σ) との間には、約1500年程度の差が生じている。この年代差は、Ⅲ層中部から上部の堆積層が形成される過程における時間差と捉えておきたい。あと、石器群と関係しないと考えられる非常に新しい年代値 (2017YOSH-4, 3605 BP) は、2012年調査ブロック3外縁部のⅢ層中部においても確認されており (國木田ほか 2014)、Ⅱ層より上位の堆積層からの混入と考えられる。また、非常に古い年代値 (2017YOSH-5, 27,950 BP) は、2008年調査時の層位確認トレンチ (4-4区南西・北西壁) の年代値を参考にすると、Ⅳ層もしくはⅤ層に由来するものと判断される。

忍路子型細石刃核を伴う細石刃石器群の年代については、先行研究において確実な¹⁴C年代は得られていない (山田 2006)。同書によると、吉井沢遺跡で出土したような忍路子型細石刃核を伴う細石刃石器群が該当する E2 群の¹⁴C年代値は皆無であり、唯一の事例として、出土地点等の詳細は不明であるが、北見市北上台地遺跡 B 地点が挙げられている。同遺跡では、10,300±1300 BP (GaK-331、Lab-code は学習院大学データベースを参照) の年代値が報告されている (大場・松下 1965)。報告書 (大場ほか 1984) に記載されている「炉址と考えられる灰の分布」と関連する可能性があると思像される。山田 (2006) では、E1 群の年代を下川町モサナル遺跡の炭粒群 A の年代値 (13,270±420 BP : GaK-8722) (上野編 1981) を、直接的に石器群と共伴している焼土ではないとした上で、引用している。そして E2 群は、E1 群より相対的に新相と判断されることから、E2 群の年代を便宜的に約 12,000 BP 以降と想定している。忍路子型細石刃核に先行すると考えられる札滑型細石刃核の年代は、厚真町上幌内モイ遺跡において、14,770～14,450 BP (約 18,000～17,500 calBP) の年代値がある (出穂・小田 2008)。山田 (2006) では、峠下型 2 類細石刃核 (B2 群) を 15,500～14,000 BP を中心とした年代、札滑型細石刃核 (C2 群) を 15,500～13,500 BP を中心とした年代としている。

今回の年代値は、Ⅲ層中部の焼土ブロックが 18,020～17,680 BP (22,056～21,247 calBP, 1 σ)、Ⅲ層上部が 13,670～13,480 BP (16,431～16,176 calBP, 1 σ) である。上記の先行研究から、忍路子型細石刃核の年代が、18,000 BP まで遡る可能性は低いいため、今回検出された焼土ブロックは、石器群とは直接関係しないと考えられる。実際に、この焼土ブロックは遺物出土レベルよりも少し下位にあるため (本書四章参照)、層位的にも矛盾はしない。問題は、Ⅲ層上部の年代 (13,670～13,480 BP) を、ブロック 2B の年代と判断してよいかどうかである。上記の通り、先行研究では、14,000 BP や 13,500 BP が峠下型 2 類細石刃核や札滑型細石刃核の上限年代と想定されているため、今回の 13,000 BP 代の年代を忍路子型細石刃核の年代としても型式学的には大きな矛盾は生じない。ただし、その場合、忍路子型細石刃核と先行する細石刃核の年代差はほとんどなくなり、これまで想定されてきた約 12,000 BP 前後の時期が空白になってしまう。筆者は、細石刃核の型式変遷における知識は持ち合わせていないため、この見解に

対して判断がつかない。今後、新たな遺跡調査の成果や、年代値の増加を待って、議論されることを望みたい。

3 おわりに

本稿では、2017年調査ブロック2BのⅢ層上部出土炭化物と、2018年調査ブロック2BのⅢ層中部および同層の焼土ブロック出土炭化物の¹⁴C年代値を報告し、その年代の妥当性に関して考察した。Ⅲ層中部の焼土ブロックは、先行研究との年代比較や、層位的状況から判断して、ブロック2Bと共伴するものではないと考えられる。Ⅲ層上部の年代(13,670~13,480 BP: 16,431~16,176 calBP, 1σ)は、忍路子型細石刃核の想定される年代と比較的近いと考えられるが、今後、新たな遺跡調査の成果を持って、評価されるべきであろう。2014年の報告時から比較すると、忍路子型細石刃核を伴う細石刃石器群の年代解明に関して、かなりの前進があったと思うが、今後も引き続き、炉跡や明瞭な炭化物集中部の探索や年代測定が必要であると感じる。

引用参考文献

- 出穂雅美・小田寛貴 2008 「北海道勇払郡厚真町上幌内モイ遺跡旧石器地点の放射性炭素年代」『論集忍路子』
2: 13-18
- 上野秀一編 1981 『モサナル遺跡発掘調査報告書』下川町教育委員会
- 大場利夫・松下 亘 1965 「北海道の先土器時代」『日本の考古学Ⅰ 先土器時代』河出書房: 174-197
- 大場利夫・近堂祐弘・久保勝範・宮 宏明 1984 「北上台地遺跡発掘調査報告」『北見郷土博物館紀要』
14: 14-83
- 大場利夫・近堂祐弘・久保勝範・宮 宏明 1983 「吉井沢遺跡発掘調査報告」『北見郷土博物館紀要』13: 1-37
- 北見郷土研究会編 1966 『北見市西相内吉井沢遺跡調査概要』
- 佐藤宏之・山田 哲編 2014 『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容(Ⅲ)』東京大学常呂実習施設研究報告第13集
- 國木田大・吉田邦夫 2009 「東麓郷1遺跡第2次発掘調査資料の¹⁴C年代測定」『日本列島北部の更新世/完新世移行期における居住形態と文化形成に関する研究』東京大学常呂実習施設研究報告第6集: 57-59
- 國木田大・吉田邦夫・松崎浩之 2014 「吉井沢遺跡出土資料の¹⁴C年代測定」『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容(Ⅲ)』東京大学常呂実習施設研究報告第13集:
244-247
- 山田 哲 2006 『北海道における細石刃石器群の研究』六一書房
- 吉田邦夫 2004 「火炎土器に付着した炭化物の放射性炭素年代」『火炎土器の研究』同成社: 17-36
- Bronk Ramsey, C., 2009, Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon*, 51(4): 337-360.
- Bronk Ramsey, C., 2020, OxCal 4.4.2

第三章 分析

Reimer, P. J., Austin, W. E. N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P. G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R. L., Friedrich, M., Grootes, P. M., Guilderson, T. P., Hajdas, I., J Heaton, T., Hogg, A. G., Hughen, K. A., Kromer, B., Manning, S. W., Muscheler, R., Palmer, J. G., Pearson, C., J. van der Plicht, C., Reimer, R. W., Richards, D. A., Scott, E. M., Southon, J. R., Turney, C. S. M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S. M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A., Talamo, S., 2020, The IntCal20 Northern hemisphere radiocarbon age calibration curve (0–55 cal kBP), *Radiocarbon*, 62(4): 725–757.

第二節 吉井沢遺跡ブロック 2B 出土石器のファブリック解析

夏木大吾（東京大学）

はじめに

遺跡の自然形成過程にアプローチするための手法としては、ファブリック解析がある。ファブリック解析は、遺物が被った自然形成過程の影響を直接的に知ることのできる分析手法であるため、空間分析の前処理として極めて有効な手段として近年注目を集めている。そもそもファブリック（英語：fabric、独語：Gefüge）とは、地質体の構造形態を構成要素によって把握するために導入された概念であり（植村 2000）、ファブリック解析は構造地質や堆積学などの地質科学の分析方法を考古遺物に応用したものである。考古学的なファブリック解析では、地質科学と同様に、遺物群を堆積物とみなし、その軸・面の方位や傾斜の構成を検討することで、埋没後の二次的な遺物配置のパターンを知ることができる。考古学の世界では、地考古学を唱導したブツァー（Butzer 1982）の研究において石器の向き・傾斜と自然形成との関連が注目されていたが、1990年代中頃からヨーロッパを中心に石器の構造的配置の研究が本格化してきた（Bertran and Tixier 1995；Dibble et al. 1997；Enloe 2006；Lenoble and Bertran 2004など）。日本人の研究でも、金取遺跡などの産状計測（菊池・中村 2004）を先駆けとして、より本格的なファブリック解析を遺跡調査に組み込む事例が近年蓄積されている（青木・夏木 2020；出穂ほか 2009；傳田 2015、2016；野口・林 2007 など）。

吉井沢遺跡においても石器集中部を単位とした石器のファブリック解析を行い、埋没後過程で生じた石器分布の変形を考慮したうえで、遺跡内居住行動を考察した（夏木 2016）。しかし、その時点ではブロック 2B におけるサンプル数が少なく、十分な検討ができなかった。したがって、本論では 2015～2018 年度出土資料を追加し、改めてブロック 2B から出土した石器を対象にファブリック解析を行い、この石器集中部が被った埋没後過程の影響について検討する。

1 分析の試料と方法

ファブリックの実験研究によれば、最大長が 2cm 以上（Kjaer and Krüger 1998）、長幅比が 1.6：1 の資料において有意な影響が認められており（Drake 1974）、この条件を満たした資料がサンプルとして好ましいと考えられる（傳田・佐野 2012）。したがって、この条件に合致したブロック 2B 出土石器を分析試料とした。

ブロック 2 区では北西側と南東側でやや堆積状況が異なり、北西側では尾根斜面からの崩積相を示す

小角礫を多く含む層が石器群を覆っている状況が確認される。斜面の上方と下方では重力性擾乱の影響が異なる可能性があるため、ブロック 2B のⅢ層から出土した遺物を、より低い位置にある Y 軸グリッド列から順に、サンプル A 群 (X-Y=6-11・7-11・8-11 区)、サンプル B 群 (6-12・7-12・8-12 区)、サンプル C 群 (7-13・8-13 区) に分けて、個々の資料群単位ごとに分析を行う。ただし、倒木痕内から出土した石器については除外した。また、Ⅱ層の出土石器の方位・傾斜を記録しているが、分析に十分な試料数が得られていないため対象外とした。サンプル A 群は 63 点、B 群は 88 点、C 群は 74 点の石器から構成される。

産状計測には、デジタルクリノメーター GeoClino (GSI 株式会社製品) を用いた。石器の出土遺物の 3 軸 (長軸・中軸・短軸) を決定し、有方向データとして記録した。記録時には、出土状態の遺物が傾斜している面にあわせて遺物長軸の方位 (水平度と $0^\circ \leq \theta < 360^\circ$) と傾斜 ($0^\circ \leq \alpha < 90^\circ$)、最大傾斜面の方向と傾斜角を同時に記録した。得られた方位データは真北を基準とするため、記録後の生データは偏角補正を行っている (調査地である留辺藪東部地区では西偏 $9^\circ 20'$)。石器の方位と傾斜の数値は、石器の長軸、中軸、短軸、最大傾斜面に関して得られるが (図 70)、本分析では、石器のファブリック解析において一般的な長軸のデータを用いる。

ファブリック解析では、サンプル群ごとの石器の方向・傾斜を二次元・三次元的に解析することによって、ファブリックの構造を明示し得る。ファブリックのパターンには、ルノーブルらの研究 (前掲) を参照し、以下のようなものが挙げられる (図 71)。

- ① 等方構造 Isotropic : サンプル群の傾斜の向きがランダムに分布する。土壌擾乱や融凍擾乱の影響を被った可能性がある。
- ② 面構造 Planar : サンプル群が面をなして、水平方向がランダムに配置する。ファブリック構造として、自然の影響を受けていないと解釈されるが、何らかの擾乱による再配置の結果としてこの構造に至る

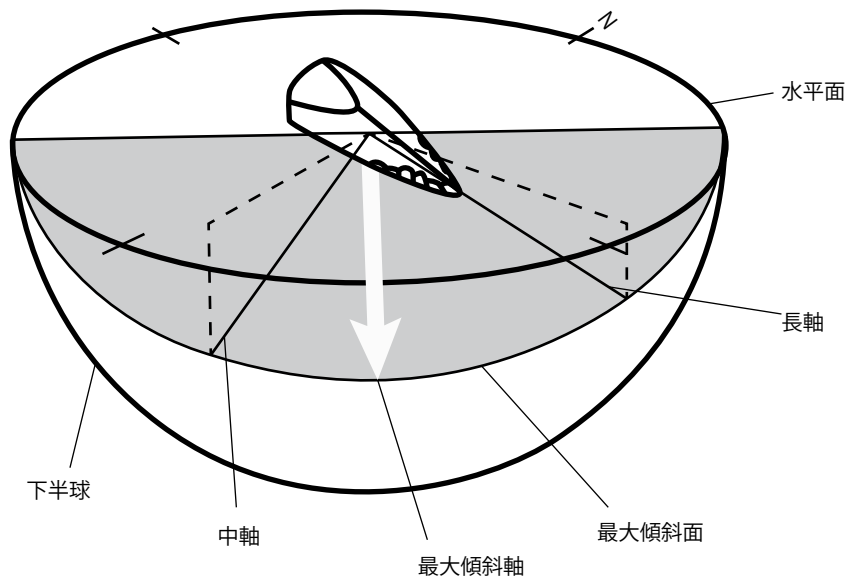


図 70 遺物の計測モデル

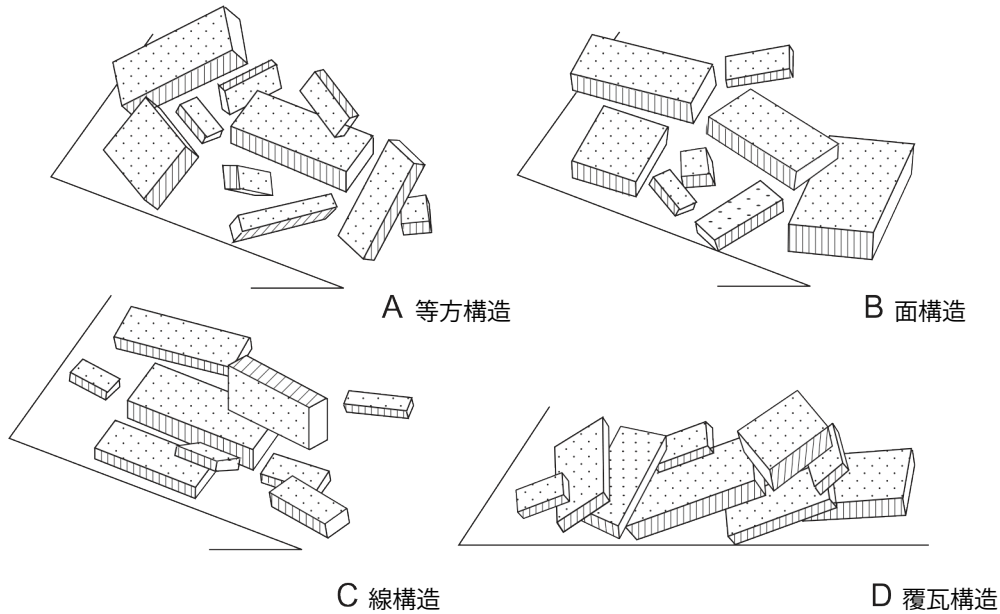


図 71 ファブリックのパターン (Lenoble and Bertran 2004 を改変)

可能性もある。

③線構造 Linear：サンプル群が特定方位に集中する。つまり定向配列が認められる。斜面に平行あるいは直行して分布する場合がある。斜面における重力性の移動、地表水の影響を受けた可能性がある。

④覆瓦構造 Imbrication：サンプル群内のそれぞれのサンプルが重なり、最大傾斜面が同一方向を向く。河川堆積やそれに類する運搬によって運ばれたと考えられる。

得られた計測データは、シュミットネット投影図（等面積投影図）で示し、方位データはローズダイアグラムにて整理した。シュミットネット投影図に示される点は、方位と傾斜によって位置が決定される。シュミットネット投影図では、遺物長軸の傾きが大きいほど点がより中心に位置し、遺物長軸がより水平であれば点がより外側に位置することになる。コンターダイアグラムは、シュミットネット投影図上の点の分布密度を等密度線として示したものであり、多数の方位と傾斜に関する分布傾向を把握するための視覚的補助として示した。ローズダイアグラムは試料群の方位に関する比率を示したものである。

試料における長軸方位の分析には、Curry (1956) の Vector Method を用いる。ベクトル値 (L 値) では、試料群の長軸の方位が 0 から 100 までの百分率として示される。0% でそれぞれの試料の長軸方向が等方向に分布、100% ですべての試料が同一方向に分布している、と理解される。またベクトル値 (L 値) と試料群総数 (n) を用いて、Rayleigh 検定をおこなう。計算された値 (P 値) が 0.05 より低ければ、試料群長軸が優先的な方位をもたずランダムであるとする仮説が棄却され、有意な定向配列をもつことが支持される。

ファブリックの三次元解析には固有値法が用いられる (Woodcock 1977)。固有値法では方位と傾斜データを $x \cdot y \cdot z$ にベクトル変換させて固有方程式をもとめる。それらをもとめると、最も集中する方向の強度 (E_1)、それに直交する最も集中しない方向の強度 (E_3)、それらに直交する中間方向の強度 (E_2)

の3軸が決定される。さらに固有値の自然対数比 $r_1 = \ln(E_1/E_2)$ 、 $r_2 = \ln(E_2/E_3)$ 、 $K = r_1/r_2$ 、 $C = \ln(E_1/E_3)$ を求め、 r_1 と r_2 の分布を示した r_1 - r_2 ダイアグラムによってファブリック構造の把握を試みる。 r_1 が大きく $K > 1$ であれば線構造、 r_2 が大きく $K < 1$ であれば面構造、 r_1 と r_2 の値が両方とも小さければ等方構造を示す。また、 C 値が大きいほど等方構造から遠ざかる。

また、Benn (1994) が提唱した、値が大きいほど方向のランダム性を示す Isotropy Index (IS 値 $= E_3/E_1$)、値が大きいほど方向が集中していることを示す Elongation Index (EL 値 $= 1 - (E_2/E_1)$) を利用し、それらの数値をプロットした図 (IS-EL ダイアグラム) を作成してファブリック構造の傾向を評価する。加えて Flatness index (FL 値 $= E_3/E_2$) を併記する。IS 値と FL 値は 0~1 の間で変化し、0 では試料が単一の平面もしくは軸に限定され、1 ではそれぞれ完全な等方構造と面構造を示すことになる。EL 値も 0~1 の間で変化し、0 で定向配列が認められず、1 で全ての試料が完全な定向配列を示すことになる。

本石器群から抽出した試料群について、上記したファブリック解析の結果に基づき、埋没後過程が遺物の配置にもたらした自然的影響の評価をおこなう。

2 結果

各試料群単位での統計分析の結果 (表 45)、シュミットネット投影図・コンターダイアグラム・ローズダイアグラム (図 72)、 r_1 - r_2 値と IS-EL 値のダイアグラム (図 73) を示した。

長軸ファブリックのシュミットネット投影図とコンターダイアグラムでは、全ての試料群において多くの試料が周縁部に位置し、急傾斜で出土する遺物が比較的少ないことがうかがえる (図 72)。サンプル A 群とサンプル B 群のローズダイアグラムでは、概ね東-西方向を示すものが多く、サンプル C 群では北西-南東方向を示すものが多く、固有ベクトル (V_1) でも同様な結果が得られる。L 値はサンプル C 群が最も大きく、B 群、A 群の順に小さくなる。C 群では P 値が 0.05 より小さいため有意な定向配列をもつことになる (表 45)。

固有値に基づく分析結果をみると、サンプル C 群が線構造に近づき、B 群、A 群の順に線構造から遠ざかり、等方構造が強くなっている。一方で、C 群の FL 値は最も高く、試料群の中では面構造に最も近い。

表 45 計測値の解析結果

試料	n	L	P	固有値			固有ベクトル (V_1)		r_1	r_2	K	C	IS	EL	FL
				E_1	E_2	E_3	方位	傾斜							
サンプル A 群石器	63	6.455	0.7691	0.483	0.412	0.105	291	3	0.158	1.369	0.116	1.528	0.217	0.146	0.254
サンプル B 群石器	88	16.633	0.0876	0.536	0.372	0.092	271	2	0.364	1.402	0.260	1.765	0.171	0.305	0.246
サンプル C 群石器	74	30.736	0.0009	0.592	0.319	0.089	306	1	0.618	1.278	0.484	1.896	0.150	0.461	0.279

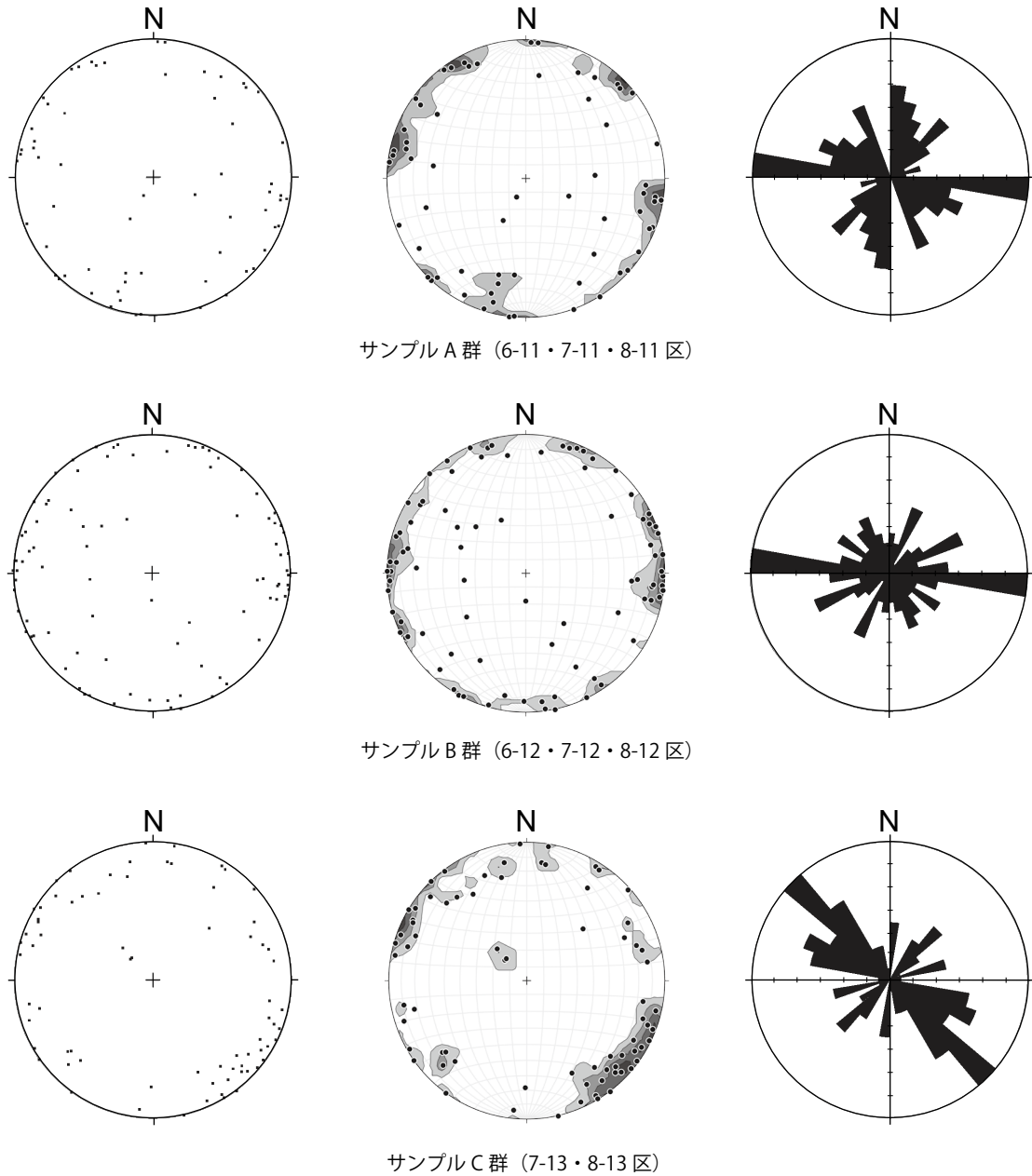


図 72 石器長軸方向・傾斜のシュミットネット、ローズダイアグラム

3 埋没後過程の影響

出土石器のファブリック解析からは、斜面の上方にいくにつれて線構造寄りになり、等方構造から遠ざかることが確認された。これらの傾向をより明確に捉えるため、他の石器集中部との比較を行った(図 73)。吉井沢遺跡では様々な要因により、部分的に遺物の再配置や擾乱が認められている。図 73 の 4: 吉井沢ブロック 1・Ⅲ層(旧流路影響範囲)は流水の影響、5: 吉井沢ブロック 2A・Ⅲ層は地形傾斜に沿ったソリフラクションや土壌匍行等の重力性擾乱の影響、6: 吉井沢ブロック 3・Ⅲ層(倒木影響範囲外)

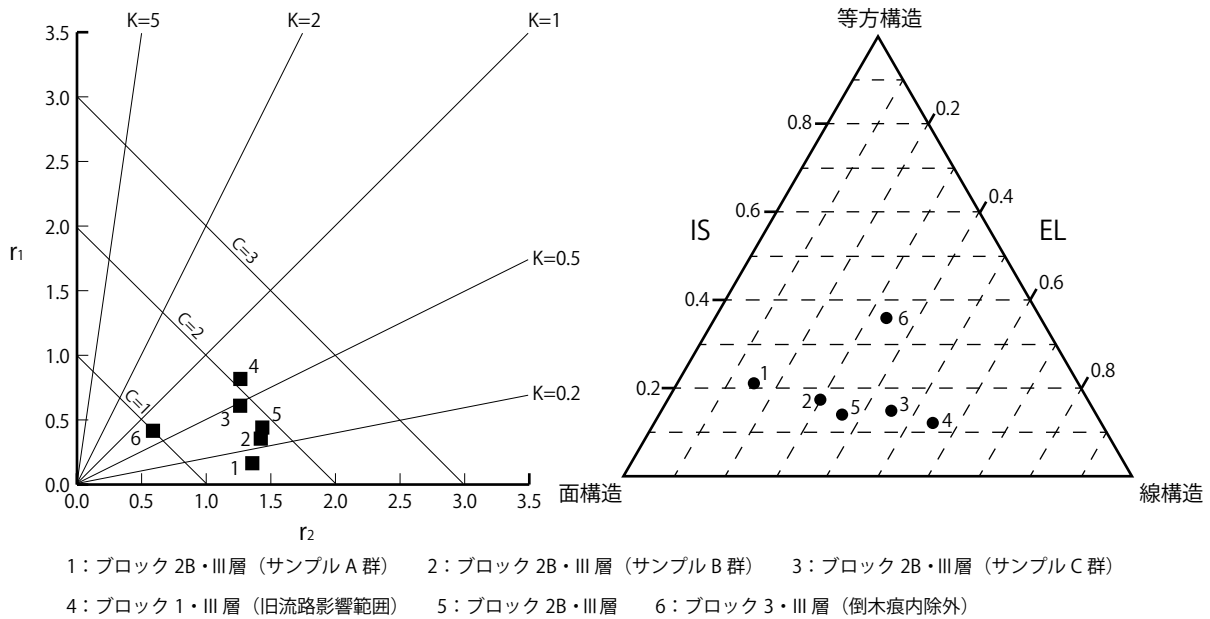


図 73 $r_1-r_2 \cdot IS-EL$ 値ダイアグラム

は融凍擾乱の影響が考慮される試料群であり(夏木2016)、4と5は有意な定向配列が認められる。ブロック 2B 試料群の中でも尾根斜面寄りのサンプル A 群は、過去の小流路の影響を受けたとみられるブロック 1 の一部試料群 (4) に次いで線構造の強度が高い。サンプル A 群と B 群は他の試料群よりも線構造からは離れるが、長軸が東西方向を示す試料の比率が高く、斜面傾斜方向での石器の折面接合関係も多く認められるため、重力性擾乱の影響を免れたとは考えられない。斜面下方に向かって遺物の埋没が浅くなることから、わずかに高い等方構造の値を考慮して、サンプル A 群と B 群では融凍擾乱の影響でより古い時期に被った影響が上書きされてしまった可能性もある。

以上の結果から、ブロック 2B 出土の遺物群は斜面傾斜方向に沿った重力性擾乱の影響を受けたと判断される。したがって、概ね東西方向に離れた石器の接合関係や遺物属性における分布パターンの違いを評価するには注意が必要である。それとは反対に、南北方向での接合関係や遺物分布の違いについては人間行動の結果と評価できるだろう。ブロック 2A と 2B は隣接するが、南北方向に離れるため、異なる分析単位として扱うことができる。

引用文献

- 青木要祐・夏木大吾 2020 「タチカルシュナイ遺跡 M-I 地点出土遺物のファブリック解析」、夏木大吾 (編)『日本列島北部における新石器型狩猟採集社会の形成過程—タチカルシュナイ遺跡 M-I 地点の研究—』東京大学常呂実習施設研究報告第 16 集、pp.155-161、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 出穂雅実・B. ツォグトバートル・山岡拓也・林 和広・A. エンフトゥル 2009 「モンゴル東部・ハンザット 1 旧石器遺跡の第 1 次調査報告」『日本モンゴル学会紀要』 39、pp.63-76

- 植村 武 2000 『構造地質学要論—地質体の変形—』 愛智出版
- 菊池強一・中村由克 2004 「岩手県金取遺跡（第1次）出土石器の産状の特徴と磨耗度研究の意義」『日本考古学協会第70回総会 研究発表要旨』、pp.19-23、日本考古学協会
- 傳田惠隆 2015 「山形県寒河江市高瀬山遺跡における石器空間分布の攪乱要因」『第四紀研究』 54 (4)、pp.173-183
- 傳田惠隆 2016 「高倉山遺跡出土資料のファブリック解析」『最上川流域の後期旧石器文化の研究3 高倉山遺跡』 東北文化資料叢書第9集、pp.38-44、東北大学大学院文学研究科東北文化研究室
- 傳田惠隆・佐野勝宏 2012 「高倉山遺跡出土資料のファブリック解析」『旧石器考古学』 76、pp.69-82
- 夏木大吾 2016 「北海道における晩氷期人類の居住生活—吉井沢遺跡の事例から—」『晩氷期の人類社会』 pp.43-63、六一書房
- 野口 淳・林 和広 2007 「下原・富士見町遺跡における遺跡形成過程の研究（2）—礫群の構築・使用・廃棄過程復元のためのファブリック解析・第1報—」『明治大学校地内遺跡調査団 年報』 4、pp.37-42、明治大学校地内遺跡調査団、
- Benn, D. I. 1994 Fabric shape and the interpretation of sedimentary fabric data. *Journal of Sedimentary Research* 64: 910-915.
- Bertran, P., Tixier, J. P., 1995. Fabric Analysis: Application to Paleolithic sites. *Journal of Archaeological Science* 22: 521-535.
- Butzer, K. W., 1982. *Archaeology as human ecology*. Cambridge University Press.
- Curry, J. R. 1956 The Analysis of two-dimensional orientation data, *Journal of Geology* 64: 117-134.
- Dibble, H. L., Chase, P. G., MacPherron, S. P., Tuffreau, A., 1997. Testing the reality of a "Living floor" with archaeological data. *American Antiquity* 64: 629-651.
- Drake, L. D., 1974. Till fabric control by clast shape. *Geological Society of America* 85(2): 247-250.
- Enloe, J. G., 2006. Geological processes and site structure: Assessing integrity at a Late Paleolithic open-air site in Northern France. *Geoarchaeology* 21: 523-540.
- Kjaer, K. H., Krüger, J., 1998. Does clast size influence fabric strength?. *Journal of Sedimentary Research* 68: 746-749.
- Lenoble, A., Bertran, P., 2004. Fabric of Palaeolithic levels: methods and implication for site formation processes. *Journal of Archaeological Science* 31: 457-469.
- Woodcock, N. H. 1977 Specification of fabric shapes using an eigenvalue method, *Geological Society America Bulletin*, 88: 1231-1236.

第四章 吉井沢遺跡ブロック 2B 調査成果のまとめと考察

1 調査成果の概要

吉井沢遺跡の 2015～2018 年度調査で採取された遺物の総数は 13,327 点であり、そのほとんどはブロック 2B に帰属する。吉井沢遺跡における 2006 年度から 2018 年度までの調査で得られた全体の遺物総数は 35,592 点で、ブロック 2B が 14,491 点となる。吉井沢遺跡では、これまでに 4ヶ所の石器集中部（ブロック）が把握されているが、ブロック 2B の遺物数は、ブロック 1、ブロック 2A、ブロック 3 よりも多く、全体の約 4 割を占めている。

ブロック 2B から出土した細石刃は、長さ・幅・厚さの平均値が 1.5cm・0.4cm・0.1cm で、細石刃としては小形の部類であり、これまでに報告された他の石器集中部の例（1.2～1.5cm・0.3cm・0.1cm）（佐藤・山田編 2014）とほぼ同様といえる。出土した細石刃核は忍路子型であり、細石刃剥離作業面長が 1.5～2.0cm、剥離された細石刃の最大幅は 0.2～0.4cm で、伴出する細石刃の形態とも一致する。その他の石器の特徴や出土層位（Ⅲ層上部が主）からみても、ブロック 2B の石器群はその他の石器集中部（ブロック 1・2A・3）と共通する。明確に異なる時期と推定される遺物は出土しておらず、忍路子型細石刃核を含む石器群の単純な様相を示している。

ブロック 2B を構成する要素は基本的に石器であり、関連する遺構は検出されていない。石器集中範囲の一部に重複して焼土ブロックが検出されたが、後述するように石器集中部を形成した人間活動とは関連しないと推測される。ブロック 2B の調査範囲（30m²）には、長さ・幅が約 4m で、地表面から約 1m の深さに達する倒木痕が存在し、遺物包含層が大きく攪乱されていた。しかし、倒木痕内の遺物は 1,621 点（11.2%）とそれほど多くなく、倒木痕の中心は比較的遺物の少ない範囲であったようである。

ブロック 2B の調査のために設定した 30m² の範囲では遺物の検出を終えたが、石器は発掘区の南西端においても顕著に集中しており、さらに広がると推測される。

2 ブロック 2B 出土遺物の概要

ブロック 2B における石器石材の大部分は黒曜石で 94.4%（13,685 点）で、頁岩の 4.7%（678 点）がそれに次ぐ。その他の主な石材として凝灰岩が 0.6%（49 点）を占める。石材別の主要な剥離作業は、黒曜石が石刃および石刃製のツール、両面調整石器、細石刃の製作に用いられ、頁岩が石刃および石刃製のツール、凝灰岩が斧形石器製作に利用されている。

出土した細石刃核には細長い半月・尖頭器状の両面調整石器を素材に用いたものがあり、忍路子型細

石刃核の中でも2類(寺原1999;山田2006)に分類できる。細石刃核の打面は素材の長軸方向に設定され、細石刃剥離作業面方向からの削片剥離によって形成される。打面縁辺と作業面上縁付近の細かな剥離調整が施され、細石刃は点状打面をもち、腹面側に湾曲することが多い。伴出した両面調整石器には、左右非対称で半月形を呈するものが含まれ、細石刃核素材と推定される。一方で、有茎尖頭器の素材となりえるような形状の両面調整石器は出土していない。

212点(197個体)もの石刃が出土しており、搔器や彫器、削器、錐形石器などの主要な石器も石刃を素材とするものが多い。石刃は稜調整および側面調整によって整形された石刃核から剥離され、細かな打面調整と潰しを伴う頭部調整が施される。とりわけ黒曜石製の石刃では、潰し調整による頭部の顕著な摩滅が観察される。出土した石刃において、幅3cmを超える大形は3.3%(7点)と少なく、2cm以上~3cm未満の中形が28.8%(61点)、2cm未満の小形が55.7%(118点)であり(不明28点あり)、小・中形が多数を占める。黒曜石製の石刃では、177点の中で大形が4%(7点)、中形が30.5%(54点)、小形が50.8%(90点)を占める。ただし、ツール素材となる黒曜石製石刃には中形の例が顕著であり、残された石刃は実際に生産された石刃の幅の傾向を反映しているとは考え難い。頁岩製石刃では、大形石刃がなく、35点の中で中形が20%(7点)、小形が80%(28点)と、黒曜石よりも幅の小さな例が顕著になる。

搔器は69点(66個体)で、全て黒曜石製である。素材は石刃が多く(59点)、その末端側に刃部を形成するものが主である。大形石刃を素材とするもの8点、中形石刃素材が38点、小形石刃素材が14点で、中形石刃が多く利用されている。搔器の側縁の1/2以上に二次加工が及ぶものは9点(8個体)と少なく、縁辺の形状をとどめる例が多い。先端刃部の二次加工と素材背面の境界付近に打撃の痕跡(リング・クラック)が観察される例は10点あり、同様な打撃によって生じた潰れ・剥離痕をとどめるものが4点あった。出土した礫塊石器の中には、顕著な鼠歯状痕と窪みのある台石があり、搔器刃部の両極打撃調整に関連するとみられる。黒曜石の細片126点に両極打撃の痕跡である末端からの反発痕があり、主に搔器刃部調整で生じたと考えられる。他の石器集中部では同様な台石は出土していないが、ブロック1ではリング・クラックを有する搔器が103個体中59個体(57.3%)、ブロック2Aでは28個体中11個体(39.3%)、ブロック3では53個体中23個体(43.4%)ある。このように、両極打撃による搔器の刃部調整はよく行われたと推定されるが、ブロック2Bでは15.2%程度と他の石器集中部と比べてリング・クラックの検出率は高くない。

彫器は22点(20個体)で、基本的に石刃を素材とし、素材末端側に彫刀面を形成するもの9点(8個体)、素材打点側に彫刀面を形成するもの10点(9個体)、両端に彫刀面を形成するもの3点から構成され、彫器における彫刀面作出位置は様々である。彫器は側縁に連続的な二次加工のある例が多く、素材の幅が不明なものが多いが、主に小・中形石刃が素材であると推測される。石材別では黒曜石製が15点(13個体)、頁岩製が7点ある。彫器のほとんどは左斜刃形もしくは左急斜刃形であり、頁岩製では彫刀面が腹面側に傾く斜刃形、黒曜石製では背面側に傾く斜刃・急斜刃形が目立ち、他の石器集中部の例と同様の傾向が捉えられる。

削器や錐形石器は剥片製のものも多く含まれている。削器は 35 点 (32 個体) あり、黒曜石製のものが主体で、石刃素材と剥片素材の両方で側縁に弧状の刃部を形成する例が特徴的である。錐形石器は 27 点 (21 個体) あり、黒曜石製 15 点 (13 個体)、頁岩製 12 点 (8 個体) からなる。石刃を素材とするものが 24 点 (18 個体)、剥片を素材とするものが 6 点含まれる。石刃素材は小形石刃を素材とするもの (12 点・8 個体) が多い。刃部は先細りする素材末端に作出するもの以外に、側縁に抉入加工を施し形成するものがあり、部分的な急角度の剥離によって錐部が作られる。

3 石器集中部間比較とブロック 2B の特徴

吉井沢遺跡ではこれまでに 4ヶ所の石器集中部が明らかにされ (佐藤・山田編 2014)、各器種の組成や石器の製作・使用作業の内容はそれぞれ大きく異なることが指摘されてきた (夏木 2016; 山田 2014)。石器集中部間を比較するためのデータとして、石器石材 (図 74)、ツール等・剥片・細片 (図 75)、ツール等に占める各器種の比率 (表 46) を示した。このような比率の差を踏まえながら、先行研究で指摘されてきたブロック 1、2A、3における石器組成と作業内容の特徴は下記のようにまとめられる。

ブロック 1: 石器石材における黒曜石の比率が高い。また細片の比率が石器集中部の中で最も高い。黒曜石製の搔器、削器の比率が高く、黒曜石の細片の多さと関連づけられる。搔器や削器等の黒曜石製石器の製作、使用・維持に関わる活動痕跡が顕著である。

ブロック 2A: 他の石器集中部に比べて剥片の比率が高く、細片の比率が低いことに特徴をもつ。剥片は中・大形の比率 (20%) が他の石器集中部より高い。また、石材構成に占める頁岩の比率が石器集中部の中で最も高い。石刃生産と両面調整石器で生じた剥片を多く含み、それらの生産・加工を示す証拠が顕著である。

ブロック 3: 細石刃と彫器に関連する遺物が多いことに特徴づけられる。細片の比率が高く、ブロック 1 と同様に、石器の使用・維持に関係する活動が顕著であったことを示す。頁岩製彫器が多いことに伴い、頁岩の細片が多くなっている。また、多くの顔料原材を伴う。剥片の数が少なく、石刃や両面調整石器の生産が低調で、相対的にツール等の比率が高い。

以上のような各石器集中部の特徴とブロック 2B とを比較してみたい。まず、石材構成では頁岩の比率はブロック 2A に比べて低く、ブロック 3 よりわずかに高い。ツール等の比率 (5.1%) はブロック 3 よりも低いが、ブロック 1 と 2A とほとんど変わらない。剥片の比率 (6.8%) は、ブロック 2A に比べると非常に低いが、ブロック 1 と 3 より高い。細片の比率 (88.1%) はブロック 2A より高く、ブロック 1 と 3 よりわずかに低い。剥片と細片の比率の差を踏まえると、ブロック 2B の作業内容はブロック 2A と明確に差別化でき、ブロック 1 と 3 と同様に細片が多く、ツールの使用・維持に関連する証拠が顕著である。ブロック 1 や 3 より剥片の比率は高く、それらの遺物の多さを考慮すると、石刃・両面調整石器はブロック 2A より多く生産されていた可能性もある。しかし、ブロック 2A に比べると剥片のサイズは小形 (長さ・幅 2cm 以上 4cm 未満)・中形 (同 4cm 以上 8cm 未満) のみで、小形が主体 (82.4%)

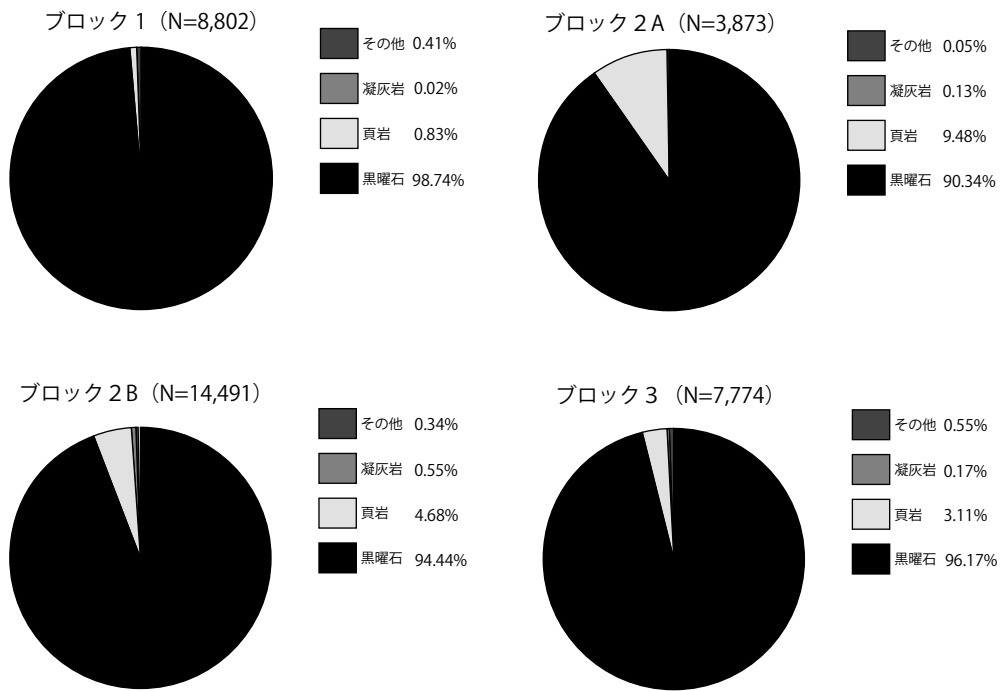


図 74 各石器集中部における石器石材の比率

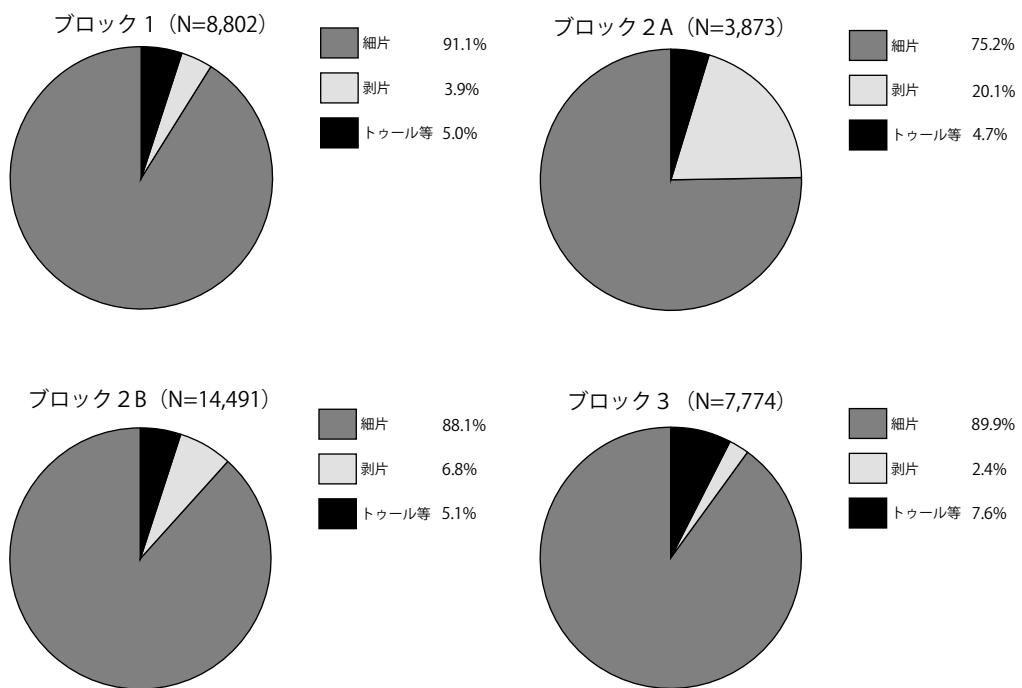


図 75 各石器集中部におけるツール等・剥片・細片の比率

表 46 トゥール等に占める各器種の比率

	ブロック 1		ブロック 2A		ブロック 2B		ブロック 3	
	比率	点数	比率	点数	比率	点数	比率	点数
搔器	29.55	130	16.94	31	9.27	69	8.25	49
彫器	2.73	12	3.83	7	2.96	22	5.05	30
削器	7.27	32	2.19	4	4.70	35	0.84	5
彫搔器					0.13	1	0.34	2
錐形石器	0.45	2	1.64	3	3.63	27	1.18	7
斧形石器			0.55	1	0.40	3		
礫器	0.23	1						
有茎尖頭器			0.55	1				
尖頭器					0.13	1		
両面調整石器	1.36	6	1.09	2	1.21	9	1.01	6
石器破片	8.64	38	3.28	6	5.78	43	4.71	28
細石刃	12.27	54	6.56	12	10.75	80	23.57	140
石刃	25.68	113	45.90	84	28.49	212	12.12	72
細石刃核			0.55	1	0.54	4	1.18	7
石刃核			0.55	1			0.17	1
剥片石核	0.23	1	0.55	1	0.13	1		
細石刃核削片	0.45	2	0.55	1	3.36	25	4.55	27
彫器削片	9.09	40	14.21	26	22.72	169	30.64	182
顔料原材	0.23	1			4.44	33	4.38	26
礫塊石器	0.45	2	0.55	1	0.27	2	0.34	2
礫・礫片	1.36	6	0.55	1	1.08	8	1.68	10
トゥール等	100.00	440	100.00	183	100.00	744	100.00	594

であり、石刃核や両面調整石器の生産・加工過程の中でも、リダクションの進行したものの剥離作業が主であったと推測される。

ブロック 2B のトゥール等の中で、石刃は最も比率が高く、数が多い。搔器はブロック 1 や 2A に比べて比率が低く、ブロック 3 よりわずかに高い程度である。しかし、搔器の素材となる石刃サイズに関しては、他の石器集中部で幅 3cm 以上の大形素材のものが 24~50% であるのに対して、ブロック 2B では 13.3% と低く、小（幅 2cm 未満）・中形（幅 2cm 以上 3cm 未満）のものが目立つ。また両極打撃に関連する搔器刃部付近のリング・クラックの検出率が低いなど、選択された素材サイズや加工方法の量的な違いがみられる。ブロック 2B では細石刃関連や彫器関連の遺物が多く、それらの比率はブロック 1 と 2A より明らかに高いが、ブロック 3 より低い。顔料原材の数は最も多く、細石刃と彫器の関連遺物の多さと合わせて、ブロック 3 との類似点である。ただし、ブロック 2B では細石刃核素材の両面調整石器やリダクションの進行していない細石刃核があるのに対し、ブロック 3 ではリダクションが進行し小形化した細石刃核が目立つ。また、ブロック 2B では、細石刃の中間部片の比率が 30% と他の石器集中部（20% 以下）よりも高く、微小剥離痕や槌状剥離を有するものが含まれるなど、使用されたものがより多く含まれる可能性がある。錐形石器は 27 点出土し、2007~2018 年度調査全体で得られた錐形石器の 67.5% を占めるほど多い。ブロック 2B では斧形石器が 3 点出土しているが、その他の石器集中部ではブロック 2A の 1 例に限られる。また斧形石器の製作・再加工で生じた凝灰岩の剥片・細片（48

点・29点)が多い。ブロック2Bは、これまでの吉井沢遺跡の調査では発見の少なかった器種も多く、多様な石器器種を含むなど、ヴァリエティーに富む石器組成を示している。

ブロック2Bではこれまでに2,673点の被熱石器が出土しており、この石器集中部における出土総数の18.4%を占めている。他の石器集中部において被熱石器の占める比率はおよそ2%であるため、ブロック2Bは顕著に被熱石器が多いといえる。火を利用する活動がブロック2Bの場所において顕著であったことを示唆している。被熱石器の主体は細片2,263点と剥片317点だが、その他トール類として搔器9点、彫器3点、削器6点、錐形石器4点、両面調整石器4点、尖頭器1点、石器破片7点、細石刃1点、石刃51点、細石刃核削片1点、彫器削片6点が含まれる。被熱石器には様々な器種が含まれており、それらが製作・使用された場で、火が利用されたことを示している。

ブロック2Bでは剥離面接合21個体、折面接合41個体が得られた。その内、14個体の剥離面接合、4個体の折面接合がブロック2Aとの間で生じている。剥離面接合資料の多くは、石刃剥離過程に関連するもので、この二つの場所で石刃核を移動させながらの石刃剥離を示す接合資料、片方で作成された石刃がもう一方の石器集中部に持ち運ばれたことを示す接合資料が含まれる。接合関係からみると石器の移動は双方向的であるため、ブロック2Aと2Bは時間的に並行して形成されたと推測される。

4 年代の検討

2017・2018年度の調査ではブロック2Bの石器集中範囲に重複する炭化物が多く採取され、その内10点の年代測定が行われた(本書第三章第一節國木田)。10点の試料から得られた年代は、27,950~3605 ¹⁴C BP (31,958~3877 calBP, 1σ)の範囲で様々な年代を示すが、発掘区の南西側のグリッド(8-13区)から得られた年代が比較的まとまっており、北海道における細石刃石器群の存続期間として推測される範囲に収まる。8-13c区Ⅲ層上部出土3点の年代は13,670~13,480 ¹⁴C BP (16,431~16,176 calBP, 1σ)で、それと隣接する8-13d区Ⅲ層中部および同層の焼土ブロック出土炭化物5点は、18,030~17,680 ¹⁴C BP (22,064~21,247 calBP, 1σ)の範囲で得られ、小グリッド間の炭素年代測定値に約1500年程度の差が生じている。しかしながら、8-13d区のⅢ層中部と焼土ブロックから採取した炭化物は遺物の出土レベルよりもわずかに下位に出土する傾向にあり(図76)、石器群よりも古い年代を示している可能性が高い。また、千歳市オサツ16遺跡B地区において、忍路子型細石刃核(2類)を含む石器群がEn-a(約17,000 ¹⁴C BP)の上位から出土したという層位的事例と矛盾し、排除される。一方、8-13c区の炭化物は遺物出土のピークと同一レベルに分布する傾向にあり、その測定値13,670~13,480 ¹⁴C BP (16,431~16,176 calBP, 1σ)が当該石器群に対応する可能性は否定できない。

火が利用された場所と年代測定試料との関係を検討するために、図77に炭化物と被熱した細片(N=2,253)の密度分布を示した。被熱した細片の密度分布はブロック2B出土遺物の密度分布(図78)とほぼ変わらない分布傾向を示している。被熱細片の比較的密度の高い範囲は13,670~13,480 BP (16,431~16,176 calBP, 1σ)に重複している。しかしながら、ブロック2B出土石器のファブリック解析(本書第

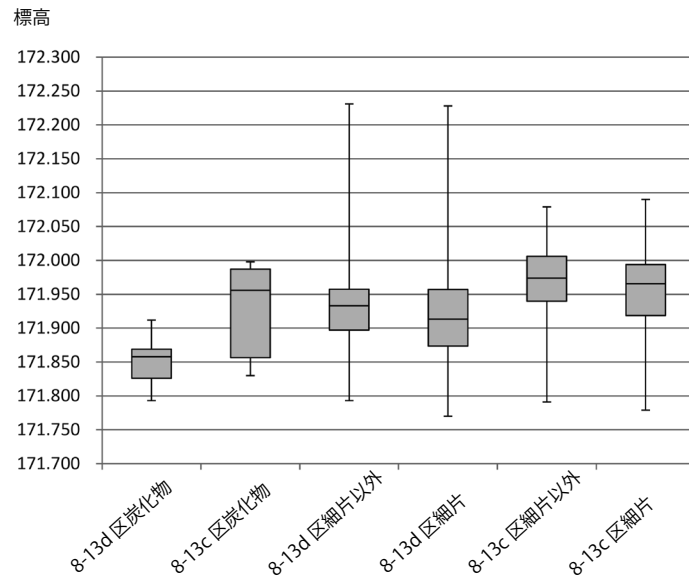


図 76 8-13c・d 区における炭化物と石器の垂直分布

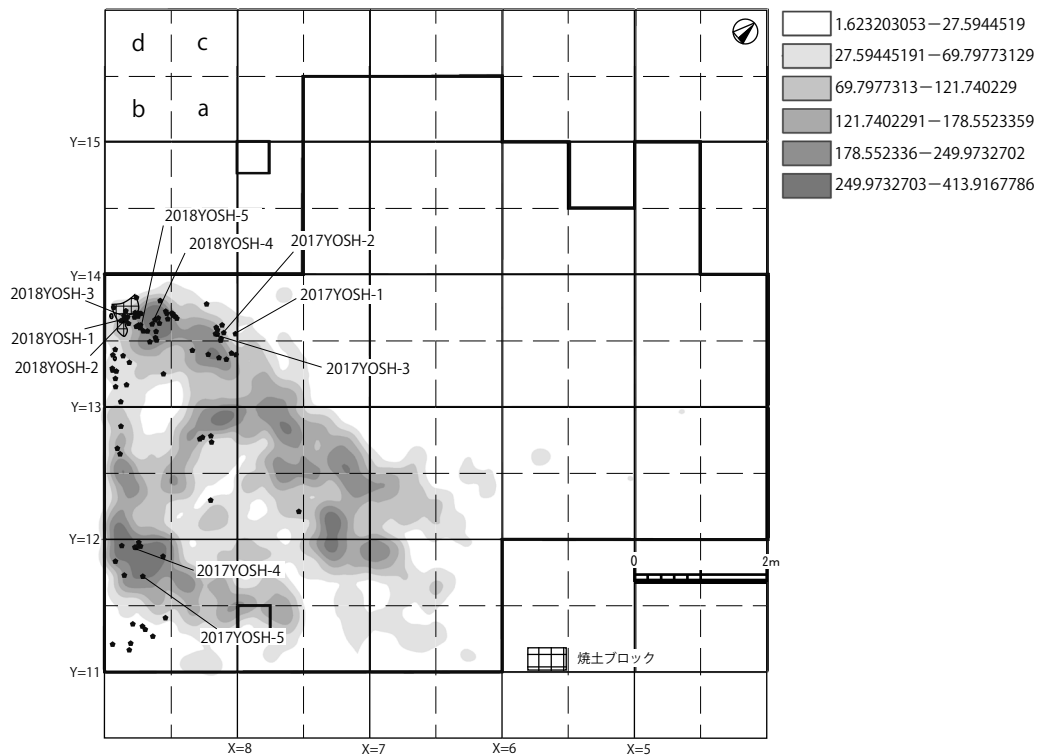


図 77 年代測定試料の位置と被熱細片のカーネル密度分布

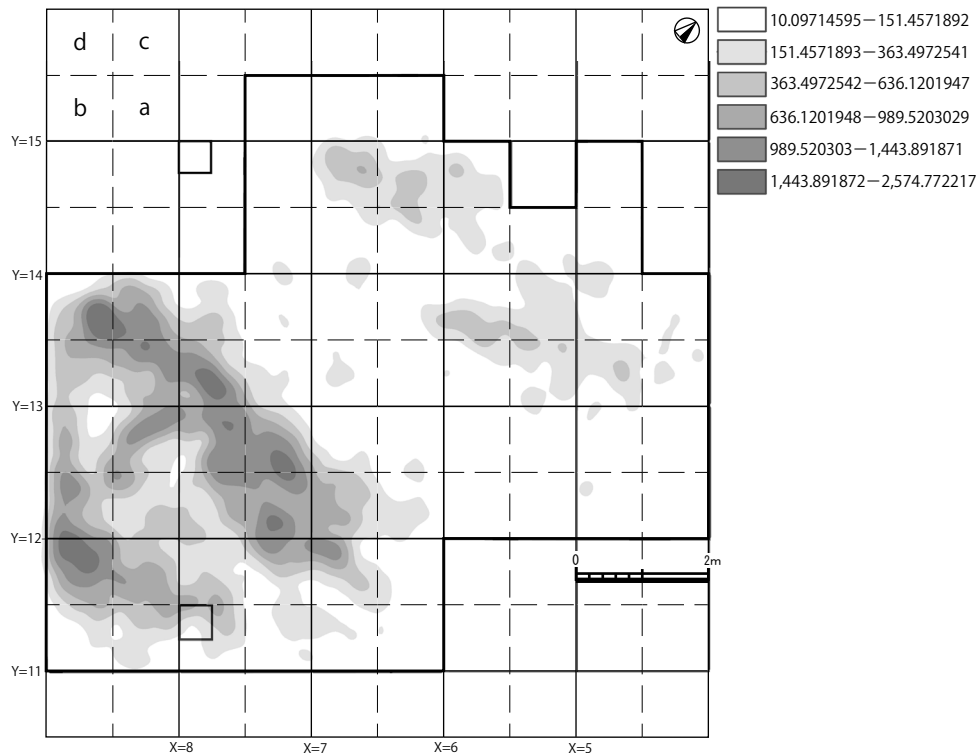


図 78 全器種のカーネル密度分布

三章第二節)において、年代が得られたグリッドでは石器の長軸方向が有意な定向配列を示すことが明らかにされている。ブロック 2B の石器集中部の形状は東西の斜面傾斜に沿うように細長く、この長軸方向での折面接合関係も多くみられる。同様の現象は隣接するブロック 2A でも指摘されており(佐藤・山田編 2014)、ファブリック解析の結果も重力性擾乱による影響を示唆している。したがって、ブロック 2B 全体が重力性擾乱を被り、本来の遺物分布が変形している可能性が高く、局地的に火が利用された場所を特定するための前提が成立していない。そのため、炭化物も同様に斜面方向に沿った移動を被ったと想定する必要があり、これらの年代が確実にブロック 2B を形成した人間活動に伴うと判断することはできない。

忍路子型細石刃核を伴う細石刃石器群の年代については、確実な¹⁴C年代が得られていないため(山田 2006)、先行事例との比較に基づいて、今回の調査で得られた年代の正しさを判断することができない。札滑型細石刃核を含む石器群の年代(厚真町上幌内モイ遺で 14,770~14,450 BP; 出穂・小田 2008)に後続する細石刃石器群の編年は、信頼性の高い年代、地質編年との関係で理解できる事例に乏しい状況が続いている。しかし、大枠では有茎尖頭器が出現する以前の白滝型を相対的に古くし、有茎尖頭器を含む忍路子型・広郷型などの細石刃核を伴う石器群を新しく位置付ける共通認識がみられる(高倉・中沢 1999)。山田(2006)は、白滝型細石刃核を含む石器群の年代について、本州における同石器群の事例や函館市石川 1 遺跡の年代値を参照して、14,000~12,500 ¹⁴C BP と想定している。したがって、8-13c 区で得られた 13,670~13,480 ¹⁴C BP (16,431~16,176 calBP, 1σ) は、白滝型細石刃核の想定年代と

重複することになる。國木田（本書第三章第一節）が指摘するように、この年代に確実に位置付けられる石器群はないため矛盾はしていないが、既存の編年研究とは整合的でない。

このように、今回の調査で得られた年代値は確実に遺跡の文化的形成に関連するとは判断できないが、即座に排除できない年代を含むため、今後の同石器群における年代蓄積を待って、改めて評価する必要がある。

5 展望

山田（2006）は、北海道の細石刃石器群における石器の多様性や器種組成の変異性を分析し、忍路子型細石刃核を伴う石器群を含む後期細石刃石器群では石器の多様性が相対的に大きく、石器群の変異性が大きいことを明らかにし、その居住・移動システムが、相対的に低い居住地移動性と高い兵站的移動性に特徴づけられると推測している。このような後期旧石器時代終末期の細石刃石器群にみられる石器群間の大きな変異性は地点的な行動差に起因すると考えられるが、石器群変異のパターンと地点的行動の関係については未解明な部分が多い。その点で、吉井沢遺跡の各石器集中部の個性的な内容を比較・検討し、それらを形成した人間行動を解明することは、後期旧石器時代終末期の居住の様相を理解するうえで有益である。ブロック 2B の全容が把握できているわけではないが、含まれる遺物数は非常に多く、他の石器集中部と比較して明瞭な特徴が捉えられているため、地点的行動差を究明するために検討する意義はある。

ブロック 2B における最も大きな特徴は被熱石器の多さである。ブロック 1 とブロック 2A、ブロック 3 では被熱石器の比率が小さく、それらの場所での火の利用は継起的かつ短時間であり、一方でブロック 2B では炉が継続的に長時間利用されたと考えられる。このような火の管理性から、ブロック 2B は生活の中心となる場での石器製作・利用によって形成されたと推測される。ブロック 2B が組成する器種構成は他の石器集中部と大きく変わらないが、より多様な石器を含み、斧形石器とその製作残滓、錐形石器が多いなど特徴をもつ。また搔器や細石刃等の主要なツールも、製作・使用に関わる部分で他の石器群とは異なる傾向が認められる。この問題については使用痕分析を通じて検証される必要があり、これまでの分析結果（岩瀬 2014、2016；岩瀬ほか 2016；Iwase et al. 2016）との比較・検討が望まれる。さらに、今後、黒曜石の理化学的産地分析を行うことで、その結果に基づいて黒曜石の獲得・運搬・消費のパターンを分析し、吉井沢遺跡を残した後期旧石器時代終末期集団の行動領域や行動戦略にアプローチすることが可能になるだろう。吉井沢遺跡の整理作業では接合資料のために十分な時間を費やしたとは言えないが、比較的接合の容易な石刃・石刃製石器などでも接合資料は少なく、個々の接合資料を構成する石器数も少ない。当然ながら石器の頻繁な搬出・搬入があり、その遺物量を考慮すれば、度重なる回帰的居住によって遺跡が形成されたと推測される。このような遺跡形成に対応する居住形態の解明も今後の課題として残されている。

（夏木）

引用文献

- 出穂雅美・小田寛貴 2008 「北海道勇払郡厚真町上幌内モイ遺跡旧石器地点の放射性炭素年代」『論集忍路子』2、pp.13-18
- 岩瀬 彬 2016 「晩氷期の北海道における石器使用と地点間変異－吉井沢遺跡の忍路子型細石刃核を伴う石器群を対象とした石器使用痕分析－」、佐藤宏之・山田 哲・出穂雅実（編）『晩氷期の人類社会－北方先史狩猟採集民の適応行動と居住形態』、pp.85-102、六一書房
- 岩瀬 彬 2014 「吉井沢遺跡出土の忍路子型細石刃核を伴う石器群の使用痕分析（1）」、佐藤宏之・山田 哲（編）『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容（Ⅲ）－吉井沢遺跡の研究－』東京大学常呂実習施設研究報告第13集、pp.195-201、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 岩瀬 彬・夏木大吾・山田哲・佐藤宏之 2016 「北海道北見市吉井沢遺跡の忍路子型細石刃核を伴う石器群の使用痕分析（2）：ブロック3を対象とした分析」『旧石器研究』第12号、pp.83-98
- 佐藤宏之・山田 哲（編）2014 『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容（Ⅲ）－吉井沢遺跡の研究－』東京大学常呂実習施設研究報告第13集、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 高倉 純・中沢祐一 1999 「北海道－旧石器時代石器群研究の課題－」『石器文化研究』7、pp.1-10
- 寺崎康史 1999 「細石刃石器群の変遷とその終末」『日本考古学協会 1999 年度大会発表要旨』、pp.11-12、『日本考古学協会 1999 年度釧路大会 シンポジウム 海峡と北の考古学－文化の接点を探る－資料集Ⅰ・テーマⅠ：旧石器から縄文へ』、pp.45-56
- 夏木大吾 2016 「北海道における晩氷期人類の居住生活－吉井沢遺跡の事例から－」、佐藤宏之・山田 哲・出穂雅実（編）『晩氷期の人類社会－北方先史狩猟採集民の適応行動と居住形態』、pp.43-63、六一書房
- 山田 哲 2014 「調査結果の概要」、佐藤宏之・山田 哲（編）2014 『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容（Ⅲ）－吉井沢遺跡の研究－』東京大学常呂実習施設研究報告第13集、pp.283-286、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設
- 山田 哲 2006 『北海道における細石刃石器群の研究』、六一書房
- Iwase, A., Sato, H., Yamada, S., Natsuki, D., 2016. A use-wear analysis of the Late Glacial Microblade assemblage from Hokkaido, Northern Japan: A case study based on the Yoshiizawa site. *Japanese Journal of Archaeology* 4(1): 3-28.



写真図版1 遺跡遠景（遺跡は矢印の尾根の裏：北東から）



写真図版2 土層断面（X=8 ライン：北東から）



写真図版3 ブロック 2B 出土状況（2015 年度・Ⅲ層上部：南東から）



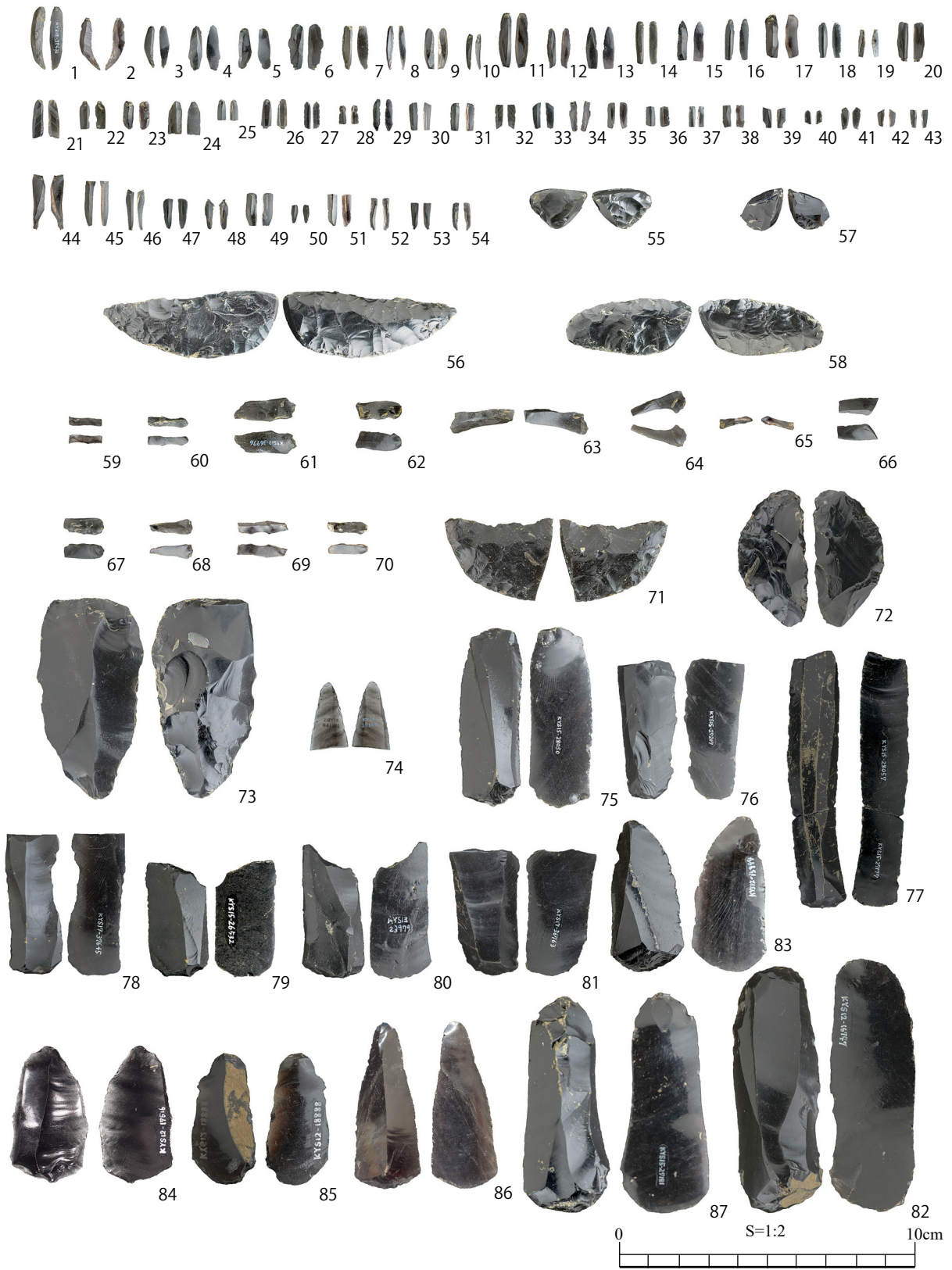
写真図版4 ブロック 2B 出土状況（2017 年度・Ⅲ層上部：南東から）



写真図版5 細石刃核 (2017年度調査・Ⅲ層上部：南から)



写真図版6 細石刃核 (左)・斧形石器 (真中)・彫器 (右) (2017年度・Ⅲ層上部：北東から)



写真図版 7 細石刃・細石刃核・細石刃核削片・両面調整石器・尖頭器・搔器



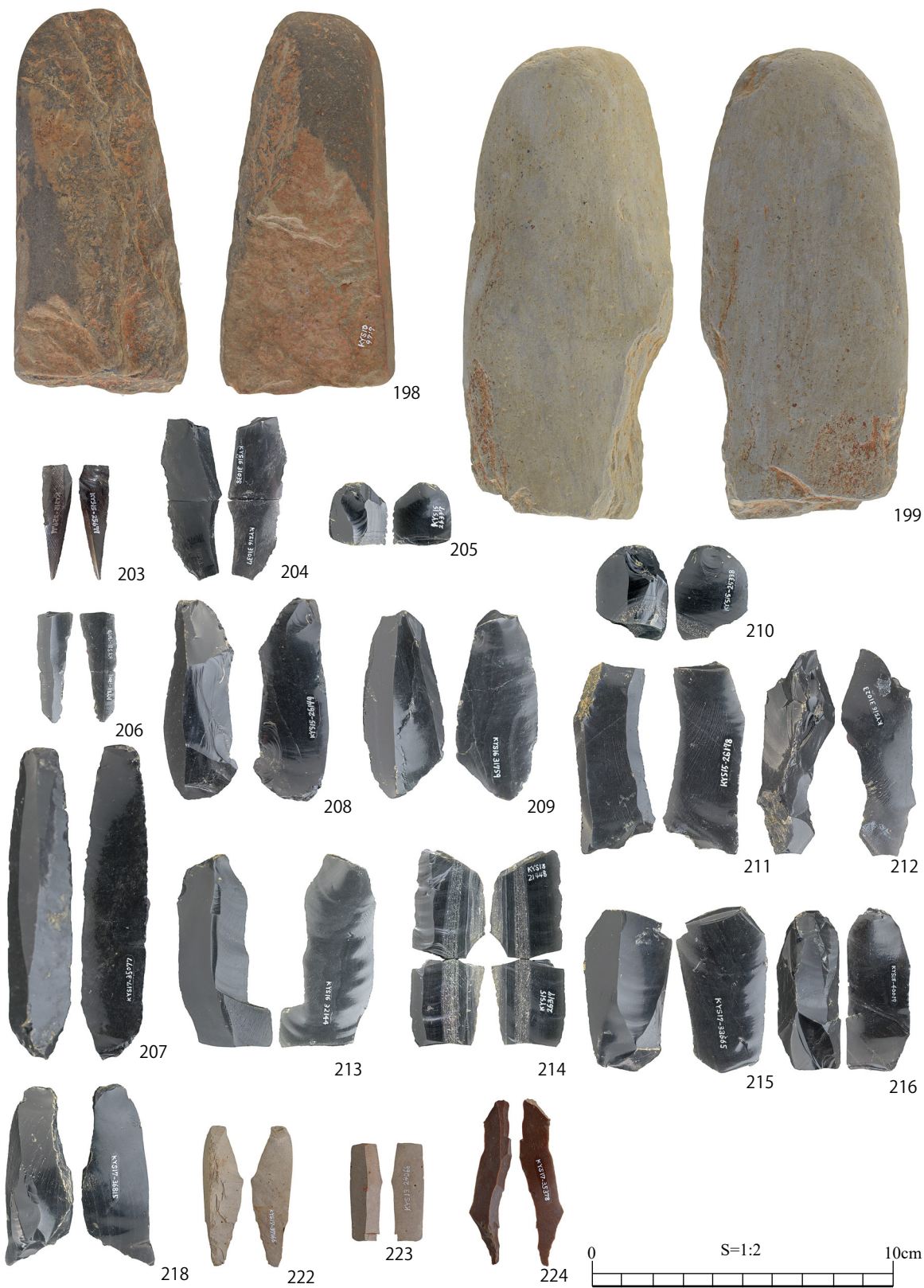
写真図版 8 搔器・彫器



写真図版9 彫器・彫搔器・彫器削片・削器



写真図版 10 削器・錐形石器・斧形石器・石刃



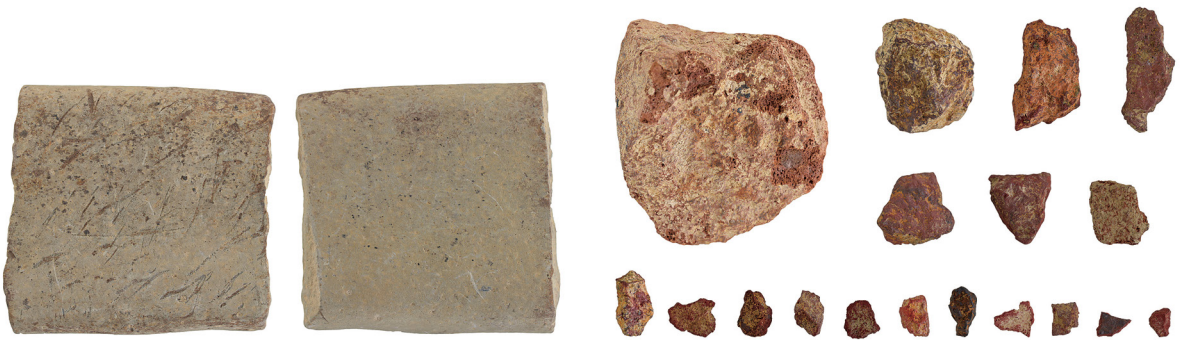
写真図版 11 斧形石器・石刃



写真図版 12 石刃・剥片石核・剥片

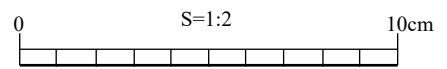


242

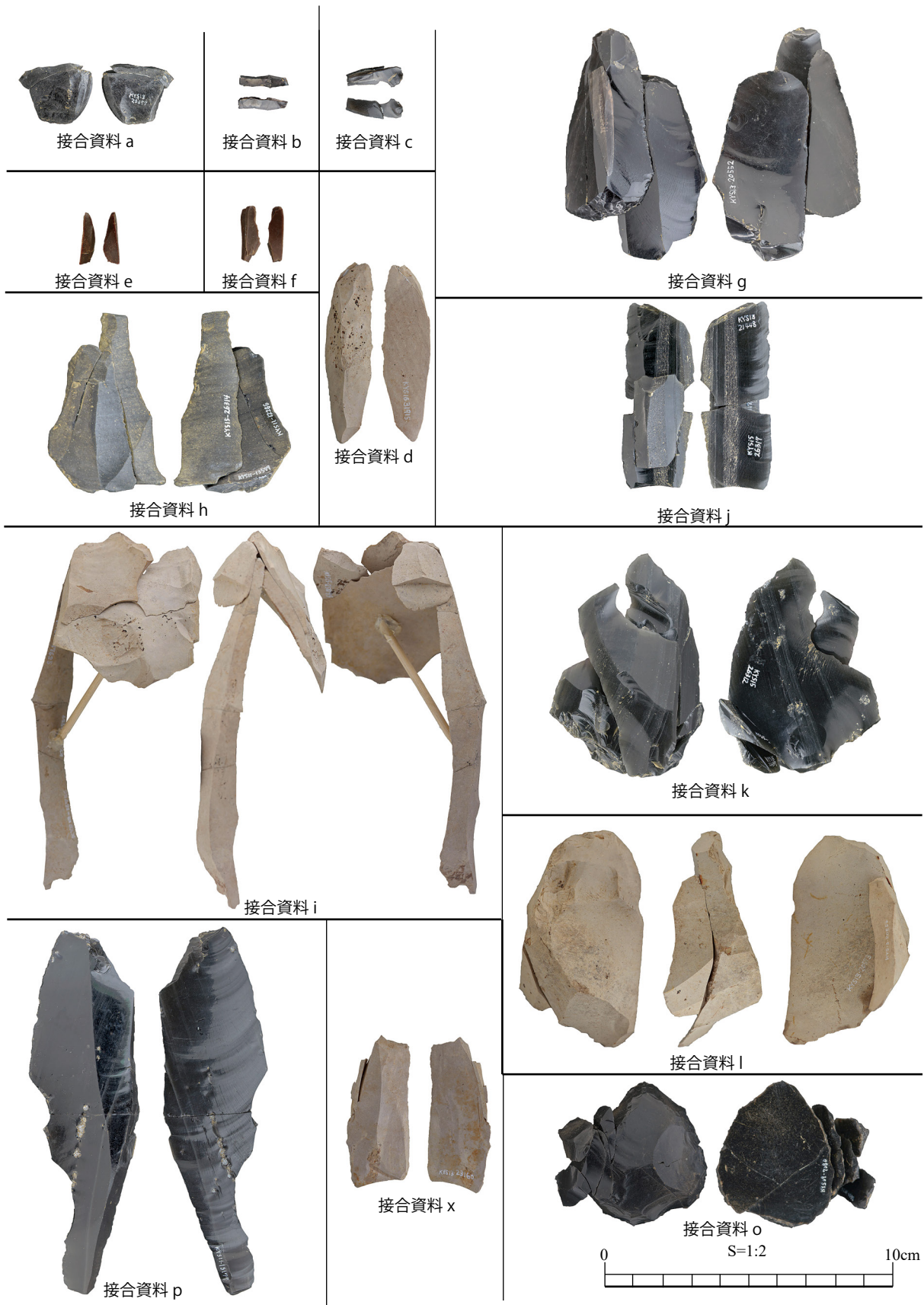


243

顔料原材



写真図版 13 礫塊石器・顔料原材



写真図版 14 接合資料 (1)



接合資料 m



接合資料 q



接合資料 r



接合資料 t



接合資料 u



接合資料 y



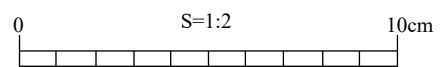
接合資料 v



接合資料 w



接合資料 s



報告書抄録

ふりがな	ほっかいどうきたみしよしいざわいせきのけんきゅう (2)							
書名	北海道北見市吉井沢遺跡の研究 (II)							
副書名								
巻次								
シリーズ名	東京大学常呂実習施設研究報告							
シリーズ番号	第19集							
著者名	夏木大吾 山田 哲 太田 圭 國木田 大							
編集機関	東京大学人文社会系研究科考古学研究室・常呂実習施設							
所在地	東京都文京区本郷7-3-1 〒113-0033 TEL 03-5841-3793			北海道北見市常呂町字栄浦384 〒093-0216 TEL 0152-54-2387				
発行年月日	2021/3/30							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
吉井沢遺跡	北海道北見市 西相内92	01208	I-02-96	43° 78' 44"	143° 68' 68"	2015/10/11 ～ 2018/10/17	29 m ²	学術調査
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記
吉井沢遺跡	遺物集中部	後期旧石器時代				石器		

東京大学常呂実習施設研究報告 第 19 集
北海道北見市吉井沢遺跡の研究（Ⅱ）

2021 年 3 月 30 日

編 集 夏木 大吾
発 行 東京大学大学院人文社会系研究科
附属北海文化研究常呂実習施設
北海道北見市常呂町字栄浦 376
印 刷 株式会社イセブ
茨城県つくば市天久保 2-11-20
